

LM-3000PRO

取扱説明書

LETATWIN



- ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
- この取扱説明書と保証書は必ず保管してください。
- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁じられています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本体画面右上のQRコード、以下に示すURLまたはQRコードより最新モデル・消耗品・オプション品・取扱説明書等を閲覧できます。
<https://www2.max-ltd.co.jp/op/lm/sleevedirectprinter>



第1章. はじめに	5
1-1 安全上のご注意（必ずお守りください）.....	6
1-2 使用上のご注意.....	9
1-3 無線機器使用上のご注意.....	10
1-4 PCエディタ著作権.....	11
1-5 取扱説明書の種類と閲覧方法.....	11
第2章. 本製品でできること	12
2-1 対応消耗品.....	13
2-1-1 差し込み型接続に対応した消耗品のご紹介.....	13
2-1-2 用途別消耗品ガイド.....	14
2-2 印刷時の接続方法.....	15
2-3 「LETATWIN PC EDITOR PRO」対応機種.....	15
第3章. お使いになる前に	16
3-1 同梱品の確認.....	17
3-2 各部の名称.....	18
3-3 持ち運びするときは.....	20
3-4 電源コードを接続して電源を入れる.....	21
3-5 言語設定のしかた.....	22
3-6 LCD ディスプレイの見かた(ホーム画面).....	23
3-7 本体とパソコンを接続する.....	24
3-7-1 本体とパソコンの接続方法.....	24
3-7-2 USB 接続の設定方法.....	25
3-7-3 有線 LAN 接続の設定方法.....	29
3-7-4 無線 LAN 接続の設定方法.....	36
3-8 「LETATWIN PC EDITOR PRO」のダウンロードとインストール方法.....	47
3-9 「ブロック」と「ピッチ長 / ピッチ印刷」.....	48
3-10 印字領域.....	49
3-11 設定可能ピッチ長.....	50
3-12 最大印字長.....	50
第4章. 本体操作・消耗品セット方法	51
4-1 フルカットのしかた.....	52
4-2 ハーフカッタ深さ調整.....	52
4-3 印字圧の調整のしかた.....	53
4-4 グリップスリーブのセットのしかた.....	54
4-5 チューブ・ID プレートのセットのしかた.....	56
4-5-1 チューブヒーターのセットのしかた.....	58
4-5-2 MAX グリップチューブ、MAX チューブ、一般チューブのセットのしかた.....	60
4-5-3 細径・太径チューブアタッチメント使用時のセットのしかた.....	61
4-6 イグジットガイドの交換のしかた.....	62
4-7 テープ・記名板のセットのしかた.....	63
4-8 ブロックマーカのセットのしかた.....	67
4-9 インクリボンのセットのしかた.....	70
4-10 リールスタンドのセットのしかた.....	72
第5章. 消耗部品の交換のしかた	74
5-1 ハーフカッタユニットの交換のしかた.....	75
5-2 サーマルヘッドの交換のしかた.....	76

第6章. 本体LCDディスプレイでできること.....	79
6-1 ホーム画面.....	80
6-2 印刷.....	81
6-3 フィード.....	84
6-4 USB メモリ取外し.....	84
6-5 ヒーター ON/OFF 切り替え.....	85
6-6 ヘルプ.....	85
6-7 設定.....	86
6-8 本体設定.....	87
6-8-1 スリープ時間を設定する.....	87
6-8-2 タッチ音を設定する.....	88
6-8-3 タッチパネル調整をする.....	88
6-8-4 停電時印刷再開モードを設定をする.....	89
6-8-5 画面調整を設定する.....	89
6-9 印刷設定.....	90
6-9-1 印字濃度を設定する.....	91
6-9-2 低速モードを設定する.....	91
6-9-3 先頭空送りを設定する.....	92
6-9-4 上下印字位置を設定する.....	92
6-9-5 カット位置を設定する.....	93
6-9-6 送り方向印字位置を設定する.....	93
6-9-7 後端空送りを設定する.....	94
6-9-8 部数間余白を設定する.....	94
6-9-9 ブロックマーカースエンサーを調整する.....	95
6-9-10 ヒーターの温度を設定する.....	95
6-9-11 ヒーターの保温設定をする.....	96
6-10 接続設定.....	97
6-10-1 LAN 設定を初期化する.....	97
第7章. 文字入力から印刷までの基本手順.....	98
7-1 「LETATWIN PC EDITOR PRO」基本操作.....	99
7-1-1 「LETATWIN PC EDITOR PRO」を立ち上げる.....	100
7-1-2 機種を選択する.....	100
7-1-3 消耗品を選択する.....	101
7-1-4 印刷書式を設定する.....	102
7-1-5 「LETATWIN PC EDITOR PRO」メイン編集画面構成.....	103
7-1-6 文書を入力する.....	104
7-1-7 プレビューで印刷データを確認する.....	105
7-1-8 印刷する.....	106
第8章. 機能を使いこなす.....	107
8-1 印刷書式を変更する.....	109
8-1-1 連続個数を変更する.....	109
8-1-2 180 度回転印刷をする (グリップスリーブ・チューブのみ).....	110
8-1-3 反転を設定する.....	111
8-1-4 アンダーライン (下線) を設定する.....	112
8-1-5 枠囲みを設定する.....	113
8-1-6 表を作成する.....	114
8-1-7 ピッチ長を変更する.....	119
8-1-8 ピッチ長で並び替える.....	121
8-1-9 ピッチ長を文字数に応じて自動で変更する.....	122
8-1-10 文字サイズを自動で変更する.....	124
8-1-11 文字サイズを固定する.....	126

8-1-12 ピッチ間のハーフカット / 実線・点線の印刷有無を設定する	128
8-1-13 縦書き・横書きを設定する	130
8-1-14 文字間隔を設定する	132
8-1-15 行間隔を設定する	134
8-1-16 書体を変更する	136
8-2 文字の識別性をあげる	138
8-2-1 「6、9」の印字を変える	138
8-2-2 「0(ゼロ)」の文字に斜線を入れる	140
8-2-3 ピリオドを文末に一括で付加する	142
8-2-4 明快書体を使用する	143
8-3 低温時の印刷モードを設定する	144
8-3-1 チューブヒーターを使う	144
8-3-2 印刷速度を下げる	145
8-3-3 印刷濃度を調整する	146
8-4 連番を設定する	147
8-4-1 連番を設定する	147
8-4-2 「連番印刷順序」を設定する	150
8-5 記号/ダイアクリティカル文字を入力する	151
8-5-1 電設記号等を入力する	151
8-5-2 ダイアクリティカル文字を入力する	154
8-6 プレビューを確認する	156
8-6-1 個別プレビューを見る	156
8-6-2 全体プレビューを見る	157
8-7 一括で設定値を変更する(文字サイズ・文字幅・連続個数・ピッチ長・下線・ 反転・180度回転)	158
8-7-1 編集メニューから一括変更する	158
8-7-2 「LETATWIN PC EDITOR PRO」の各項目をダブルクリックして一括変更する	160
8-8 印刷の詳細設定をする	161
8-8-1 印刷する機械を選択する	161
8-8-2 印刷範囲を指定する	162
8-8-3 印刷部数を指定する	164
8-8-4 印刷全長を補正する	165
8-8-5 プリンタ本体、「LETATWIN PC EDITOR PRO」の設定を 使い分けて「LETATWIN PC EDITOR PRO」から印刷する	166
8-8-6 カット位置を設定する	168
8-8-7 上下印字位置を設定する	169
8-8-8 後端空送りを設定する	170
8-8-9 先頭空送りを設定する	172
8-8-10 部数間余白を設定する	173
8-8-11 送り方向印字位置を調整する(ブロックマーカーのみ)	174
8-8-12 mm/inch の表示単位を切り替える	175
8-9 デフォルト設定(初期値)を登録する	176
8-9-1 「基本設定」を登録する	177
8-9-2 「印刷書式設定」を登録する	177
8-9-3 「印刷パラメータ設定」を登録する	178
8-10 ファイルを保存・送信する	180
8-10-1 名前を付けてファイルを保存する	180
8-10-2 ファイルを上書き保存する	182
8-10-3 ファイルを送信する	183
8-10-4 ファイルコメントを登録する	184
8-11 両面印字をする	186

第9章. 「LETATWIN PC EDITOR PRO」データ活用方法	190
9-1 「LETATWIN PC EDITOR PRO」データ活用方法	191
9-2 表計算ソフトで作成したデータを「LETATWIN PC EDITOR PRO」に取り込む	193
9-3 CSV形式のファイルの取込方法	194
9-3-1 印字内容のみ取り込む	195
9-3-2 CSV ファイルからコピー&ペーストする	197
9-3-3 印字内容・連続個数・ピッチ長データを取り込む	198
9-3-4 「LETATWIN PC EDITOR PRO」アイコンに CSV ファイルをドラッグして取り込む	199
第10章. お手入れのしかた	200
10-1 プラテンローラーをクリーニングする	201
10-2 サーマルヘッドをクリーニングする	202
10-3 消耗品ありなしセンサーをクリーニングする	203
10-4 ブロックマーカースセンサー／ブロックマーカース用アタッチメントをクリーニングする ..	204
10-5 メディアガイド B、D をクリーニングする（テープ粘着剤の除去方法）	205
第11章. トラブルシューティング	206
11-1 こんなときは	207
第12章. 付 録	210
12-1 「LETATWIN PC EDITOR PRO」表作成方法詳細	211
12-2 消耗品・オプション品一覧	214
12-3 設定値初期値一覧	217
12-4 製品仕様	218
12-5 本体・「LETATWIN PC EDITOR PRO」のバージョン確認方法	220
12-5-1 本体のバージョン確認方法	220
12-5-2 「LETATWIN PC EDITOR PRO」のバージョン確認方法	220
12-5-3 本体のバージョンアップ方法	221
12-6 お問い合わせ先	222

第1章. はじめに

1-1	安全上のご注意 (必ずお守りください)	6
1-2	使用上のご注意	9
1-3	無線機器使用上のご注意.....	10
1-4	PCエディタ著作権	11
1-5	取扱説明書の種類と閲覧方法.....	11

1-1 安全上のご注意（必ずお守りください）

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよく読み、本体を正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

■表示について

 警告	この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険性および物的損害のみの発生、また、作成したデータが消失する可能性が想定される内容を示しています。

■絵表示について

 「気をつけるべきこと」を 意味しています。 この記号の中や近くが表示は、 具体的な 注意内容 です。	 「してはいけないこと」を 意味しています。 この記号の中や近くが表示は、 具体的な 禁止内容 です。	 「しなければならないこと」を 意味しています。 この記号の中や近くが表示は、 具体的な 指示内容 です。
---	---	---

お願い

本体が故障し、修理が必要になることが想定される操作や、原状復帰するためにリセットなどの操作が必要になるので絶対に行ってはいけないことが書かれています。

MEMO

操作上のポイントおよび知っていると便利なことが書かれています。



説明のページが異なる場合に参照するところが書かれています。

 警告	
 	●必ずアース接続をおこなってください。 万一、漏電した場合に、火災、感電のおそれがあります。 アース接続は、必ず電源プラグをコンセントに差す前に行ってください。アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
	●電源は100Vのコンセントを使用する 100V以外の電源を使用すると、故障や火災、感電の原因になります。 ●電源プラグは定期的に清掃する 長い間にホコリなどがたまり、火災や故障の原因になります。
	●本体の内部に指、ペン、針金などの異物を差し込まない 故障や火災、感電、けがの原因になります。 ●電源コードは必ず付属のものを使用する 火災や感電の原因になります。 ●電源は直接コンセントからとり、タコ足配線はしない 火災の原因になります。 ●電源コードを加工しない 火災や感電の原因になります。 ●電源コードの上に重いものを絶対にのせない コードに傷が付いて火災や感電の原因になります。 ●電源コードは、束ねたまま使用しない 発熱により、火災や故障の原因になります。 必ずほどいてご使用ください。 ●傷がついたり傷んだりした電源コードやケーブルは使わない 故障や火災、感電の原因になります。 ●濡れた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因になります。 ●濡れた手、衣服のまま本体の操作をしない 感電の原因になります。 ●コンセントに差し込んだまま、紙や布を本体の上にかぶせたり置いたりしない 火災や故障の原因になります。 ●電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに必ず電源プラグを持って抜く コードが破損して火災や感電の原因になります。
 	●水、薬品などが本体にかからないようにする 万一内部に水などが入った場合は、電源プラグをコンセントからすぐに抜いて販売店に修理をご依頼ください。 そのまま使用すると、故障や火災、感電の原因になります。 ●故障のまま本体を使わない 煙が出ている、変な音やにおいがするなど、故障のまま使用すると火災や感電の原因になります。 すぐに電源コードをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。
	●本体は絶対に分解または改造しない 火災や感電、故障の原因になります。
	●本体と人体の距離を20cm以上離して使用する 電磁波による人体曝露のおそれがあります。

⚠ 注意

	● 本体は必ず水平に設置する ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に設置すると、落下してけがや故障の原因になります。 ● 直射日光の当たる場所や高温多湿の場所、結露した状態では使用しない 動作が不安定になったり、故障の原因になります。 ● 大きな容量を必要とする機器(冷暖房機、冷蔵庫、電子レンジ、OA機器等)とコンセントを共用しない 電圧が下がり本体が誤動作する可能性があります。 ● USB、LAN、電源コネクタには直接手で触れない 静電気により故障の原因となることがあります。
	● サーマルヘッドには絶対にさわらない 印刷直後のサーマルヘッドは高温になっており、やけどをするおそれがあります。また、手の汚れがサーマルヘッドの故障の原因になることがあります。 ● フルカット刃、ハーフカット刃には絶対にさわらない けがをするおそれがあります。 ● チューブウォーマーのチューブ出入口には絶対にさわらない やけどをするおそれがあります。 ● 消耗品排出口には絶対に手を入れない けがをするおそれがあります。 ● ハーフカット刃設置位置直下の消耗品挿入口には絶対に手をいれない けがをするおそれがあります。
	● パソコン、USBメモリに保存した内容は永久的な保存はできません 故障、修理などに起因するデータ消失による損害、ならびに逸失利益については、責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。 ● ソフトを含む本製品は、適切なセキュリティ管理がなされたネットワーク・施設内で使用する ● ファイルデータや設定データ内に、不必要に個人情報やセキュリティに関わる情報を入力しない ● 本製品に使用するUSBメモリ等のストレージは、紛失したり、安全に廃棄するための処置を行わずに廃棄したりすることがないように、適切に管理する
	● 長期間使用しないときは、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜く ● 設置場所を移動する時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行う 電源プラグをコンセントに差したまま移動させるとプラグやコードが傷つき、火災や感電の原因になります。
	● 本体内部に被印字物、異物等がはさまるなどで、印刷やカッター(ハーフカット、フルカット)が正常に動作しない場合は、本体裏のロックスイッチを切り、プラグを抜いて必ず電源を切ってから異物を取り除く 機械が不意に動作したとき、けがの原因になります。 ● ハーフカット刃の交換時には、本体裏のロックスイッチを切り、プラグを抜いて必ず電源を切る 機械が不意に動作したとき、けがの原因になります。 ● USBメモリの装着脱は、必ず電源OFFの状態で行うかLCDディスプレイのUSB取外しキーを押して、USB取外しボタンが消灯している状態で、USBメモリを取外す 電源ONのまま、またはUSBマークが点灯している状態でUSBメモリを装着脱すると保存したデータが消失したり故障する場合があります。

1-2 使用上のご注意

本体の故障、トラブルを未然に防ぐため、下記の事項を必ずお守りください。

- 本体は精密機械です。落としたり、衝撃を与えたり、お取扱いにはご注意ください。
- 印字の際は、曲がりグセ、ツブれた物、ヨゴレのひどい被印字物は使用できません。特に被印字物に付着した硬いゴミ等はサーマルヘッドの故障の原因になります。
- 消耗品排出口をふさいだり、ものを入れたりしないでください。
印字中に被印字物をひっぱらないでください。
- 本体の電源を入れたまま、または電源を切った直後に、電源ケーブルを引き抜かないでください。設定やメモリ内容の消去といった誤動作や故障の原因となるおそれがあります。LCD画面の表示が消えてから電源コードを抜いてください。
- LCD画面を強く押さないでください。割れることがあります。
- 本体の汚れを落とす際は、乾いた柔らかい布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコール等の有機溶剤や薬品を使わないでください。機械が変形したり、変色する原因になります。
- 寒い屋外から暖房の効いた室内に持ち込んだ時など、急激な温度変化により本体内部が結露することがあります。この時は室内に30分以上放置して霜が取れたことを確かめてからご使用ください。
- トラブルの原因になりますので次の様な場所では使用、保管をしないでください。
 - ①直射日光の当たる場所や、ヒーター等の熱源に近い場所
 - ②ほこりや湿気の多い場所
 - ③振動や衝撃の加わる場所
 - ④本体は温度が5℃以下、35℃以上になる場所で使用しないでください。
 - ・本体を高温(35℃以上)環境に放置するとLCD画面が黒くなり、文字が見えにくくなる場合があります。機械使用温度範囲内でご使用ください。
 - ・本体を低温(5℃以下)環境に放置するとLCD画面の表示が薄くなり、見えにくくなる場合があります。機械使用温度範囲内でご使用ください。
 - ⑤温度が0℃以下、40℃以上になる場所で保管しないでください。
- この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。住宅環境で本装置を操作すると、電波障害を引き起こす可能性があります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
- 快適にご使用いただくために消耗品は、マックス純正品をお奨めします。
- 関係者以外立ち入りが制限されている環境でお使いください。
- 製品を廃棄時は、無線設定を初期化してください。初期化しないまま廃棄すると無線設定が知られてしまうおそれがあります。
- USBメモリを紛失すると、メモリ内に格納されているファイルが知られてしまうおそれがありますので注意してください。

1-3 無線機器使用上のご注意

■無線LANについてのお願い

他機器への影響

本機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させるおそれがありますので、次の場所では本機および無線通信機器の電源を切ってください。

- ・病院内／電車内／航空機内／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所
- ・自動ドアや火災報知機の近く

ご注意

本機は、無線LAN 技術を使用した通信時のセキュリティとして、無線LAN標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容等によってセキュリティが充分でない場合があります。無線LAN 通信を行う際はご注意ください。

無線LAN技術を使用した通信時に情報の漏洩が発生しましても、当社としては一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

予期できない問題が生じた場合、本製品に接続しているタブレット・スマートフォンや、その他の外部機器の内部に保存されているデータが破損したり、消失したりする可能性があります。

万一に備え、必ず事前にバックアップをしておいてください。またデータの破損または消失、および接続機器の故障については、いかなる場合においても当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。無線使用時、暗号化なしを選ぶこともできますが、PC と本体で通信するファイル内容等が盗聴されるおそれがあります。

周波数について

本機は2.4GHz帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本機の使用上の注意事項

本機の使用周波数は 2.4GHz 帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、マックスのお客さま相談ダイヤルまでお問い合わせください。マックスのお客さま相談ダイヤルについては、本取扱説明書巻末をご覧ください。
この無線機器は2.4GHz 帯を使用します。変調方式として OFDM、DSSS 変調方式を採用し、与干渉距離は40m です。

機器認定について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。但し、本機を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

警告

!	●航空機内では、本機の電源を切る 本機は無線機能を搭載しています。本機が発生する電波により航空機の運航に支障をきたすおそれがあります。
!	●本機を医療機器の近くで使わない 本機が発生する電波が医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。
!	●本機は日本国内専用です。 海外では国によって電波使用制限があるため、本機を使用した場合、罰せられることがあります。

1-4 PCエディタ著作権

■ご注意 一本取扱説明書および「LETATWIN PC EDITOR PRO」ご使用にあたってー

- このソフトの著作権は、日本国マックス株式会社にあります。
- このソフトウェアおよび取扱説明書の一部または全部を無断で使用、複製する事はできません。
- このソフトウェアおよび取扱説明書は、本製品の使用許諾契約書のもとでのみ使用する事ができます。
- パソコンに保存した内容は永久的な保存はできません。故障修理などに起因するデータ消失による損害ならびに逸失利益については責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- このソフトウェアの仕様、および取扱説明書に記載されている事柄は、将来予告なしに変更する事があります。
- この取扱説明書で作成するサンプルに表示されている団体名、人名は架空のもので実存する団体・個人とは一切関係ありません。

1-5 取扱説明書の種類と閲覧方法

本体には、3 種類のマニュアルがあります。必ずお読みください。

① 取扱説明書（本書・電子マニュアル）

本製品のご使用方法、ご使用上の注意、ソフトウェア・プリンタドライバのインストール、エラー表示と対処方法など本製品全般を説明します。

【閲覧方法】

2通りの方法で閲覧できます。

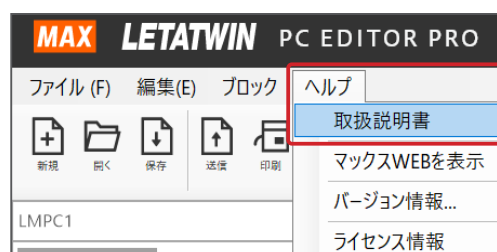
① ホームページから閲覧する

URL : <https://www.max-ltd.co.jp/support/download/op/torisetsu/>



② 「LETATWIN PC EDITOR PRO」上で閲覧する

「LETATWIN PC EDITOR PRO」を開き、メイン編集画面のヘルプ内「取扱説明書」をクリックしてください。



② クイックリファレンス（本体同梱）

消耗品のセット方法を説明します。

③ セーフティガイド（本体同梱）

安全上のご注意について説明します。

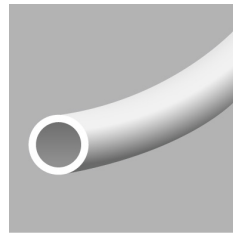
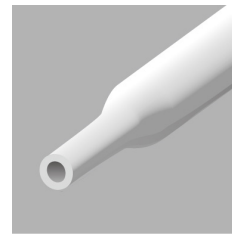
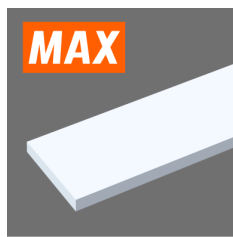
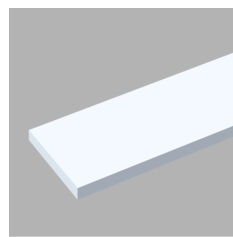
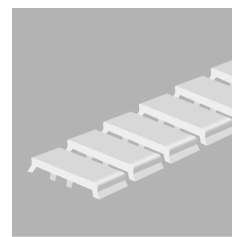
- 本書の内容は万全を期して作成いたしましたが、万一不審な点や誤りなどお気づきのことがございましたらご連絡ください。
- 万一、本体や本体で作成した被印字物を使用したこと、および故障・修理などによりデータが消えたり変化したことで生じた損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求につきましても、当社では、一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

第2章. 本製品でできること

2-1	対応消耗品	13
2-1-1	差し込み型接続に対応した消耗品のご紹介	13
2-1-2	用途別消耗品ガイド	14
2-2	印刷時の接続方法	15
2-3	「LETATWIN PC EDITOR PRO」対応機種	15

2-1 対応消耗品

LM-3000PROでは、以下の消耗品に印字することができます。

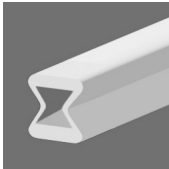
 MAX グリップスリーブ	 MAX グリップチューブ	 MAX チューブ	 一般チューブ	 熱収縮チューブ
 MAX ID プレート	 MAXテープ	 MAX記名板	 一般記名板	 ブロックマーカー

市販品は正常な印刷および動作を保証するものではありません。事前に動作確認を行ってからご使用ください。

2-1-1 差し込み型接続に対応した消耗品のご紹介

■MAXグリップスリーブ

- ・印字面が平らで、読みやすい。
- ・密着配線で、回転しない。
- ・固定しないのにずり落ちない。
- ・スムーズに動いて位置調整できる。
- ・文字数に応じてピッチ長を変えられる。



■MAXグリップチューブ

- ・固定しないのにずり落ちない。
- ・スムーズに動いて位置調整できる。
- ・綺麗に整列するから、表示が見やすい。
- ・文字数に応じてピッチ長を変えられる。

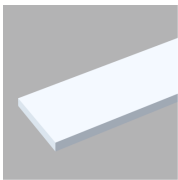
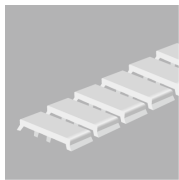


2-1-2 用途別消耗品ガイド

1.電線へのマーキング

 MAX グリップスリーブ	 MAX グリップチューブ	 MAX チューブ	 一般チューブ
 熱収縮チューブ	 MAX ID プレート IDプレート 使用例 		

2.端子台へのマーキング

 MAX 記名板	 一般記名板	 MAX テープ	 ブロックマーカー
---	---	--	--

3.デバイス等へのマーキング

 MAX テープ
--

2-2 印刷時の接続方法

事前にお持ちのパソコンに「LETATWIN PC EDITOR PRO」をインストールしてご使用ください。

→ 3-8 「LETATWIN PC EDITOR PRO」のダウンロードとインストール方法 対応OS: Windows 11 (2026年3月現在)

もくじ

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

第7章

第8章

第9章

第10章

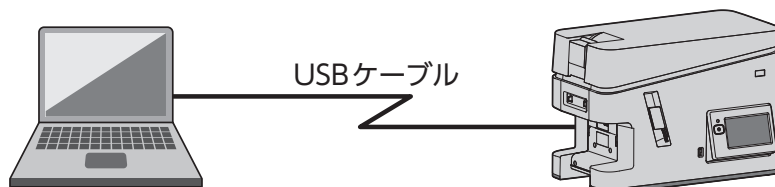
第11章

第12章

パソコンから印刷する

1. USBケーブルでつなぐ

USB ケーブルで、パソコンと本体を接続します。



2. 有線LANでつなぐ

有線 LAN ケーブルの LAN ケーブル接続部で、パソコンと本体端末を接続します。



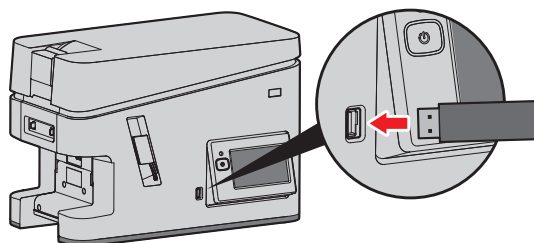
3. 無線LANでつなぐ

Wi-Fi で、パソコンと本体端末を接続します。



本体から印刷する

あらかじめ印刷データが入った USBメモリ を本体に差し込むことで、本体単体で印刷が可能です。



2-3 「LETATWIN PC EDITOR PRO」対応機種

「LETATWIN PC EDITOR PRO」は以下のモデルにも対応しています。

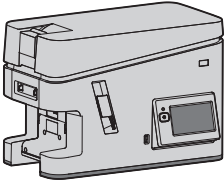
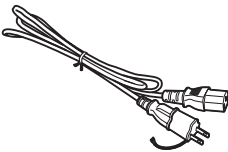
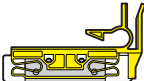
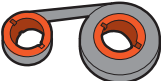
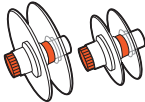
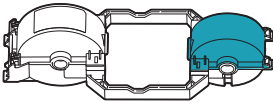
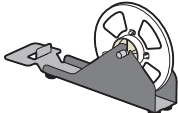
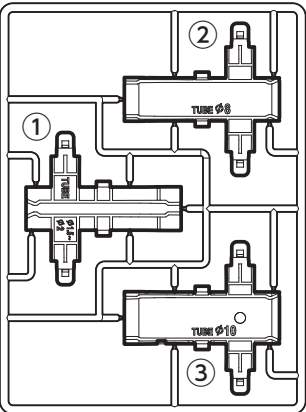
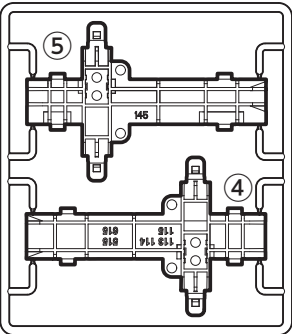
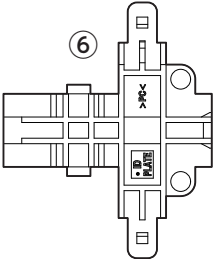
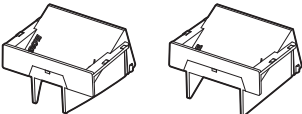
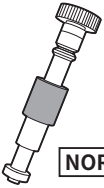
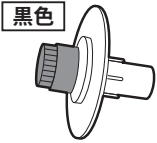
●LM-550W3 ●LM-500W3 ●LM-550W2 ●LM-500W2 ●LM-550W ●LM-500W

第3章. お使いになる前に

3-1	同梱品の確認	17
3-2	各部の名称	18
3-3	持ち運びするときは	20
3-4	電源コードを接続して電源を入れる	21
3-5	言語設定のしかた	22
3-6	LCDディスプレイの見かた（ホーム画面）	23
3-7	本体とパソコンを接続する	24
3-7-1	本体とパソコンの接続方法	24
3-7-2	USB接続の設定方法	25
3-7-3	有線LAN接続の設定方法	29
3-7-4	無線LAN接続の設定方法	36
3-8	「LETATWIN PC EDITOR PRO」のダウンロードとインストール方法	47
3-9	「ブロック」と「ピッチ長/ピッチ印刷」	48
3-10	印字領域	49
3-11	設定可能ピッチ長	50
3-12	最大印字長	50

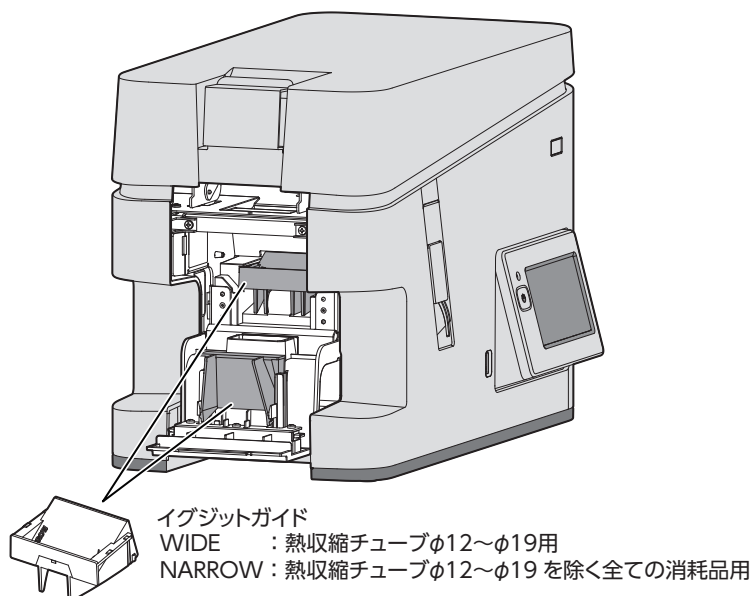
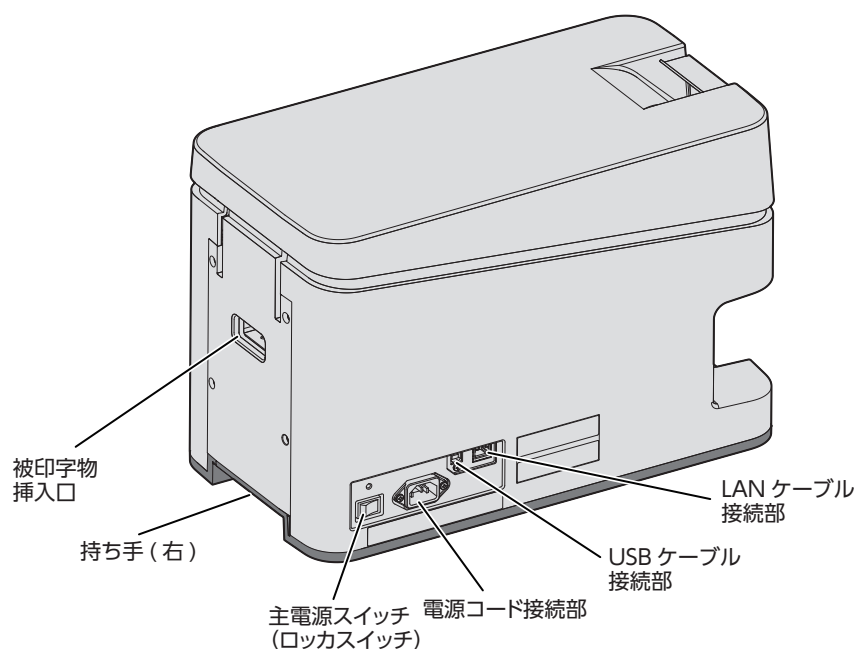
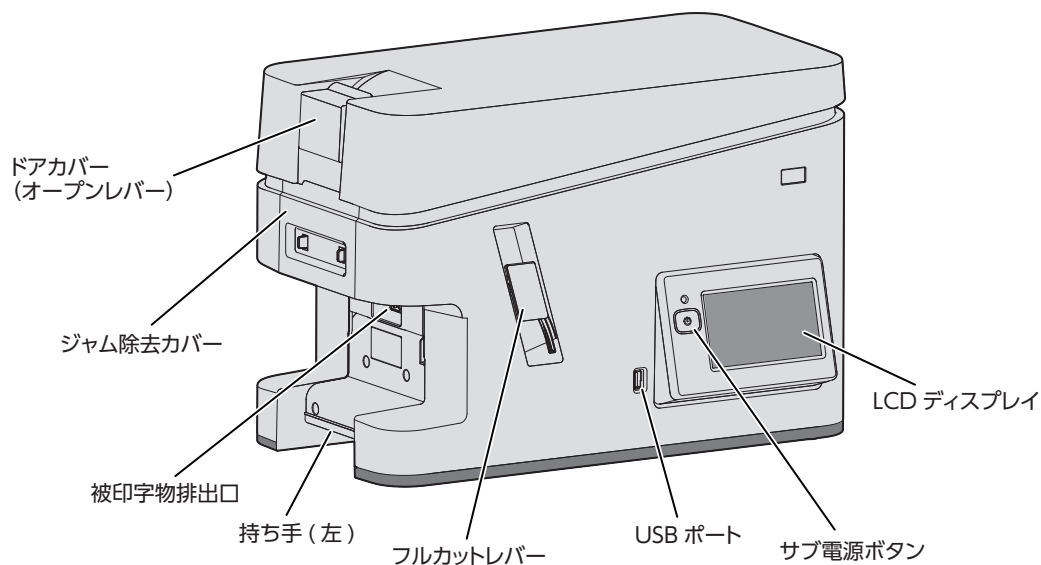
3-1 同梱品の確認

以下の同梱品が揃っているか、ご確認ください。

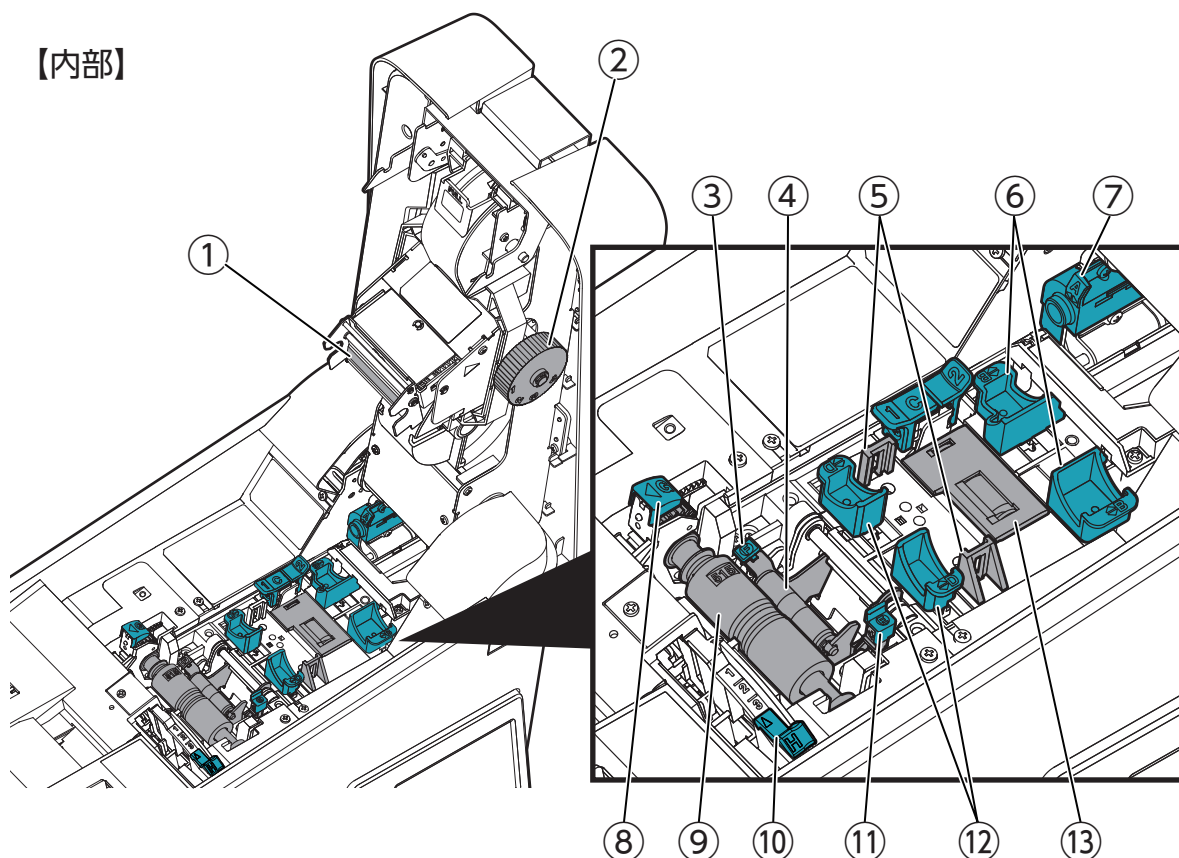
				
本体	電源コード (変換プラグつき)	クイックリファレンス マニュアル	ソフトウェア使用承諾書	セーフティガイド
				
ハーフカッターユニット *本体にセットされています。	インクリボン (LM-IR3015B)	リボンフランジ	インクリボンカセット	リールスタンド
				
①チューブφ1.5 ~ 2.0 用アタッチメント ②チューブφ8 用アタッチメント ③チューブφ10 用アタッチメント	④ブロックマーカ用アタッチメント 2009-113/114/115/515/615用 ⑤ブロックマーカ用アタッチメント 2009-145用		⑥ID プレート用アタッチメント	
				
NARROW (狭い) WIDE (広い) *本体にセットされています。	NORMAL		黒色	
イグジットガイド (2種)	プラテンローラー (4種) *プラテンローラー収納ケースに格納されています。 NORMALは本体にセットされています。	プラテンローラー 収納ケース	8φ、10φ用 リボンフランジ	

USB ケーブルは、USB-A→B タイプ (USB 規格認証済みのもの) をお買い求めください。

3-2 各部の名称



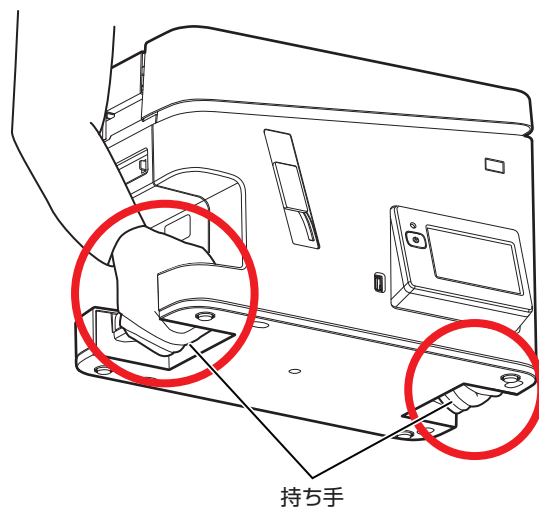
【内部】



①	サーマルヘッド
②	印字圧調整ダイヤル
③	巻き付けローラーセットレバー
④	巻き付けローラー
⑤	アタッチメント取り付け部
⑥	メディアガイド B
⑦	チューブヒーター
⑧	プラテンローラーセットレバー
⑨	プラテンローラー
⑩	ハーフカット深さ調整レバー
⑪	巻き付けローラーリリースレバー
⑫	メディアガイド D
⑬	Length Measurement Sensor(エンコーダー)

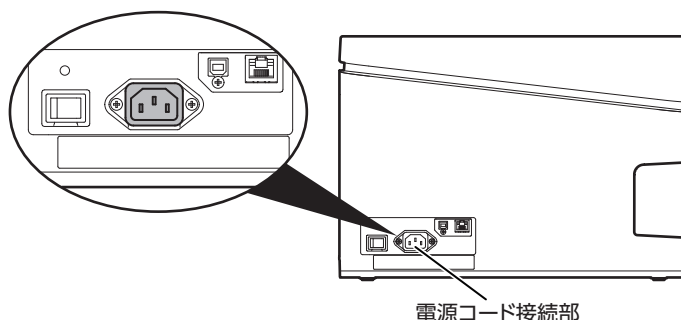
3-3 持ち運びするときは

持ち手は左右に2か所あります。持ち手部分に手をかけて持ち運んでください。

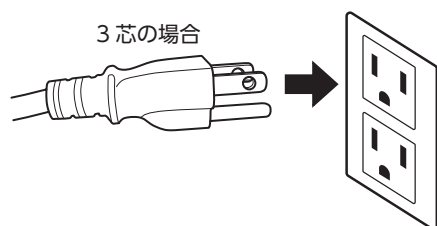
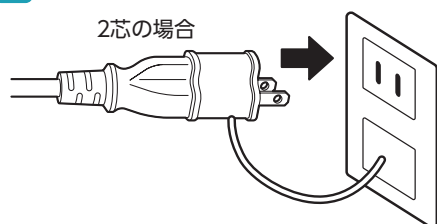


3-4 電源コードを接続して電源を入れる

- 1** 電源コードを本体背面電源コード接続部にしっかりと差し込みます。



- 2** 電源コードをコンセントに差し込みます。

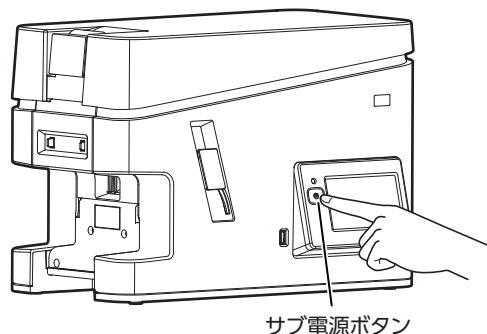
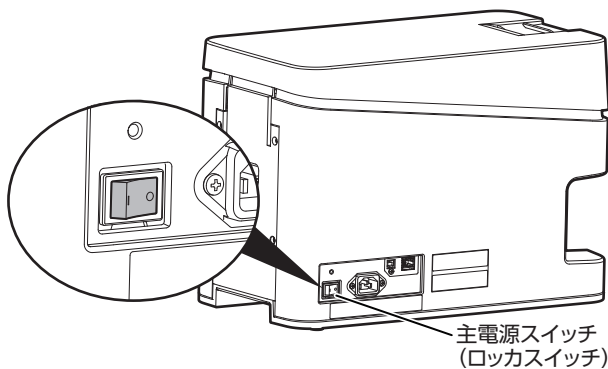


警告
●必ずアース接続を行う
アース接続は、必ず電源プラグをコンセントに差す前に行ってください。アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

- 3** パソコンと本体をUSBケーブル、またはLANケーブルで接続します。

→ 3-7 本体とパソコンを接続する

- 4** 本体の主電源スイッチ(ロックスイッチ)を押してください。
次にLCDディスプレイ横のサブ電源ボタンをONにしてください。LCDディスプレイが点灯します。



3-5 言語設定のしかた

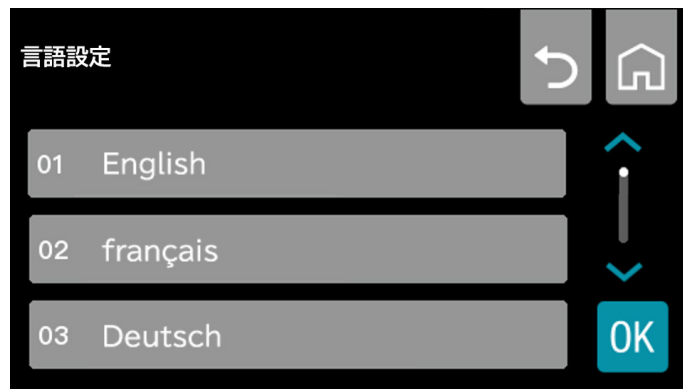
- 1 本体ホーム画面の  アイコンを押してください。



- 2  アイコンを押してください。



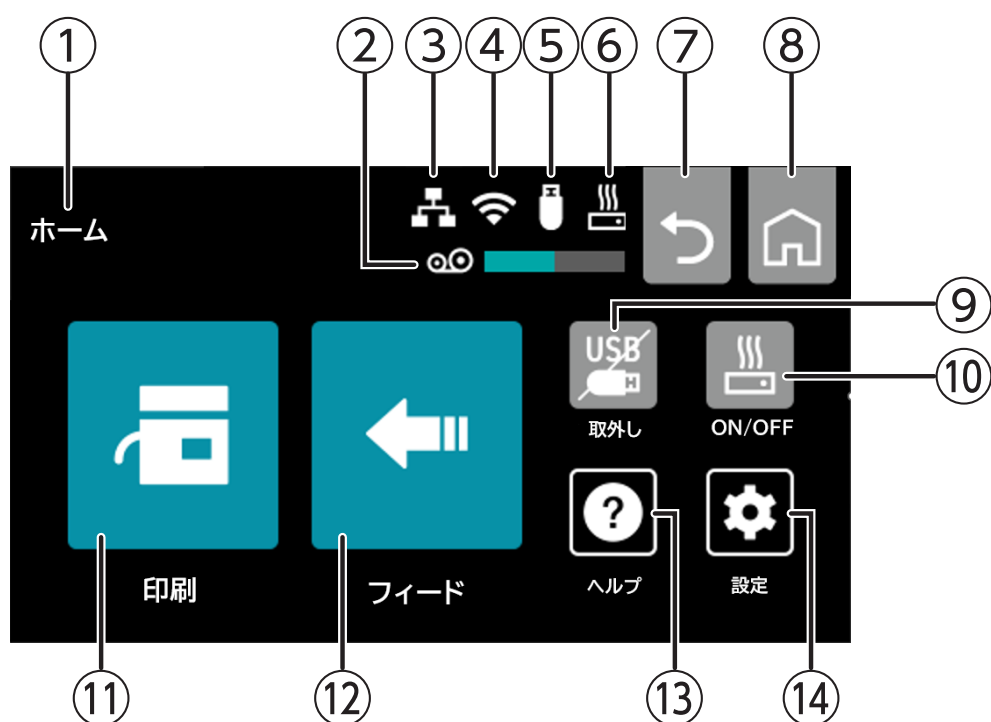
- 3 言語を選択し、OKを押してください。



※本体の言語設定により液晶画面に表示される言語、英語・ドイツ語・フランス語・イタリア語・スペイン語・ロシア語・ポーランド語・トルコ語・韓国語・ベトナム語は DynaFont を使用しています。DynaFont は、DynaComware Taiwan Inc. の登録商標です。

中国語 (繁体字・簡体字) : Copyright©BEIJING FOUNDER ELECTRONICS CO., LTD

3-6 LCD ディスプレイの見かた(ホーム画面)



①	—	画面タイトル
②		インクリボン残量を表示します。
③		有線 LAN 接続時に点灯します。
④		無線 LAN 接続時に点灯します。
⑤		USB メモリ挿入時に点灯します。
⑥		ヒーター ON 時に点灯します。
⑦		一つ前の画面に戻ります。
⑧		ホーム画面に戻ります。
⑨		USB メモリ取外し時に USB メモリの通電を切ります。
⑩		ヒーター ON/OFF を切り替えます。
⑪		印刷を行います。
⑫		消耗品をカッター(ハーフカッター、フルカッター)でカットできる位置まで排出します。
⑬		ヘルプを表示します。 → 6-6 ヘルプ
⑭		本体設定、印刷設定、接続設定、言語設定をおこないます。

3-7 本体とパソコンを接続する

3-7-1 本体とパソコンの接続方法

PC とプリンタ本体は、以下 3通りの方法で接続することができます。

1. USB接続
2. 有線LAN接続
3. 無線LAN接続

各接続に必要な設定項目は以下のとおりです。

	LETATWIN PC EDITOR PRO の設定	プリンタ本体の設定					
	プリンタ登録	通信インター フェース	IP アドレス	デフォルト ゲートウェイ	サブネット マスク	WPS ※ 2	SSID ※2
1. USB接続	○						
2. 有線LAN 接続	○ (IPアドレス設定含む)	○	○	△ ※1	△ ※1		
3. 無線LAN 接続	○ (IPアドレス設定含む)	○	○	△ ※1	△ ※1	○	○

※1 有線／無線 LAN 設定のデフォルトゲートウェイ、サブネットマスクは必要に応じて設定してください。

※2 無線 LAN で接続の場合、WPS または SSID のいずれかで接続設定をおこなってください。

MEMO

- 複数のPCと接続する場合、「有線LAN」、「無線LAN」を併用してご使用することは出来ません。「有線LAN」または「無線LAN」いずれかを設定してください。設定するには、本体の「設定」-「接続設定」-「01通信インターフェース」より「無線LAN」または「有線LAN」を設定してご使用ください。
- USB接続の場合は、「有線LAN」、「無線LAN」のいずれかを併用してご使用することができます。設定するには、本体の「設定」-「接続設定」-「01通信インターフェース」より「無線LAN」または「有線LAN」を設定してご使用ください。
- LM-550W3/500W3/550W2/500W2/550W/500Wでご使用になる場合はプリンタドライバが必要です。
- LM-550W3/500W3/550W2/500W2/550W/500Wでご使用になる場合は「LETATWIN PC EDITOR PRO」でプリンタ登録をする必要はありません。
- LM-550W3/500W3/550W2/500W2/550W/500Wの接続方法はUSB接続のみです。

3-7-2 USB接続の設定方法

[LETATWIN PC EDITOR PRO]でプリンタを登録します。

[LETATWIN PC EDITOR PRO]をインストール後、初めて LM-3000PROをご使用になる際には、プリンタの登録が必要です。

- 1 [LETATWIN PC EDITOR PRO]を立ち上げ、LM-3000PROを選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



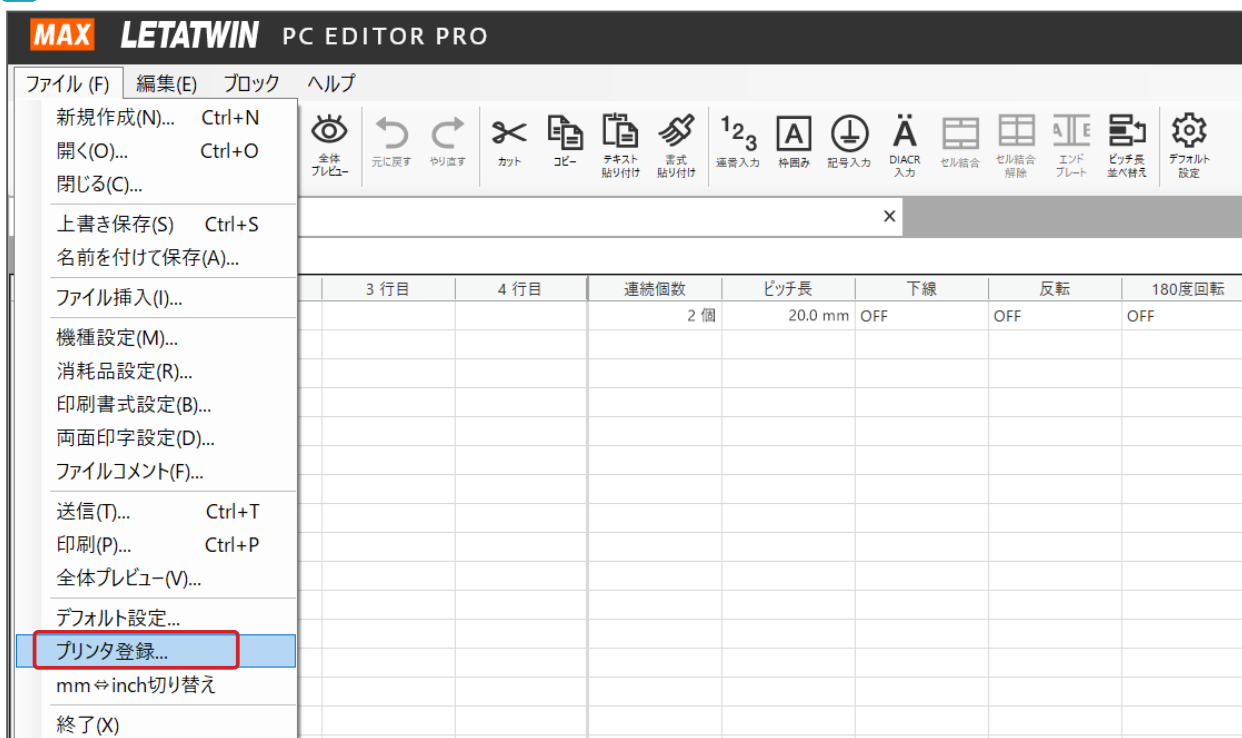
- 2 「消耗品設定」画面では、任意の消耗品を選択し「次へ」ボタンをクリックします。



3 「印刷書式設定」画面では、「OK」ボタンをクリックします。



4 「ファイル」-「プリンタ登録」をクリックします。



5 USBケーブル接続欄をクリックします。

プリンタ登録

LAN接続

プリンタ名	IPアドレス	タイムアウト(秒)
+		

削除 登録

USBケーブル接続

プリンタ名	タイムアウト(秒)

登録

閉じる

6 プリンタ名を入力し、「登録」ボタンをクリックしてください。

プリンタ登録

LAN接続

プリンタ名	IPアドレス	タイムアウト(秒)
+		

削除 登録

USBケーブル接続

プリンタ名	タイムアウト(秒)
LM-3000PRO USB	10

登録

閉じる

3-7-3 有線LAN接続の設定方法

有線LANで接続するには以下の設定が必要です。

	LETATWIN PC EDITOR PRO の設定	プリンタ本体の設定			
	プリンタ登録	通信インターフェース	IP アドレス	デフォルトゲートウェイ	サブネットマスク
有線LAN接続	○ (IPアドレス設定含む)	○	○	△ ※1	△ ※1

※1 有線 LAN 設定のデフォルトゲートウェイ、サブネットマスクは必要に応じて設定してください。

- 1 「LETATWIN PC EDITOR PRO」でプリンタ・IPアドレスを登録します。
「LETATWIN PC EDITOR PRO」をインストール後、初めてLM-3000PROをご使用になる際には、プリンタの登録が必要です。
LETATWIN PC EDITOR PROを立ち上げ、LM-3000PROを選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



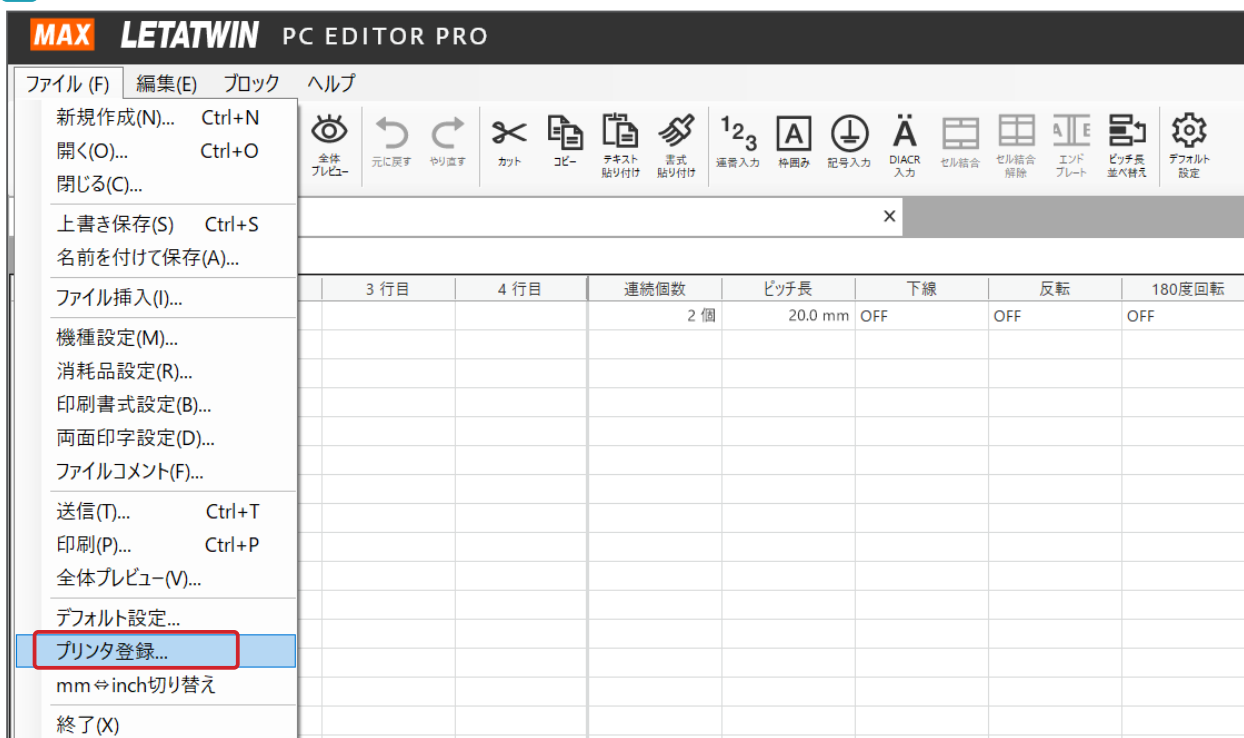
- 2 「消耗品設定」画面では、任意の消耗品を選択し「次へ」ボタンをクリックします。



3 「印刷書式設定」画面では、「OK」ボタンをクリックします。



4 「ファイル」-「プリンタ登録」をクリックします。



5 LAN接続欄の **+** ボタンをクリックしてください。

The screenshot shows a window titled 'プリンタ登録' (Printer Registration). It has two main sections: 'LAN接続' (LAN Connection) and 'USBケーブル接続' (USB Cable Connection). In the 'LAN接続' section, there is a table with three columns: 'プリンタ名' (Printer Name), 'IPアドレス' (IP Address), and 'タイムアウト(秒)' (Timeout (seconds)). A blue '+' button is highlighted in the first row of this table. To the right of the table are buttons for '削除' (Delete) and '登録' (Register). The 'USBケーブル接続' section has a similar table with 'プリンタ名' and 'タイムアウト(秒)' columns, and a '登録' button. At the bottom right of the window is a '閉じる' (Close) button.

6 IPアドレス入力欄をダブルクリックしてIPアドレスを入力し、「登録」ボタンをクリックします。
※本画面でプリンタ名を変更することができます。

This screenshot shows the same 'プリンタ登録' window, but now the first row in the 'LAN接続' table is populated with data: 'LM-3000PRO_LAN' in the 'プリンタ名' column, '192.168.11.1' in the 'IPアドレス' column, and '10' in the 'タイムアウト(秒)' column. The '登録' button to the right of this row is highlighted with a red box. The other elements of the interface remain the same.

10 「01 通信インターフェース」ボタンを押してください。



11 「有線」ボタンを押して、「OK」ボタンを押してください。
再起動後、手順12から作業してください。



12 本体でIPアドレスを設定します。
「接続設定」画面の「02 有線LAN設定」ボタンを押してください。



- 13** 「IPアドレス」・「デフォルトゲートウェイ」・「サブネットマスク」を設定します。
 ※「デフォルトゲートウェイ」・「サブネットマスク」は必要に応じて設定してください。



数値を入力し、「OK」ボタンを押してください。

IP アドレス設定
デフォルトゲートウェイ
サブネットマスク

- 14  または  アイコンを押すと設定内容を反映するため電源オフにします。
電源オフ後、再度電源を入れて下さい。



- 15 再起動後、 マークが点灯すれば有線LAN接続設定で起動できています。



MEMO

- PCから印刷するには、本体画面を「ホーム」画面にして印刷してください。
「ホーム」画面以外の画面では、印刷することができません。



3-7-4 無線LAN接続の設定方法

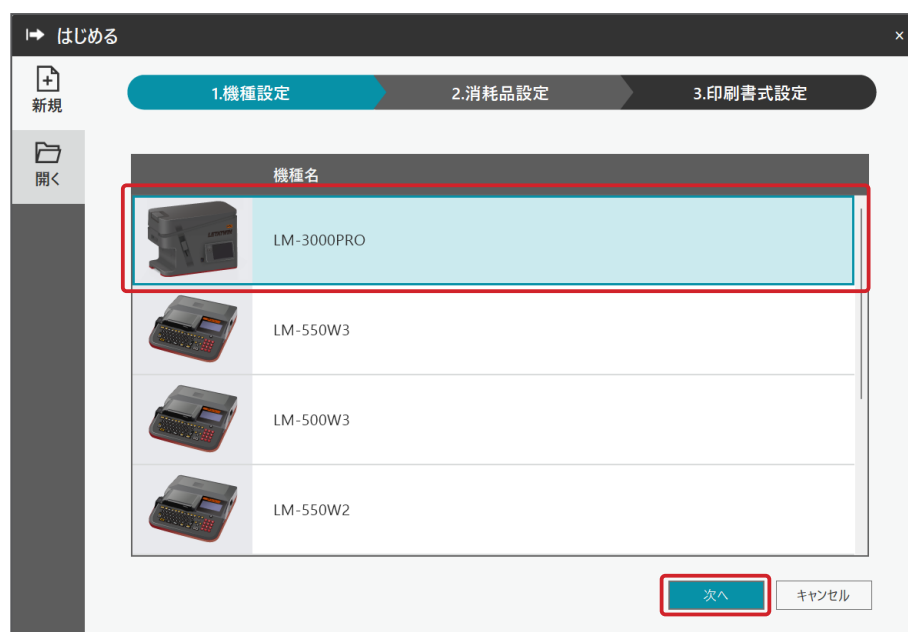
無線 LAN で接続するには以下の設定が必要です。

	LETATWIN PC EDITOR PRO の設定	プリンタ本体の設定					
	プリンタ登録	通信インターフェース	IP アドレス	デフォルトゲートウェイ	サブネットマスク	WPS ※1	SSID ※1
無線LAN接続	○ (IPアドレス設定含む)	○	○	△ ※2	△ ※2	○	○

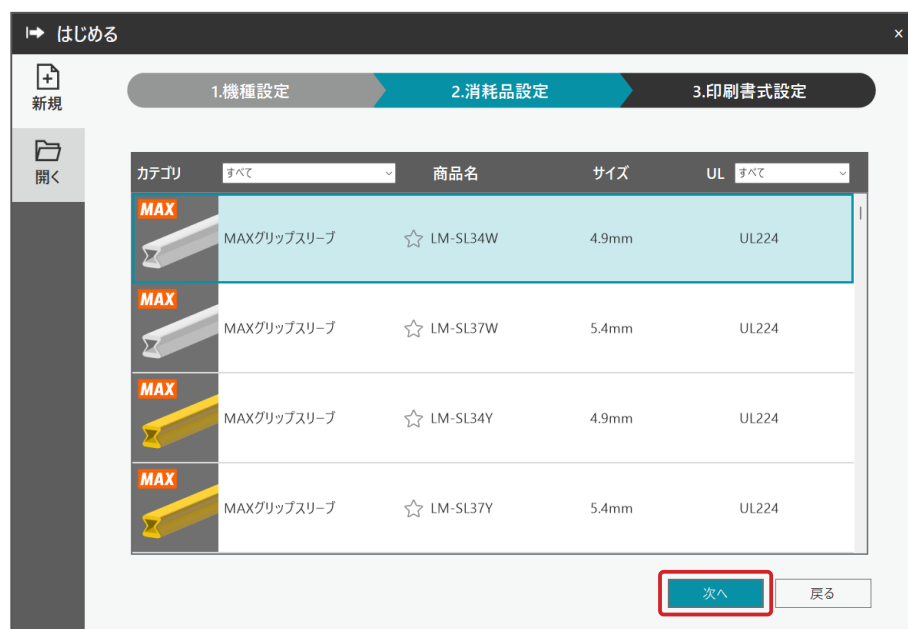
※1 無線 LAN で接続の場合、WPS または SSID のいずれかで接続設定をおこなってください。

※2 無線 LAN 設定のデフォルトゲートウェイ、サブネットマスクは必要に応じて設定してください。

- 1 「LETATWIN PC EDITOR PRO」でプリンタ・IPアドレスを登録します。
「LETATWIN PC EDITOR PRO」をインストール後、初めてLM-3000PROをご使用になる際には、プリンタの登録が必要です。
LETATWIN PC EDITOR PROを立ち上げ、LM-3000PROを選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



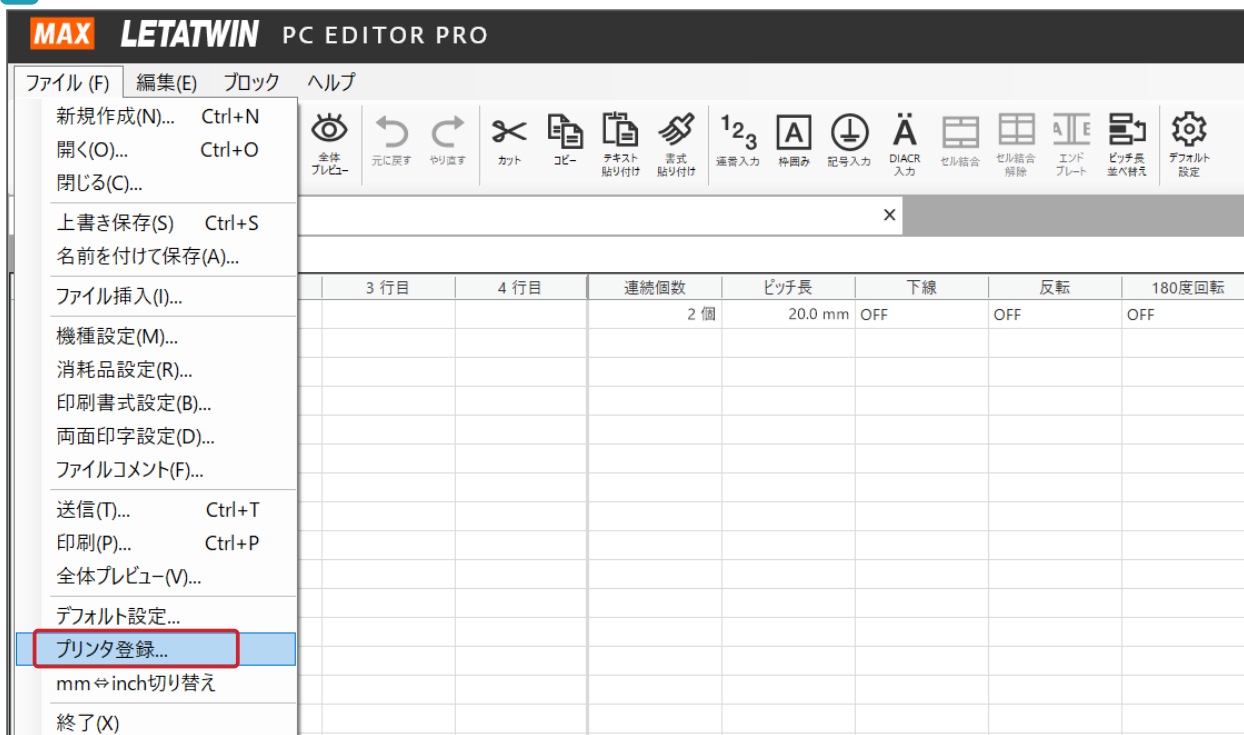
- 2 「消耗品設定」画面では、任意の消耗品を選択し「次へ」ボタンをクリックします。



3 「印刷書式設定」画面では、「OK」ボタンをクリックします。



4 「ファイル」-「プリンタ登録」をクリックします。



5 LAN接続欄の **+** ボタンをクリックしてください。

プリンタ登録

LAN接続

プリンタ名	IPアドレス	タイムアウト(秒)
+		

削除 登録

USBケーブル接続

プリンタ名	タイムアウト(秒)

登録

閉じる

6 IPアドレス入力欄をダブルクリックしてIPアドレスを入力し、「登録」ボタンをクリックします。
※本画面でプリンタ名を変更することができます。

プリンタ登録

LAN接続

プリンタ名	IPアドレス	タイムアウト(秒)
LM-3000PRO_LAN	192.168.11.1	10

削除 登録

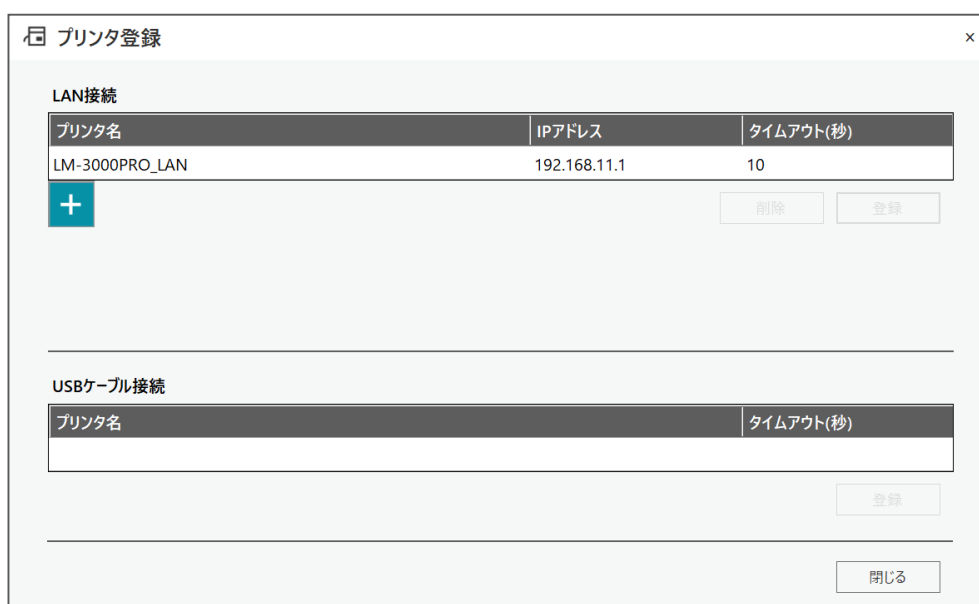
USBケーブル接続

プリンタ名	タイムアウト(秒)

登録

閉じる

7 プリンタが登録されました。



8 プリンタ本体で通信インターフェースを切り替えます。 「設定」アイコンを押します。



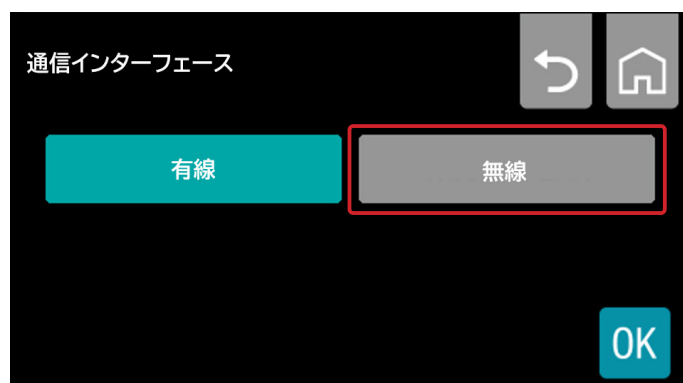
9 「接続設定」アイコンを押してください。



10 「01 通信インターフェース」ボタンを押してください。



11 「無線」ボタンを押して、「OK」ボタンを押してください。
再起動後、手順12から作業してください。



12 本体でIPアドレスを設定します。
「接続設定」画面の「03 無線LAN設定」ボタンを押してください。



- 13** 「IPアドレス」・「デフォルトゲートウェイ」・「サブネットマスク」を設定します。
 ※「デフォルトゲートウェイ」・「サブネットマスク」は必要に応じて設定してください。



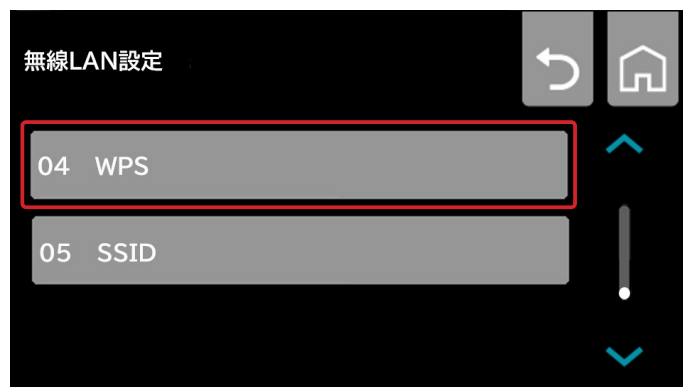
※SSIDで接続設定される場合は以下の設定が必要です。

IP アドレス設定
デフォルトゲートウェイ
サブネットマスク

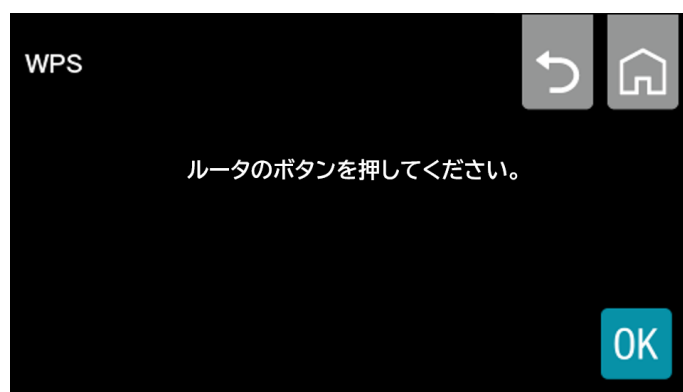
- 14** 接続設定を行います。
無線LANの接続設定は「WPS」または「SSID」のいずれかで設定をおこなってください。

【「WPS」で接続設定を行う場合】

- ①「無線LAN設定」画面「04 WPS」ボタンを押してください。

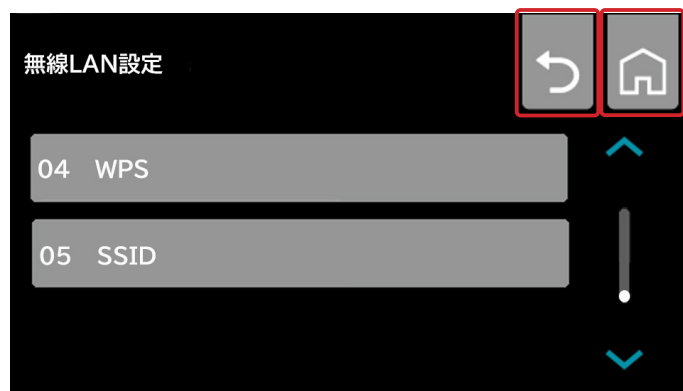


- ②ルータのボタンを押してください。



※接続に失敗した場合は再度やり直してください。

- ③  または  アイコンを押すと設定内容を反映するため電源オフにします。
電源オフ後、再度電源を入れて下さい。



- ④再起動後、 マークが点灯すれば接続完了です。

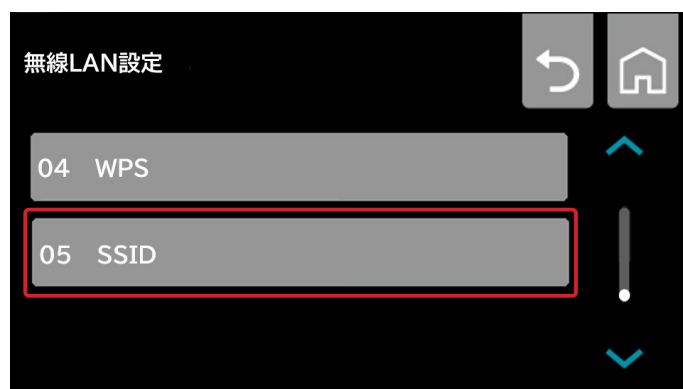


【「SSID」で接続設定を行う場合】

「SSID」で接続設定を行うにはUSBメモリが必要です。

「SSID」のパスワードは、本体からUSBメモリに書き出された専用フォーマットに入力し、読み込みます。

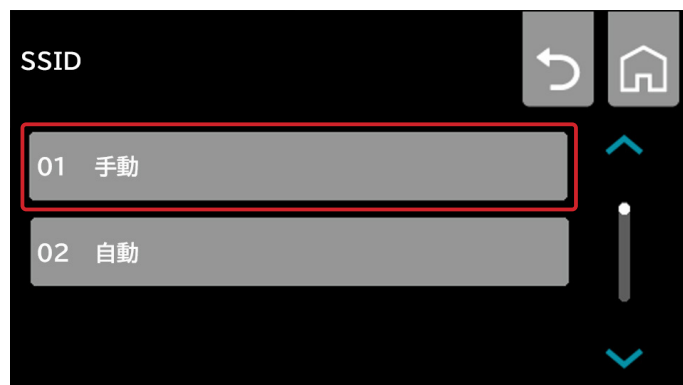
- ①「無線LAN設定」画面「05 SSID」を押してください。



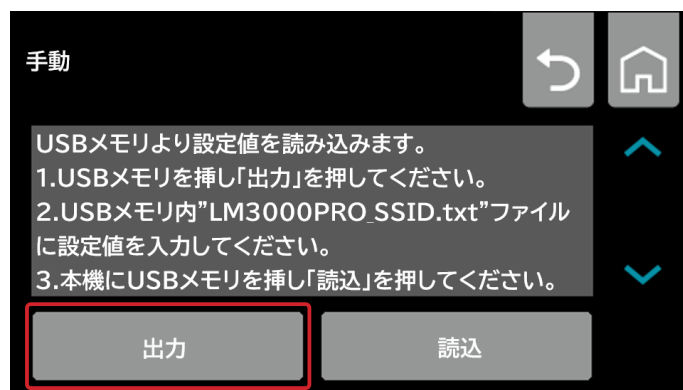
②「SSID」を手動または自動で設定を行います。

〈手動で設定を行う場合〉

①「01 手動」ボタンを押してください。



②本体にUSBメモリを差して、出力ボタンを押します。USBメモリにパスワード入力用のテキストファイルが書き出されます。



③PCでUSBメモリ内のテキストファイルを開き、ネットワーク名、セキュリティ方式、パスワードを入力後、上書き保存します。テキストファイル内の記入例に従って入力してください。

ネットワーク名：
セキュリティ方式：
パスワード：

上にネットワーク名、セキュリティ方式、パスワードを以下の記入例を参考に記入して上書き保存してください。

【記入例】

ネットワーク名：MAX_LAN

セキュリティ方式：2

パスワード：maxlan

■ネットワーク名 Wi-FiルーターのSSIDを入力します。

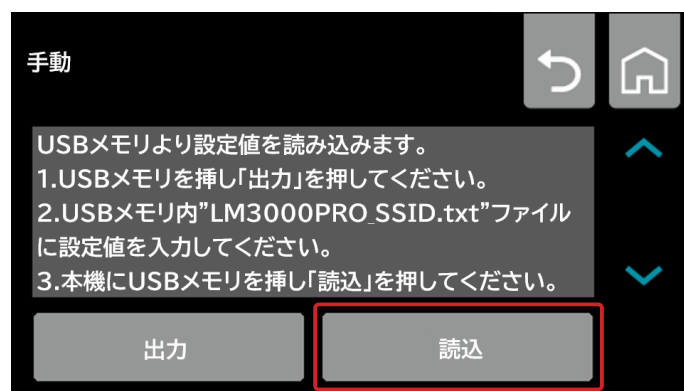
■セキュリティ方式 Wi-Fiルーターに設定されているセキュリティの種類を選択します。¥n セキュリティ方式は以下の対応する番号で記入してください。

1：WPA-PSK/WPA2-PSK

2：暗号化無効

■パスワード Wi-Fiルーターのパスワードを入力します。

- ④ USBメモリを本体に差し、「読込」を押します。読込後、設定内容を反映するため電源オフにします。
電源オフ後、再度電源を入れて下さい。

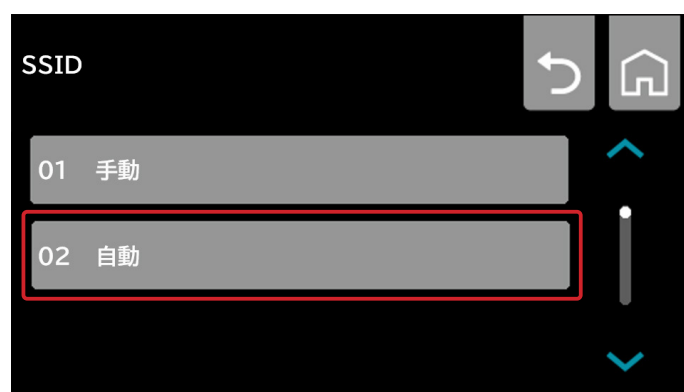


- ⑤再起動後、マークが点灯すれば接続完了です。

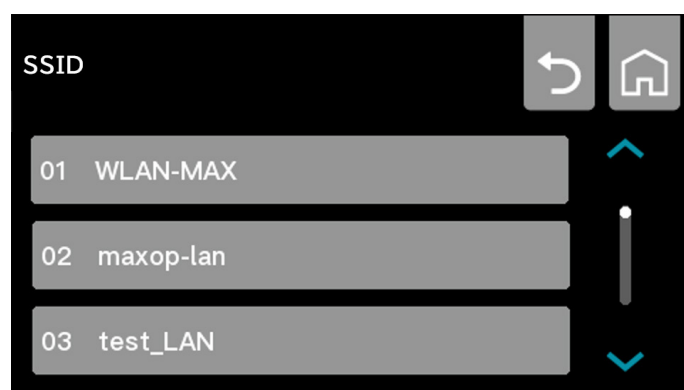


〈自動で設定を行う場合〉

- ①「02 自動」を押してください。

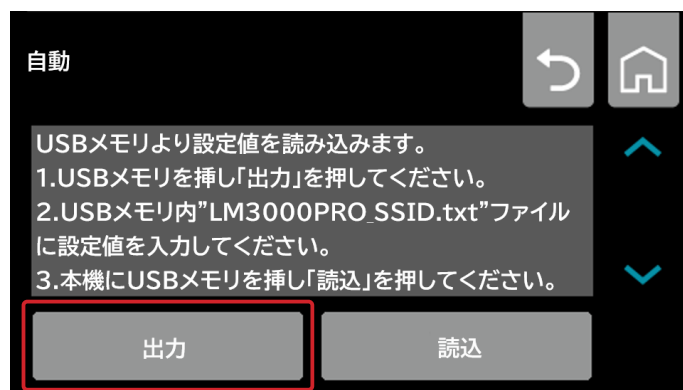


- ②接続するSSIDを選択します。

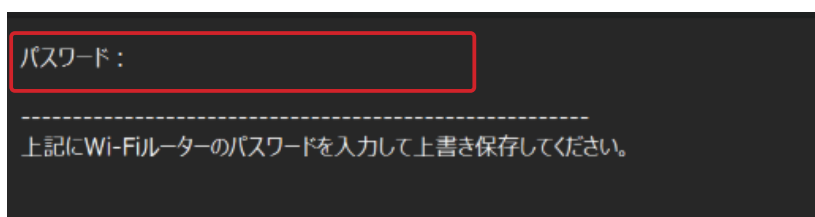


④ 本体にUSBメモリを差し、出力ボタンを押します。

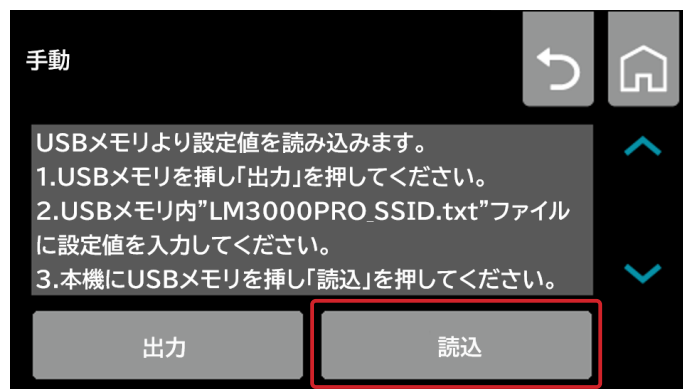
USBメモリにパスワード入力用のテキストファイルが書き出されます。



④ PCでUSBメモリ内のテキストファイルを開き、パスワードを入力後、上書き保存します。



⑤ USBメモリを本体に差し、「読込」ボタンを押します。読込後、再起動します。



⑥ 再起動後、マークが点灯すれば接続完了です。



3-8 「LETATWIN PC EDITOR PRO」のダウンロードとインストール方法

本製品の使用には、専用ソフト「LETATWIN PC EDITOR PRO」が必要です。
「マイページ」 ログイン画面より「新規購入の登録」または「利用者登録」を行っていただき、所定のページよりインストール方法をご確認の上、「LETATWIN PC EDITOR PRO」をダウンロード・インストールを行ってください。
以下に示す URL より、無償でダウンロードすることができます。

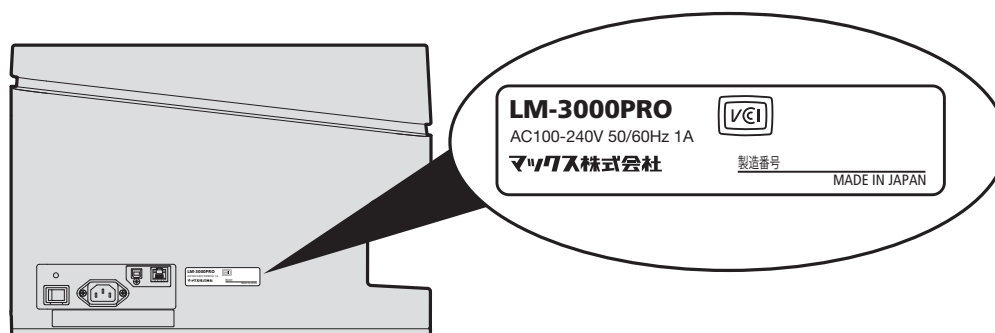
<https://wis.max-ltd.co.jp/register/member/login.html>

MEMO

- お客様登録の際には、“製造番号”と“メールアドレス”の登録が必要です。
- LM-3000PROへの印刷にはプリンタドライバは必要ありません。
- 「LETATWIN PC EDITOR PRO」は、LM-550W3/ 500W3 / 550W2 / 500W2 / 550W / 500W でもご利用いただけます。
- 「LETATWIN PC EDITOR PRO」を使ってLM-550W3/ 500W3 / 550W2 / 500W2 / 550W / 500W で印刷する場合、別途プリンタドライバのインストールが必要です。

■製造番号の表記場所

本体側面に貼り付けてあります。



3-9 「ブロック」と「ピッチ長 / ピッチ印刷」

本機をご使用になるうえで重要となる、「ブロック」と「ピッチ長 / ピッチ印刷」について説明します。

■ブロック

1個のチューブ、1枚のラベルに印刷する文字のかたまりを「ブロック」といいます。
入力可能なブロック数は最大 300 ブロックです。

■ピッチ長

1ブロックの長さを「ピッチ長」といいます。

■ピッチ印刷

ピッチ長を設定した印刷を「ピッチ印刷」といいます。各ブロックごとにピッチ長を変更できます。

→ 3-11 設定可能ピッチ長

印刷イメージ

チューブ

ピッチ長 30mm

ピッチ長 20mm

ピッチ長 20mm

ブロック A1

ブロック B2

ブロック C3

画面表示

MAX LETATWIN PC EDITOR PRO									
ファイル(F) 編集(E) ブロック ヘルプ									
LMPC1									
18 - 1 行目									
	1 行目	2 行目	3 行目	4 行目	連続個数	ピッチ長	下線	反転	180度回転
1	A1				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
2	B2				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
3	C3				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
4									
5									
6									

チューブ

ピッチ長 30mm

ピッチ長 20mm

ピッチ長 20mm

ブロック A1

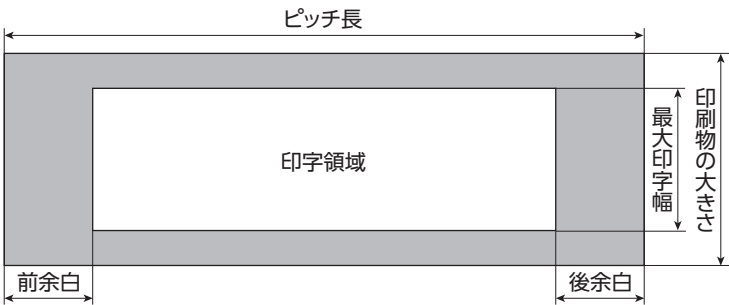
ブロック B2

ブロック C3

MAX LETATWIN PC EDITOR PRO

MAX LETATWIN PC EDITOR PRO									
ファイル(F) 編集(E) ブロック ヘルプ									
LMPC1									
15 - 2 行目									
	1 行目	2 行目	3 行目	4 行目	連続個数	ピッチ長	下線	反転	180度回転
1	A1				2 個	30.0 mm	OFF	OFF	OFF
2	B2				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
3	C3				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
4									
5									

3-10 印字領域



印字物	サイズ	前後余白	最大印字幅
MAX グリップスリーブ	4.9mm(LM-SL34)	各 2.0mm	3.0mm
	5.4mm(LM-SL37)		3.4mm
MAX グリップチューブ	φ2.9		2.9mm
	φ3.7		3.8mm
	φ4.6		4.2mm
MAX チューブ	φ2.5、φ2.7		2.9mm
	φ3.2、φ3.4、φ3.6		3.8mm
	φ4.2		3.9mm
	φ5.2、φ6.4		4.6mm
	φ8.0		6.6mm
熱収縮チューブ	φ2.0		1.3mm
	φ2.5、φ3.0		2.9mm
	φ3.5、φ4.0		3.8mm
	φ4.5		3.9mm
	φ5.0		4.6mm
	φ5.5、φ6.0、φ6.5、φ7.0、φ7.5、φ8.5、φ9.5、φ10.5、φ11.5、φ12.5、φ13.5、φ14.5、φ15.5、φ16.5、φ17.5、φ19.0		6.6mm
一般チューブ	φ1.5、φ2.0		1.3mm
	φ2.5		2.9mm
	φ3.2、φ3.6		3.8mm
	φ4.2		3.9mm
	φ5.2、φ5.5、φ6.0、φ6.5		4.6mm
	φ8.0、φ10.0		6.6mm
MAX テープ	5.0mm	各 1.0mm	2.9mm
	9.0mm		7.4mm
	12.0mm		9.8mm
MAX 記名板	8.5mm	各 0.5mm	6.9mm
	9.5mm		7.4mm
	10.0mm		7.9mm
	10.7mm		8.6mm
一般記名板	5.5mm		3.1mm
	6.2mm		4.0mm
	6.5mm		4.4mm
	7.5mm		5.5mm
	8.0mm		6.6mm
	8.5mm		6.9mm
	9.5mm		7.4mm
	10.0mm		7.9mm
	10.7mm、11.0mm		8.6mm
	12.0mm		9.8mm
ID プレート	4.1mm		2.0mm
ブロックマーカー	113、114、115		6.8mm
	145		2.9mm
	515		8.4mm
	615		7.9mm

3-11 設定可能ピッチ長

印字物	設定可能ピッチ長
MAX グリップスリーブ	10 ～ 150 mm
MAX グリップスリーブ両面印刷	20 ～ 150 mm
MAX グリップチューブ	10 ～ 150 mm
MAX チューブ	10 ～ 150 mm
熱収縮チューブ	5 ～ 500mm
一般チューブ	10 ～ 150 mm
MAX テープ	3.5 ～ 99mm
MAX 記名板	2.5 ～ 99 mm
一般記名板	2.5 ～ 99 mm
MAX ID プレート	4.0 ～ 60 mm
ブロックマーカー	設定不可

3-12 最大印字長

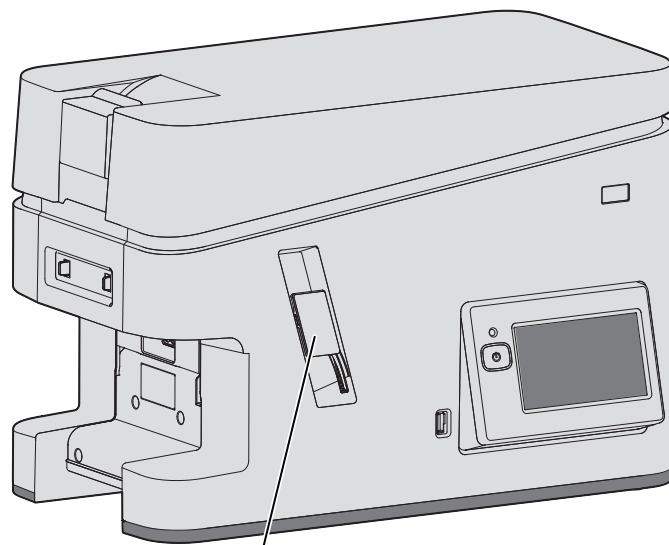
	最大印字長 (m)	
	1 部印刷	部数印刷
MAX グリップスリーブ	100	100
チューブ類	100	100
MAX テープ	5	10
MAX 記名板	5	10
一般記名板	5	10
MAX ID プレート	20	20
ブロックマーカー	1,000 (個)	1,000 (個)

第4章. 本体操作・消耗品セット方法

4-1	フルカットのしかた	52
4-2	ハーフカッタ深さ調整.....	52
4-3	印字圧の調整のしかた.....	53
4-4	グリップスリーブのセットのしかた	54
4-5	チューブ・IDプレートのセットのしかた	56
4-5-1	チューブヒーターのセットのしかた	58
4-5-2	MAXグリップチューブ、MAXチューブ、一般チューブのセットのしかた	60
4-5-3	細径・太径チューブアタッチメント使用時のセットのしかた	61
4-6	イグジットガイドの交換のしかた.....	62
4-7	テープ・記名板のセットのしかた.....	63
4-8	ブロックマーカのセットのしかた	67
4-9	インクリボンのセットのしかた.....	70
4-10	リールスタンドのセットのしかた	72

4-1 フルカットのしかた

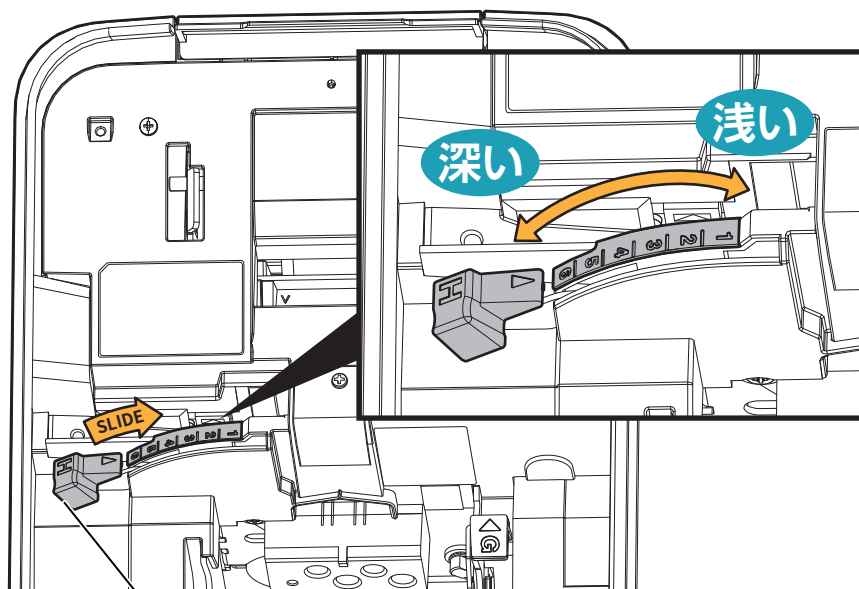
印刷終了後、フルカットレバーを下におろしてフルカットしてください。
記名板・ブロックマーカはフルカットできません。ハサミ等でカットしてください。



フルカットレバー

4-2 ハーフカット深さ調整

ハーフカット深さは、調整レバーの目盛りの数字が大きくなると深く、小さくなると浅くなります。
テープの場合は目盛りの数字を大きめ(深め)に設定してご使用ください。
消耗品のサイズ・種類に応じて調整してご使用ください。



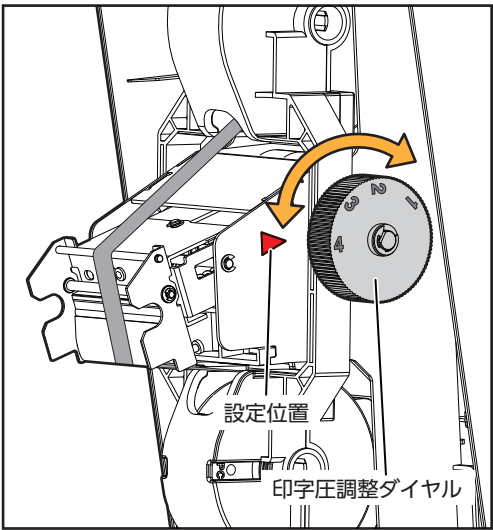
ハーフカット深さ調整レバー

MEMO

- ハーフカットを深くしすぎると、消耗品が完全に切断され、刃先にダメージを受ける場合があります。フルカットしないようご注意ください。
- 刃先にダメージを受けた場合、熱収縮チューブのハーフカットができなくなることがあります。

4-3 印字圧の調整のしかた

消耗品の種類に応じて印字圧を調整します。消耗品毎の印字圧の設定値は以下のとおりです。

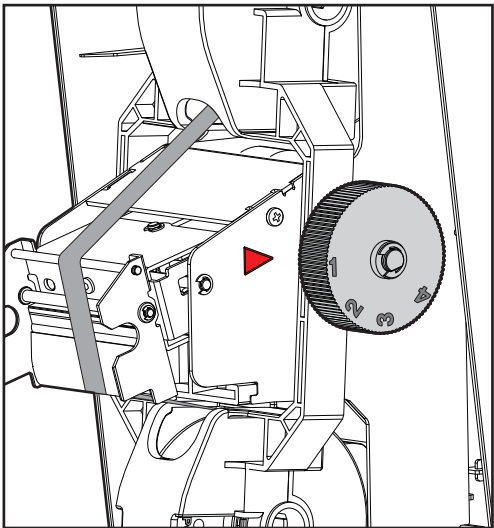


消耗品	設定値
MAX グリップスリーブ	2
MAX グリップチューブ	4
MAX チューブ	3
熱収縮チューブ	3
一般チューブ	3
MAX ID プレート	3
MAX テープ	3
MAX 記名板	3
一般記名板	3
ブロックマーカー	3

印字圧調整方法

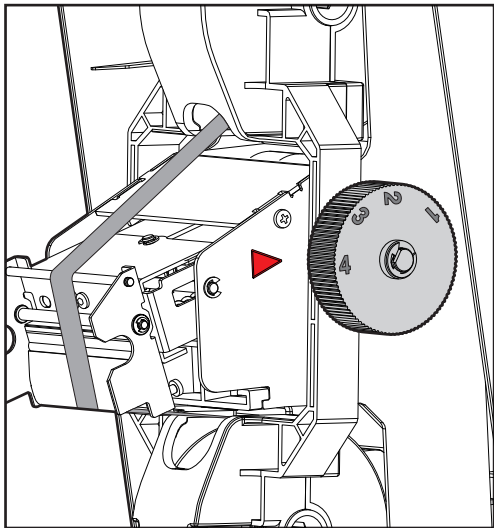
印字圧調整ダイヤルを回して消耗品に対応した印字圧に設定して印刷してください。

印字圧：1 = 弱



▶：設定位置

印字圧：4 = 強



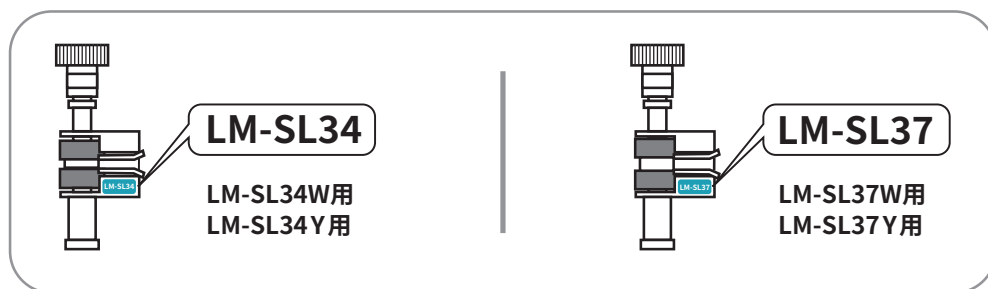
MEMO

- 印字がうすい、かすれる場合は印字圧調整ダイヤルを1目盛り上げてお試しください。
- 文字が潰れる、線が太い場合は印字圧調整ダイヤルを1目盛り下げてお試しください。
- 印字物が汚れる、縦すじ汚れが入る場合はダイヤルを1目盛り下げてお試しください。

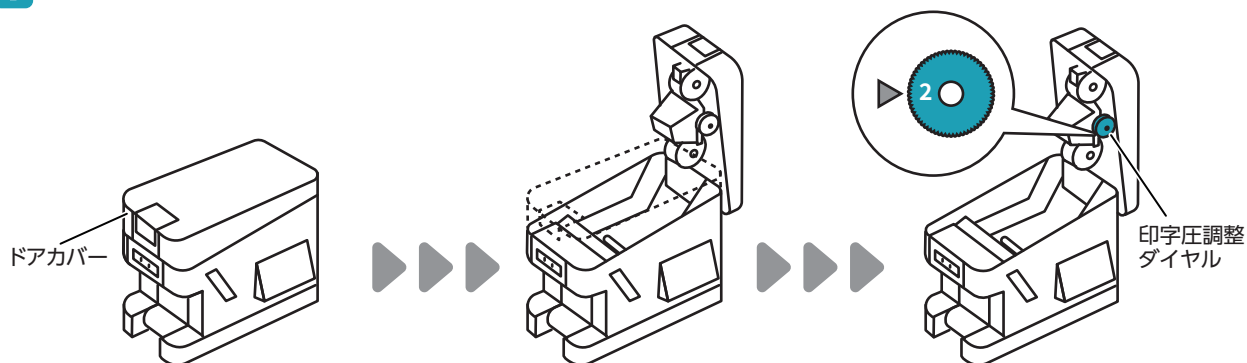
4-4 グリップスリーブのセットのしかた

【準備するもの】

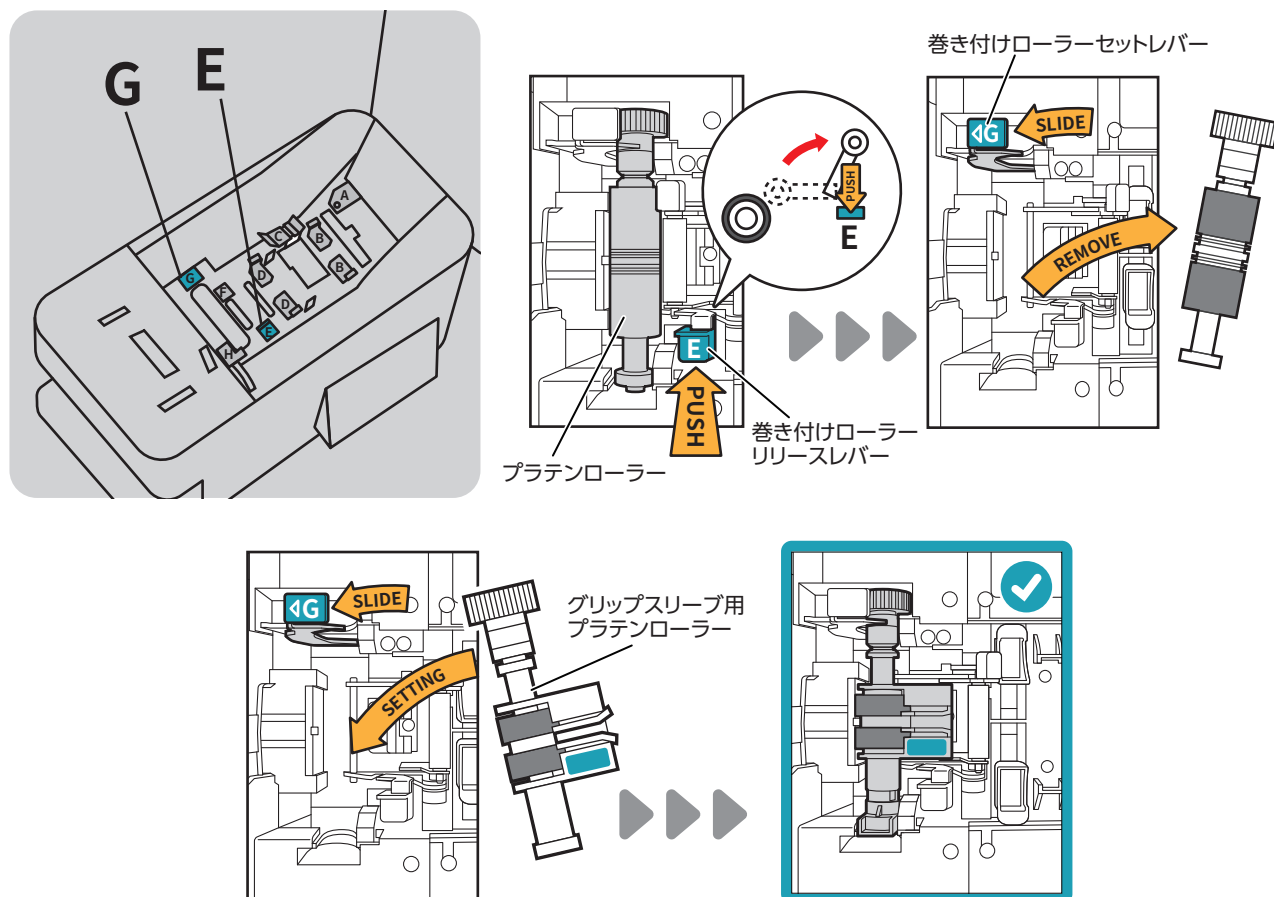
●グリップスリーブ用プラテンローラー



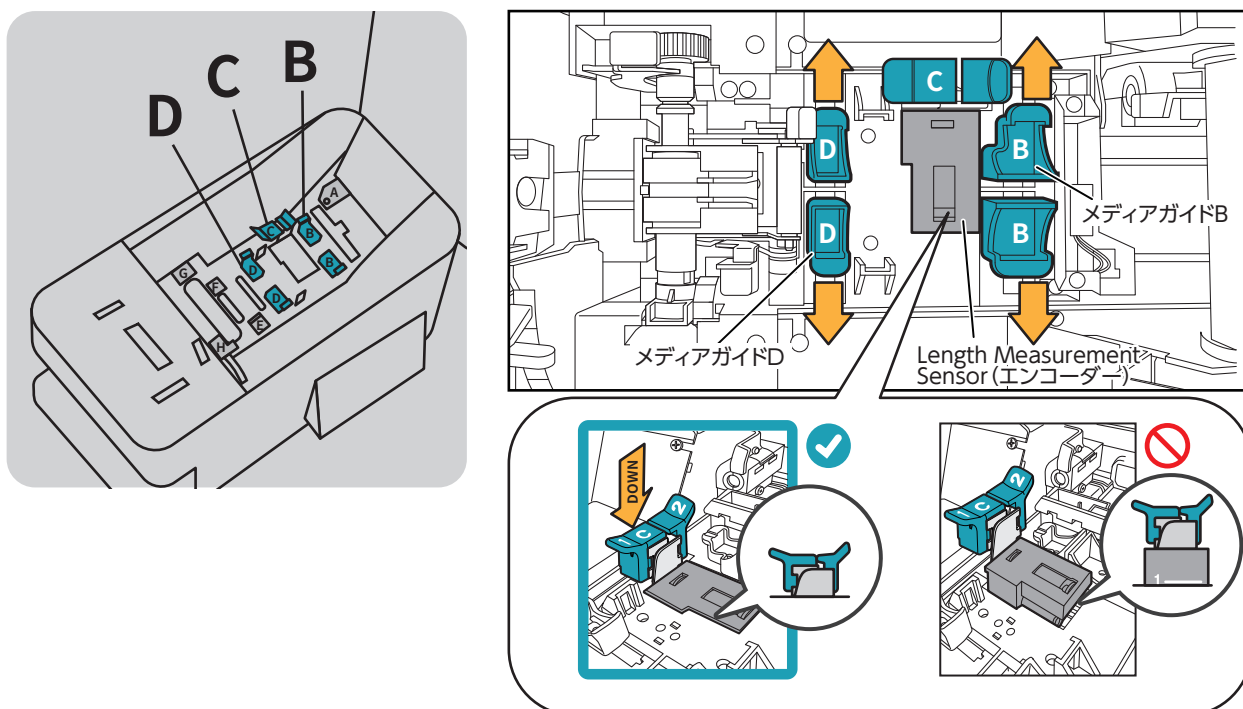
- 1 本体のドアカバーを開け、印字圧調整ダイヤルを「2」にセットしてください。



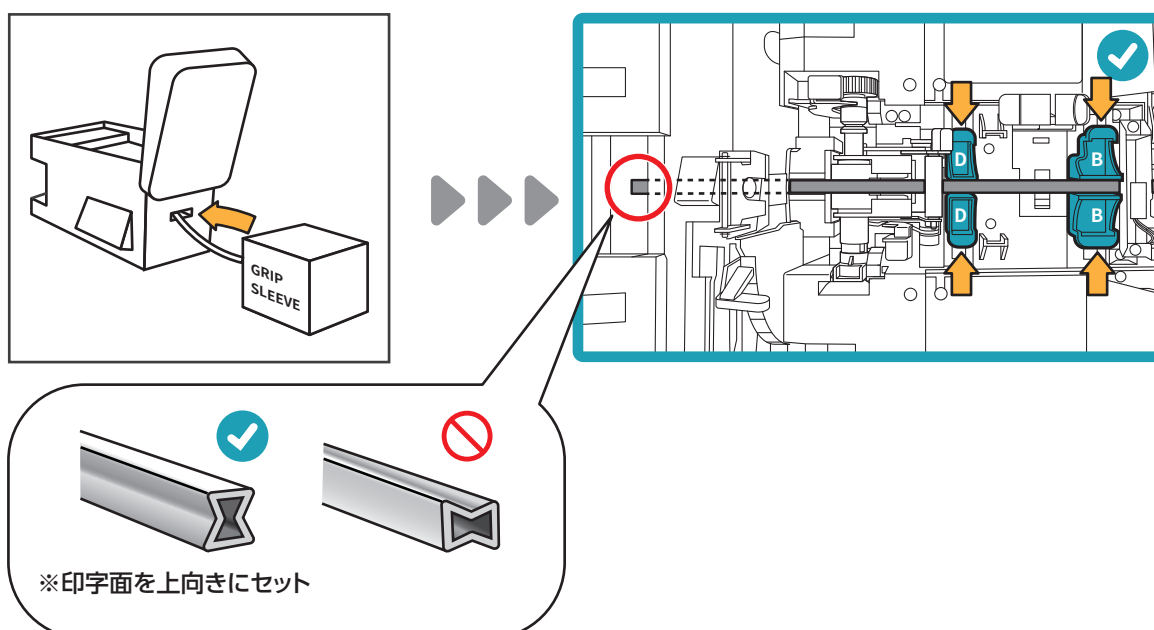
- 2 プラテンローラーを取外し、グリップスリーブ用プラテンローラーに変更します。
巻き付けローラーリリースレバー“E”操作時は、巻き付けローラーが手に当たるおそれがありますので、“E刻印部”を指先で押してください。



- 3** メディアガイド、操作レバーを初期位置にセットしてください。
Length Measurement Sensor (エンコーダー) が収納位置まで下がっていることを確認してください。



- 4** グリップスリーブのねじれを取り除いてから印字面を上向きにセットします。
グリップスリーブ先端を下図の位置まで通し、メディアガイドB・Dをグリップスリーブの幅にぴったりと合わせてください。 ※本体とスリーブ箱は約30cmの隙間をあけてセットしてください。



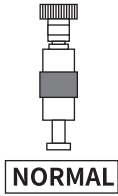
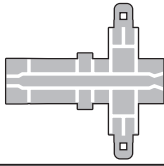
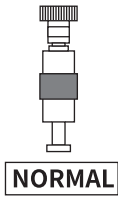
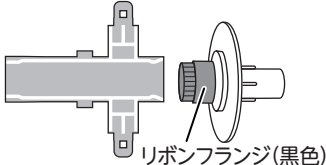
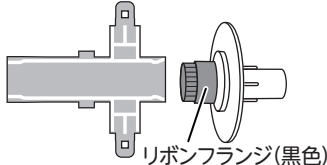
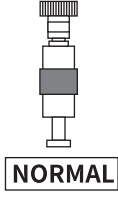
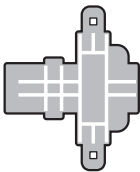
- 5** 本体のドアカバーを閉じてください。これでグリップスリーブのセットが完了しました。

MEMO

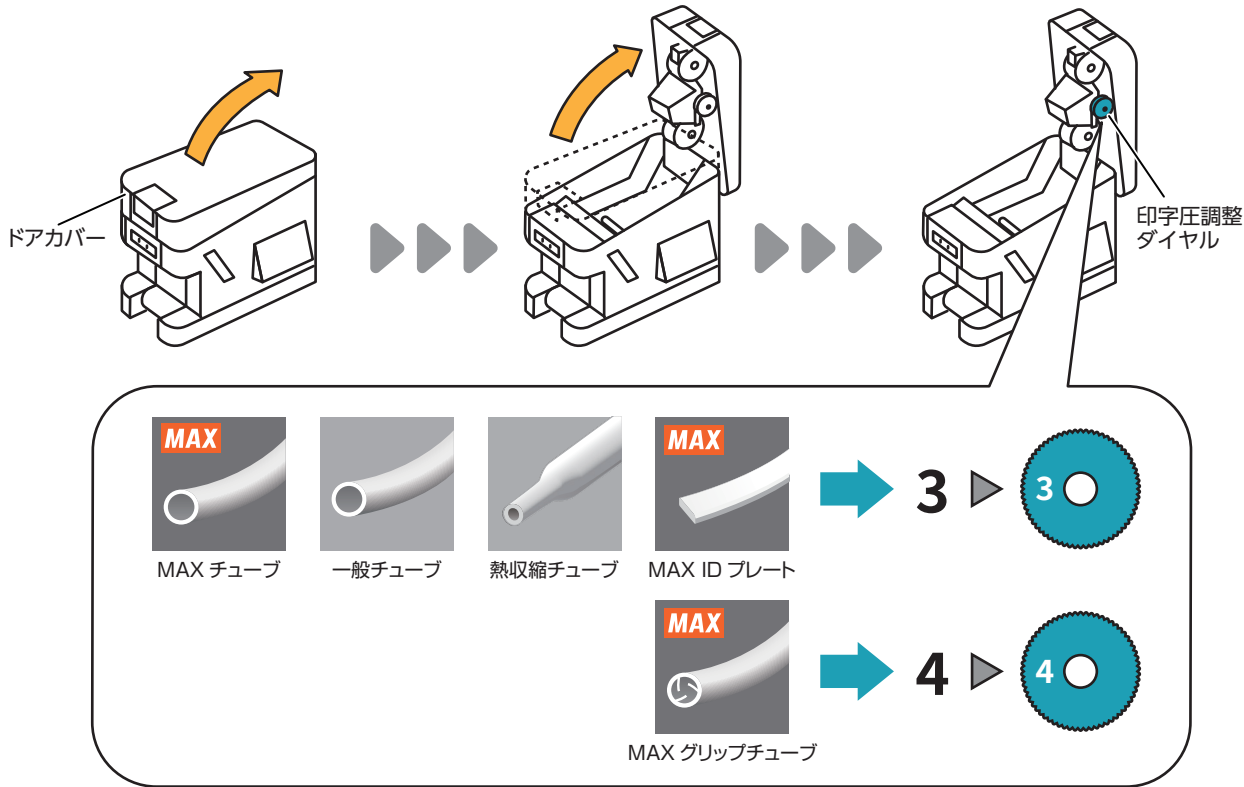
●消耗品排出口での詰まりやハーフカットが斜めに入る原因になるおそれがありますので、太径φ12.0～φ19.0の熱収縮チューブ以外の消耗品を印刷時は、イグジットガイド「NARROW」をセットして印刷してください。

4-5 チューブ・ID プレートのセットのしかた

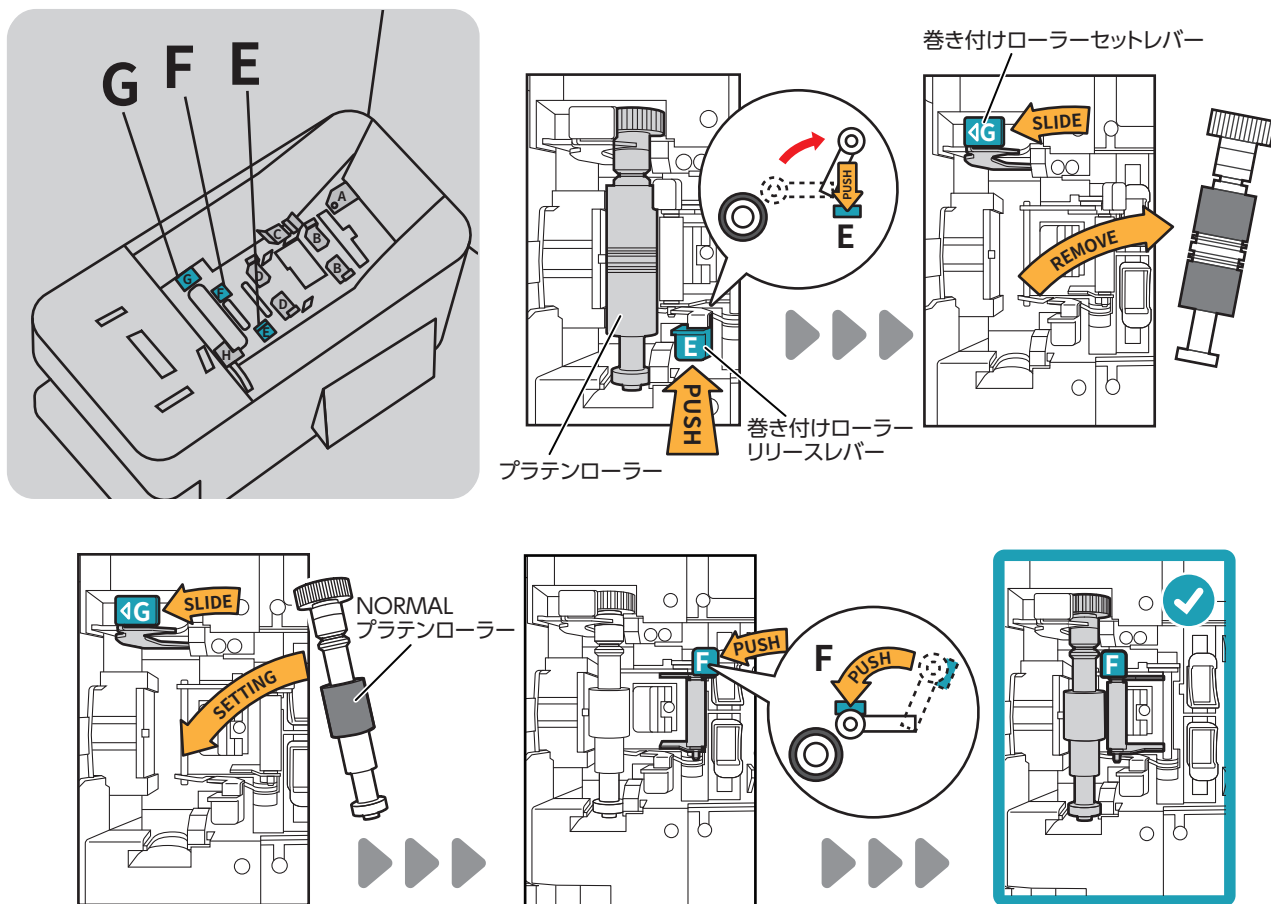
【準備するもの】

チューブ	プラテンローラー	アタッチメント	
チューブ / 一般チューブ	 NORMAL	チューブ φ1.5 ~ φ2.0	チューブ φ2.5 ~ φ6.5
			—
		チューブ φ8.0	チューブ φ10.0
グリップチューブ / 熱収縮チューブ	 NORMAL	—	—
		 リボンフランジ(黒色)	 リボンフランジ(黒色)
ID プレート	 NORMAL		—

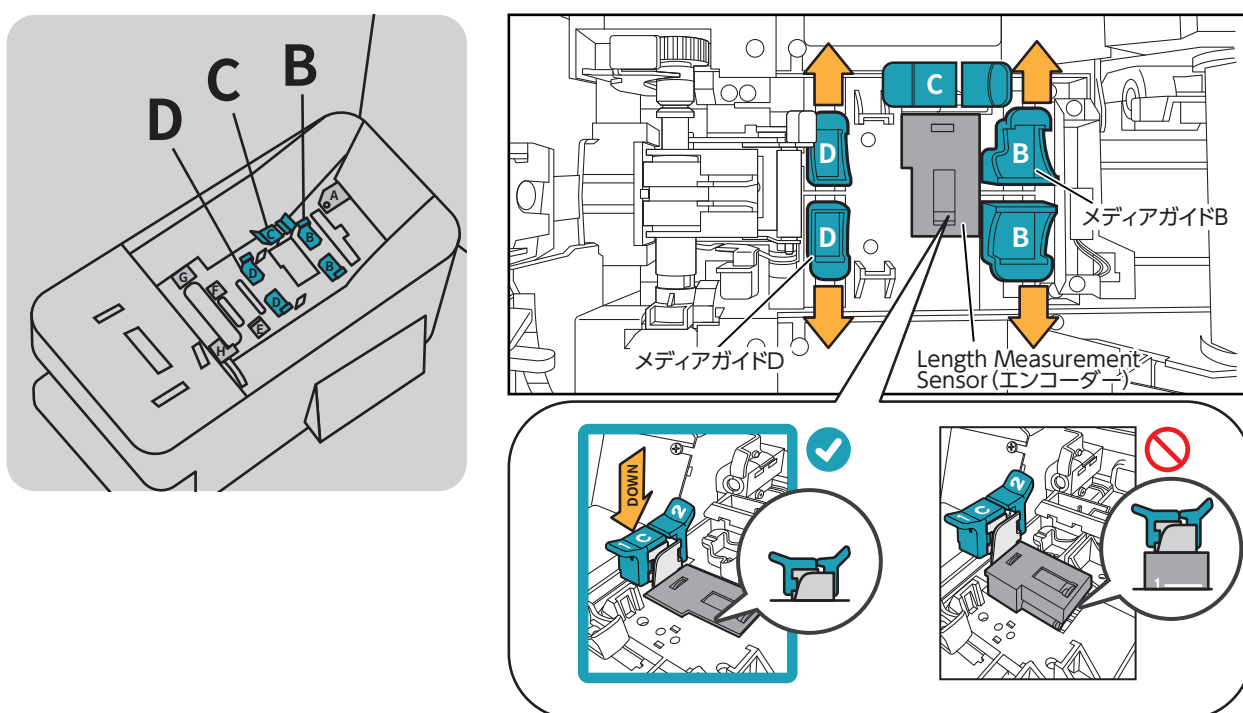
1 本体のドアカバーを開け、以下のチューブの種類に応じて印字圧調整ダイヤルをセットしてください。



- 2** プラテンローラーを取外し、NORMALプラテンローラーに変更します。
巻き付けローラーリリースレバー“E”操作時は、巻き付けローラーが手に当たるおそれがありますので、“E刻印部”を指先で押してください。



- 3** メディアガイド、操作レバーを初期位置にセットしてください。
Length Measurement Sensor (エンコーダー) が収納位置まで下がっていることを確認してください。



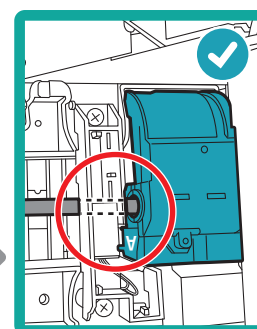
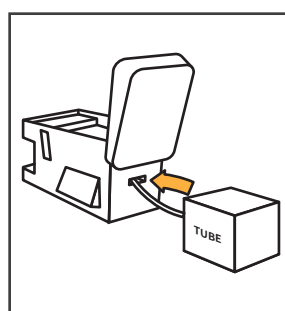
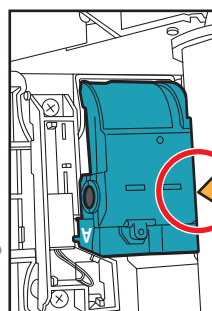
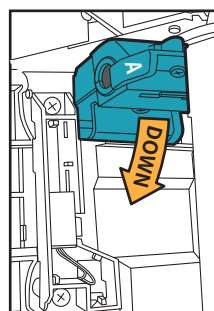
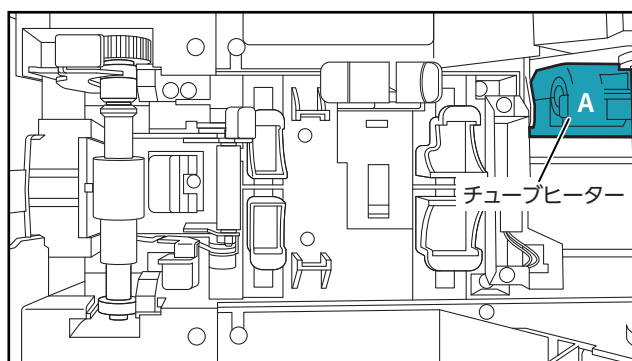
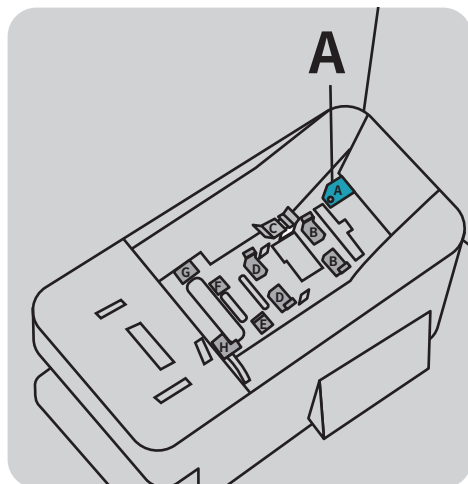
4-5-1 チューブヒーターのセットのしかた

* $\phi 1.5 \sim \phi 4.6$ のチューブのみ使用できます。
低温環境5 ～15℃で使用してください。

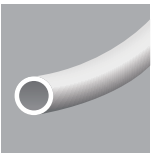
チューブヒーターAを倒し、Aにチューブを通してセットしてください。

チューブヒーターのON/OFFは本体LCDディスプレイ上で操作してください。

→ 6-5 ヒーターON/OFF切り替え

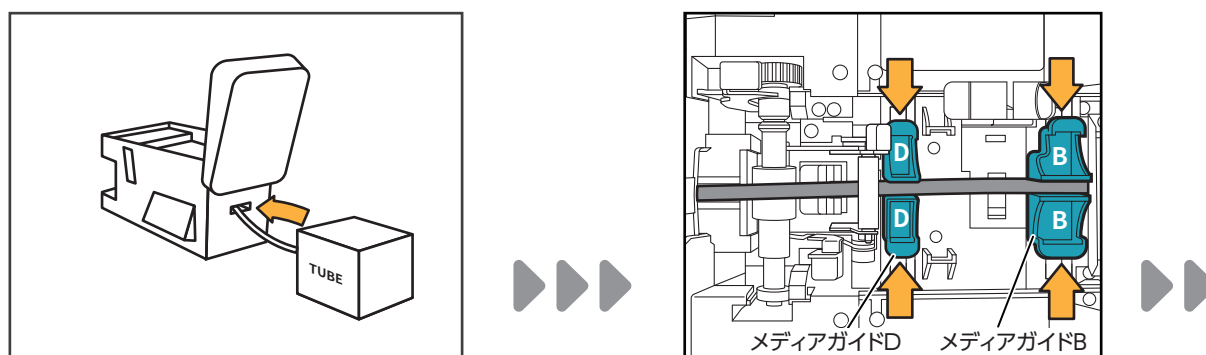
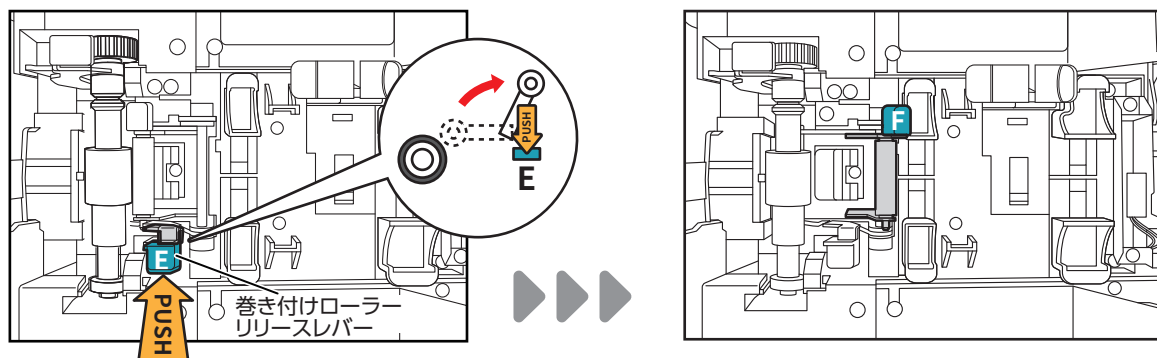


使用するチューブの種類・サイズを確認し、該当する項目をご参照ください。

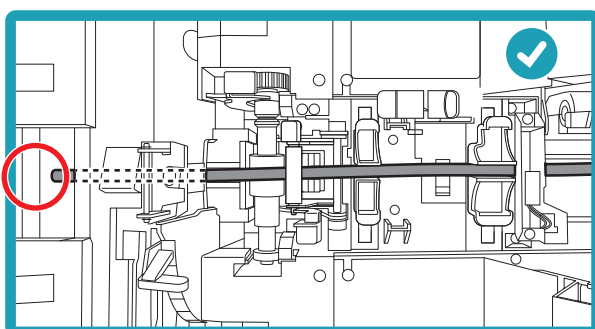
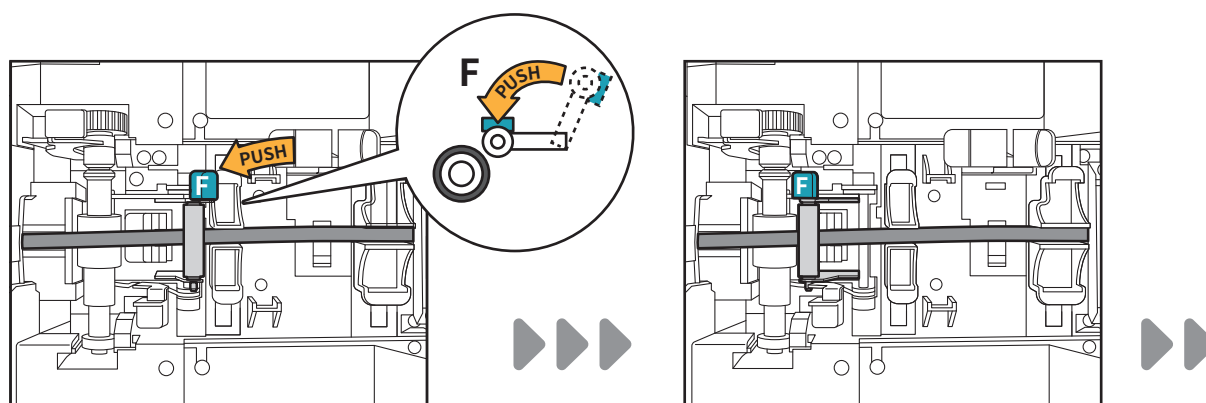
チューブ	サイズ	参照
 MAX グリップチューブ	$\phi 1.5$ $\searrow$ $\phi 2.0$	→ 4-5-3 細径・太径チューブアタッチメント使用時のセットのしかた
 MAX チューブ	$\phi 2.5$ $\searrow$ $\phi 6.5$	→ 4-5-2 MAXグリップチューブ、MAXチューブ、一般チューブのセットのしかた
 一般チューブ	$\phi 8.0$ $\searrow$ $\phi 10.0$	→ 4-5-3 細径・太径チューブアタッチメント使用時のセットのしかた
 熱収縮チューブ	$\phi 2.0$ $\searrow$ $\phi 11.5$	→ 4-5-2 MAXグリップチューブ、MAXチューブ、一般チューブのセットのしかた
	$\phi 12.0$ $\searrow$ $\phi 19.0$	→ 4-5-2 MAXグリップチューブ、MAXチューブ、一般チューブのセットのしかた → 4-6 イグジットガイドの交換のしかた
 MAX ID プレート	4.1mm	→ 4-5-3 細径・太径チューブアタッチメント使用時のセットのしかた

4-5-2 MAXグリップチューブ、MAXチューブ、一般チューブのセットのしかた

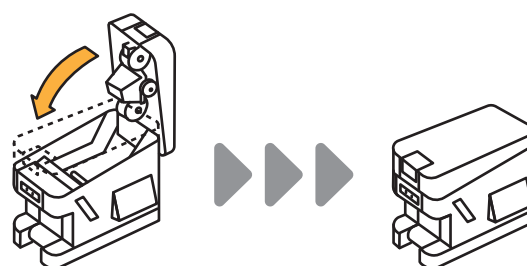
巻き付けローラーリリースレバー“E”操作時は、巻き付けローラーが手に当たるおそれがありますので、“E 刻印部”を指先で押してください。



チューブを通し、メディアガイドB・Dをチューブの幅にぴったりと合わせてください。



チューブ先端が上図の位置までであることを確認してください。

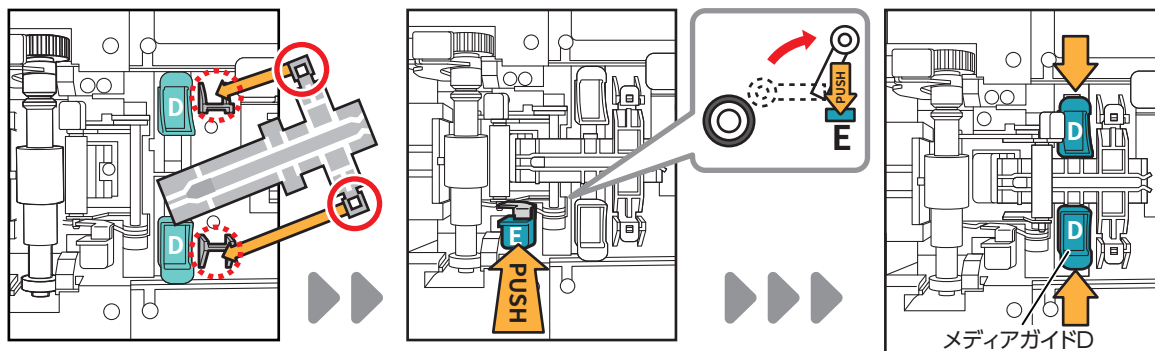


本体のドアカバーを閉じてください。

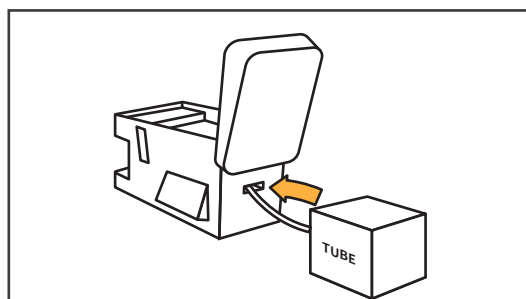
4-5-3 細径・太径チューブアタッチメント使用時のセットのしかた

φ1.5、φ2.0、φ8.0、φ10.0 塩ビチューブとIDプレートをご使用の際は、チューブサイズに対応したアタッチメントを取り付けてください。

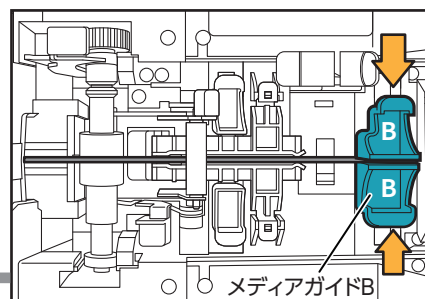
巻き付けローラーリリースレバー“E”操作時は、巻き付けローラーが手に当たるおそれがありますので、“E 刻印部”を指先で押してください。



メディアガイドDをアタッチメントの幅にぴったりと合わせてください。

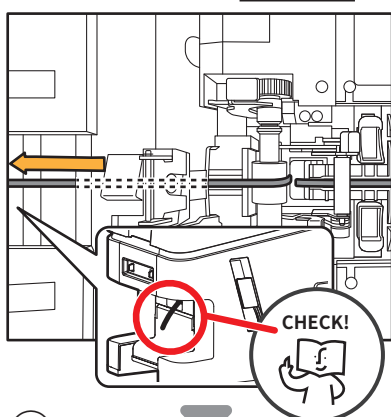


細径φ1.5、φ2.0 チューブの先端位置は、チューブの巻きぐせによる詰まりを防ぐため、下図の位置までチューブを引き出してセットしてください。

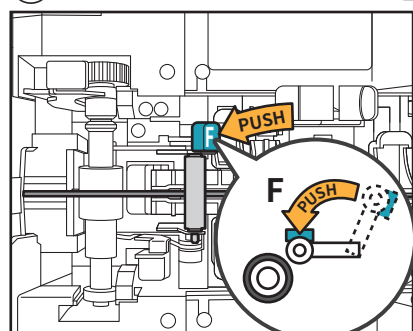


チューブを通し、メディアガイドBをチューブの幅にぴったりと合わせてください。

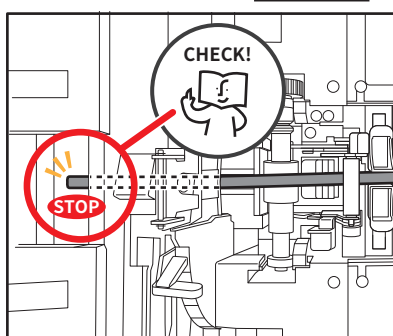
φ1.5、φ2.0 TUBE



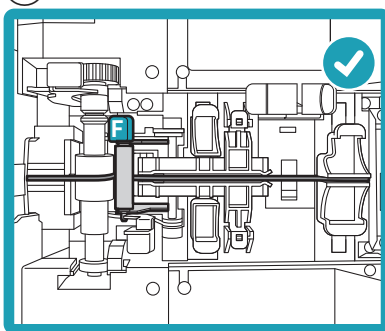
⑦



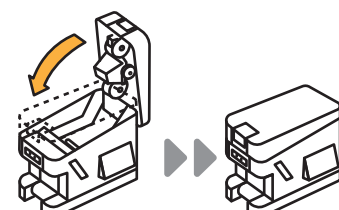
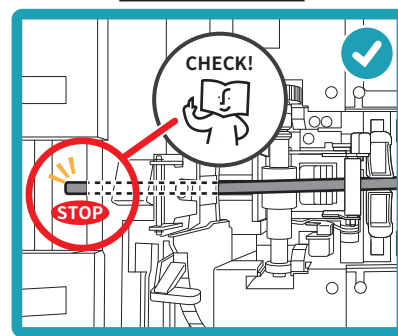
φ8.0、φ10.0 TUBE



⑧



ID PLATE



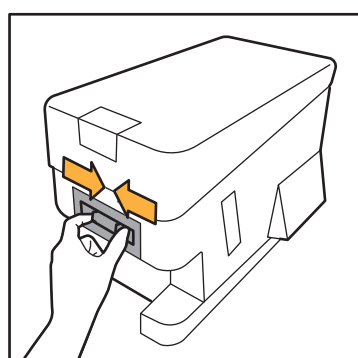
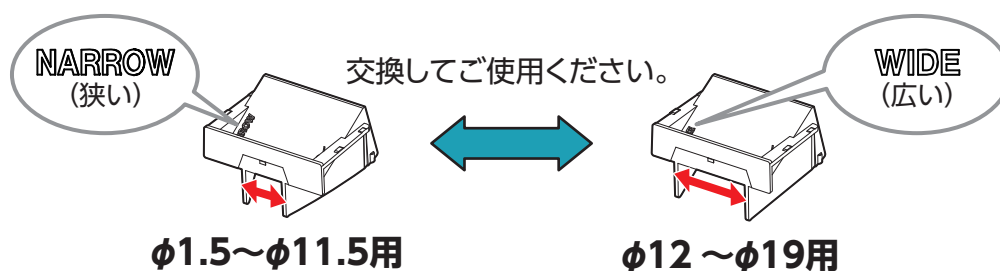
本体のドアカバーを閉じてください。

4-6 イグジットガイドの交換のしかた

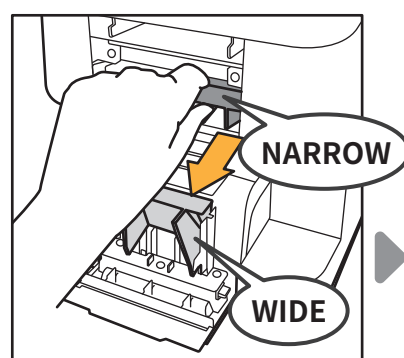
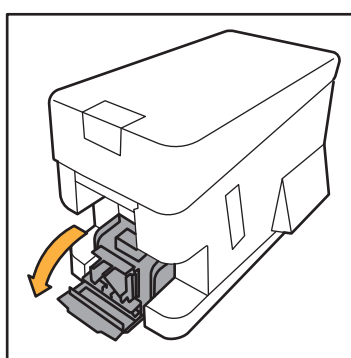
太径 $\phi 12.0 \sim \phi 19.0$ の熱収縮チューブをお使いの場合、イグジットガイドを必ず「WIDE」に交換してご使用ください。

*イグジットガイドはスムーズに印字物を排出するためのガイド部品です。

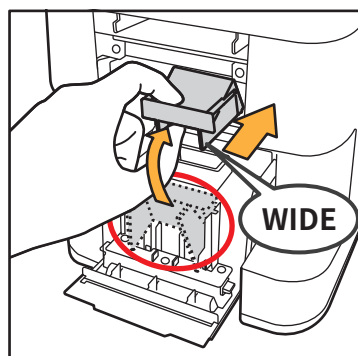
ご購入時は「NARROW」が本体にセットされ、「WIDE」が本体に収納されています。



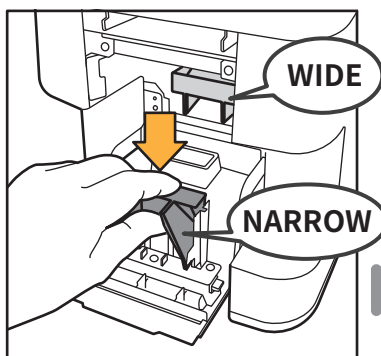
両側のつまみを内側に押しこんで
ジャム除去カバーを開きます。



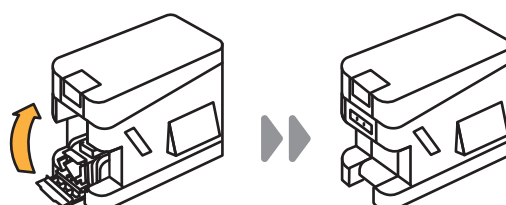
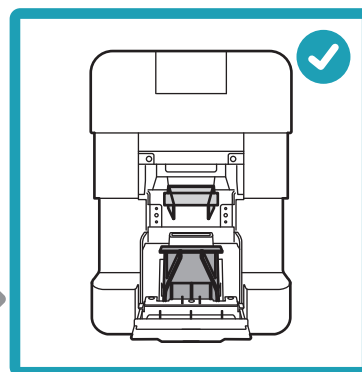
イグジットガイド「NARROW」を
手前に引き出して取り出します。



イグジットガイド「WIDE」を
セットします。



イグジットガイド「NARROW」を
収納スペースに収めます。



本体のカバーを閉じてください。

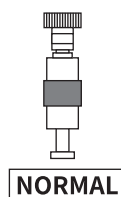
MEMO

●消耗品排出口での詰まりやハーフカットが斜めに入る原因になるおそれがありますので、太径 $\phi 12.0 \sim \phi 19.0$ の熱収縮チューブ以外の消耗品を印刷時は、イグジットガイド「NARROW」をセットして印刷してください。

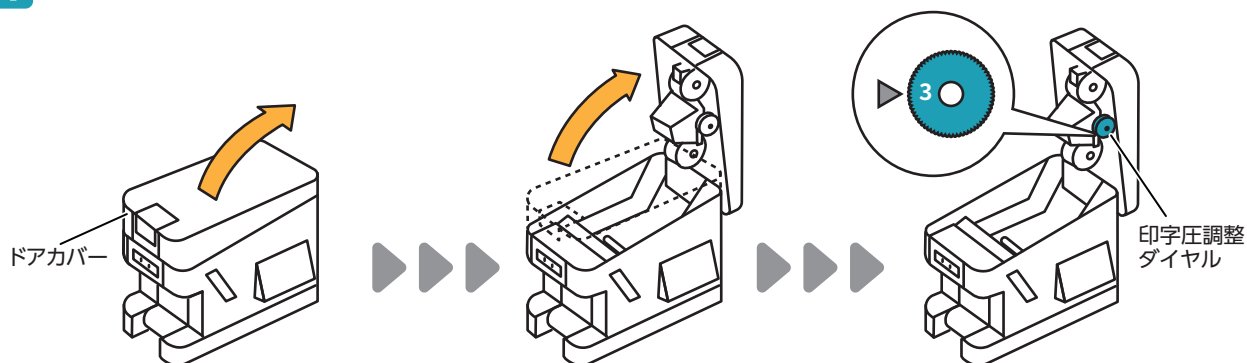
4-7 テープ・記名板のセットのしかた

【準備するもの】

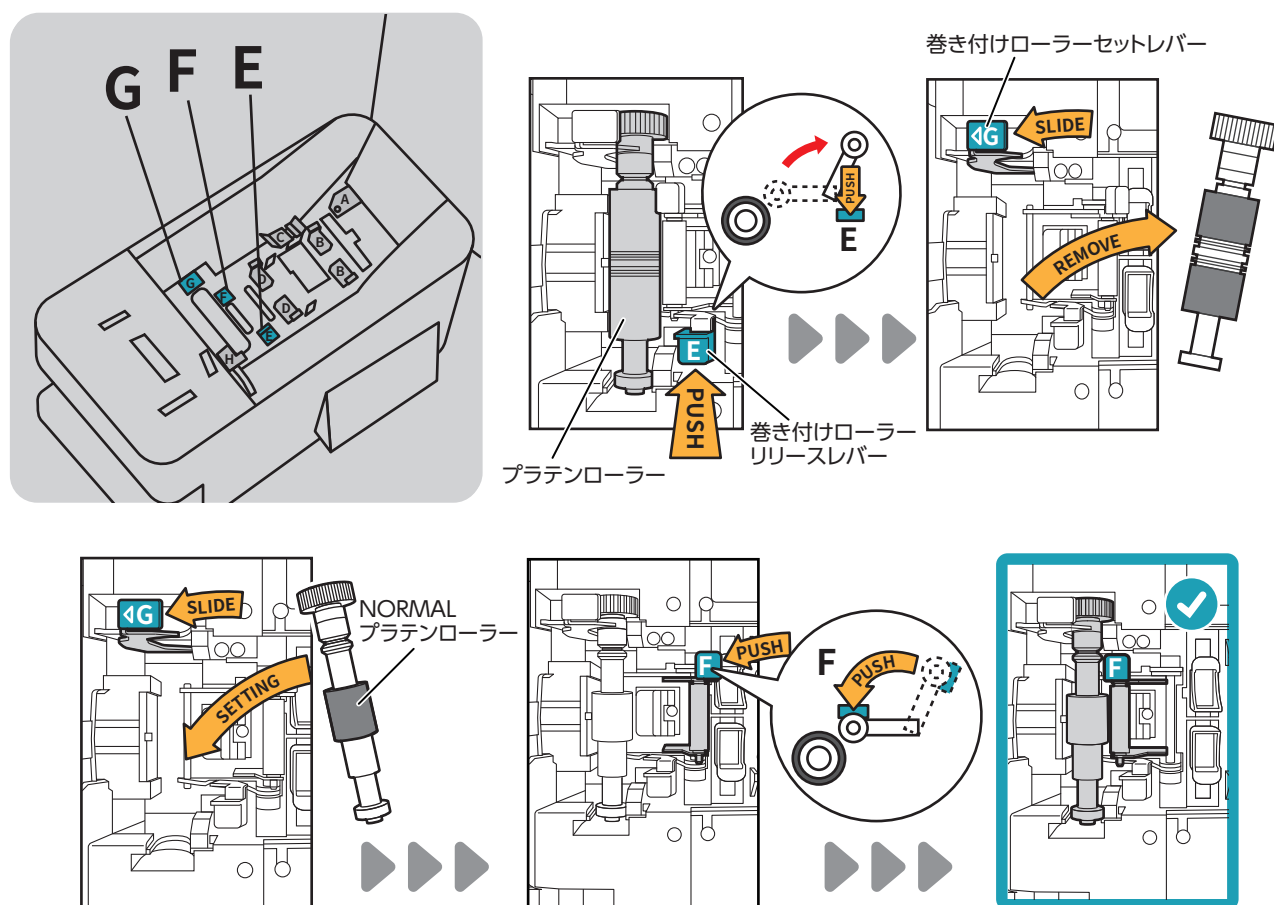
- プラテンローラー (NORMAL)



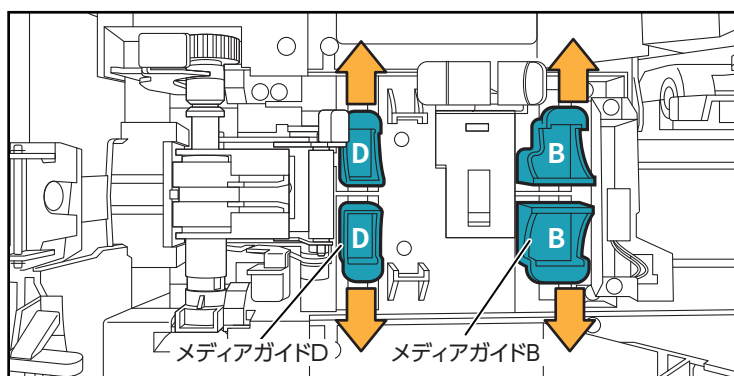
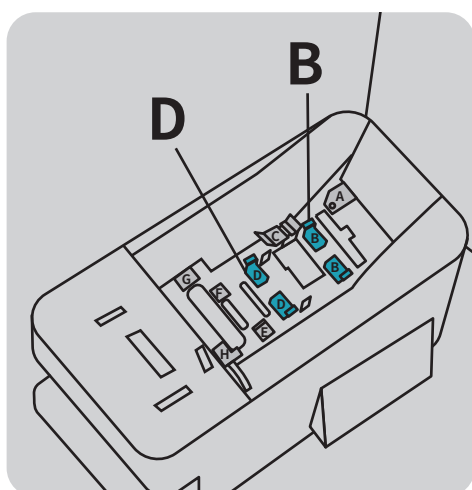
- 1 本体のドアカバーを開け、印字圧調整ダイヤルを「3」にセットしてください。



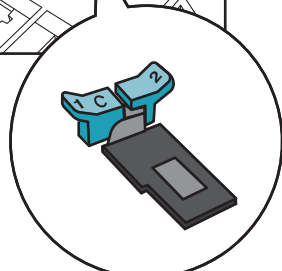
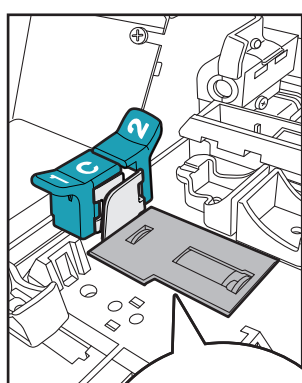
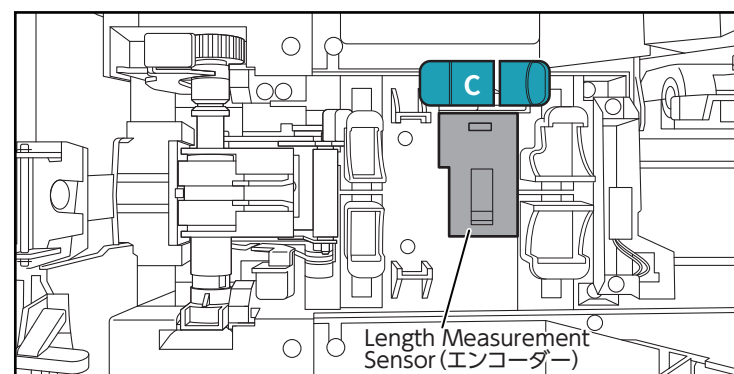
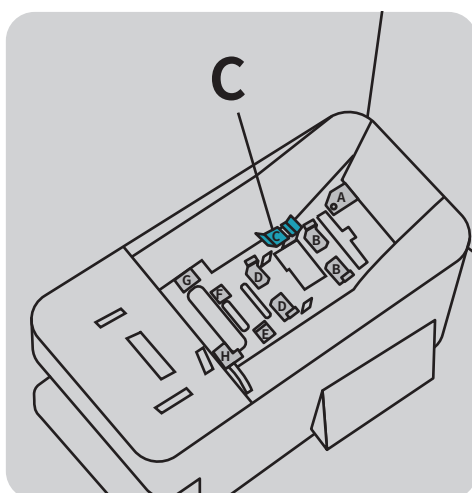
- 2 プラテンローラーを取外し、NORMALプラテンローラーに変更します。
巻き付けローラーリリースレバー“E”操作時は、巻き付けローラーが手に当たるおそれがありますので、“E刻印部”を指先で押してください。



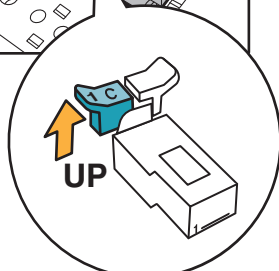
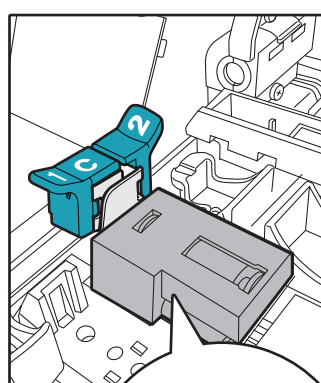
3 メディアガイド、操作レバーを初期位置にセットしてください。



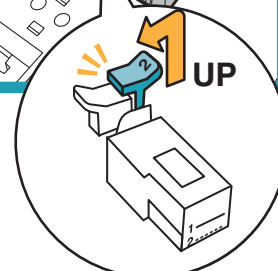
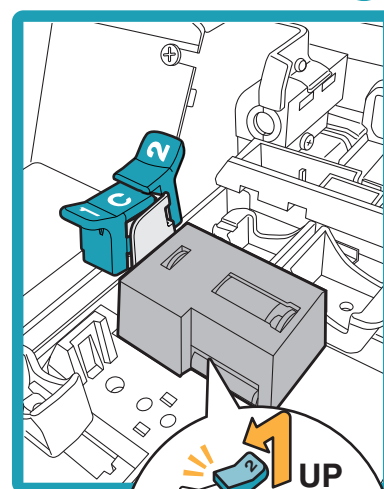
4 Length Measurement Sensor (エンコーダー) をセットします。 左側のレバー"1C"を上引き上げ、Length Measurement Sensor (エンコーダー) を持ち上げます。 次に右側のレバー"2"を引き上げ、レバー"1C"にレバー"2"が乗った状態にします。



収納位置



距離測定位置
(印刷時位置)

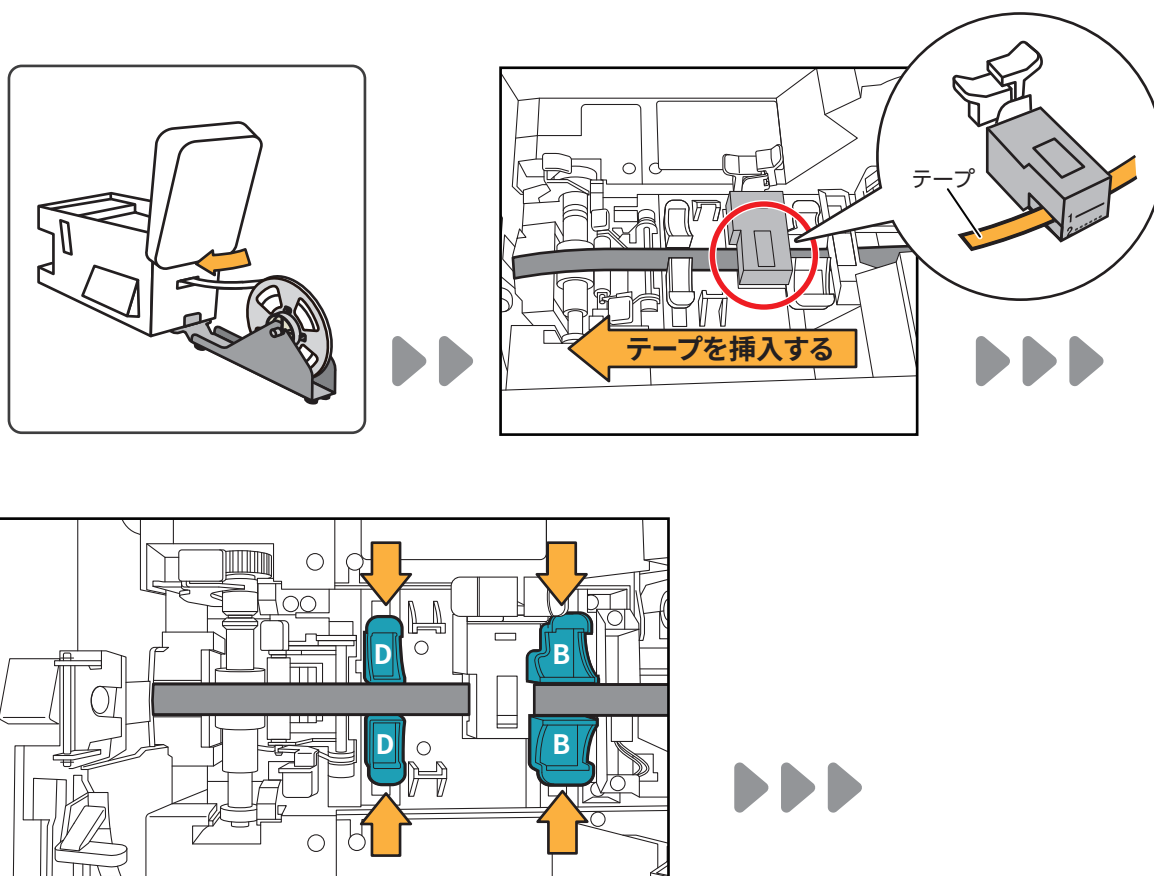


消耗品装填時位置

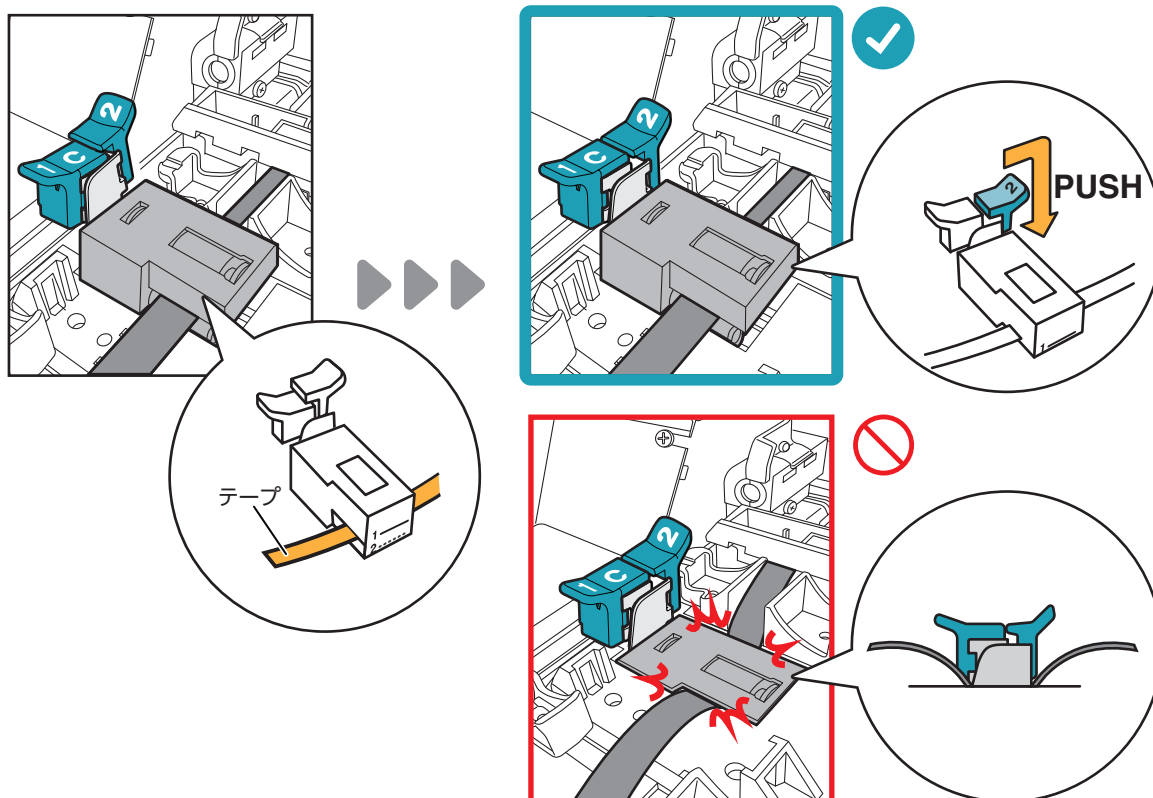
MEMO

- Length Measurement Sensor(エンコーダー)の位置は3段階あります。
 - ・収納位置
 - ・距離測定位置(印刷時位置)
 - ・消耗品装填時位置
- Length Measurement Sensor(エンコーダー)が使用できる消耗品はテープ・記名板のみです。
- メディアガイドB,Dのテープ接触面に付着した粘着剤は、テープの粘着面を押し付けて必ず除去してから印刷してください。
粘着剤が搬送され、プラテンローラーやLength Measurement Sensorに付着すると、消耗品の巻き込みや印字不良の原因となります。
→ 4-5-2 MAXグリップチューブ、MAXチューブ、一般チューブのセットのしかた
- メディアガイドB,Dのテープ接触面に付着した粘着剤は、テープの粘着面を押し付けて必ず除去してから印刷してください。粘着剤が搬送され、プラテンローラーやLength Measurement Sensorに付着すると、消耗品の巻き込みや印字不良の原因となります。
→ 10-5 メディアガイドB、Dをクリーニングする(テープ粘着剤の除去方法)

- 5** テープまたは記名板をセットします。
Length Measurement Sensor(エンコーダー)に下図のように消耗品を通してください。通したらメディアガイドB・Dを消耗品の幅にぴったりと合わせてください。



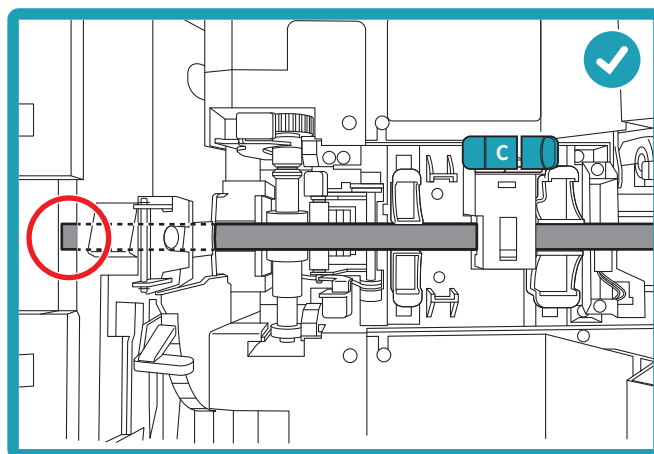
6 操作レバー2を下に軽く押し下げ、距離測定位置(印刷時位置)にセットします。



注意

Length Measurement Sensor (エンコーダー) を収納位置まで押し下げないように注意してください。

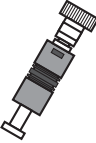
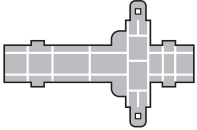
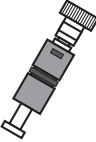
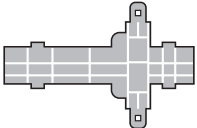
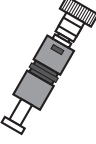
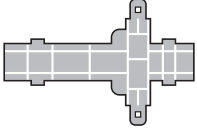
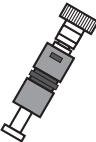
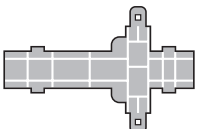
消耗品先端を下図の位置まで通してください。



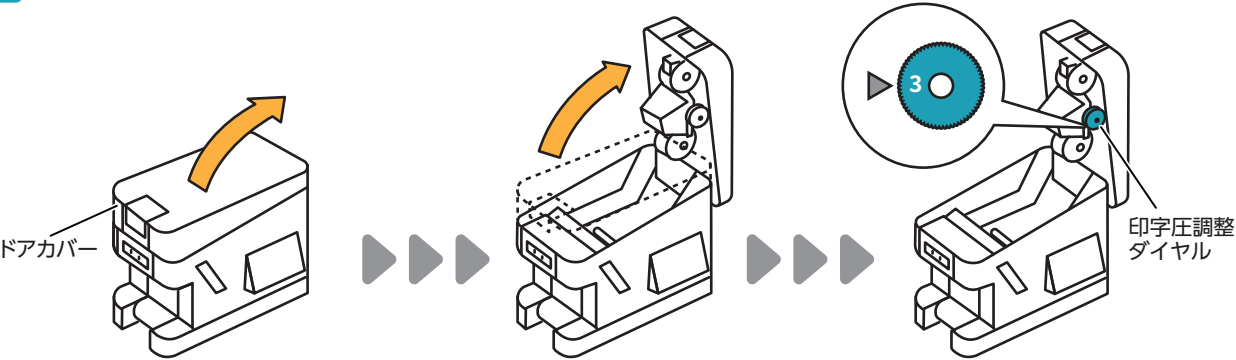
7 本体のドアカバーを閉じてください。これでテープ・記名板のセットが完了しました。

4-8 ブロックマーカのセットのしかた

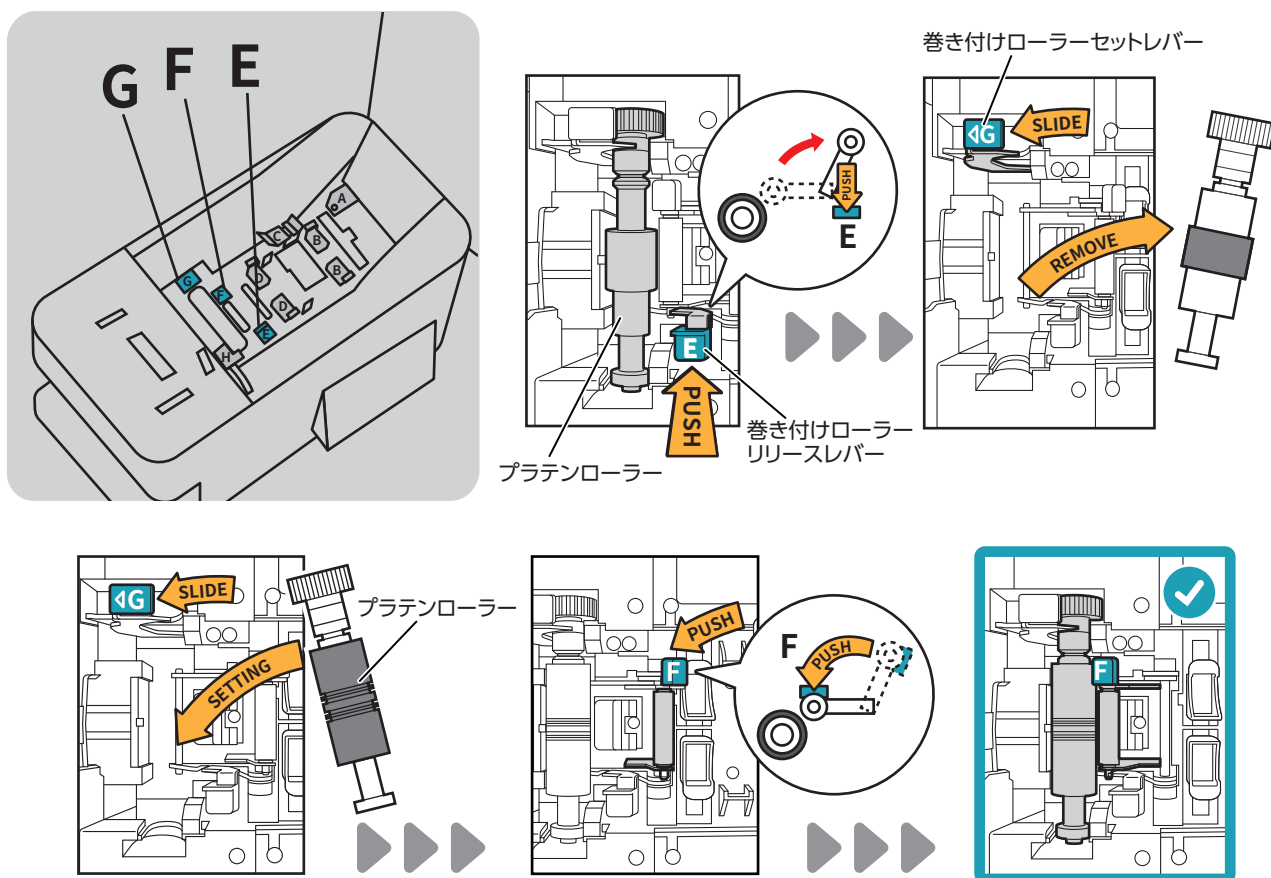
【準備するもの】

ブロックマーカ	プラテンローラー		アタッチメント	
A 2009-113 A 2009-114 A 2009-115	113 114 115		113 114 115 515 615	
A 2009-145	145		145	
A 2009-515	515		113 114 115 515 615	
A 2009-615	615		113 114 115 515 615	

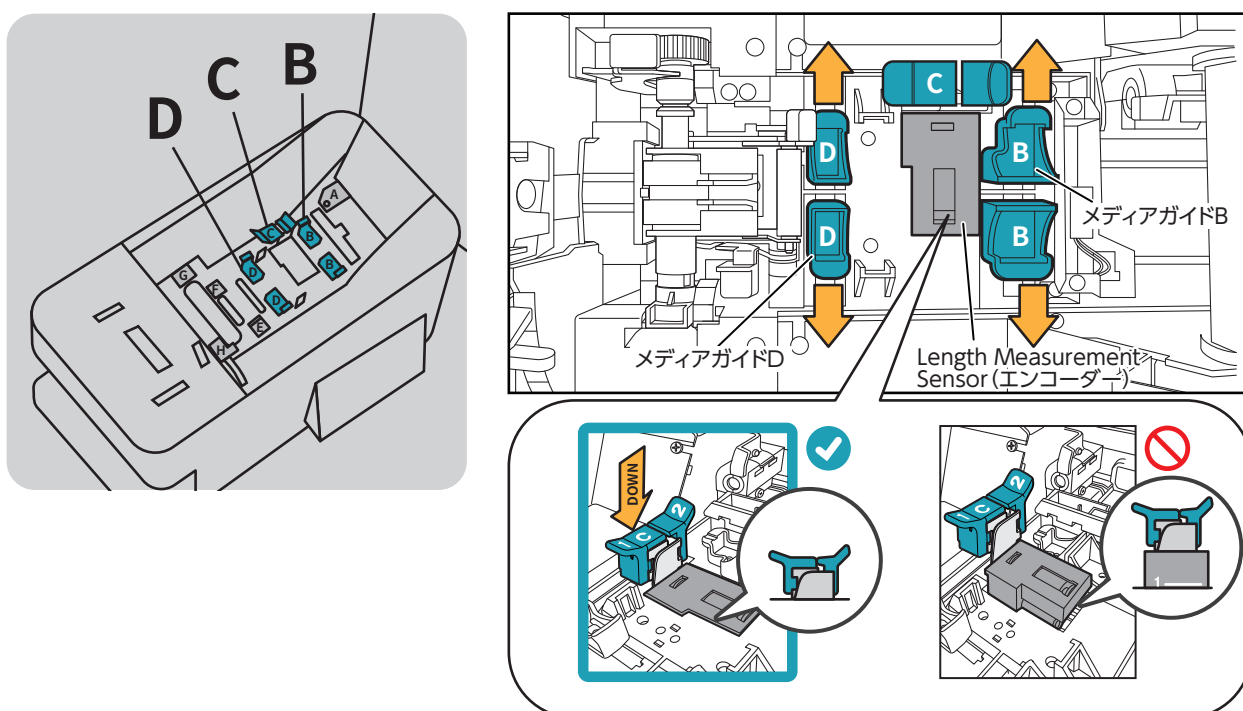
1 本体のドアカバーを開け、印字圧調整ダイヤルを「3」にセットしてください。



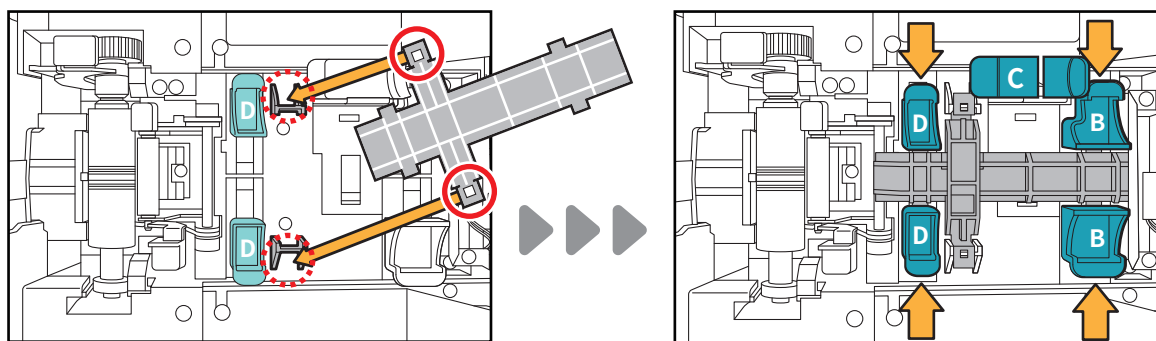
- 2** プラテンローラーを取外し、該当するブロックマーカーに対応したプラテンローラーをセットします。
巻き付けローラーリリースレバー“E”操作時は、巻き付けローラーが手に当たるおそれがありますので、“E刻印部”を指先で押してください。



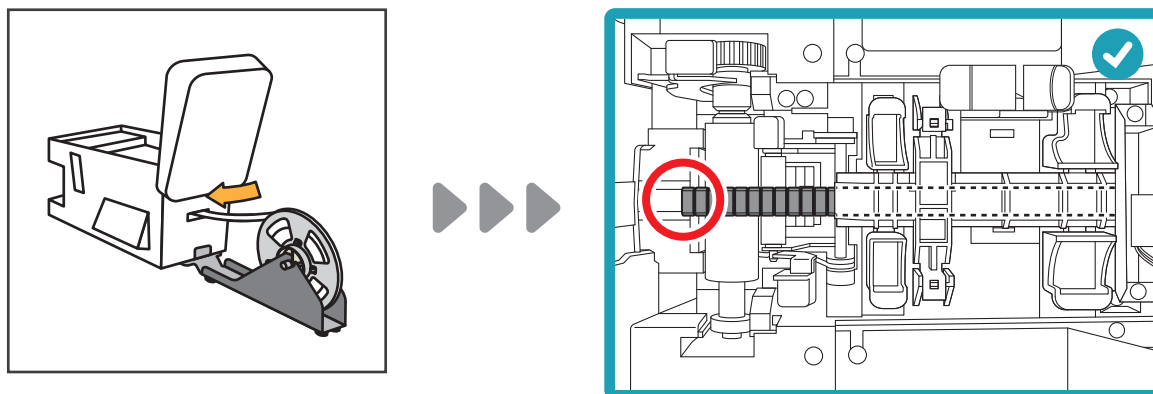
- 3** メディアガイド、操作レバーを初期位置にセットしてください。
Length Measurement Sensor (エンコーダー) が収納位置まで下がっていることを確認してください。



- 4** アタッチメントを下図を参照に向きに注意してセットし、メディアガイドB・Dをアタッチメントの幅にぴったりと合わせてください。



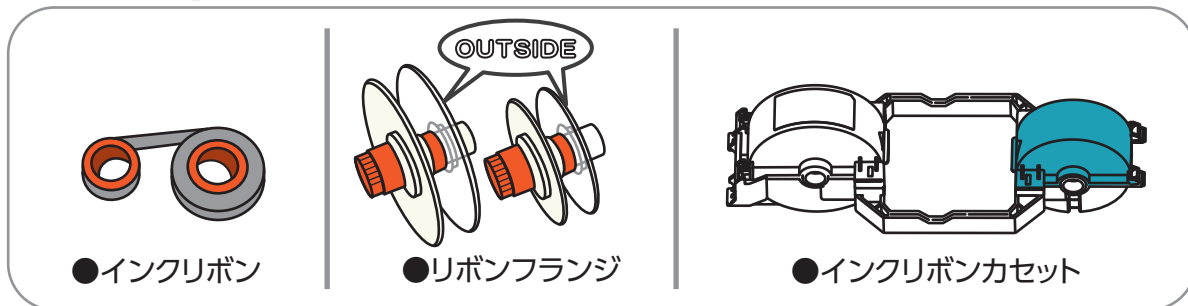
- 5** ブロックマーカをセットします。
ブロックマーカ先端を下図の位置まで通してください。



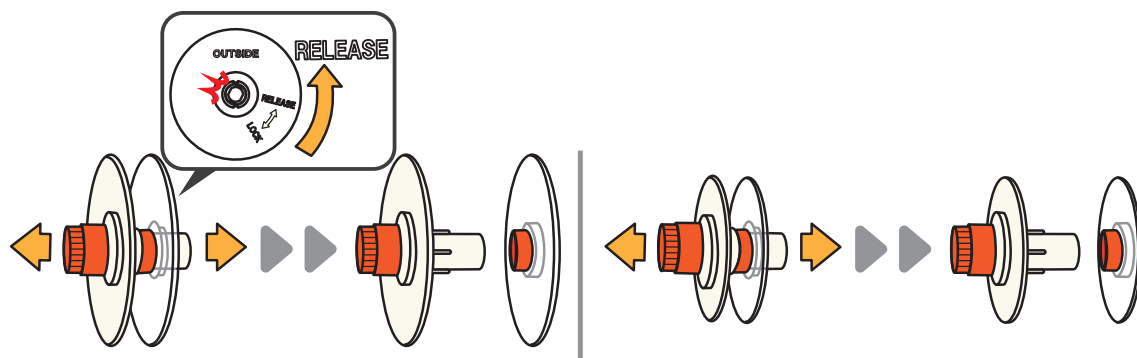
- 6** 本体のドアカバーを閉じてください。これでブロックマーカのセットが完了しました。

4-9 インクリボンのセットのしかた

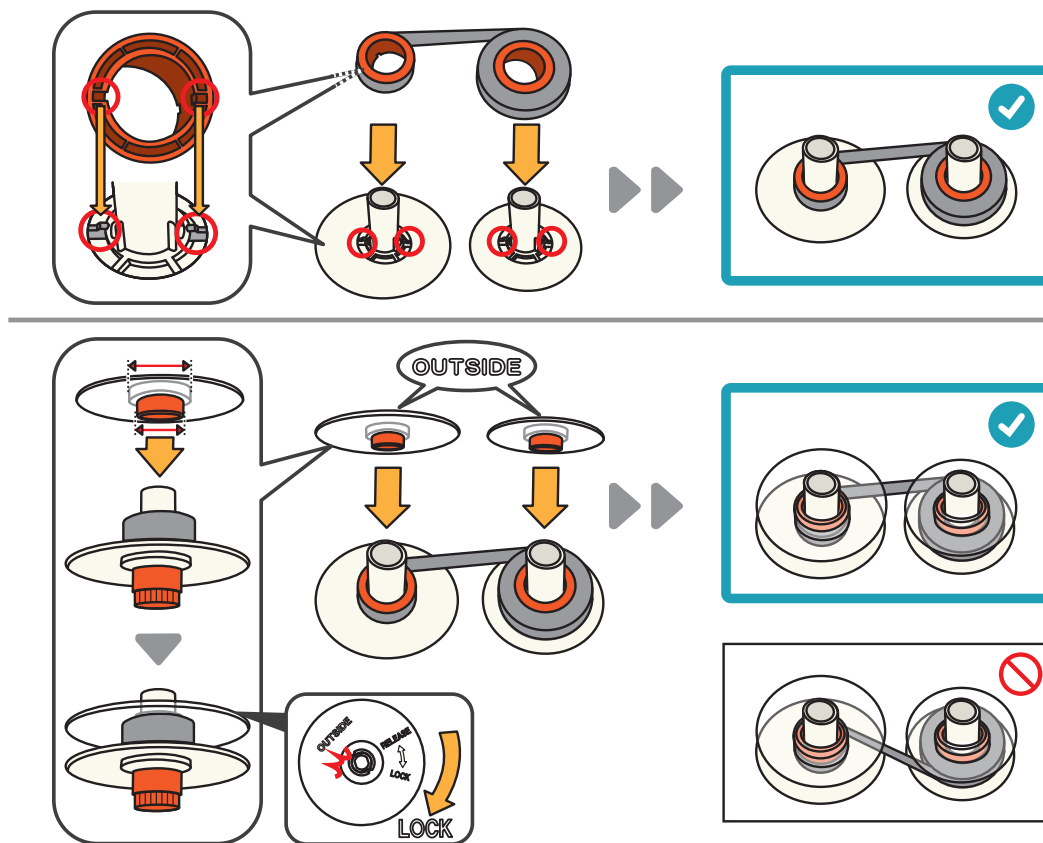
【準備するもの】



- 1 インクリボンをリボンフランジにセットします。
リボンフランジを「RELEASE」の方向に回し、外してください。



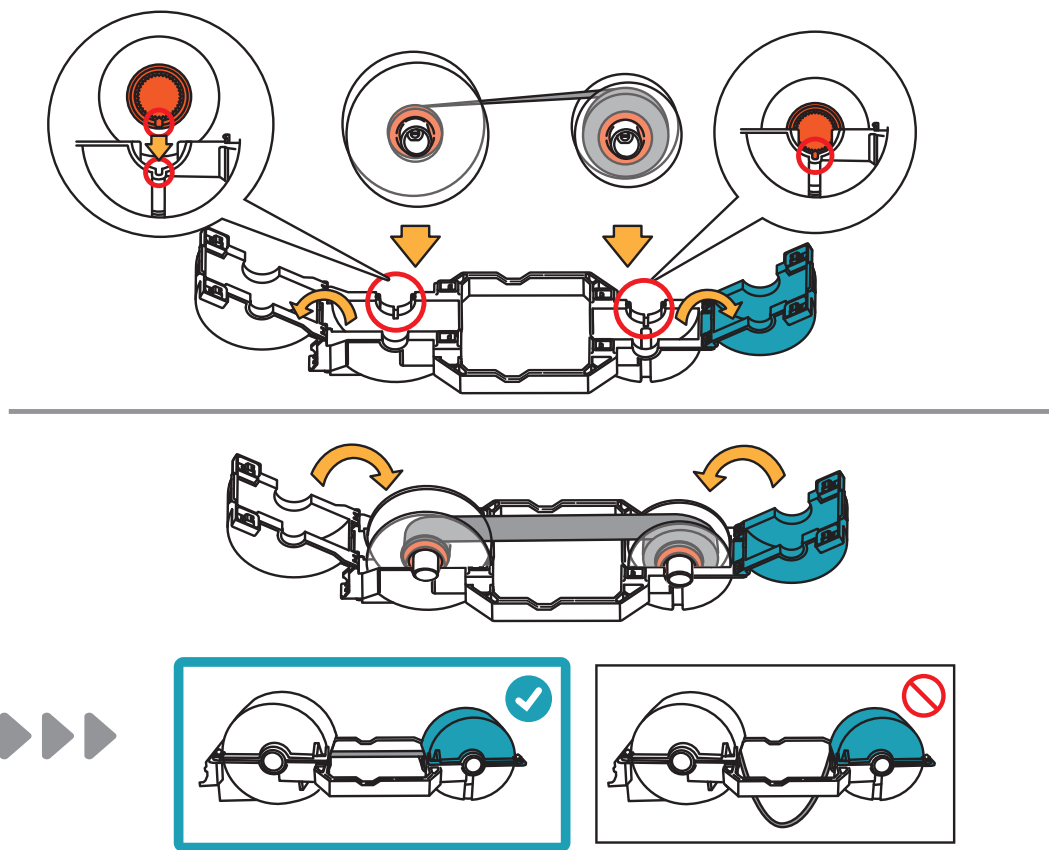
インクリボンコア凹部とリボンフランジ凸部を合わせてセットしてください。
リボンフランジをLOCKの方向に回し、固定してください。



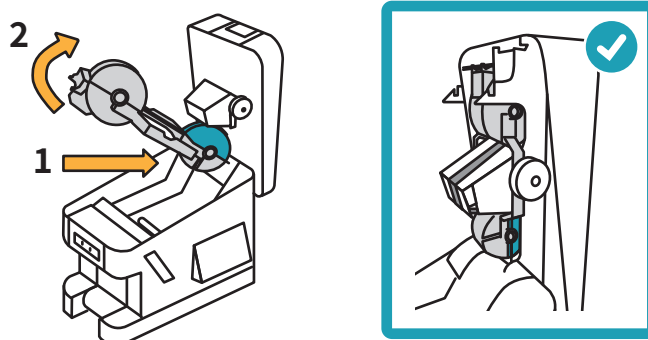
注意

リボンフランジの大小サイズに注意して上部のようにセットしてください。
φ8.0、10.0塩ビチューブ用リボンフランジ(黒)を使用する場合は、リボンフランジ”小”(オレンジ)と入れ替えてご使用ください。

- 2** インクリボンをインクリボンカセットにセットします。
リボンフランジコア凸部(オレンジ色)とカセット側凹部を合わせてセットしてください。



- 3** インクリボンカセットを本体にセットしてください。
インクリボンカセット青色部と、本体セット位置青色部が重なるようにセットしてください。

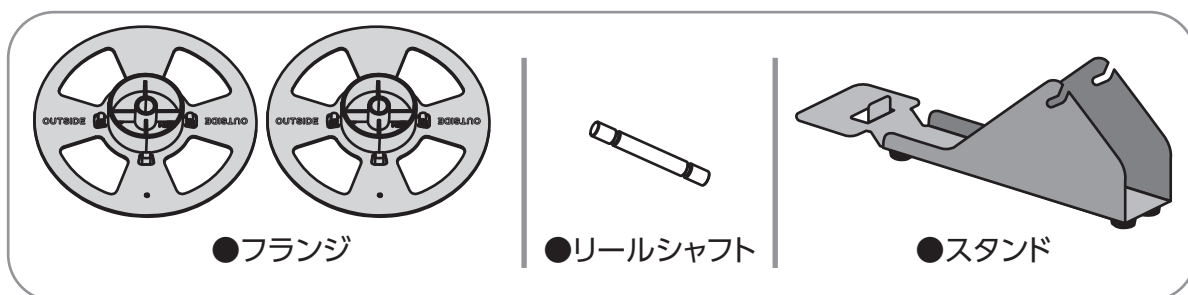


- 4** 本体のドアカバーを閉じてください。これでインクリボンのセットが完了しました。

4-10 リールスタンドのセットのしかた

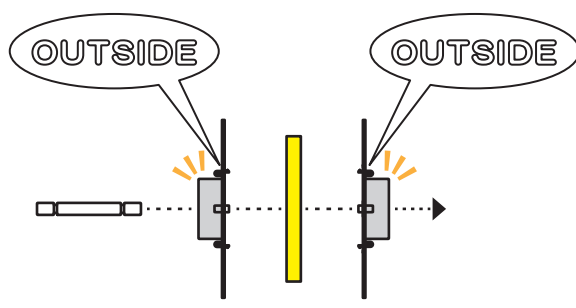
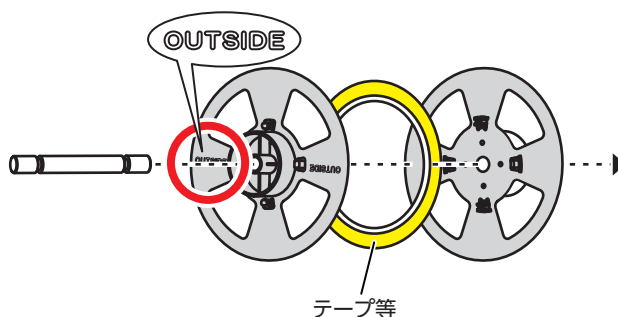
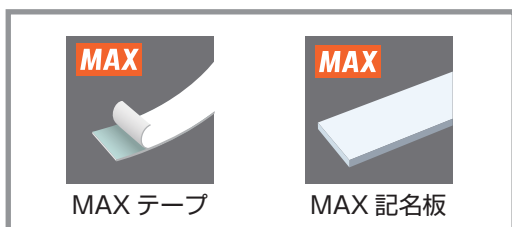
リールスタンドはMAXテープ、MAX記名板、ブロックマーカ、MAX ID プレートでご利用ください。

【準備するもの】

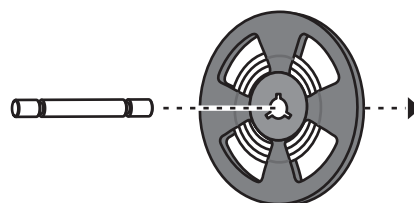
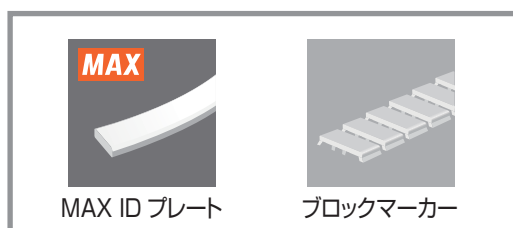


フランジを使用する消耗品はMAXテープ、MAX記名板です。

- 1 消耗品をセットします。フランジの向きは「OUTSIDE」刻印面を外側にしてセットしてください。MAXテープ使用時は、テープ側面の巻き崩れ防止フィルムをはがさずにご利用ください。



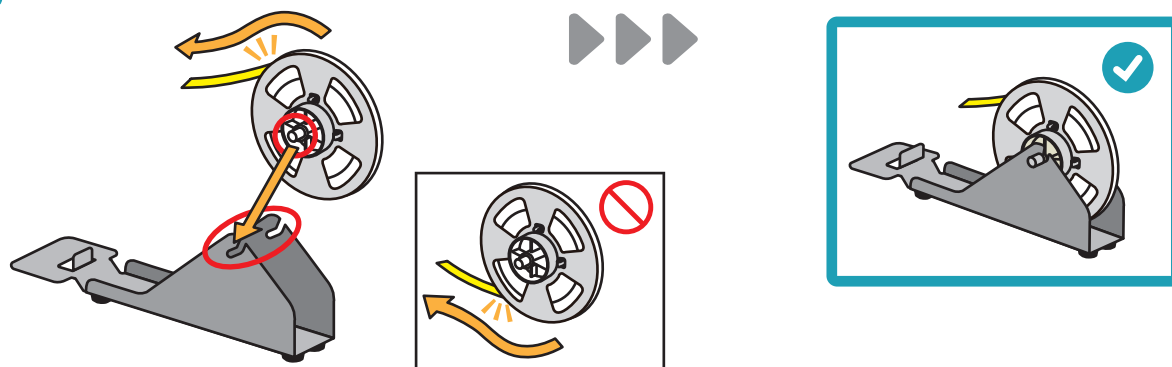
MAX IDプレート、ブロックマーカは、フランジを使わず、直接リールシャフトを通し、スタンドにセットしてください。



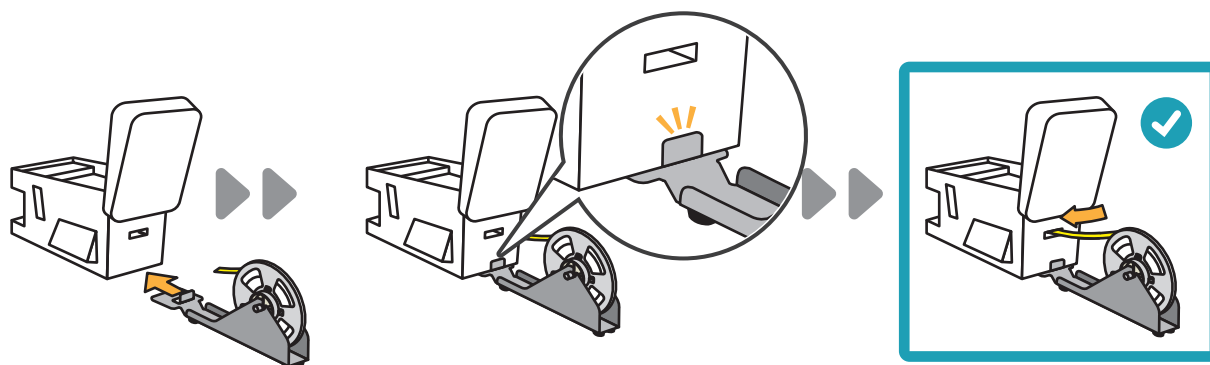
注意

5mm幅テープをフランジにセットする際は、フランジの爪部どうしがぶつからないよう、フランジをずらしてセットしてください。

2 スタンドにリールをセットします。



3 リールスタンドを本体の後部にセットします。 本体の持ち手部にリールスタンド先端を差し込んでください。



MEMO

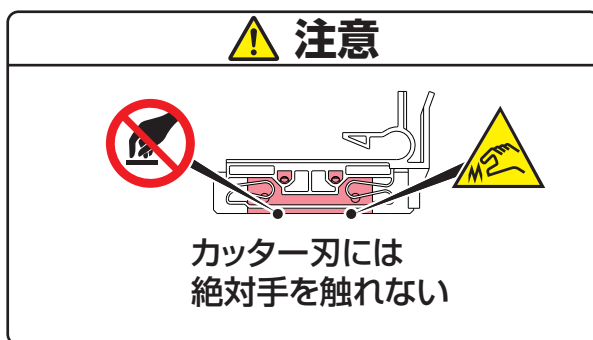
●テープが紙管から外れてしまった場合、テープの内側1～2周分をカットして紙管にはめ込んでください。

第5章. 消耗部品の交換のしかた

5-1	ハーフカッタユニットの交換のしかた.....	75
5-2	サーマルヘッドの交換のしかた.....	76

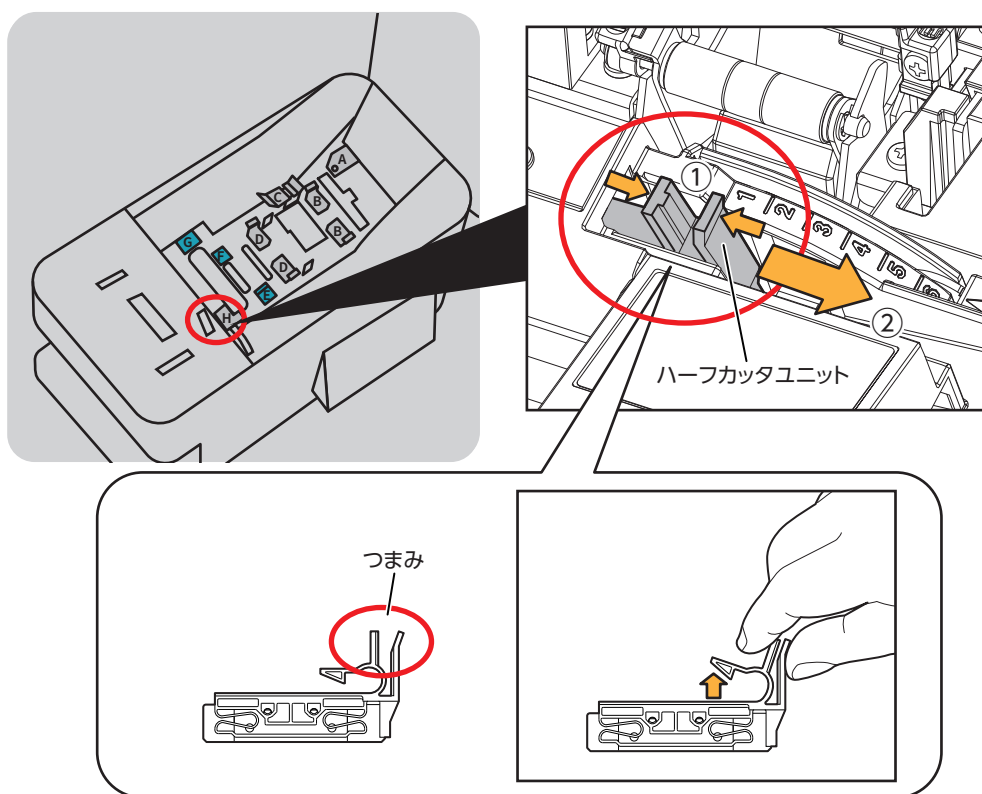
5-1 ハーフカッタユニットの交換のしかた

ハーフカッタユニットはあらかじめ本体にセットされています。ハーフカットの切れ味が悪くなった場合は、下記手順で交換してください。



取外すとき

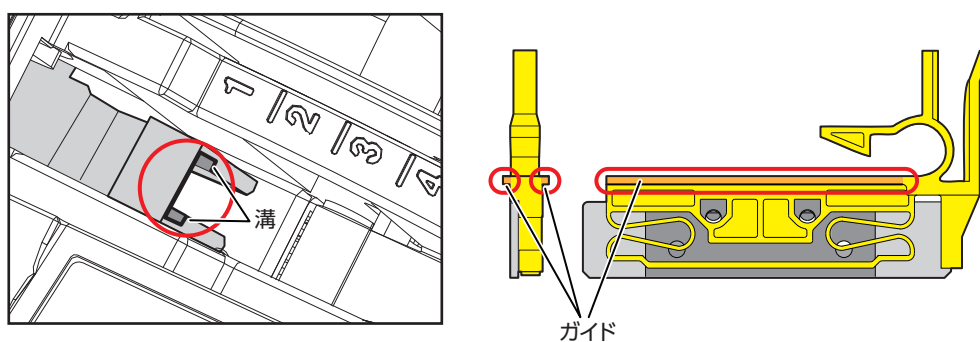
ハーフカッタユニットのつまみを持ち、矢印の方向に引き抜いてください。



差し込むとき

ハーフカッタユニット両側のガイドを挿入部の溝に合わせ、カチッと音がするまで奥に差し込んでください。

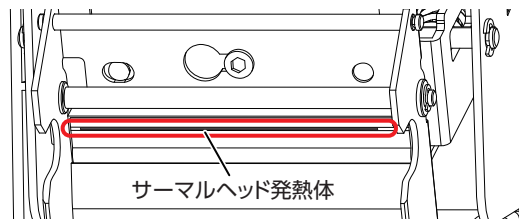
交換完了です。 → 12-2 消耗品・オプション品一覧



5-2 サーマルヘッドの交換のしかた

お願い

- サーマルヘッド発熱体は、素手で触れないようにしてください。静電気により発熱体が破損するおそれがあります。



もくじ

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

第7章

第8章

第9章

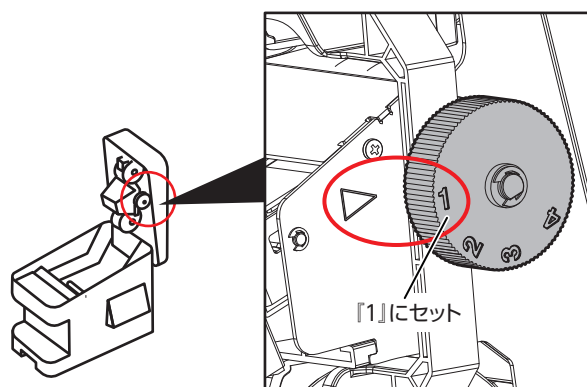
第10章

第11章

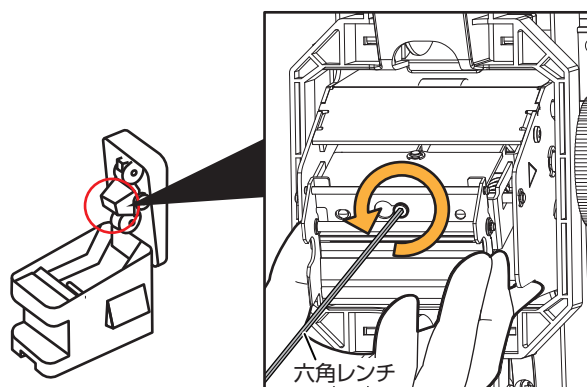
第12章

サーマルヘッドの取外し方

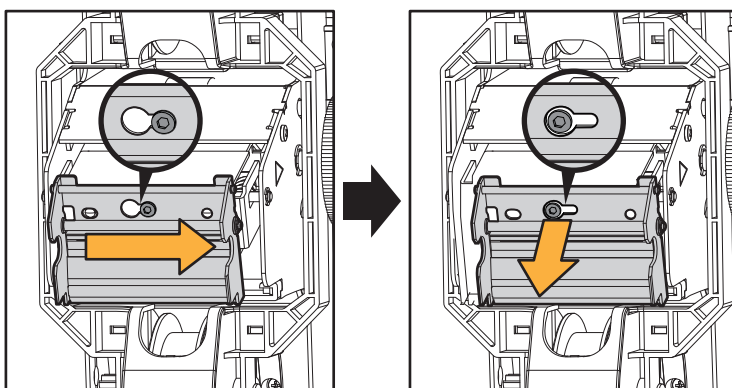
- 1 印字圧調整ダイヤルを「1」にセットしてください。



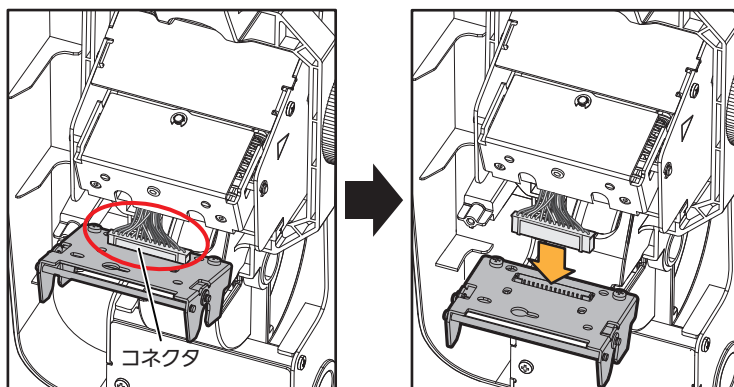
- 2 サーマルヘッド中央の六角穴付きボルトを左回りに約5回転回し、緩めます。



- 3 六角穴付きボルトが緩んだら、サーマルヘッドを右にスライドさせ、サーマルヘッドを取外します。

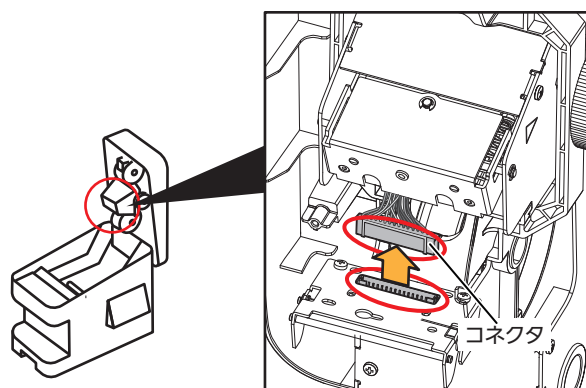


4 コネクタを取外してください。

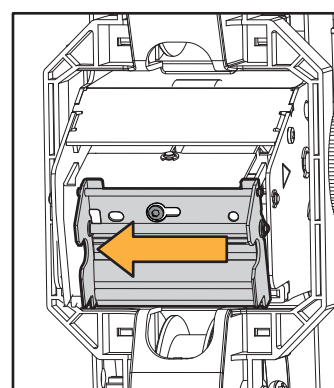


サーマルヘッドの取り付け方

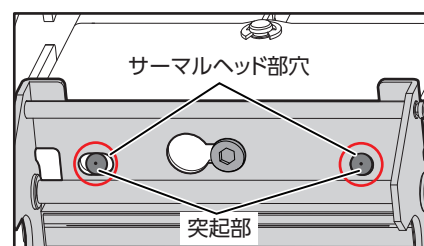
- 1 コネクタを接続してください。



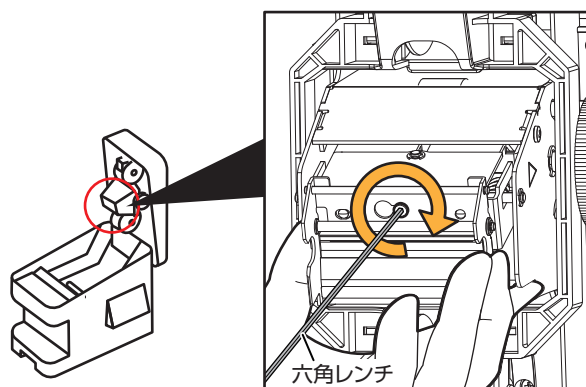
- 2 サーマルヘッドを取り付け、左にスライドさせます。



- 3 サーマルヘッドの両端の穴が、ヘッド取り付け部2か所の突起部にはまっていることを確認してください。



- 4 サーマルヘッド両端の穴と突起部がずれないよう、サーマルヘッドの両端を押さえながら、六角穴付きボルトを右に回して締めてください。
サーマルヘッドの取付は完了です。



第6章. 本体LCDディスプレイでできること

6-1	ホーム画面	80
6-2	印刷.....	81
6-3	フィード	84
6-4	USBメモリ取外し.....	84
6-5	ヒーターON/OFF切り替え.....	85
6-6	ヘルプ	85
6-7	設定.....	86
6-8	本体設定.....	87
6-8-1	スリープ時間を設定する	87
6-8-2	タッチ音を設定する.....	88
6-8-3	タッチパネル調整をする	88
6-8-4	停電時印刷再開モードを設定をする.....	89
6-8-5	画面調整を設定する.....	89
6-9	印刷設定.....	90
6-9-1	印字濃度を設定する.....	91
6-9-2	低速モードを設定する.....	91
6-9-3	先頭空送りを設定する	92
6-9-4	上下印字位置を設定する	92
6-9-5	カット位置を設定する.....	93
6-9-6	送り方向印字位置を設定する	93
6-9-7	後端空送りを設定する	94
6-9-8	部数間余白を設定する.....	94
6-9-9	ブロックマーカースエンサーを調整する	95
6-9-10	ヒーターの温度を設定する.....	95
6-9-11	ヒーターの保温設定をする.....	96
6-10	接続設定.....	97
6-10-1	LAN設定を初期化する.....	97

6-1 ホーム画面

LCDディスプレイはタッチパネルです。指先やタッチペンでアイコンを押して操作してください。
本体を電源コードに接続し、主電源スイッチをいれ、サブ電源ボタンを押してください。

→3-2 各部の名称



MEMO

●「LETATWIN PC EDITOR PRO」から印刷する場合、ホーム画面になっていることを確認してください。ホーム画面以外の画面では、「LETATWIN PC EDITOR PRO」から印刷することはできません。

もくじ

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

第7章

第8章

第9章

第10章

第11章

第12章

6-2 印刷

予め「LETATWIN PC EDITOR PRO」で作成した文書が保存された USB メモリを使用して、本体のみで印刷することができます。→8-10 ファイルを保存・送信する

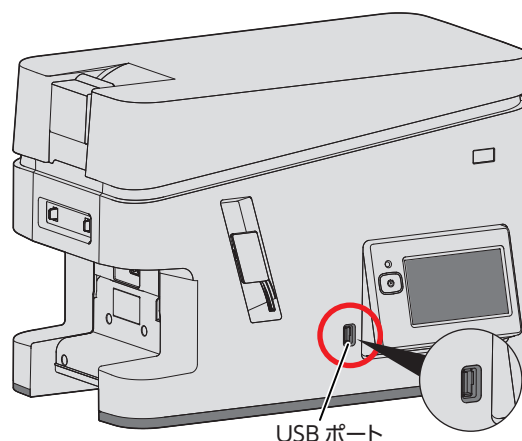
※本体で文書を入力することはできません。



本体に USB メモリを差し込むとディスプレイ上に  マークが表示され、文書データを選択・印刷することができます。

※セキュリティ機能のある USB メモリはご使用になれません。

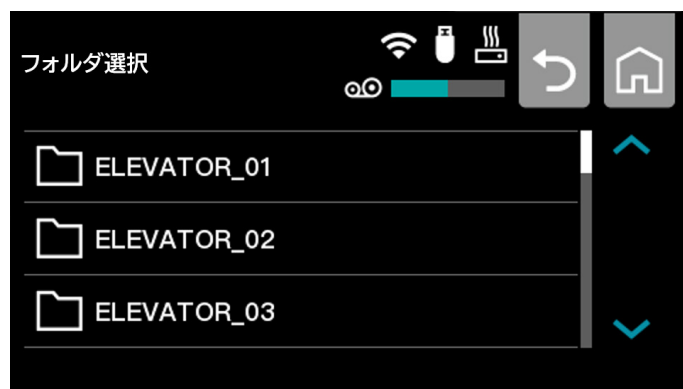
両面印刷(グリップスリーブ)の場合 →8-11 両面印字をする



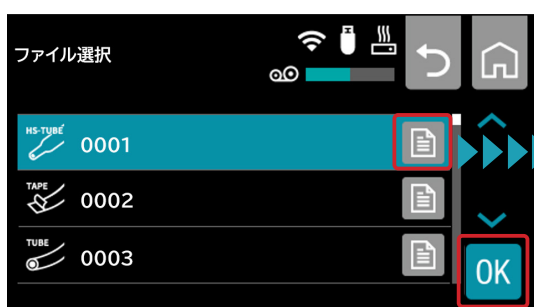
1 「印刷」アイコンを押してください。



2 フォルダを選択します。
USBメモリに保存されたデータが表示されます。
フォルダー一覧は キーでスクロールすることができます。フォルダを選択してください。



3 ファイルを選択します。
ファイルを選択し、「OK」ボタンを押してください。
ファイルごとに、文書作成時に設定した消耗品が表示されます。
 アイコンをクリックすると、ファイルコメントが表示されます。



MEMO

- フォルダ名、ファイル名は50文字(半角)以上の場合は表示されません。
- 100フォルダ/ファイル以上は表示されません。

4 印刷設定画面で「印刷部数」 / 「全長補正」 / 「印刷範囲」を設定します。



キーで設定項目を切り替えることができます。



各設定値入力後、消耗品がセットされていることを確認し、**印刷** ボタンを押してください。印刷が開始されます。

5 印刷部数を設定します。



6 開始ブロック、終了ブロックを設定します。文書内の印刷範囲を指定します。



7 全長補正值を入力します。

実際の印刷長さと、設定した長さに差がある場合、印刷物全体の長さを補正して印刷できます。実際の印刷長さと設定した長さとの「差」を補正值として入力します。補正できる設定範囲は印刷物の全長と印刷個数によって異なります。



6-3 フィード

消耗品をはさみ等で手切りできる位置まで排出します。



6-4 USB メモリ取外し

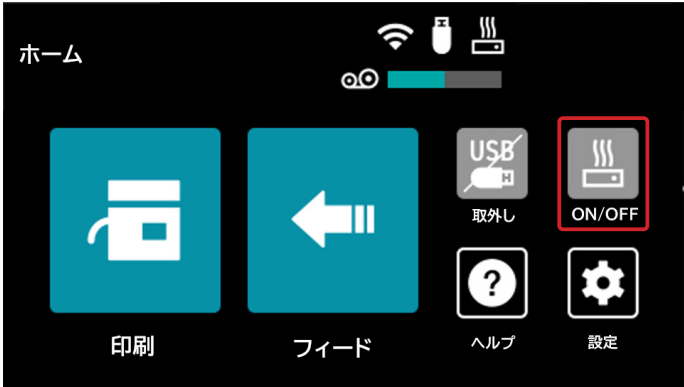
USBメモリ取外し時に、USBメモリ内のデータを破損することなく安全に取り外せるよう、USBメモリへの通電を切ります。USBメモリ取外し時は、必ず  アイコンを押下後、 アイコンが消灯していることを確認してUSBメモリを取外してください。



6-5 ヒーター ON/OFF 切り替え

低温環境 5 ～ 15℃では、チューブが硬くなり印字がかすれたり、欠けたりする場合があります。
この場合はチューブヒーターを使うことでチューブを温め柔らかくして印字品質を向上させることができます。

ヒーターが使用できる消耗品はチューブφ1.5～φ4.6のみです。他の消耗品でご使用いただくことはできません。
ヒーター ON 時は消耗品セット時の温まっていない部分を排出してから印字を開始する為、先頭余白が長めになります。
ヒーター ON/OFF の切り替えは「LETATWIN PC EDITOR PRO」で設定することはできません。



チューブヒーターセットのしかた

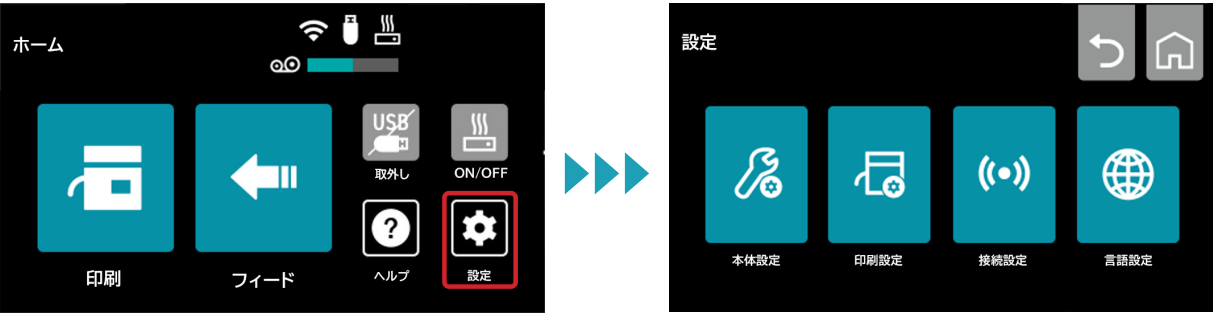
→4-5-1 チューブヒーターのセットのしかた

6-6 ヘルプ



ヘルプメニューでできること

01 メンテナンス	MAX ホームページへのリンク先 QR を表示します。取扱説明書、メンテナンス動画を閲覧できます。
02 本体情報	バージョン情報、機種名、製造番号、MAC アドレス、IP アドレスを確認できます。
03 バージョンアップ	本体バージョンアップ時に使用します。画面の指示に従ってバージョンアップしてください。
04 プラテンローラー駆動	プラテンローラーを正回転、逆回転で駆動させます。印刷物の巻き込み等によりプラテンローラーの取外しが出来ない場合、プラテンローラーを駆動させて印刷物を取り除いてください。



設定項目一覧

 本体設定	01 スリープ時間	
	02 タッチ音	
	03 タッチパネル調整	
	04 停電時印刷再開モード	
 印刷設定	05 画面調整	01 明るさ
		02 輝度
		03 コントラスト
	01 印字濃度	
	02 低速モード	
	03 先頭空送り	
	04 上下印字位置	
	05 カット位置	
	06 送り方向印字位置	
	07 後端空送り	
	08 部数間余白	
 接続設定	01 通信インターフェース	
	02 有線 LAN 設定	01 IP アドレス設定
		02 デフォルトゲートウェイ
		03 サブネットマスク
	03 無線 LAN 設定	01 IP アドレス設定
		02 デフォルトゲートウェイ
		03 サブネットマスク
		04 WPS
		05 SSID
	04 初期化	
 言語設定	言語選択	
	→ 3-5 言語設定のしかた	

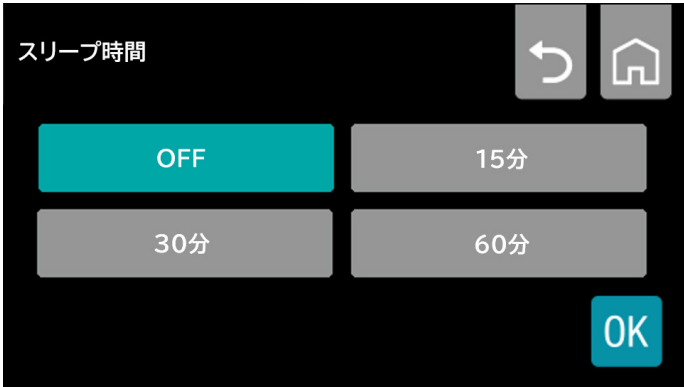


		初期値
 本体設定	01 スリープ時間	
	15 分	
	02 タッチ音	
	ON	
	03 タッチパネル調整	
	—	
	04 停電時印刷再開モード	
ON		
05 画面調整	01 明るさ	5
	02 輝度	10
	03 コントラスト	10

6-8-1 スリープ時間を設定する

スリープ時間【初期値: 15分】

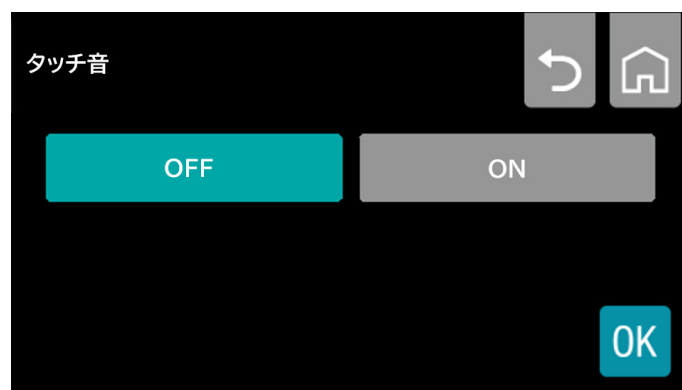
LCD ディスプレイがスリープモードになる時間を設定します。
OFF/15 分 /30 分 /60 分から選択し、「OK」ボタンを押してください。
ホーム画面でサブ電源ボタンを押下してもスリープモードになります。



6-8-2 タッチ音を設定する

タッチ音【初期値: ON】

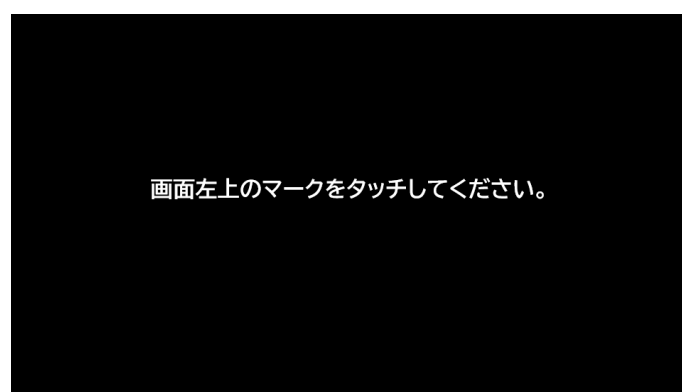
LCD ディスプレイのタッチ音有無を設定します。
OFF/ON から選択し、「OK」ボタンを押してください。



6-8-3 タッチパネル調整をする

タッチパネル調整【初期値: ー】

画面の表示位置を調整します。タッチペンで操作をおこなってください。
画面の指示に従って画面をタッチしてください。



6-8-4 停電時印刷再開モードを設定をする

停電時印刷モード【初期値: ON】

印刷中の停電時、印刷途中位置から印刷を再開できるモードです。
OFF/ON から選択し、「OK」ボタンを押してください。



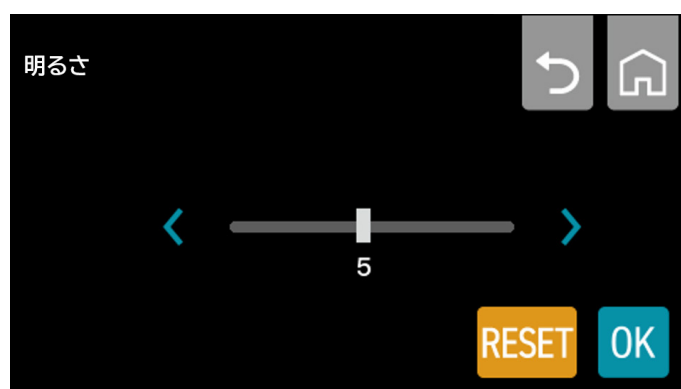
MEMO

●ONに設定した場合、毎回印刷前に数秒の準備時間が発生します。

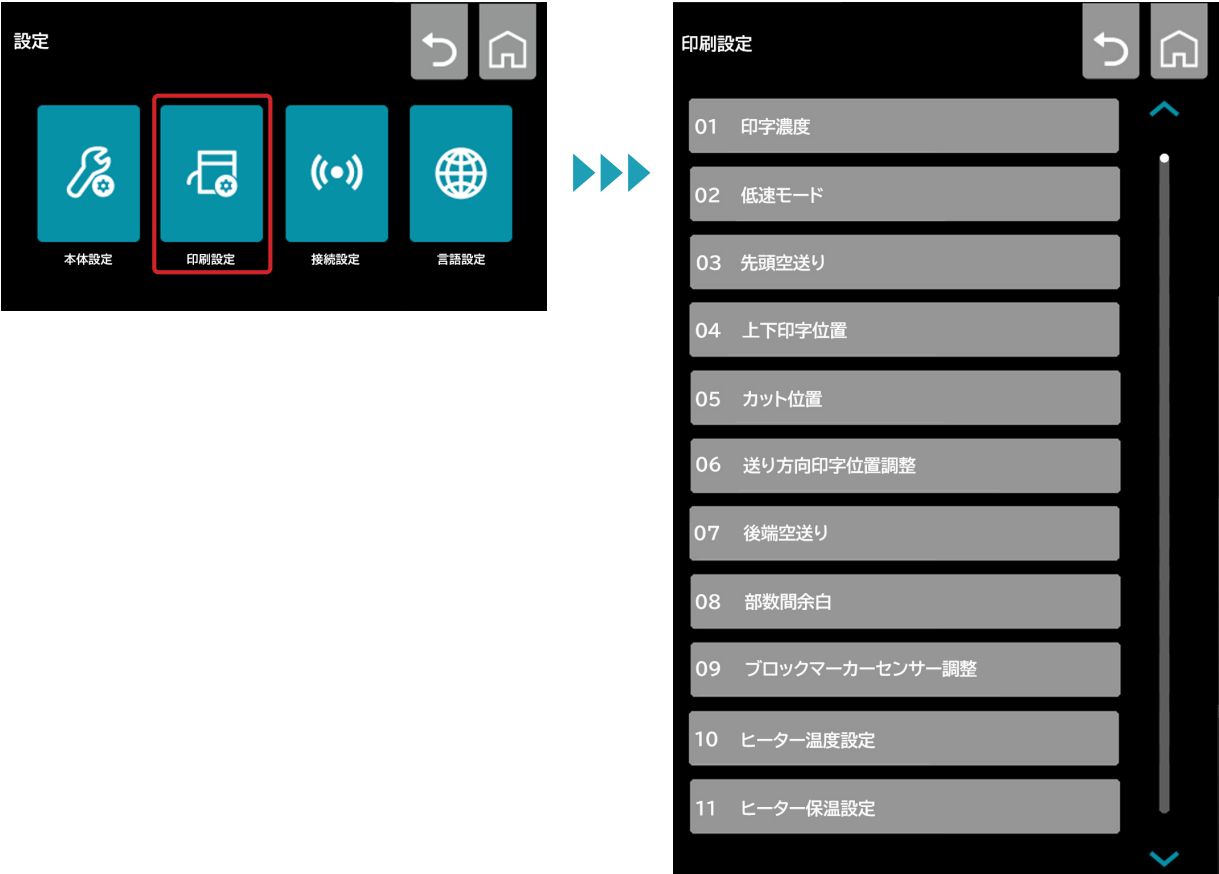
6-8-5 画面調整を設定する

画面調整【初期値: 明るさ:5／輝度:10／コントラスト:10】

LCD ディスプレイの「明るさ」「輝度」「コントラスト」を設定します。
設定項目を選択し、設定後「OK」ボタンを押してください。



6-9 印刷設定



		初期値
 印刷設定	01 印字濃度	5
	02 低速モード	OFF
	03 先頭空送り	OFF
	04 上下印字位置	0.0mm
	05 カット位置	0.0mm
	06 送り方向印字位置	0.0mm
	07 後端空送り	ON
	08 部数間余白	ON
	09 ブロックマーカースセンサー調整	—
	10 ヒーター温度設定	中
	11 ヒーター保温設定	OFF

「LETATWIN PC EDITOR PRO」から印刷する場合、上記 01～08の設定項目は、『プリンタ本体の設定を利用して印刷する』または『「LETATWIN PC EDITOR PRO」の設定を利用して印刷する』のいずれかを選択して印刷することができます。

6-9-1 印字濃度を設定する

印字濃度【初期値: 5】

印字濃度を設定して「OK」ボタンを押してください。



MEMO

●インクリボンと消耗品が貼りついてしまうときは、印字濃度を薄めにお試しください。

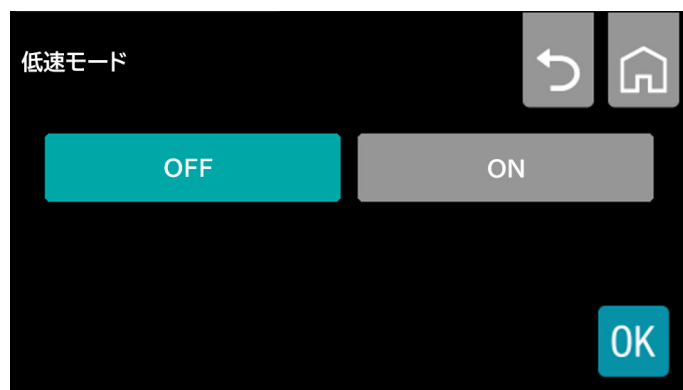
6-9-2 低速モードを設定する

低速モード【初期値: OFF】

気温5～15℃の環境では、チューブへの印字がかすれる場合があります。その場合は「低速モード」に設定してお試しください。

OFF/ONから選択し、「OK」ボタンを押してください。

→ 8-3 低温時の印刷モードを設定する



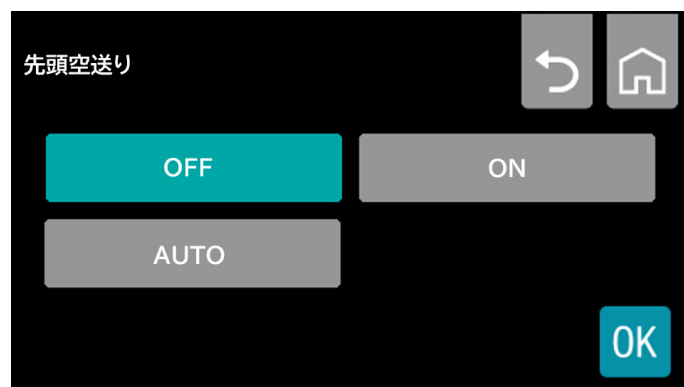
6-9-3 先頭空送りを設定する

先頭空送り【初期値: OFF】

先頭部分を空送りして印刷します。

OFF/ON/AUTO から選択し、「OK」ボタンを押してください。

→ 8-8-9 先頭空送りを設定する



6-9-4 上下印字位置を設定する

上下印字位置【初期値: 0.0mm】

上下の印字位置を調整します。

調整値を入力し、「OK」ボタンを押してください。

→ 8-8-7 上下印字位置を設定する

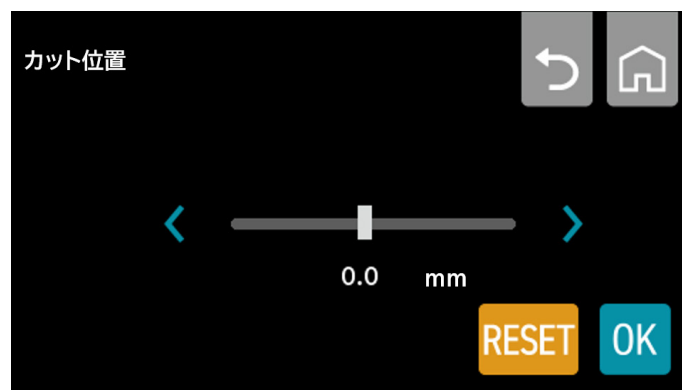


6-9-5 カット位置を設定する

カット位置【初期値: 0.0mm】

印字位置が中央からずれているとき、ハーフカット位置を調整することで印字位置を中央に調整します。調整値を入力し、「OK」ボタンを押してください。

→ 8-8-6 カット位置を設定する

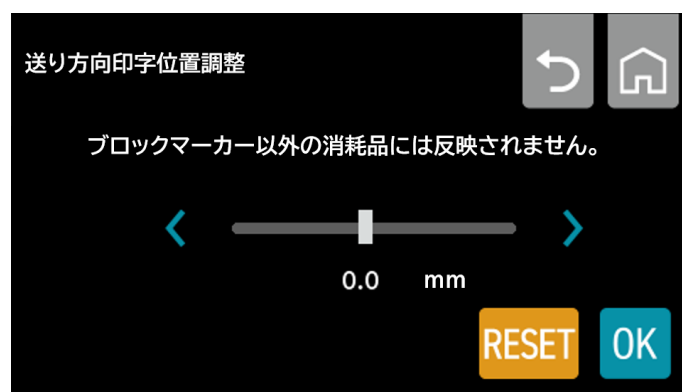


6-9-6 送り方向印字位置を設定する

送り方向印字位置【初期値: 0.0mm】

ブロックマーカの送り方向印字位置を調整します。調整値を入力し、「OK」ボタンを押してください。

→ 8-8-11 送り方向印字位置を調整する(ブロックマーカのみ)

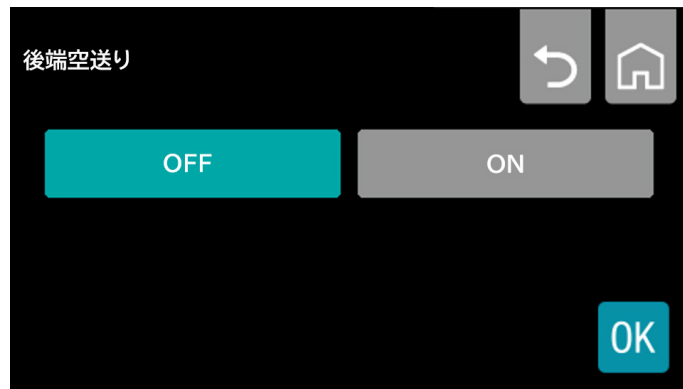


6-9-7 後端空送りを設定する

後端空送り【初期値: ON】

OFF/ON から選択し、「OK」ボタンを押してください。

→ 8-8-8 後端空送りを設定する

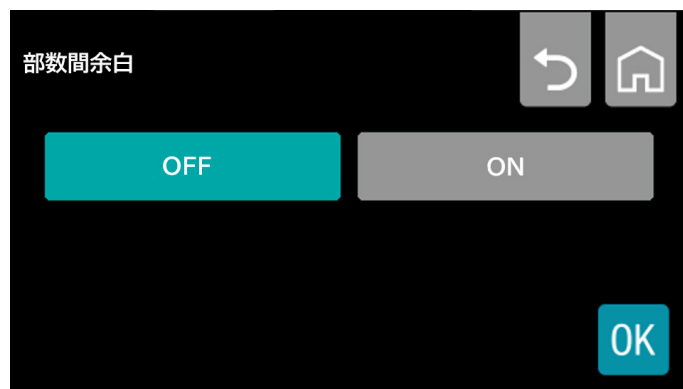


6-9-8 部数間余白を設定する

部数間余白【初期値: ON】

OFF/ON から選択し、「OK」ボタンを押してください。

→ 8-8-10 部数間余白を設定する



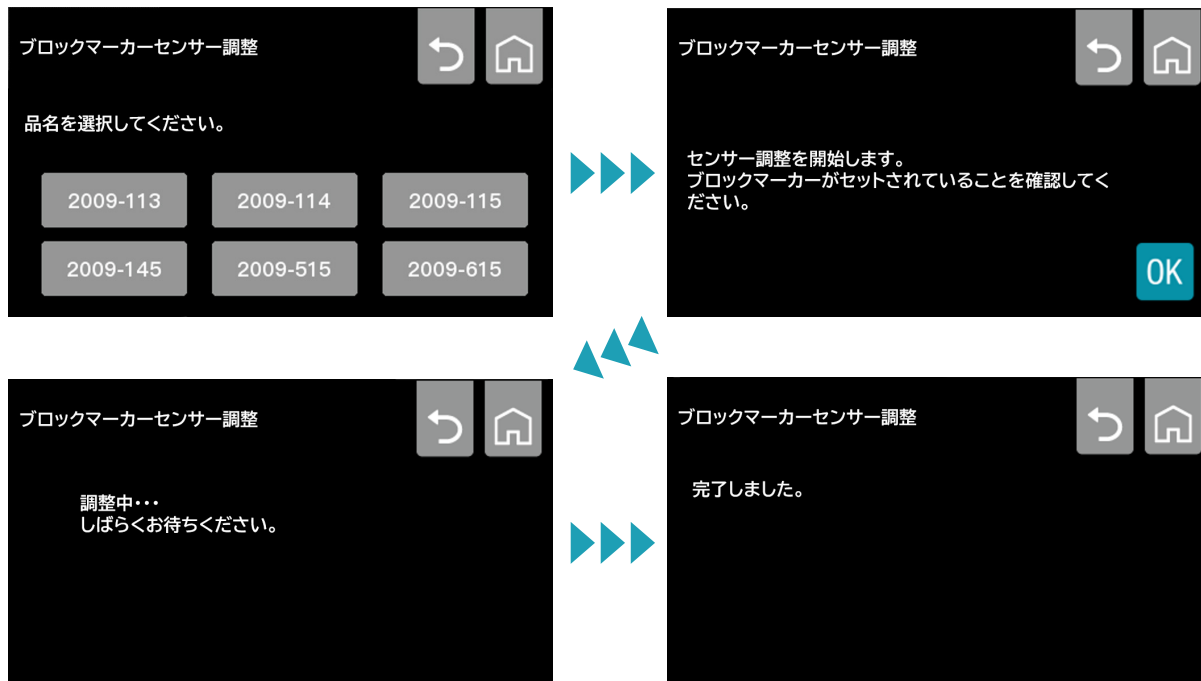
6-9-9 ブロックマーカースensorを調整する

ブロックマーカースensor調整

ブロックマーカの送り方向印字位置がずれている場合、または初めてブロックマーカを印刷する場合にブロックマーカSensor調整が必要です。

ブロックマーカの種類を選択し、ブロックマーカが機械本体にセットされていることを確認後、「OK」ボタンを押してください。

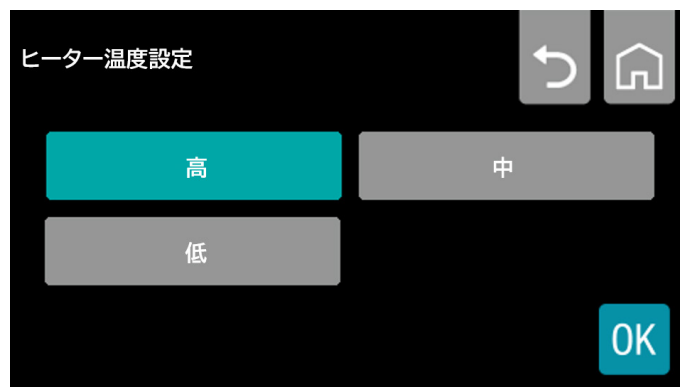
セット時にブロックマーカを引っ張らないでください。正しく検出できない可能性があります。



6-9-10 ヒーターの温度を設定する

ヒーター温度設定【初期値: 中】

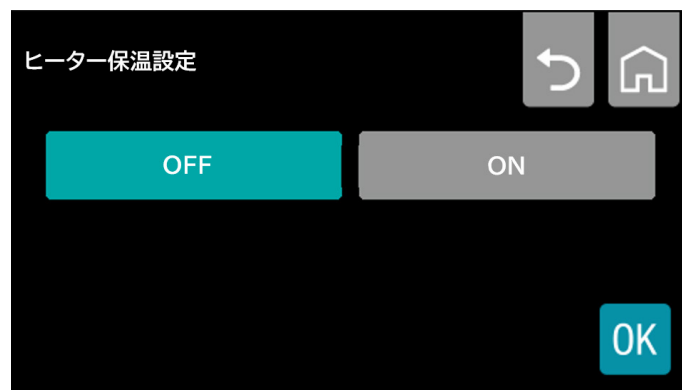
「高」 / 「中」 / 「低」 から選択し、「OK」ボタンを押してください。



6-9-11 ヒーターの保温設定をする

ヒーター保温設定【初期値: OFF】

チューブヒーターを保温状態にします。ヒーターが温まるまでの印刷待機時間を短縮するモードです。OFF/ON から選択し、「OK」ボタンを押してください。



6-10 接続設定

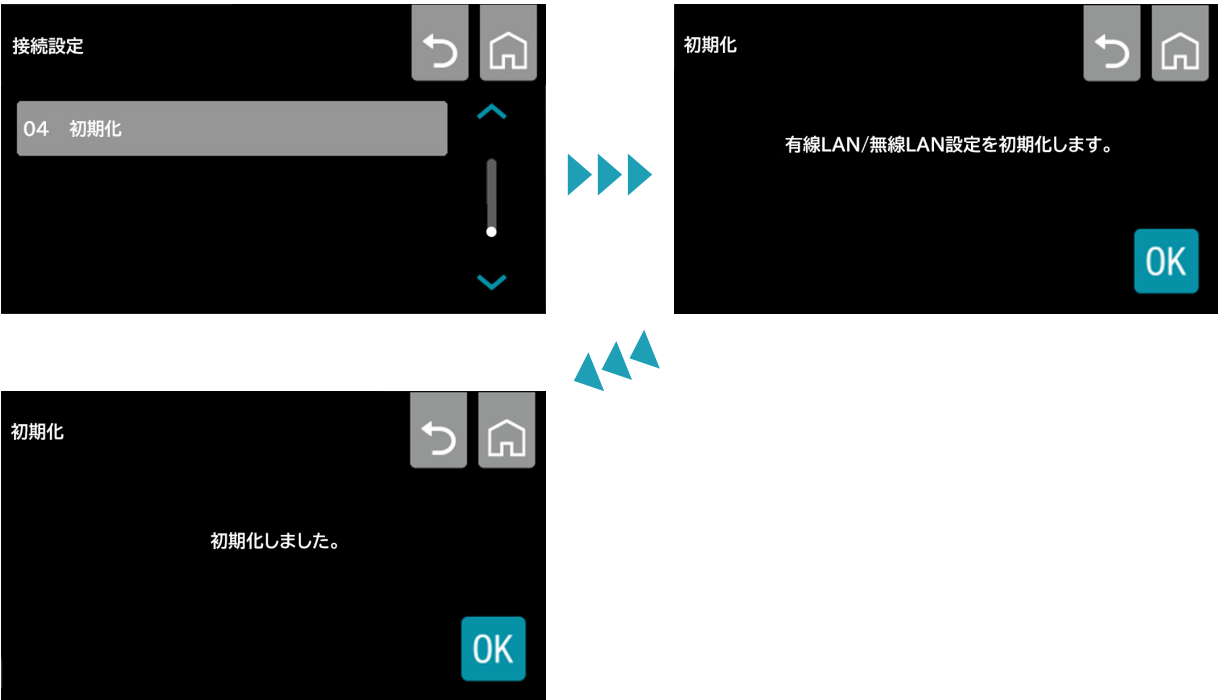


 接続設定	01 通信インターフェース	→ 3-7 本体とパソコンを接続する
	02 有線 LAN 設定	→ 3-7-3 有線LAN接続の設定方法
	03 無線 LAN 設定	→ 3-7-4 無線LAN接続の設定方法
	04 初期化	

6-10-1 LAN設定を初期化する

初期化

有線LAN 設定、無線LAN 設定で設定された各種項目を初期化します。
初期化される設定項目はIP アドレス・デフォルトゲートウェイ・サブネットマスク・SSID・パスワードです。



製品を廃棄時は、無線設定を初期化してください。初期化しないまま廃棄すると無線設定が漏洩するおそれがあります。

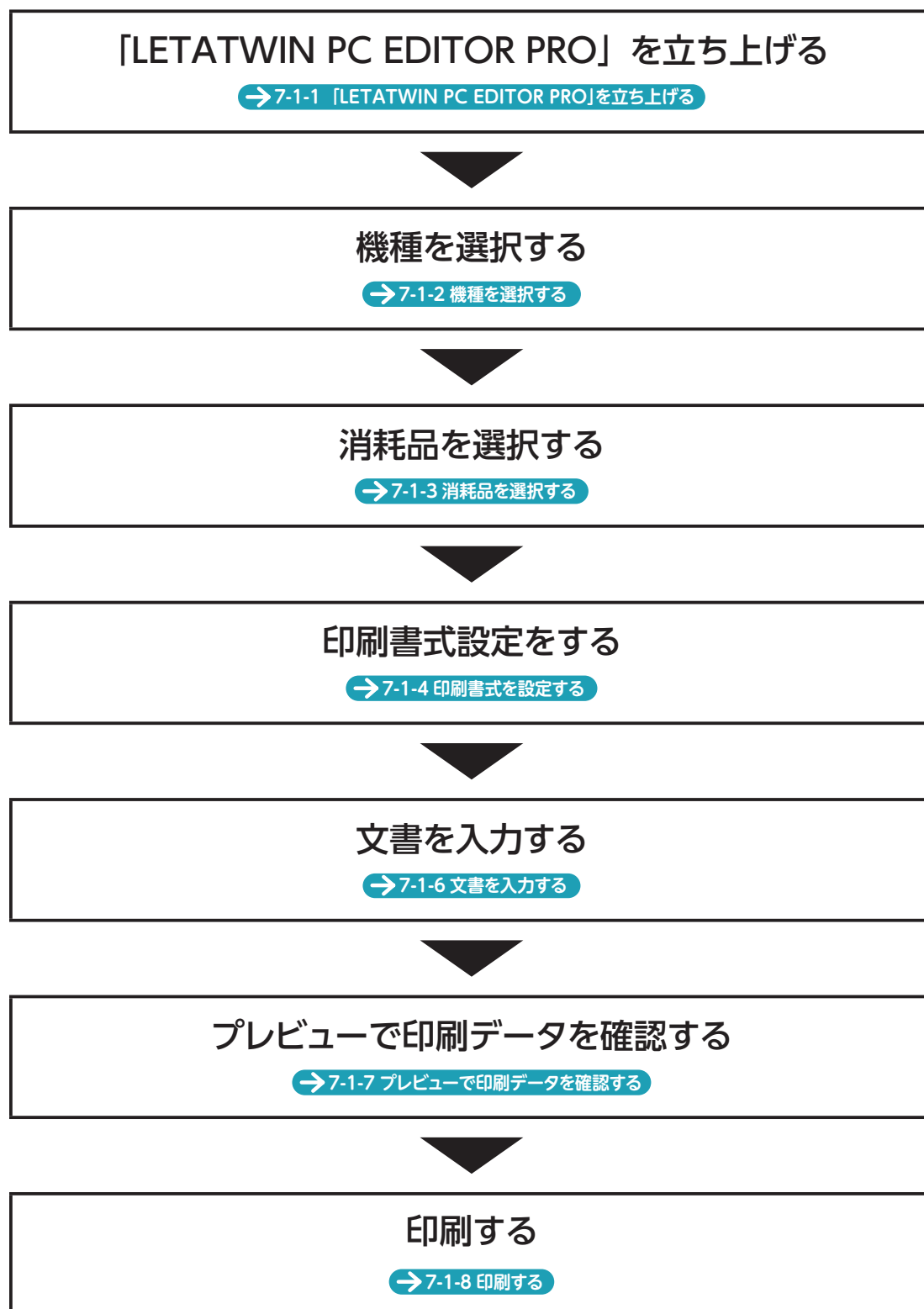
もくじ

第1章
第2章
第3章
第4章
第5章
第6章
第7章
第8章
第9章
第10章
第11章
第12章

第7章. 文字入力から印刷までの基本手順

7-1	「LETATWIN PC EDITOR PRO」基本操作.....	99
7-1-1	「LETATWIN PC EDITOR PRO」を立ち上げる.....	100
7-1-2	機種を選択する.....	100
7-1-3	消耗品を選択する.....	101
7-1-4	印刷書式を設定する.....	102
7-1-5	「LETATWIN PC EDITOR PRO」メイン編集画面構成.....	103
7-1-6	文書を入力する.....	104
7-1-7	プレビューで印刷データを確認する.....	105
7-1-8	印刷する.....	106

7-1 「LETATWIN PC EDITOR PRO」基本操作



7-1-1 「LETATWIN PC EDITOR PRO」を立ち上げる



アイコンをダブルクリックしてください。

「LETATWIN PC EDITOR PRO」が立ち上がります。

7-1-2 機種を選択する

印字データの作成や編集は全て「LETATWIN PC EDITOR PRO」でおこないます。
LM-3000PRO 本体のみで文書を作成することはできません。

1

「LETATWIN PC EDITOR PRO」を起動します。「1.機種設定」画面が開きます。
LM-3000PROを選択し、「次へ」ボタンをクリックしてください。



●「1.機種設定」画面で表示されるモデルは全て「LETATWIN PC EDITOR PRO」でご使用いただけます。

7-1-3 消耗品を選択する

1 「2.消耗品設定」画面ではご使用になる消耗品を選択し、「次へ」ボタンをクリックしてください。



MEMO

- ☆マークをクリックするとお気に入りに登録でき、プルダウンメニューからお気に入りのみ呼び出すことができます。
- UL224規格消耗品は、ULプルダウンメニューから呼び出すことができます。
- 消耗品設定画面に記載のない消耗品は、本製品ではご使用できません。
- グレー色に表示され選択できない消耗品は、「1.機種設定」画面で選択した機種ではご使用になれません。

7-1-4 印刷書式を設定する

- 1 「3.印刷書式設定」画面では各書式を設定し、「OK」ボタンをクリックしてください。

はじめる

1.機種設定 2.消耗品設定 3.印刷書式設定

一覧表示 ガイダンス表示 [?]

表組モード [?] ☒ OFF ☐ ON

ピッチ長 [?] ☐ オート ☒ 指定

文字サイズオート [?] ☒ 通常オート ☐ 拡張オート ☐ 文字幅オート (3.0mm) ☐ OFF(行単位で指定)

ピッチカット [?] ☒ ハーフカット ☐ 実線 ☐ 点線 ☐ OFF

文字方向 [?] ☒ 横書き ☐ 縦書き

文字間隔 [?] ☒ 標準 ☐ 狭い ☐ 密着 ☐ 広い

行間隔 [?] ☒ 標準 ☐ 狭い ☐ 密着 ☐ 広い

印刷フォント [?] ☐ 標準 ☐ 太字 ☒ 明快 ☐ 正方形 ☐ バトナム

6,9装飾 [?] ☒ OFF ☐ ドット ☐ 下線

0スラッシュ [?] ☒ OFF ☐ ON

枠囲み [?] ☒ OFF ☐ ON (標準)

連番印刷順序 [?] ☒ 連続優先 11 22 33 ☐ 連番優先 123 123

OK 戻る

MEMO

- 「印刷書式設定」画面は次のメイン編集画面でも表示、設定することができます。
- 各設定項目は [?] ボタンをクリックしてガイダンス表示から設定することができます。
- 印刷書式設定は、デフォルト設定(初期値)として登録することができます。

→ 8-9 デフォルト設定(初期値)を登録する

<ガイダンス表示>画面

T 印刷書式設定

一覧表示 ガイダンス表示 [?]

表組モード

ピッチ長

文字サイズオート

ピッチカット

文字方向

文字間隔

行間隔

印刷フォント

6,9装飾

0スラッシュ

枠囲み

連番印刷順序

文字サイズオート ※本設定画面の「文字間隔」よりファイル単位で指定してください。

AUTO : 自動
MANUAL : 手動
NARROW : 狭い

文字サイズ 文字幅 文字間隔

通常オート AUTO AUTO NARROW

拡張オート AUTO AUTO AUTO

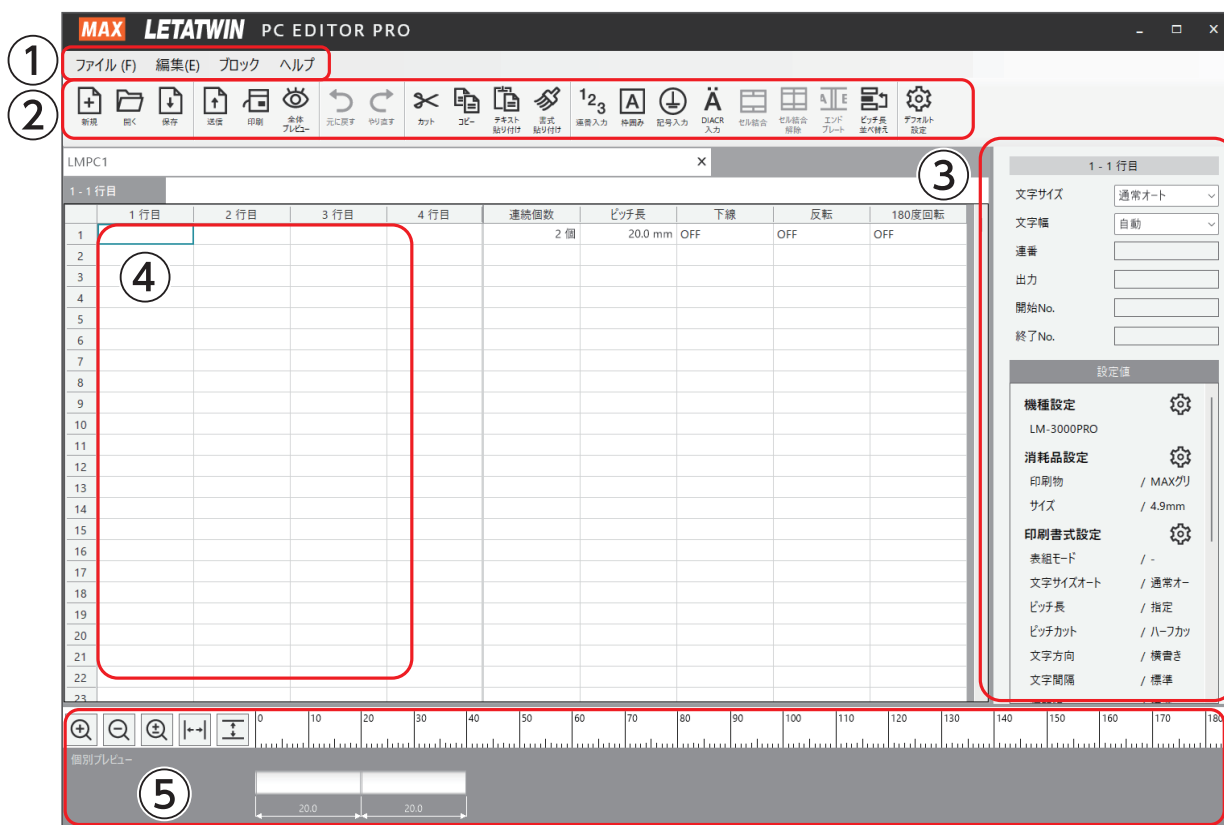
文字幅オート MANUAL AUTO AUTO

3.0mm

OFF(行単位で指定) MANUAL MANUAL MANUAL*

OK キャンセル

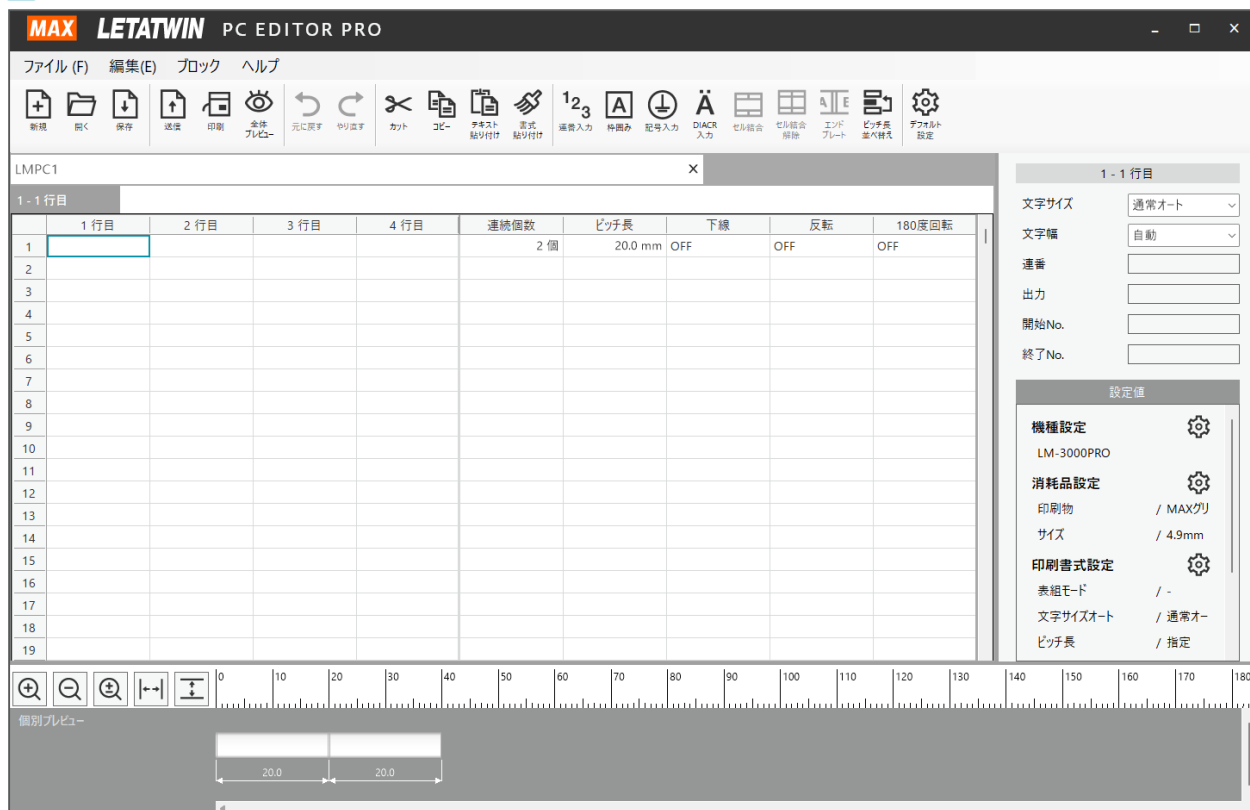
7-1-5 「LETATWIN PC EDITOR PRO」メイン編集画面構成



①	メニューバー
②	ツールバー
③	設定値表示・編集領域
④	文書入力領域
⑤	個別プレビュー表示領域

7-1-6 文書を入力する

- 1 メイン編集画面が開きます。文書を入力します。



【入力例】

以下の印刷物を例に入力を行います。



- 1ブロック目⇒
2ブロック目⇒
3ブロック目⇒

MAX LETATWIN PC EDITOR PRO									
ファイル (F) 編集 (E) ブロック ヘルプ									
LMPC1									
4 - 1 行目									
	1 行目	2 行目	3 行目	4 行目	連続個数	ピッチ長	下線	反転	180度回転
1	A				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
2	B				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
3	C				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF

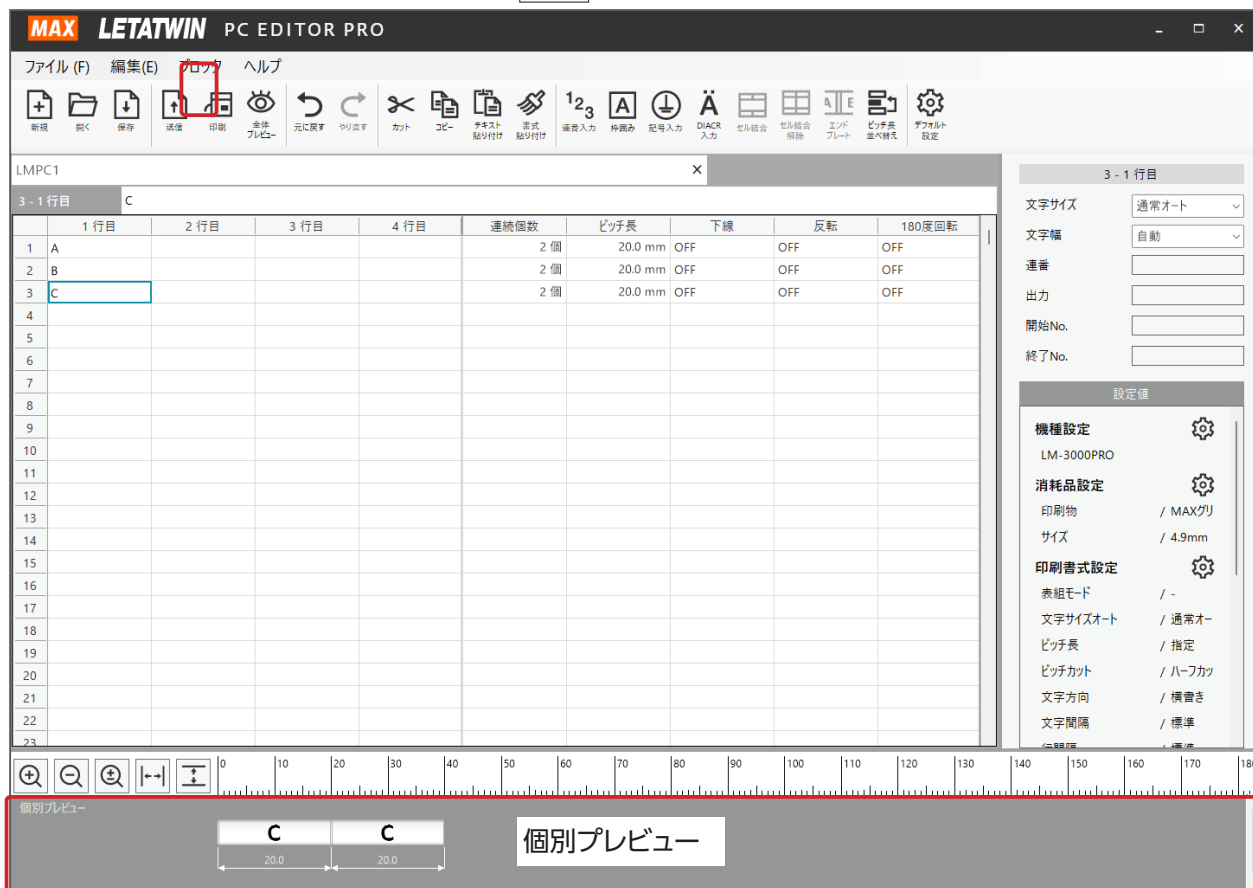
MEMO

- 1つ前のブロックにピッチ長が設定されていない場合、入力することはできません。
- 保存したファイル呼び出して編集することができます。
- 表計算ソフトで作成したCSVファイルを読み込んで編集することができます。
→ 9-3 CSV形式のファイルの取込方法
- 入力できる最大ブロック数はLM-3000 PROは2,000ブロック、LM-550W3/500W3/550W2/500W2は999ブロック、LM-550W/500Wは300ブロックです。

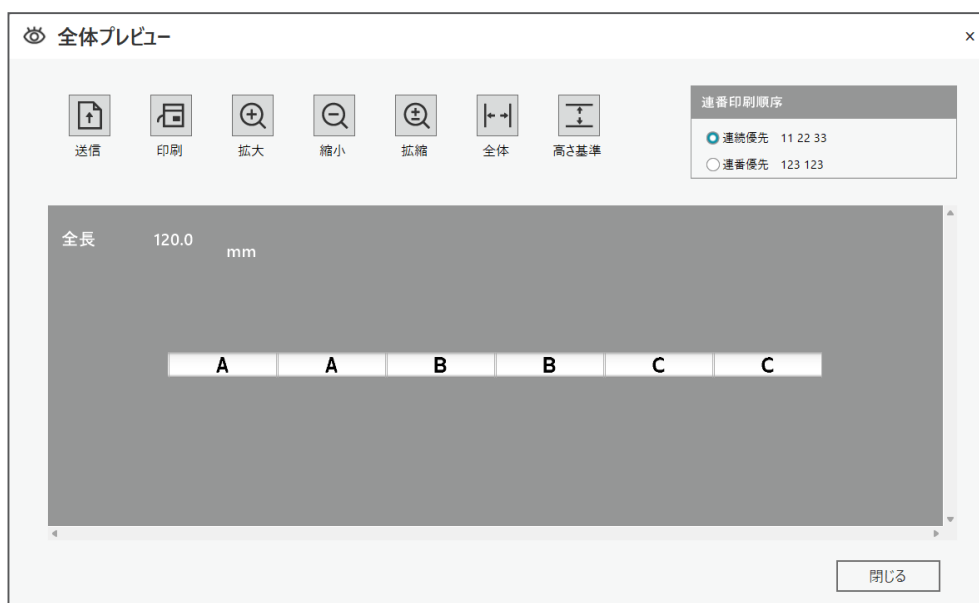
7-1-7 プレビューで印刷データを確認する

個別プレビュー画面で印刷内容を確認することができます。

- 1 全ての入力文書のプレビューを見るには  アイコンをクリックしてください。



<全体プレビュー>画面



7-1-8 印刷する

印刷はメイン編集画面、または全体プレビュー画面から印刷することができます。

- 1  アイコンをクリックします。



- 2 「印刷」ボタンをクリックして印刷します。



※本体から印刷する場合は 6-2 をご参照ください

[→ 6-2 印刷](#)

第8章. 機能を使いこなす

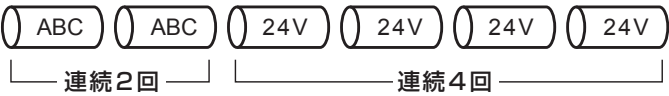
8-1	印刷書式を変更する	109
8-1-1	連続個数を変更する	109
8-1-2	180度回転印刷をする(グリップスリーブ・チューブのみ)	110
8-1-3	反転を設定する	111
8-1-4	アンダーライン(下線)を設定する	112
8-1-5	枠囲みを設定する	113
8-1-6	表を作成する	114
8-1-7	ピッチ長を変更する	119
8-1-8	ピッチ長で並び替える	121
8-1-9	ピッチ長を文字数に応じて自動で変更する	122
8-1-10	文字サイズを自動で変更する	124
8-1-11	文字サイズを固定する	126
8-1-12	ピッチ間のハーフカット/実線・点線の印刷有無を設定する	128
8-1-13	縦書き・横書きを設定する	130
8-1-14	文字間隔を設定する	132
8-1-15	行間隔を設定する	134
8-1-16	書体を変更する	136
8-2	文字の識別性をあげる	138
8-2-1	「6、9」の印字を変える	138
8-2-2	「0(ゼロ)」の文字に斜線を入れる	140
8-2-3	ピリオドを文末に一括で付加する	142
8-2-4	明快書体を使用する	143
8-3	低温時の印刷モードを設定する	144
8-3-1	チューブヒーターを使う	144
8-3-2	印刷速度を下げる	145
8-3-3	印刷濃度を調整する	146
8-4	連番を設定する	147
8-4-1	連番を設定する	147
8-4-2	「連番印刷順序」を設定する	150

8-5	記号/ダイアクリティカル文字を入力する.....	151
8-5-1	電設記号等を入力する.....	151
8-5-2	ダイアクリティカル文字を入力する.....	154
8-6	プレビューを確認する.....	156
8-6-1	個別プレビューを見る.....	156
8-6-2	全体プレビューを見る.....	157
8-7	一括で設定値を変更する(文字サイズ・文字幅・連続個数・ ピッチ長・下線・反転・180度回転).....	158
8-7-1	編集メニューから一括変更する.....	158
8-7-2	「LETATWIN PC EDITOR PRO」の各項目を.....	160
	ダブルクリックして一括変更する.....	160
8-8	印刷の詳細設定をする.....	161
8-8-1	印刷する機械を選択する.....	161
8-8-2	印刷範囲を指定する.....	162
8-8-3	印刷部数を指定する.....	164
8-8-4	印刷全長を補正する.....	165
8-8-5	プリンタ本体、「LETATWIN PC EDITOR PRO」の設定を使い分けて 「LETATWIN PC EDITOR PRO」から印刷する.....	166
8-8-6	カット位置を設定する.....	168
8-8-7	上下印字位置を設定する.....	169
8-8-8	後端空送りを設定する.....	170
8-8-9	先頭空送りを設定する.....	172
8-8-10	部数間余白を設定する.....	173
8-8-11	送り方向印字位置を調整する(ブロックマーカのみ).....	174
8-8-12	mm/inchの表示単位を切り替える.....	175
8-9	デフォルト設定(初期値)を登録する.....	176
8-9-1	「基本設定」を登録する.....	177
8-9-2	「印刷書式設定」を登録する.....	177
8-9-3	「印刷パラメータ設定」を登録する.....	178
8-10	ファイルを保存・送信する.....	180
8-10-1	名前を付けてファイルを保存する.....	180
8-10-2	ファイルを上書き保存する.....	182
8-10-3	ファイルを送信する.....	183
8-10-4	ファイルコメントを登録する.....	184
8-11	両面印字をする.....	186

8-1 印刷書式を変更する

8-1-1 連続個数を変更する

ブロック毎に1～ 300個の範囲で連続印刷個数を設定できます。



1 「連続個数」入力欄をダブルクリックして入力してください。

MAX LETATWIN PC EDITOR PRO

ファイル(F) 編集(E) ブロック ヘルプ

新規 開く 保存 送信 印刷 全体プレビュー

元に戻す やり直す カット コピー テキスト貼り付け 書式貼り付け

通算入力 枠囲み 記号入力 DIACR入力

セル結合 セル結合解除 エンドプレート

ピッチ長並び替え デフォルト設定

LMPC1		X							
2 - 1 行目		24V							
	1 行目	2 行目	3 行目	4 行目	連続個数	ピッチ長	下線	反転	180度回転
1	ABC				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
2	24V				4 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									

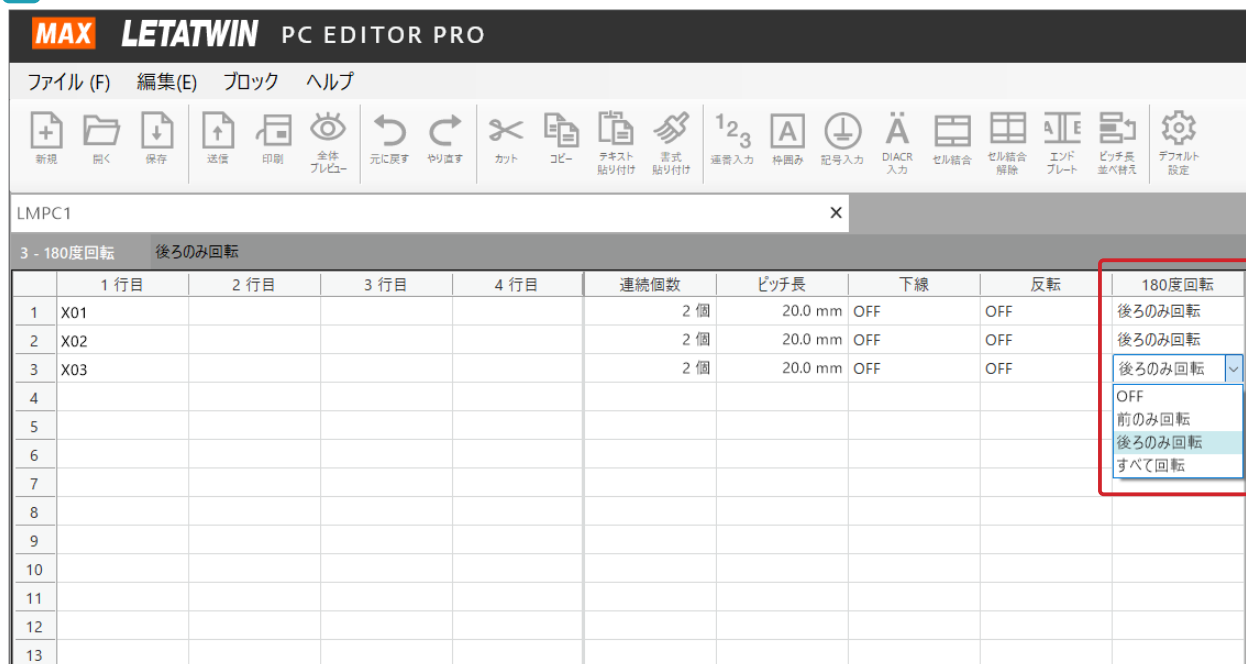
- MEMO
- 連続個数初期値は「デフォルト設定」-「基本設定」-「連続個数」で各種消耗品毎に設定できます。
→ 8-9 デフォルト設定(初期値)を登録する
 - 連続個数は全ブロック一括で変更することができます。
→ 8-7 一括で設定値を変更する(文字サイズ・文字幅・連続個数・ピッチ長・下線・反転・180度回転)
 - 入力文書全体を複数部印刷する場合は「印刷」-「印刷設定」で部数を入力して印刷してください。

8-1-2 180度回転印刷をする(グリップスリーブ・チューブのみ)

対となる1ブロック内の一方または両方を180度回転して印刷します。
「OFF」・「前のみ回転」・「後ろのみ回転」・「全て回転」の4パターンから選択してください。

(X01) (10X) (X02) (20X) (X03) (E0X)

1 「180度回転」から、回転パターンを選択してください。



MEMO

- グリップスリーブ・チューブ以外の消耗品は180度回転を設定することはできません。
- 連続個数が1個、または偶数個に設定されたブロックのみ設定することができます。
- 機種により180度回転の設定方法は異なります。

	180度回転	設定範囲	回転方式	設定画面	連続個数入力制限
LM-3000	○	ブロック毎	前のみ / 後ろのみ / 両方	メイン編集画面	偶数個入力
※ LM-550W3/500W3/ 550W2/500W2	○	文書全体	後ろのみ	印刷画面	なし
LM-550W/500W	×				



注意

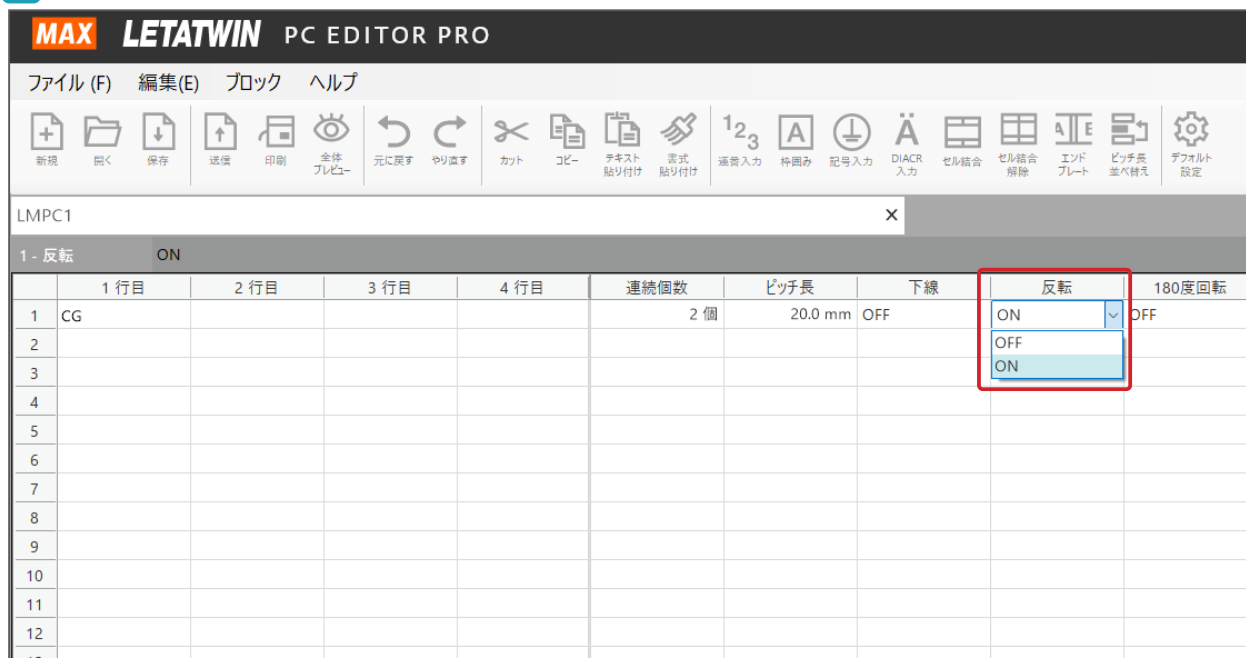
LM-550W3/500W3/550W2/500W2は、180度回転したものは自動で複製され、2倍の数量で印刷されます。連続個数を半分に設定して印刷してください。

8-1-3 反転を設定する

印刷領域を塗りつぶし、入力されている文字を抜き文字として印刷します。



1 「反転」をONに設定してください。



MEMO

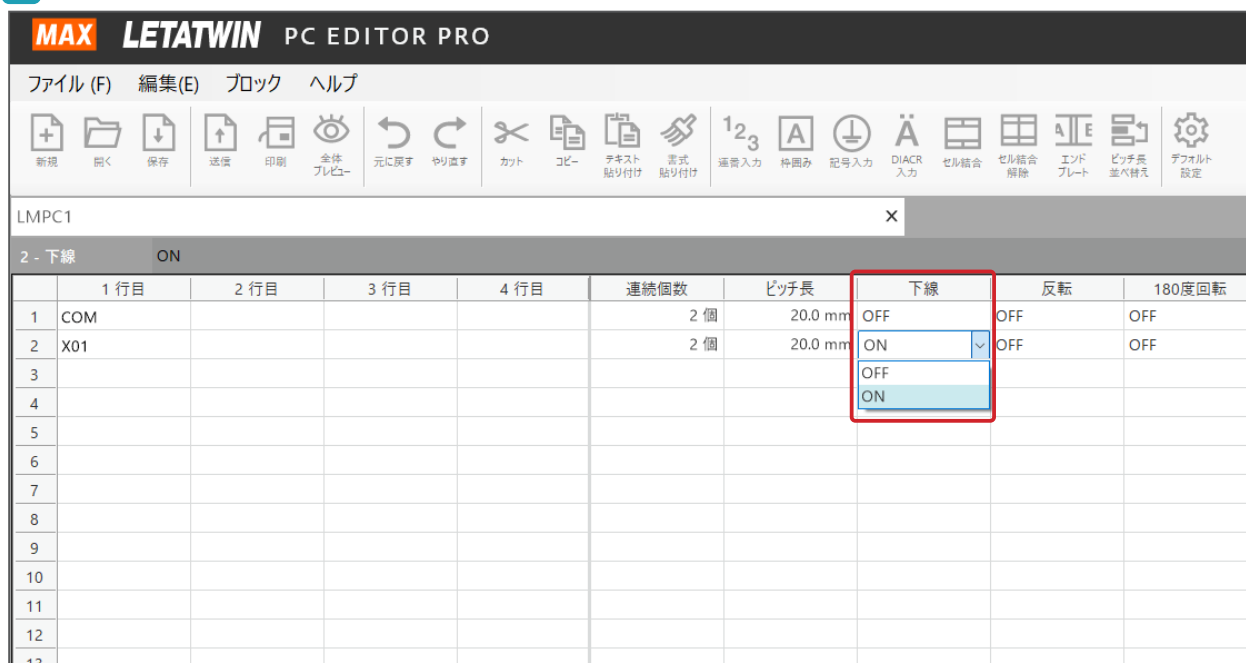
- 反転印刷はブロック毎に設定できます。
- 反転印刷は文書全体に一括で設定することができます。
→ 8-7 一括で設定値を変更する(文字サイズ・文字幅・連続個数・ピッチ長・下線・反転・180度回転)
- 反転印刷時、印刷物にインクリボンが貼りついてしまうなど印字不良の原因となることがあります。
その場合は印字濃度を低く設定することをおすすめします。
→ 6-9-1 印字濃度を設定する

8-1-4 アンダーライン(下線)を設定する

ブロックごとにアンダーライン(下線)を設定できます。

COM COM X01 X01

1 「下線」をONに設定してください。



MEMO

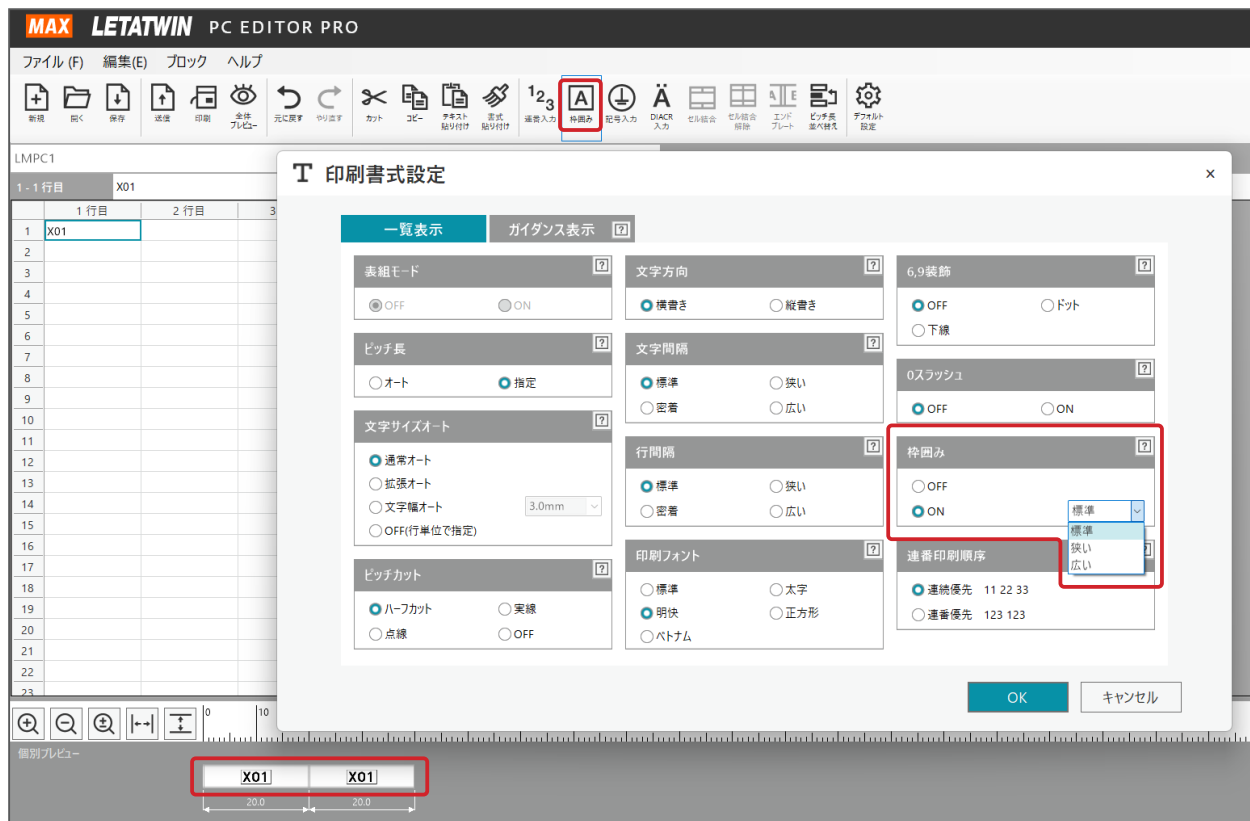
- アンダーラインは文書全体に一括で設定することができます。
→ 8-7 一括で設定値を変更する(文字サイズ・文字幅・連続個数・ピッチ長・下線・反転・180度回転)
- アンダーラインはブロック毎に設定することができますが、ブロック内の特定の文字だけ設定することはできません。
- アンダーラインは枠囲みや反転が設定されている場合、印刷されません。

8-1-5 枠囲みを設定する

文書すべてに枠囲みを設定します。



アイコンをクリック、または「印刷書式設定」画面内「枠囲み」欄で設定してください。



MEMO

●「印刷書式設定」から、枠囲みの広さを3パターンから選択することができます。(狭い・標準・広い)

なし ABC 狭い ABC 標準 ABC 広い ABC

●ブロック毎に設定することは出来ません。

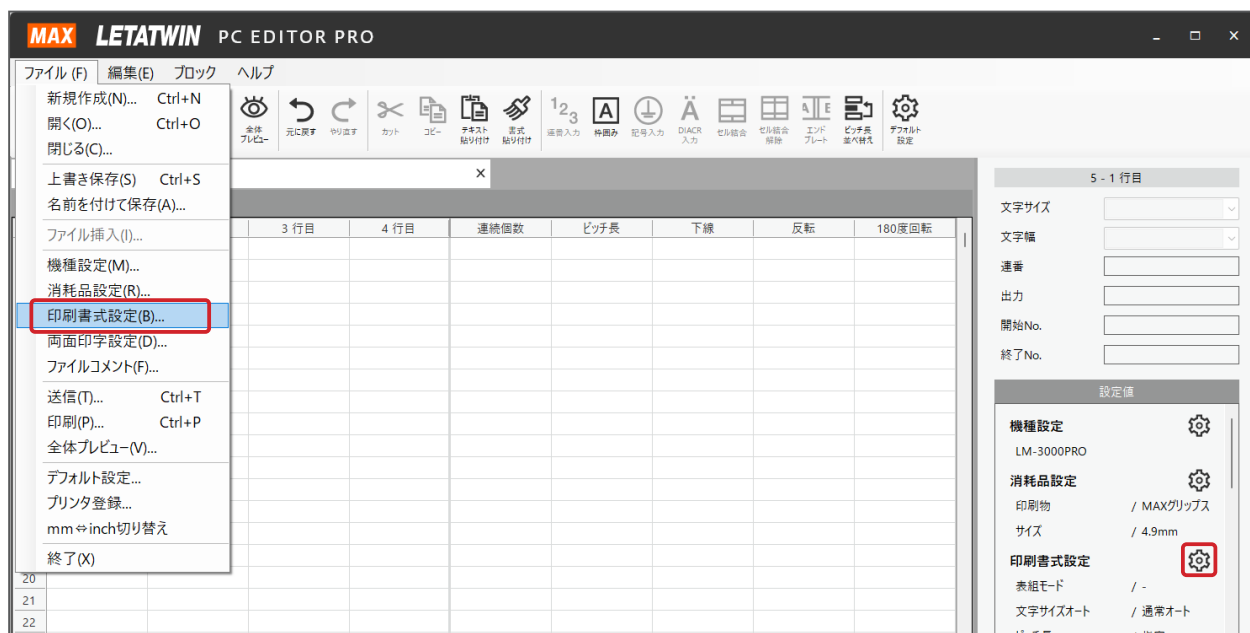
●1ブロック内の特定の文字だけ設定することはできません。

8-1-6 表を作成する

記名板、テープ消耗品選択時のみ、表を作成することができます。

1	2	3	4	5
A	B	C	D	E

- 1 「LETATWIN PC EDITOR PRO」内「ファイル」-「印刷書式設定」を選択します。
印刷書式設定画面を表示するには、メイン編集画面「ファイル」⇒「印刷書式設定」または、画面右側の「印刷書式設定」項目の  ボタンをクリックしてください。



- 2 「表組モード」を「ON」に設定し、「OK」ボタンをクリックしてください。
「表組モード」が「ON」に設定されると、ブロック間、行間に実線が入ります。



3 ガイダンス表示画面から設定することができます。

T 印刷書式設定

一覧表示

ガイダンス表示

表組モード

ピッチ長

文字サイズオート

ピッチカット

文字方向

文字間隔

行間隔

印刷フォント

6,9装飾

0スラッシュ

枠囲み

連番印刷順序

表組モード

「テーブル」「記録板」選択時のみ使用できます。

ON: 1. ライン挿入 2. セル結合 3. エンドプレート挿入

OFF

ON

1.

	Line 1	Line 2	Line 3
1	A1	1	
2	A2	2	
3	A3	3	

A1	A2	A3
1	2	3

2.

	Line 1	Line 2	Line 3
1	24V DC	M1	1
2		M2	2
3			3

24V DC		
M1	M2	
1	2	3

3.

	Line 1	Line 2	Line 3
1	A1	1	
2			
3	A2	2	

A1	A2
1	2

OK

キャンセル

第8章 機能を使いこなす

115

セルの結合方法

24V				
1	2	3	4	5

- 1 結合したいセルを選択し、 アイコンをクリックします。

MAX LETATWIN PC EDITOR PRO

ファイル(F) 編集(E) ブロック ヘルプ

新規 開く 保存 送信 印刷 全体プレビュー 元に戻す やり直す カット コピー テキスト貼り付け 罫線貼り付け 通貨入力 枠組み 記号入力 DIACR入力 **セル結合** セル結合解除 エンドプレート ピッチ長並べ替え デフォルト設定

LMPC1

1 - 1 行目 24V

	1 行目	2 行目	3 行目	4 行目	連続個数	ピッチ長	下線	反転	180度回転
1	24V	1			1 個	10.0 mm	OFF	OFF	OFF
2		2			1 個	10.0 mm	OFF	OFF	OFF
3		3			1 個	10.0 mm	OFF	OFF	OFF
4		4			1 個	10.0 mm	OFF	OFF	OFF
5		5			1 個	10.0 mm	OFF	OFF	OFF
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									

- 2 セルが結合されました。

MAX LETATWIN PC EDITOR PRO

ファイル(F) 編集(E) ブロック ヘルプ

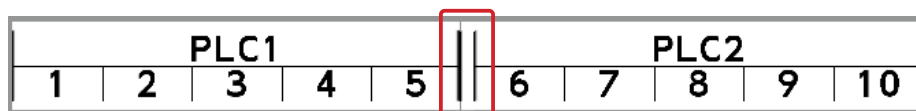
新規 開く 保存 送信 印刷 全体プレビュー 元に戻す やり直す カット コピー テキスト貼り付け 罫線貼り付け 通貨入力 枠組み 記号入力 DIACR入力 **セル結合** セル結合解除 エンドプレート ピッチ長並べ替え デフォルト設定

LMPC1

1 - 1 行目 24V

	1 行目	2 行目	3 行目	4 行目	連続個数	ピッチ長	下線	反転	180度回転
1	24V	1			1 個	10.0 mm	OFF	OFF	OFF
2		2			1 個	10.0 mm	OFF	OFF	OFF
3		3			1 個	10.0 mm	OFF	OFF	OFF
4		4			1 個	10.0 mm	OFF	OFF	OFF
5		5			1 個	10.0 mm	OFF	OFF	OFF
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									

エンドプレート(スペース)の設定



- 1 エンドプレートを設定したいブロックを選択し、 アイコンをクリックします。

MAX LETATWIN PC EDITOR PRO

ファイル(F) 編集(E) ブロック ヘルプ

新規 開く 保存 送信 印刷 全体表示 元に戻す やり直す カット コピー テキスト貼り付け 書式貼り付け 逆置入力 枠囲み 記号入力 DIACR入力 ゼル結合 ゼル結合解除 エンドプレート ビッチ長並べ替え デフォルト設定

LMPC1

6 - 1 行目

	1 行目	2 行目	3 行目	4 行目	連続個数	ビッチ長	下線	反転	180度回転
1	PLC1	1			1 個	10.0 mm	OFF	OFF	OFF
2		2			1 個	10.0 mm	OFF	OFF	OFF
3		3			1 個	10.0 mm	OFF	OFF	OFF
4		4			1 個	10.0 mm	OFF	OFF	OFF
5		5			1 個	10.0 mm	OFF	OFF	OFF
6					1 個	10.0 mm	OFF	OFF	OFF
7	PLC2	6			1 個	10.0 mm	OFF	OFF	OFF
8		7			1 個	10.0 mm	OFF	OFF	OFF
9		8			1 個	10.0 mm	OFF	OFF	OFF
10		9			1 個	10.0 mm	OFF	OFF	OFF
11		10			1 個	10.0 mm	OFF	OFF	OFF
12									
13									
14									
15									

- 2 エンドプレートが設定されました。

MAX LETATWIN PC EDITOR PRO

ファイル(F) 編集(E) ブロック ヘルプ

新規 開く 保存 送信 印刷 全体表示 元に戻す やり直す カット コピー テキスト貼り付け 書式貼り付け 逆置入力 枠囲み 記号入力 DIACR入力 ゼル結合 ゼル結合解除 エンドプレート ビッチ長並べ替え デフォルト設定

LMPC1

6 - 1 行目

	1 行目	2 行目	3 行目	4 行目	連続個数	ビッチ長	下線	反転	180度回転
1	PLC1	1			1 個	10.0 mm	OFF	OFF	OFF
2		2			1 個	10.0 mm	OFF	OFF	OFF
3		3			1 個	10.0 mm	OFF	OFF	OFF
4		4			1 個	10.0 mm	OFF	OFF	OFF
5		5			1 個	10.0 mm	OFF	OFF	OFF
6					1 個	1.5 mm	OFF	OFF	OFF
7	PLC2	6			1 個	10.0 mm	OFF	OFF	OFF
8		7			1 個	10.0 mm	OFF	OFF	OFF
9		8			1 個	10.0 mm	OFF	OFF	OFF
10		9			1 個	10.0 mm	OFF	OFF	OFF
11		10			1 個	10.0 mm	OFF	OFF	OFF
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									

個別プレビュー

MEMO

- 表組モードは3行まで作成することができます。
- 「全体プレビュー」で表全体を見ることができます。
- エンドプレートに設定されたブロックは文字の入力はできません。
- エンドプレートのピッチ長は1.0～5.0mmの範囲で設定することができます。
エンドプレートは結合されたブロックに設定することはできません。
- セル結合の組み合わせパターンによって、作成が出来ない場合があります。
- オレンジ色で表示されるエラーがある場合、印刷することはできません。
- セル結合時、前ブロックのピッチ長が設定されていない場合はセル結合することができません。ピッチ長を先に入力してからセル結合を行ってください。
- “印刷高さオーバー”のエラー表示が出る場合は、対象セルの文字高さを小さくしてください。
- 結合例について

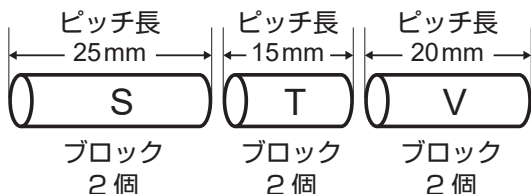
→12-1 「LETATWIN PC EDITOR PRO」表作成方法詳細

8-1-7 ピッチ長を変更する

ピッチ長はブロック毎、または一括で変更することができます。

→ 8-7 一括で設定値を変更する(文字サイズ・文字幅・連続個数・ピッチ長・下線・反転・180度回転)

＜ブロック毎に異なるピッチ長を設定する＞



1 変更するブロックの「ピッチ長」欄セルをダブルクリックし、「15.0」と入力します。

MAX LETATWIN PC EDITOR PRO

ファイル(F) 編集(E) ブロック ヘルプ

新規 開く 保存 送信 印刷 全体プレビュー 元に戻す やり直す カット コピー テキスト貼り付け 書式貼り付け 通変入力 枠囲み 記号入力 DIACR入力 ゼル結合 ゼル結合解除 エンドプレート ピッチ長さ変更 デフォルト設定

LMPC1 X

2 - ピッチ長 20.0

	1 行目	2 行目	3 行目	4 行目	連続個数	ピッチ長	下線	反転	180度回転
1	S				2 個	25.0 mm	OFF	OFF	OFF
2	T				2 個	15.0	OFF	OFF	OFF
3	V				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									

2 変更したいブロックのみピッチ長が変更されました。

MAX LETATWIN PC EDITOR PRO

ファイル(F) 編集(E) ブロック ヘルプ

新規 開く 保存 送信 印刷 全体プレビュー 元に戻す やり直す カット コピー テキスト貼り付け 書式貼り付け 通変入力 枠囲み 記号入力 DIACR入力 ゼル結合 ゼル結合解除 エンドプレート ピッチ長さ変更 デフォルト設定

LMPC1 X

2 - 1 行目 T

	1 行目	2 行目	3 行目	4 行目	連続個数	ピッチ長	下線	反転	180度回転
1	S				2 個	25.0 mm	OFF	OFF	OFF
2	T				2 個	15.0 mm	OFF	OFF	OFF
3	V				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									

●機種別消耗品別ピッチ長設定可能範囲(mm)

	LM-3000PRO	LM-550W3	LM-500W3	LM-550W2	LM-500W2	LM-550W	LM-500W
MAX グリップスリーブ	10.0～150.0						
MAX グリップチューブ	10.0～150.0	10.0～60.0	10.0～60.0	10.0～60.0	10.0～60.0		
MAX チューブ	10.0～150.0	10.0～60.0	10.0～60.0	10.0～60.0	10.0～60.0	10.0～60.0	10.0～60.0
熱収縮チューブ	5.0～500.0	10.0～60.0	10.0～60.0	10.0～60.0	10.0～60.0	10.0～60.0	10.0～60.0
一般チューブ	10.0～150.0	10.0～60.0	10.0～60.0	10.0～60.0	10.0～60.0	10.0～60.0	10.0～60.0
MAX ID プレート	4.0～60.0						
MAX テープ	3.5～99.0	3.5～60.0	3.5～60.0	3.5～60.0	3.5～60.0	4.0～60.0	4.0～60.0
デバイスラベル		設定不可		設定不可		設定不可	
一般ラベル		設定不可		設定不可		設定不可	
MAX 記名板	2.5～99.0	2.5～60.0		2.5～60.0	2.5～60.0	2.5～60.0	
一般記名板	2.5～99.0	2.5～60.0		2.5～60.0	2.5～60.0	2.5～60.0	
ブロックマーカー	設定不可						



●ピッチ長初期値は「デフォルト設定」－「ピッチ長」項目で各種消耗品毎に設定することができます。

機種毎のピッチ長を変更できる回数は以下のとおりです。

機種名	ピッチ長変更可能回数
LM-3000PRO	2000
LM-550W3 / 500W3 / 550W2 / 500W2	999
LM-550W / 500W	5

8-1-8 ピッチ長で並び替える

1



アイコンを選択してください。

「編集」-「ピッチ長並び替え」でも同様の作業ができます。

MAX LETATWIN PC EDITOR PRO

ファイル(F) 編集(E) ブロック ヘルプ

新規 開く 保存 送信 印刷 全体プレビュー 元に戻す やり直す カット コピー テキスト貼り付け 書式貼り付け 通算入力 枠組み 記号入力 DIACR入力 セル結合 セル結合解除 エンドプレート **ピッチ長並び替え** デフォルト設定

LMPC1

10 - 1 行目	COM	1 行目	2 行目	3 行目	4 行目	連続個数	ピッチ長	下線	反転	180度回転
1	X01					2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
2	X02					2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
3	X03					2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
4	COM					2 個	30.0 mm	OFF	OFF	OFF
5	COM					2 個	30.0 mm	OFF	OFF	OFF
6	X04					2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
7	X05					2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
8	X06					2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
9	COM					2 個	30.0 mm	OFF	OFF	OFF
10	COM					2 個	30.0 mm	OFF	OFF	OFF
11										
12										
13										

2

並び替えされました。

MAX LETATWIN PC EDITOR PRO

ファイル(F) 編集(E) ブロック ヘルプ

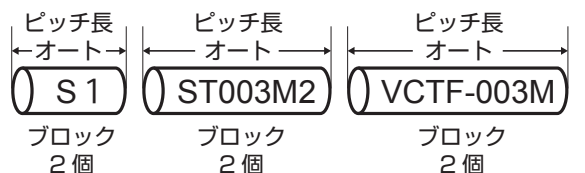
新規 開く 保存 送信 印刷 全体プレビュー 元に戻す やり直す カット コピー テキスト貼り付け 書式貼り付け 通算入力 枠組み 記号入力 DIACR入力 セル結合 セル結合解除 エンドプレート **ピッチ長並び替え** デフォルト設定

LMPC1

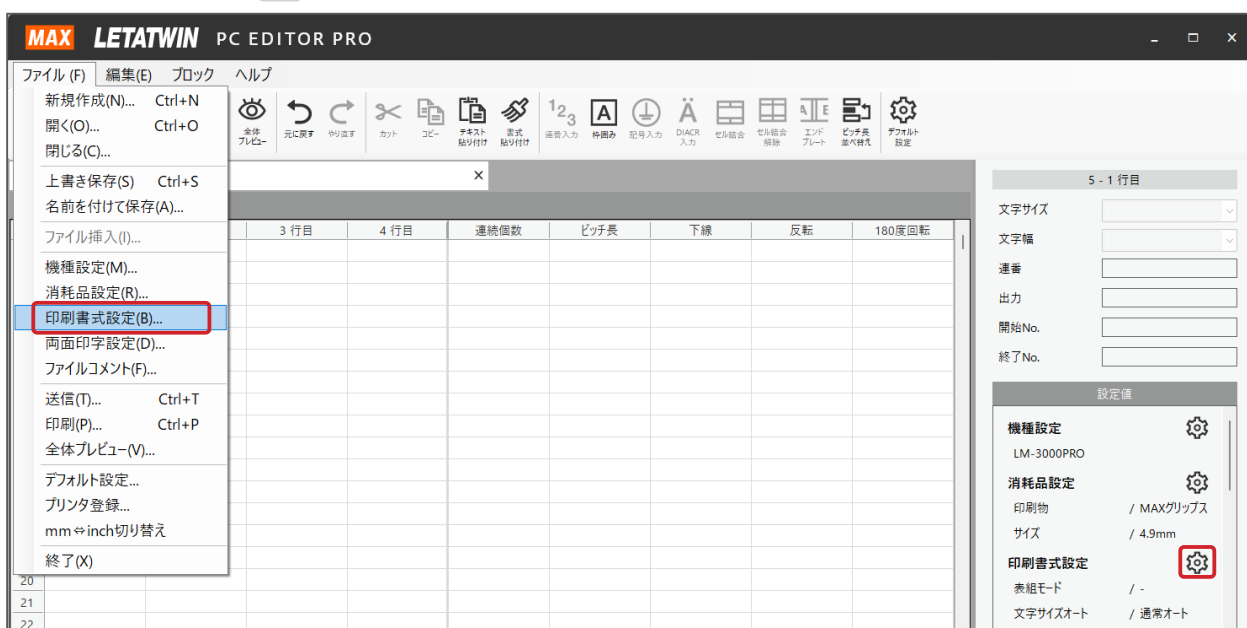
10 - 1 行目	COM	1 行目	2 行目	3 行目	4 行目	連続個数	ピッチ長	下線	反転	180度回転
1	X01					2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
2	X02					2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
3	X03					2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
4	X04					2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
5	X05					2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
6	X06					2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
7	COM					2 個	30.0 mm	OFF	OFF	OFF
8	COM					2 個	30.0 mm	OFF	OFF	OFF
9	COM					2 個	30.0 mm	OFF	OFF	OFF
10	COM					2 個	30.0 mm	OFF	OFF	OFF
11										
12										
13										

8-1-9 ピッチ長を文字数に応じて自動で変更する

ピッチ長オートとは、入力された文字数に応じてピッチ長を自動で調整する機能です。
ピッチ長オートは文書全体に設定され、ブロック毎に設定することはできません。



- 印刷書式設定画面を表示するには、メイン編集画面「ファイル」⇒「印刷書式設定」または、画面右側の「印刷書式設定」項目の  ボタンをクリックしてください。



- 2 「ピッチ長」を「オート」、「文字サイズオート」を「OFF」に設定し「OK」ボタンをクリックします。
 [?] ボタンをクリックするとガイダンスが表示されます。

MEMO

●ピッチ長オート機能は、「文字サイズオート」機能と同時に使用することはできません。
 「文字サイズオート」機能を「OFF」にしてご使用ください。

T 印刷書式設定

一覧表示 ガイダンス表示 [?]

表組モード [?]
☒ OFF ☐ ON

ピッチ長 [?]
☒ オート ☐ 指定

文字サイズオート [?]
☐ 通常オート
☐ 拡張オート
☐ 文字幅オート 3.0mm
☒ OFF(行単位で指定)

ピッチカット [?]
☒ ハーフカット ☐ 実線
☐ 点線 ☐ OFF

文字方向 [?]
☒ 横書き ☐ 縦書き

文字間隔 [?]
☒ 標準 ☐ 狭い
☐ 密着 ☐ 広い

行間隔 [?]
☒ 標準 ☐ 狭い
☐ 密着 ☐ 広い

印刷フォント [?]
☐ 標準 ☐ 太字
☒ 明快 ☐ 正方形
☐ ベトナム

6,9装飾 [?]
☒ OFF ☐ ドット
☐ 下線

0スラッシュ [?]
☒ OFF ☐ ON

枠囲み [?]
☒ OFF ☐ ON 標準

連番印刷順序 [?]
☒ 連続優先 11 22 33
☐ 連番優先 123 123

OK キャンセル

T 印刷書式設定

一覧表示 ガイダンス表示 [?]

表組モード

ピッチ長

文字サイズオート

ピッチカット

文字方向

文字間隔

行間隔

印刷フォント

6,9装飾

0スラッシュ

枠囲み

連番印刷順序

ピッチ長 オートにする文字数にしたがってピッチ長が変化します。
 ※ピッチ長はメイン編集画面の「ピッチ長」欄に入力してください。

☒ オート

AAA BBBB

☐ 指定

AAA BBBB

OK キャンセル

MEMO

●ピッチ長オート設定時の最小ピッチ長は各消耗品の最小ピッチ長が適用されます。
 → 8-9 デフォルト設定(初期値)を登録する

8-1-10 文字サイズを自動で変更する

文字サイズオート機能は、入力された文字数に応じて文字高さ・文字幅・文字間・行間をブロック単位で変更します。文字サイズオートの設定は以下4パターンあります。

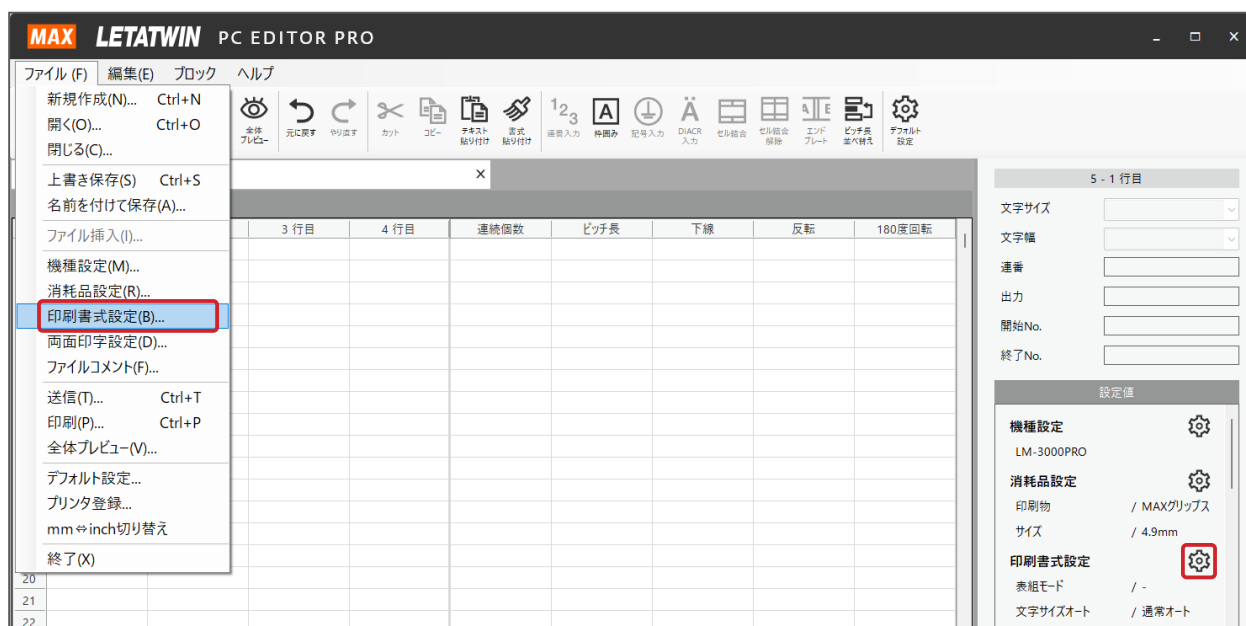
	文字高さ	文字幅	文字間・行間
通常オート	自動調整	自動調整	狭い
拡張オート	自動調整	自動調整	自動調整
幅オート	固定(手動)	自動調整	自動調整
OFF	固定(手動)	固定(手動)	固定(手動)

初期値は「通常オート」で、印刷物のサイズやピッチ長に合わせ最適な文字高さに自動設定します。設定できる文字高さは以下の通りです。

6.0mm	24V	3.0mm	24V	2.0mm	24V
4.0mm	24V	2.4mm (英数、 一部の記号のみ)	24V	1.3mm	24V

1 「文字サイズオート」の設定は「印刷書式設定」画面から設定することができます。

「印刷書式設定」画面を表示するには、メイン編集画面「ファイル」⇒「印刷書式設定」または、画面右側の「印刷書式設定」項目の  ボタンをクリックしてください。



- 2 「印刷書式設定」-「文字サイズオート」欄から文字サイズオートのパターンを選択し、「OK」ボタンをクリックしてください。

MEMO

- 「文字高さ」を2.4mmで設定したブロックに英数字・一部の記号以外の文字(ひらがな、カタカナ、漢字等)がある場合は、その行のすべての文字を2.0mmで印刷します。
- ピッチ長：オートの場合、文字サイズ「オート」は設定できません。
- 2.4mmで使用できる記号一覧

!	エクスクラメーションマーク	/	スラッシュ
?	クエスチョンマーク	*	アスタリスク
#	シャープ	+	プラス
(	左かっこ	-	マイナス
)	右かっこ		スペース
~	チルダ	,	カンマ
=	イコール	.	ドット

- オート機能(通常オート・拡張オート・幅オート・OFF)をデフォルト設定することができます。

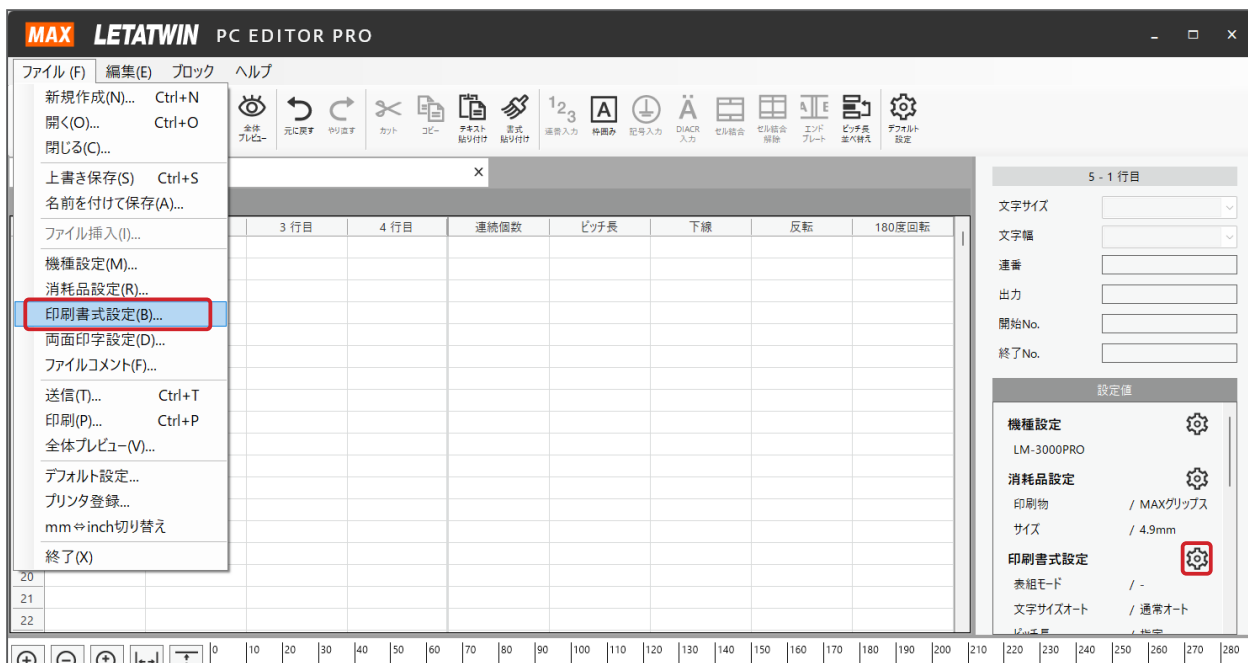
→ 8-9 デフォルト設定(初期値)を登録する

※LM-550W/500Wは拡張オート・文字幅オートの機能を使うことは出来ません。

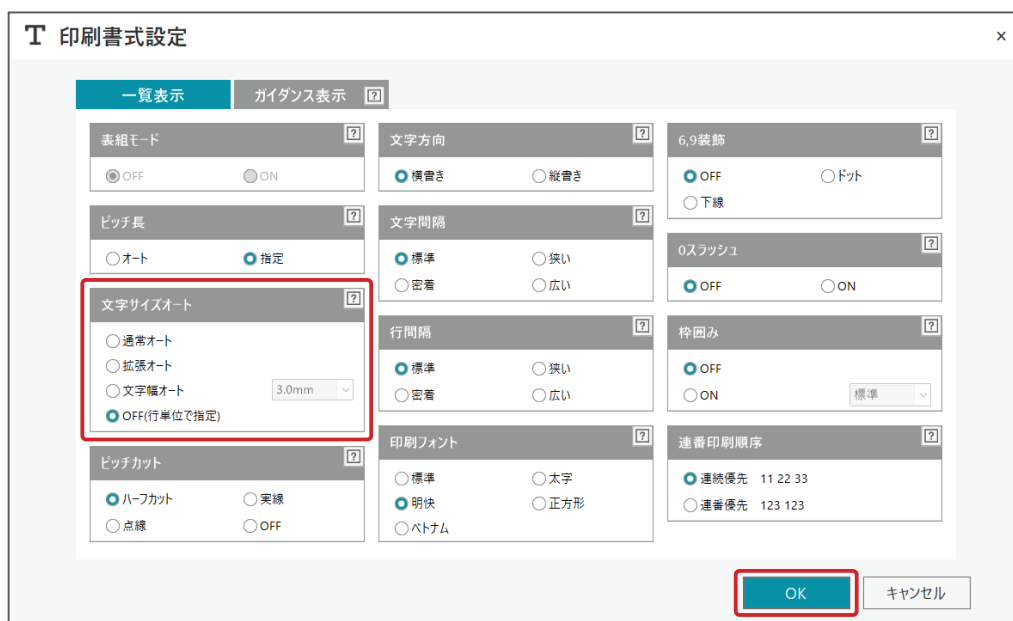
8-1-11 文字サイズを固定する

文字サイズ(高さ)を固定して使う場合は、「文字サイズオート」の設定を「OFF」にしてご使用ください。

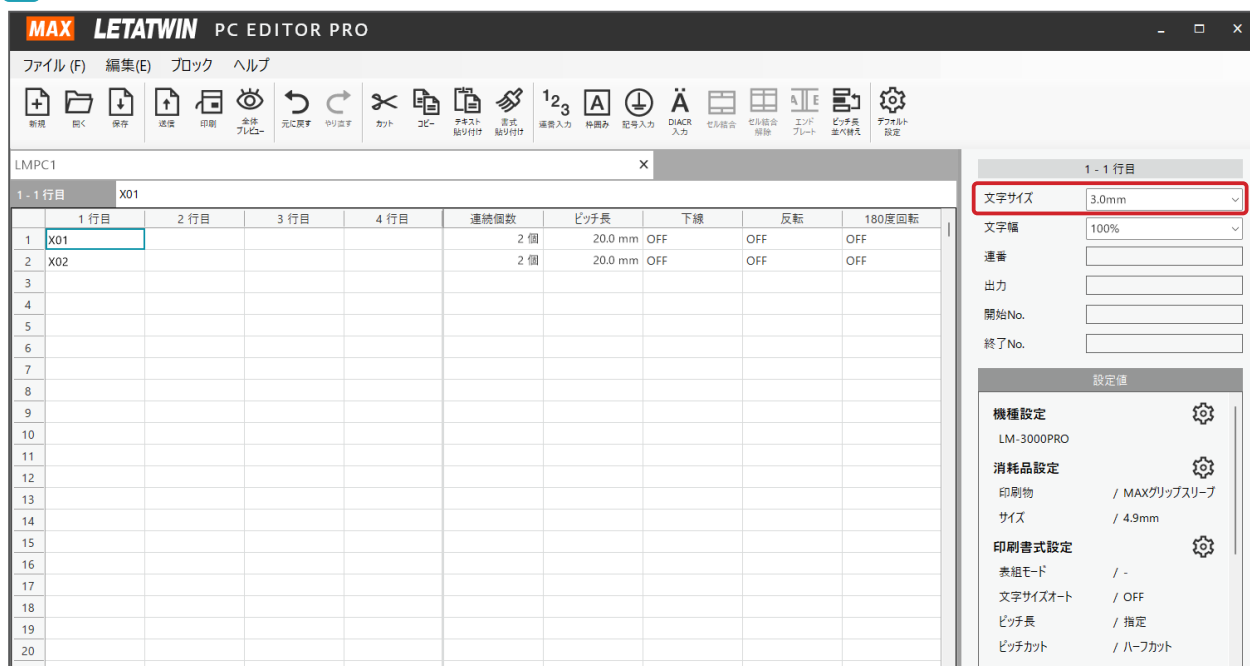
- 1 「文字サイズオート」-「OFF」の設定は「印刷書式設定」画面から設定することができます。
「印刷書式設定」画面を表示するには、メイン編集画面「ファイル」⇒「印刷書式設定」または、画面右側の「印刷書式設定」項目の  ボタンをクリックしてください。



- 2 「印刷書式設定」-「文字サイズオート」欄 -「OFF」を選択し、「OK」ボタンをクリックしてください。



3 文字サイズはブロック毎に設定することができます。

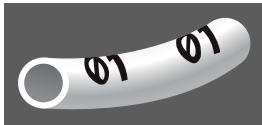


MEMO

- 文字サイズオートを「OFF」にした場合、印刷物のサイズ、ピッチ長により印刷高さオーバーのエラーメッセージが表示されることがあります。その場合は文字高さを小さくしてください。
- 文字サイズは一括で変更することができます。
→ 8-7 一括で設定値を変更する(文字サイズ・文字幅・連続個数・ピッチ長・下線・反転・180度回転)
- 文字サイズオートの設定を初期値として登録することができます。
→ 8-9 デフォルト設定(初期値)を登録する
- 文字幅オートは文字高さを固定し、文字数に応じて文字幅を自動調整します。

8-1-12 ピッチ間のハーフカット/実線・点線の印刷有無を設定する

ピッチ間のカット・印字形式は以下 4 パターンから選択できます。

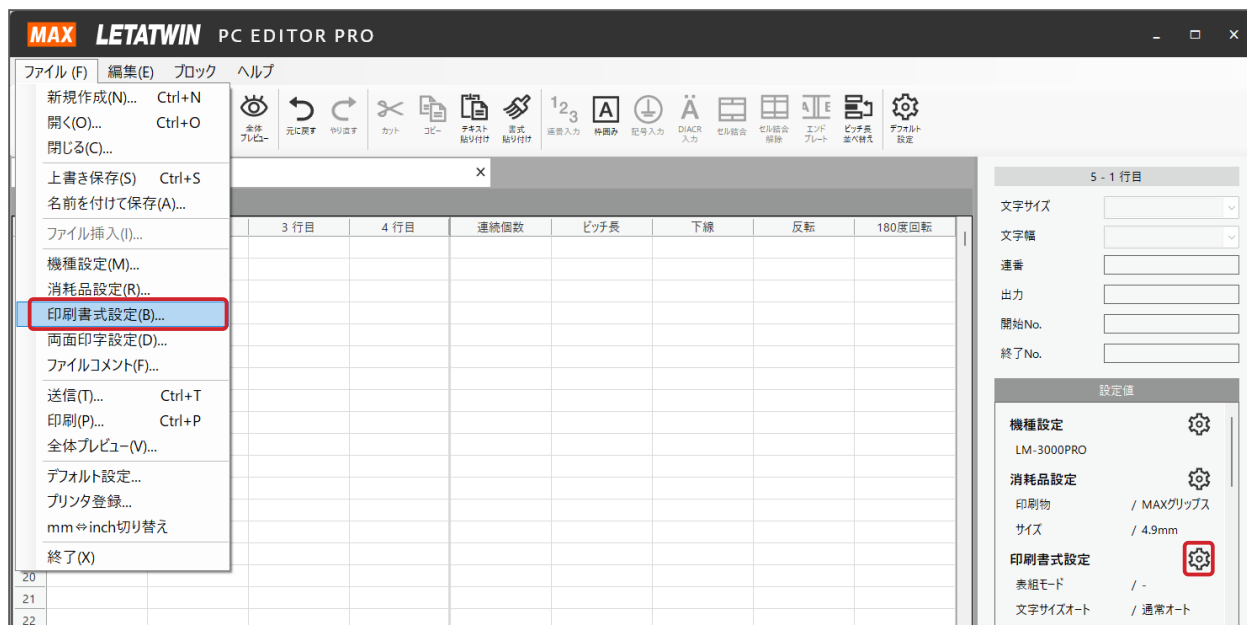
ハーフカット	実線	点線	OFF
			

機種別の設定範囲は以下の通りです。

印刷物	LM-3000PRO	LM-550W3/500W3/550W2/ 500W2/550W/500W
MAX グリップスリーブ	ハーフカット・実線・点線・無	
MAX チューブ (～φ 6.4)	ハーフカット・実線・点線・無	ハーフカット・実線・点線・無
MAX チューブ (φ 8.0)	ハーフカット・実線・点線・無	ハーフカット・実線・点線・無
その他チューブ (～φ 6.4)	ハーフカット・実線・点線・無	ハーフカット・実線・点線・無
その他チューブ (φ 8.0)	ハーフカット・実線・点線・無	実線・点線・無
その他チューブ (φ 10)	ハーフカット・実線・点線・無	
テープ	ハーフカット・実線・点線・無	ハーフカット・実線・点線・無
記名板	実線・点線・無	実線・点線・無
ブロックマーカー	設定不可	
デバイスラベル		設定不可

1 ピッチ間のカット・印字形式は「印刷書式設定」画面から設定することができます。

「印刷書式設定」画面を表示するには、メイン編集画面「ファイル」⇒「印刷書式設定」または、画面右側の「印刷書式設定」項目の  ボタンをクリックしてください。



2 「印刷書式設定」-「ピッチカット」欄で任意のパターンを選択し、「OK」ボタンをクリックしてください。

The screenshot shows the '印刷書式設定' (Print Format Setting) dialog box. It has a title bar with a close button (X). Inside, there are two tabs: '一覧表示' (List View) and 'ガイダンス表示' (Guidance View). The '一覧表示' tab is selected. The dialog is divided into several sections, each with a question mark icon for help:

- 表組モード** (Table Layout Mode): Radio buttons for OFF and ON.
- ピッチ長** (Pitch Length): Radio buttons for 'オート' (Auto) and '指定' (Specify). '指定' is selected.
- 文字サイズオート** (Text Size Auto): Radio buttons for '通常オート' (Normal Auto), '拡張オート' (Extended Auto), '文字幅オート' (Character Width Auto), and 'OFF(行単位で指定)' (OFF (Specify by line)). 'OFF(行単位で指定)' is selected. A dropdown menu shows '3.0mm'.
- ピッチカット** (Pitch Cut): Radio buttons for 'ハーフカット' (Half Cut), '実線' (Solid Line), '点線' (Dotted Line), and 'OFF'. 'ハーフカット' is selected. This section is highlighted with a red box.
- 文字方向** (Text Direction): Radio buttons for '横書き' (Horizontal) and '縦書き' (Vertical). '横書き' is selected.
- 文字間隔** (Text Spacing): Radio buttons for '標準' (Standard), '狭い' (Narrow), '密着' (Tight), and '広い' (Wide). '標準' is selected.
- 行間隔** (Line Spacing): Radio buttons for '標準' (Standard), '狭い' (Narrow), '密着' (Tight), and '広い' (Wide). '標準' is selected.
- 印刷フォント** (Print Font): Radio buttons for '標準' (Standard), '太字' (Bold), '明快' (Clear), '正方形' (Square), and 'ベトナム' (Vietnam). '標準' is selected.
- 6,9装飾** (6,9 Decoration): Radio buttons for 'OFF' and 'ドット' (Dot). 'OFF' is selected.
- 0スラッシュ** (0 Slash): Radio buttons for 'OFF' and 'ON'. 'OFF' is selected.
- 枠囲み** (Frame Surrounding): Radio buttons for 'OFF' and 'ON'. 'OFF' is selected. A dropdown menu shows '標準' (Standard).
- 連番印刷順序** (Sequential Print Order): Radio buttons for '連続優先' (Continuous Priority) and '連番優先' (Sequential Priority). '連続優先' is selected. Below it, the sequence '11 22 33' and '123 123' are shown.

At the bottom right, there are two buttons: 'OK' and 'キャンセル' (Cancel). The 'OK' button is highlighted with a red box.

MEMO

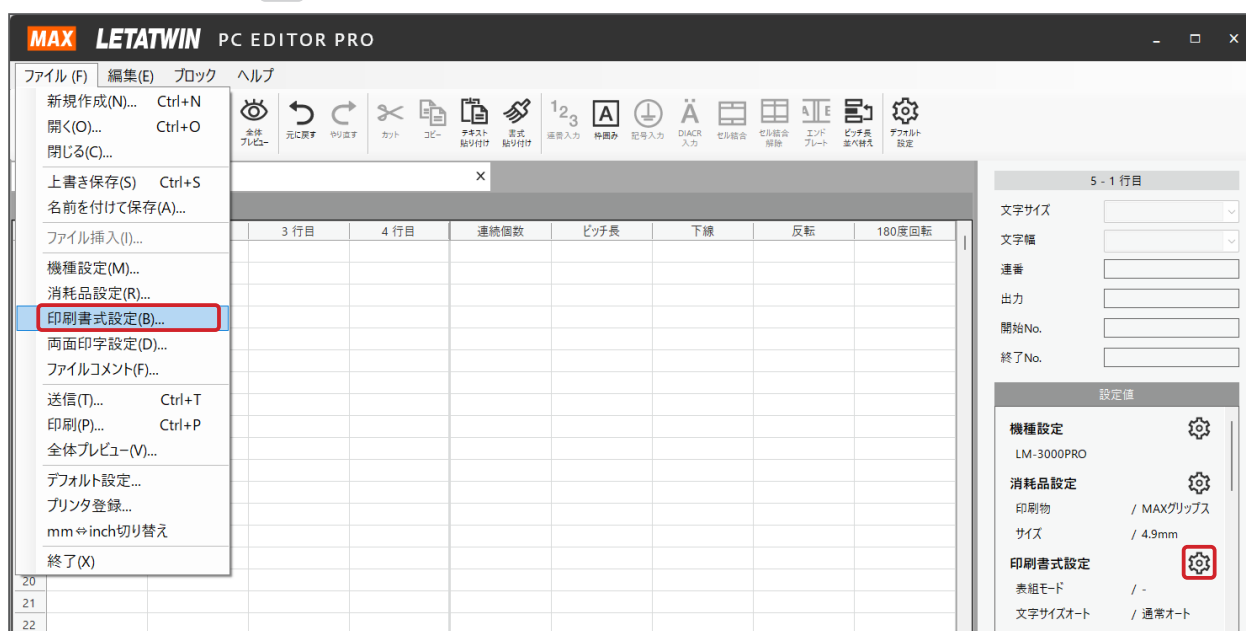
- ピッチ間のカット・印字形式を初期値として登録することができます。
→ 8-9 デフォルト設定(初期値)を登録する
- LM-550W3/500W3/550W2/500W2/550W/500Wでは、MAX純正以外のφ6.5より太いチューブをハーフカットすることはできません。
- ハーフカットの設定はブロックマーカー・記録板・デバイスラベルでは設定することはできません。

8-1-13 縦書き・横書きを設定する

縦書きはグリップスリーブ・チューブとそれ以外とではレイアウトが異なりますのでご注意ください。

	横書き		縦書き	
グリップスリーブ / チューブ	012ABC	012ABC 012ABC	0ー2<MC	0ー2ABC 0ー2ABC
その他	012ABC	012ABC 012ABC	012ABC	012ABC 012ABC

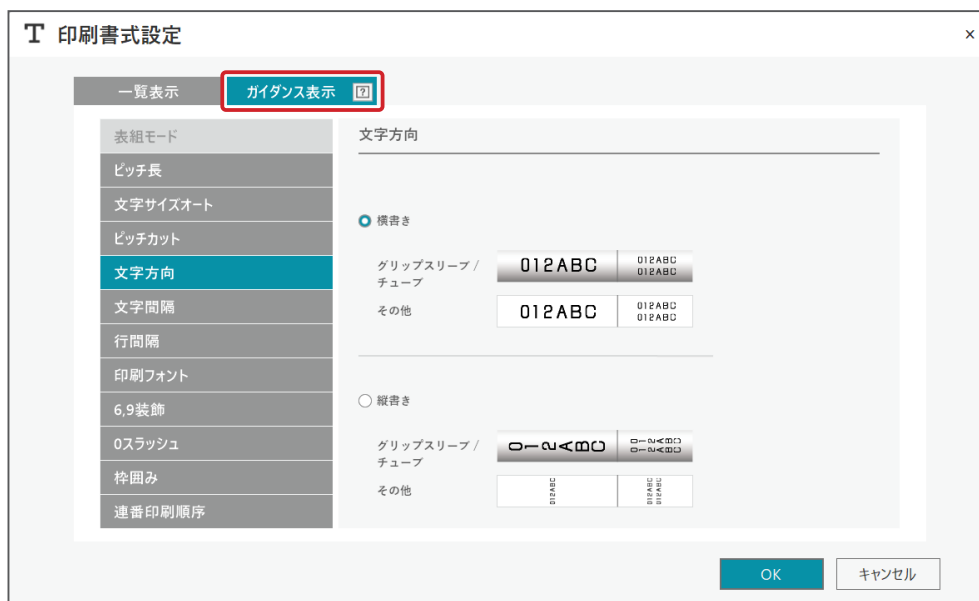
- 1 「LETATWIN PC EDITOR PRO」内「ファイル」－「印刷書式設定」を選択します。
「印刷書式設定画面を表示するには、メイン編集画面「ファイル」⇒「印刷書式設定」または、画面右側の「印刷書式設定」項目の  ボタンをクリックしてください。



- 2 「印刷書式設定」－「文字方向」から「横書き」・「縦書き」を選択し「OK」ボタンをクリックしてください。



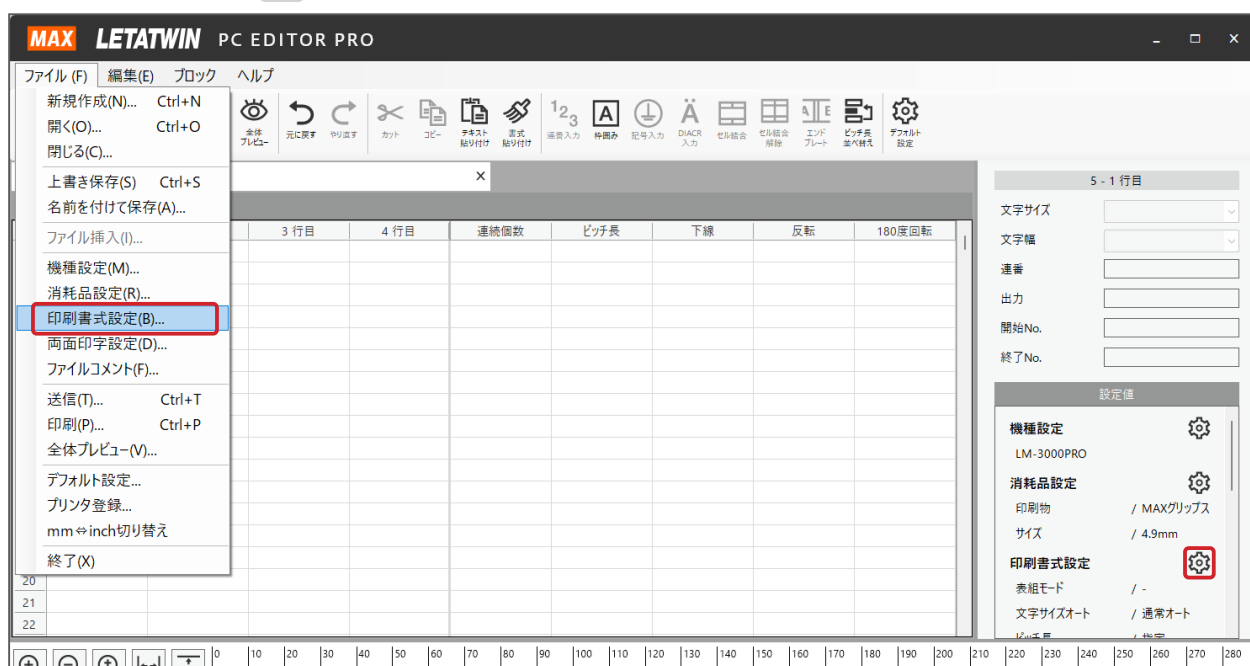
ガイダンス表示画面でも設定することができます。



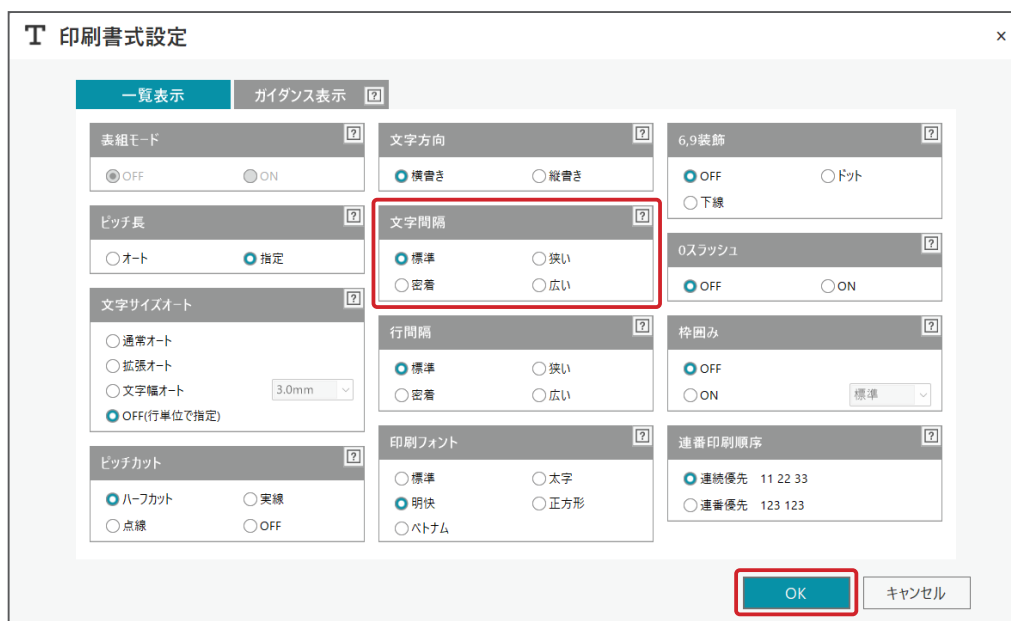
8-1-14 文字間隔を設定する

標準	AAA
狭い	AAA
密着	AAA
広い	AAA

- 1 「LETATWIN PC EDITOR PRO」内「ファイル」－「印刷書式設定」を選択します。
印刷書式設定画面を表示するには、メイン編集画面「ファイル」⇒「印刷書式設定」または、画面右側の「印刷書式設定」項目の  ボタンをクリックしてください。



- 2 「印刷書式設定」－「文字間隔」を選択し「OK」ボタンをクリックしてください。

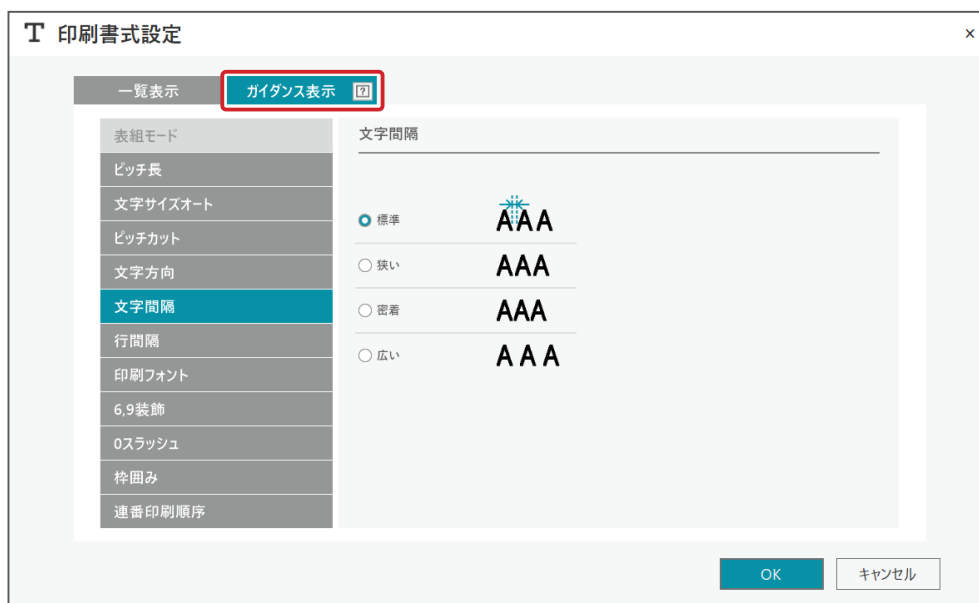


MEMO

- 「文字間隔」はブロックごとに異なる間隔を設定することはできません。文書全体で1つのみ(全ブロック共通)です。
- 「文字間隔」は、「文字サイズオート」の設定が「OFF」のときのみ有効です。
- 「印刷高さオーバー」または「ピッチ長オーバー」のエラーメッセージが表示された場合は、カーソルがあるブロックの文字サイズを小さくするか、「文字間隔」・「行間隔」を減らす調整を行ってください。
- 「文字間隔」はデフォルト設定(初期値)として登録することができます。

→ 8-9 デフォルト設定(初期値)を登録する

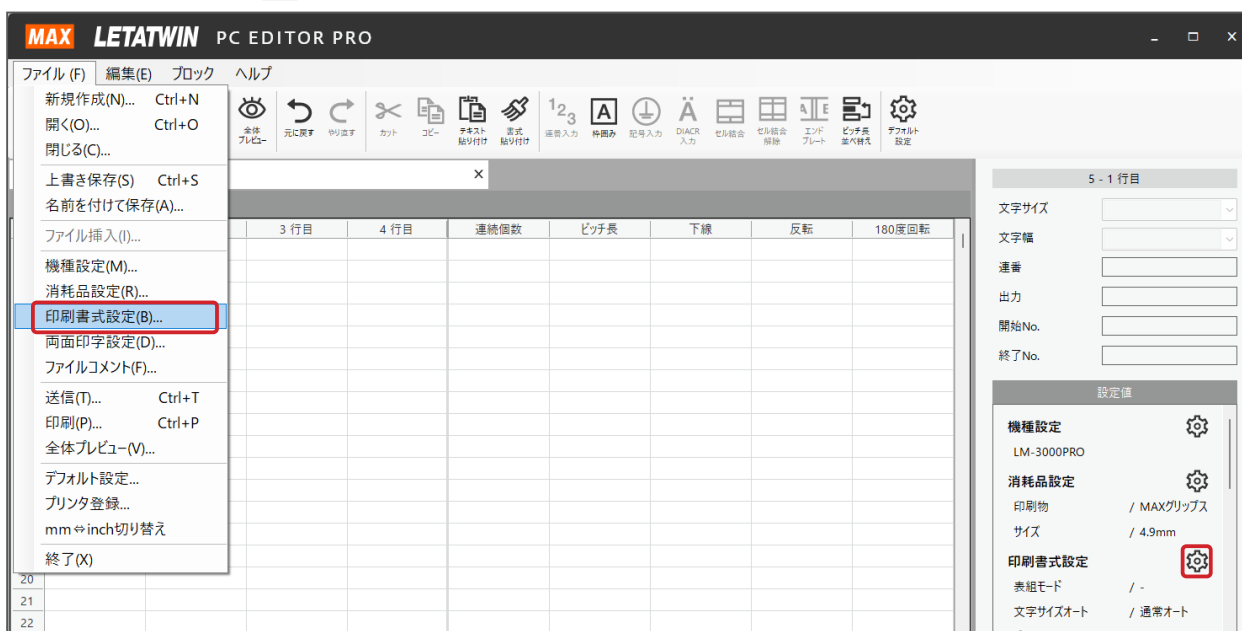
ガイダンス表示画面でも設定することができます。



8-1-15 行間隔を設定する

標準	狭い	密着	広い
AAA BBB	AAA BBB	AAA BBB	AAA BBB

- 1 「LETATWIN PC EDITOR PRO」内「ファイル」-「印刷書式設定」を選択します。
印刷書式設定画面を表示するには、メイン編集画面「ファイル」⇒「印刷書式設定」または、画面右側の「印刷書式設定」項目の  ボタンをクリックしてください。



- 2 「印刷書式設定」-「行間隔」から「標準」・「狭い」・「密着」・「広い」を選択し「OK」ボタンをクリックしてください。

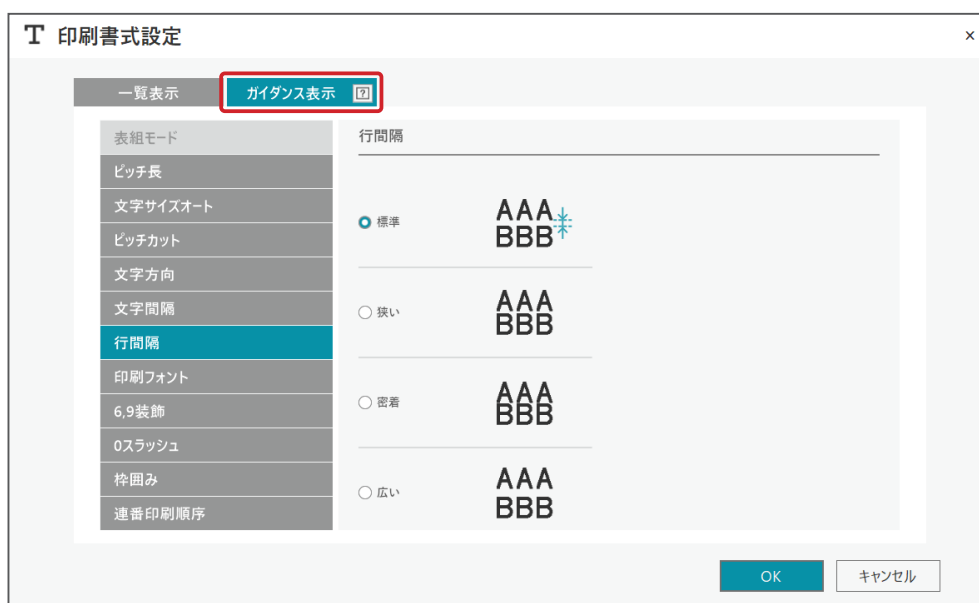


MEMO

- 「行間隔」はブロックごとに異なる間隔を設定することはできません。文書全体で1つのみ(全ブロック共通)です。
- 「行間隔」は、「文字サイズオート」の設定が「OFF」のときのみ有効です。
- 「印刷高さオーバー」または「ピッチ長オーバー」のエラーメッセージが表示された場合は、カーソルがあるブロックの文字サイズを小さくするか、「文字間隔」・「行間隔」を減らす調整を行ってください。
- 「行間隔」はデフォルト設定(初期値)として登録することができます。

→ 8-9 デフォルト設定(初期値)を登録する

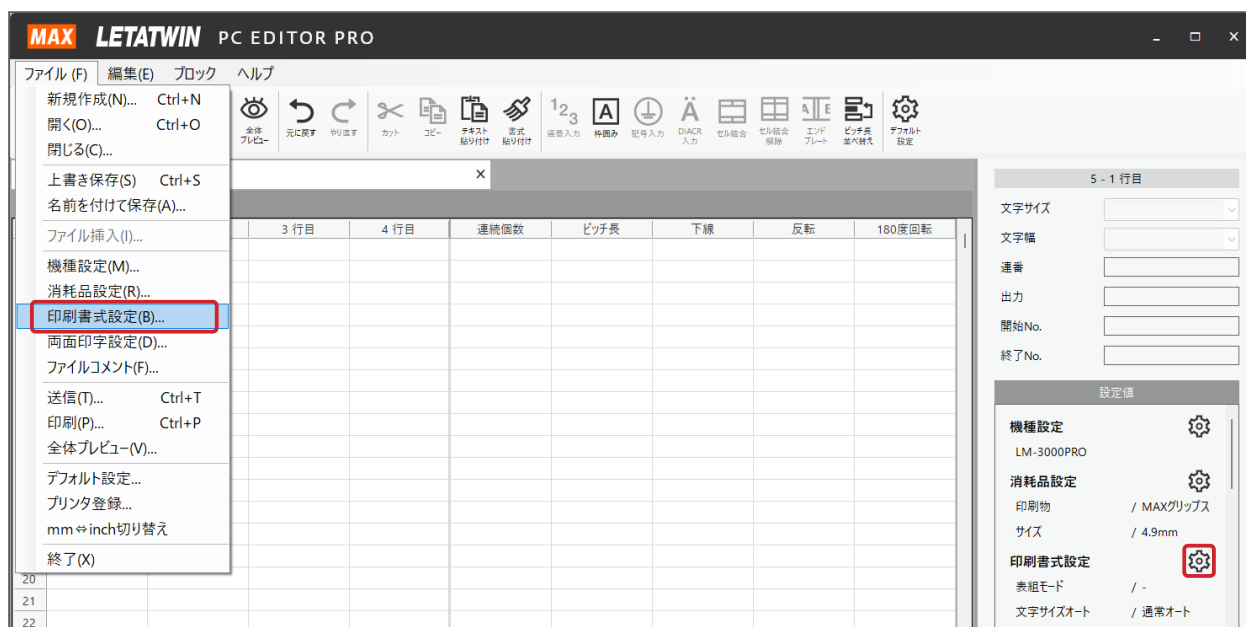
ガイダンス表示画面でも設定することができます。



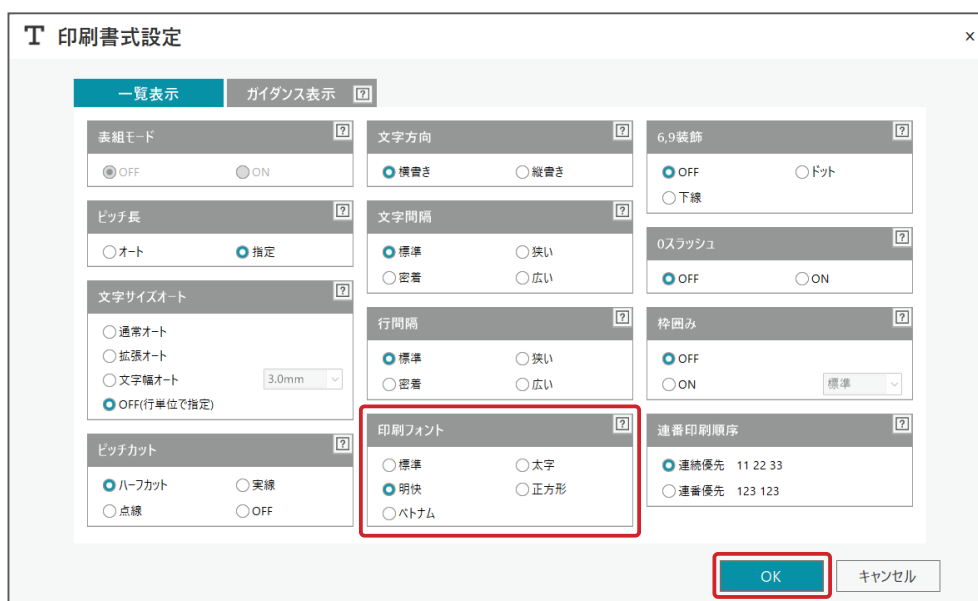
8-1-16 書体を変更する

標準	0 1 2 3 4 5 A B C a b c
太字	0 1 2 3 4 5 A B C a b c
明快	0 1 2 3 4 5 A B C a b c
正方形	0 1 2 3 4 5 A B C a b c
ベトナム	0 1 2 3 4 5 A B C a b c Â Ç Æ â ç ø

- 1 「LETATWIN PC EDITOR PRO」内「ファイル」－「印刷書式設定」を選択します。
印刷書式設定画面を表示するには、メイン編集画面「ファイル」⇒「印刷書式設定」または、画面右側の「印刷書式設定」項目の  ボタンをクリックしてください。



- 2 「印刷書式設定」－「印刷フォント」から選択し「OK」ボタンをクリックしてください。



MEMO

- 英数字のみ「標準」・「太字」・「明快」・「正方形」・「ベトナム」書体を選択できます。
- 「太字」・「明快」・「正方形」・「ベトナム」書体を設定した場合、英数字と英数字以外の文字（漢字・かな・カナ・記号）が組み合わさった文書では、文字のバランスが悪くなる場合があります。
- 実際に印字される文字高さは書体によって異なります。
- フォントはデフォルト設定（初期値）として登録することができます。
→ 8-9 デフォルト設定（初期値）を登録する
- 「明快」フォントは文字識別性を高めるため文字形状に特徴を持たせたフォントです。
→ 8-2-4 明快書体を使用する
ベトナムフォントを選択したときは、ÀやàなどDIACR文字の書体が変わります。
- LM-550W/500Wは「LETATWIN PC EDITOR PRO」で書体を選択することはできません。本体で設定された書体が反映されます。

8-2 文字の識別性をあげる

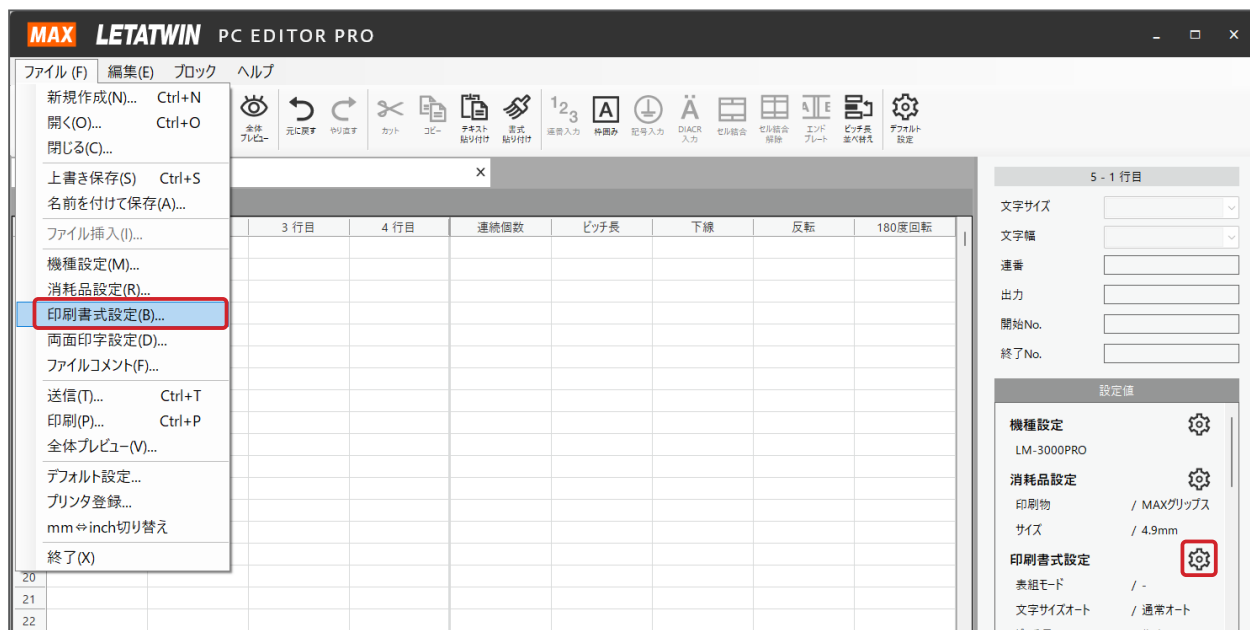
8-2-1 「6、9」の印字を変える

「6」と「9」を区別できるように文書中の「6」と「9」の印字方法を設定します。

OFF	6 9
ドット	6. 9.
下線	<u>6</u> <u>9</u>

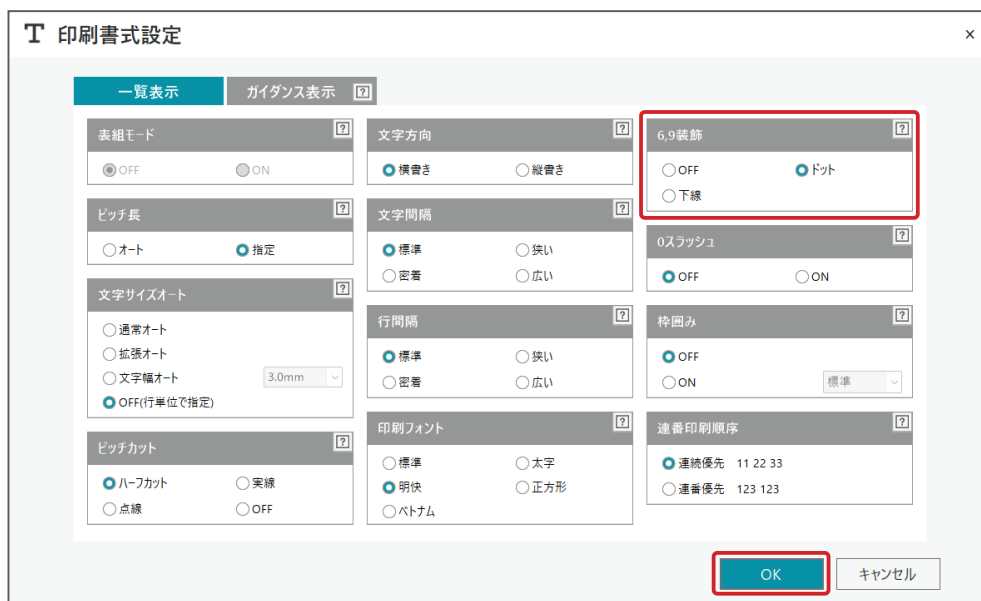
1 「LETATWIN PC EDITOR PRO」内「ファイル」－「印刷書式設定」を選択します。

印刷書式設定画面を表示するには、メイン編集画面「ファイル」⇒「印刷書式設定」または、画面右側の「印刷書式設定」項目の  ボタンをクリックしてください。

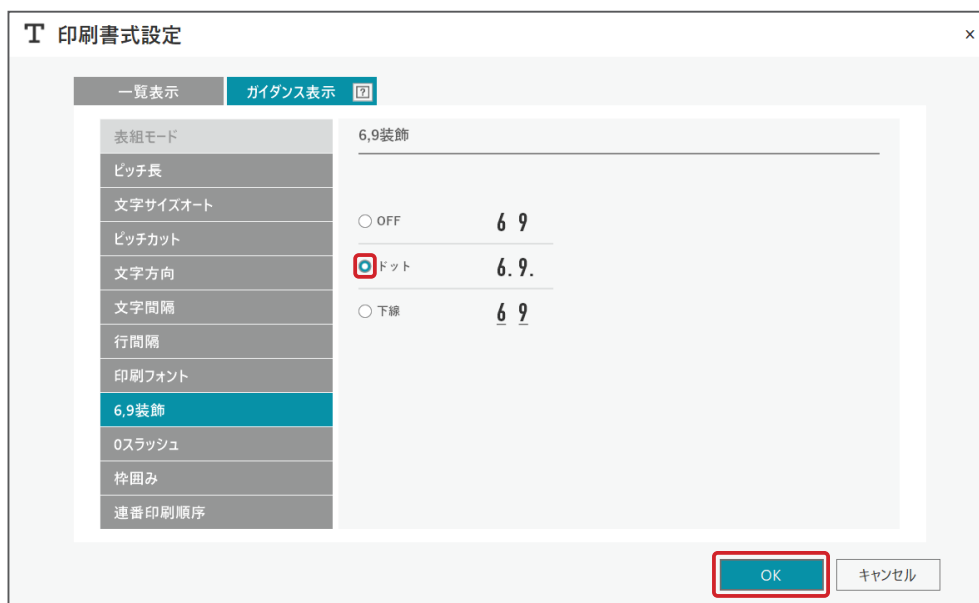


2 「印刷書式設定」画面－「6,9装飾」項目欄から装飾パターンを選択し、「OK」ボタンをクリックしてください。

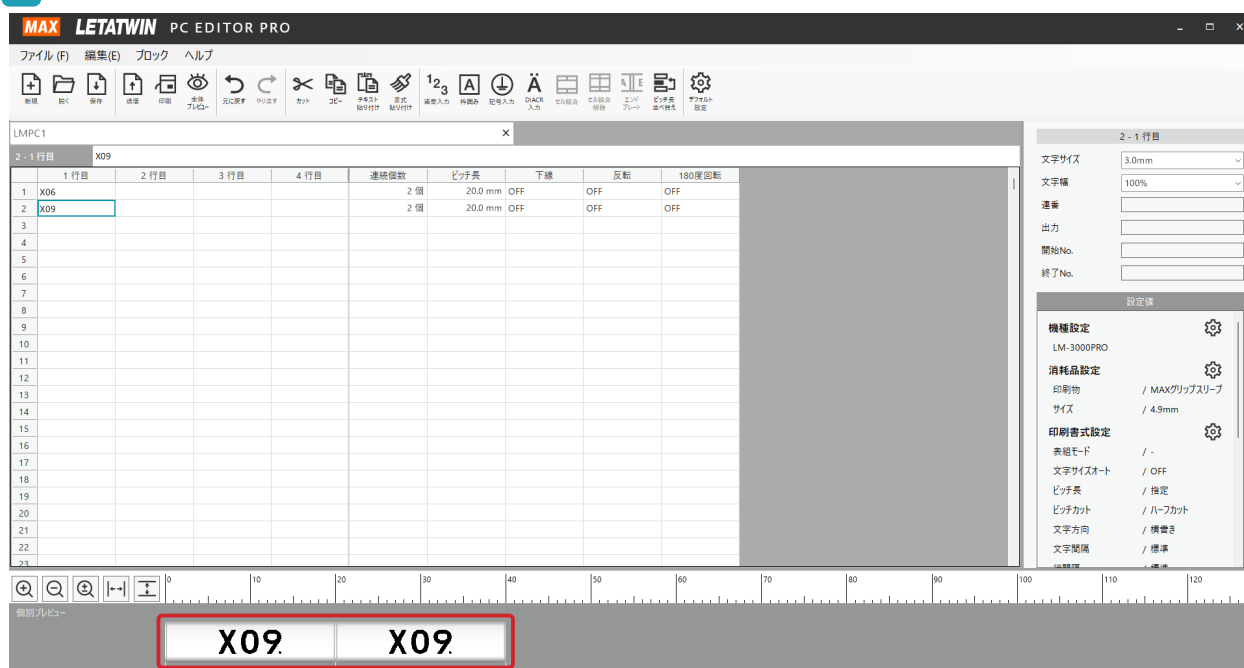
 「ガイダンス表示」画面からも設定することができます。



3 ガイダンス表示



4 設定が反映されました。



MEMO

●「6、9」の印字方法はデフォルト設定(初期値)として登録できます。

→ 8-9 デフォルト設定(初期値)を登録する

●LM-550W3/500W3/550W2/500W2/550W/500Wは本ソフト上で設定できません。機械本体側で設定してください。

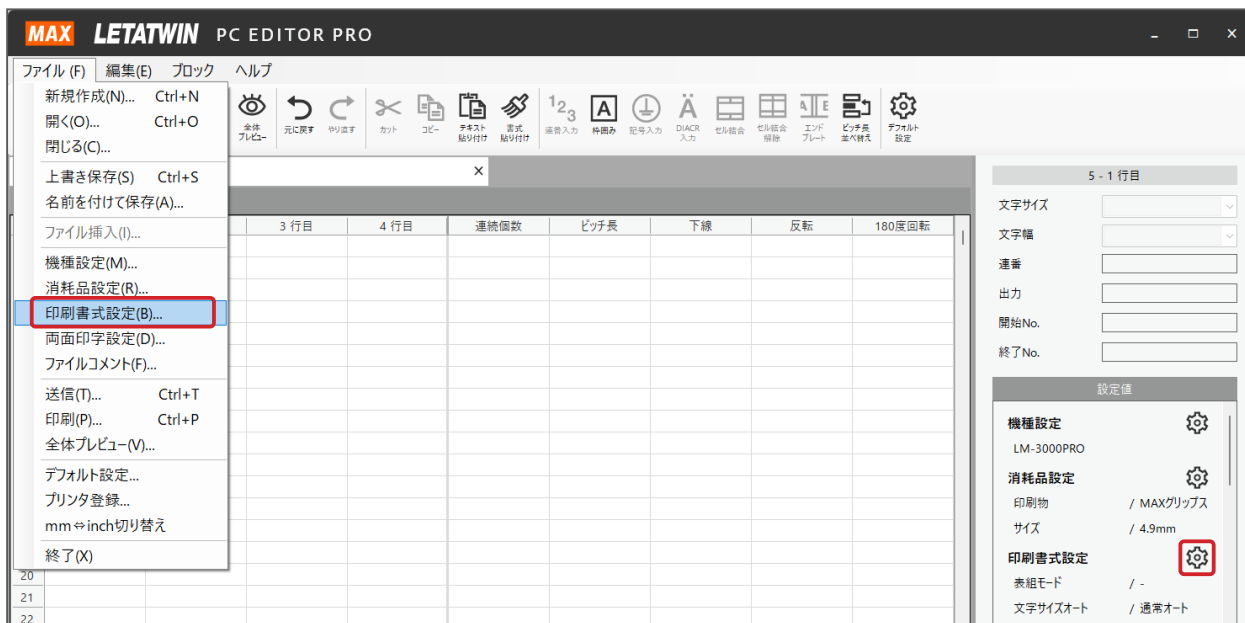
8-2-2 「0(ゼロ)」の文字に斜線を入れる

「0(ゼロ)」と「O(オー)」を区別できるように「0(ゼロ)」に斜線を設定します。

OFF	0
ON	0

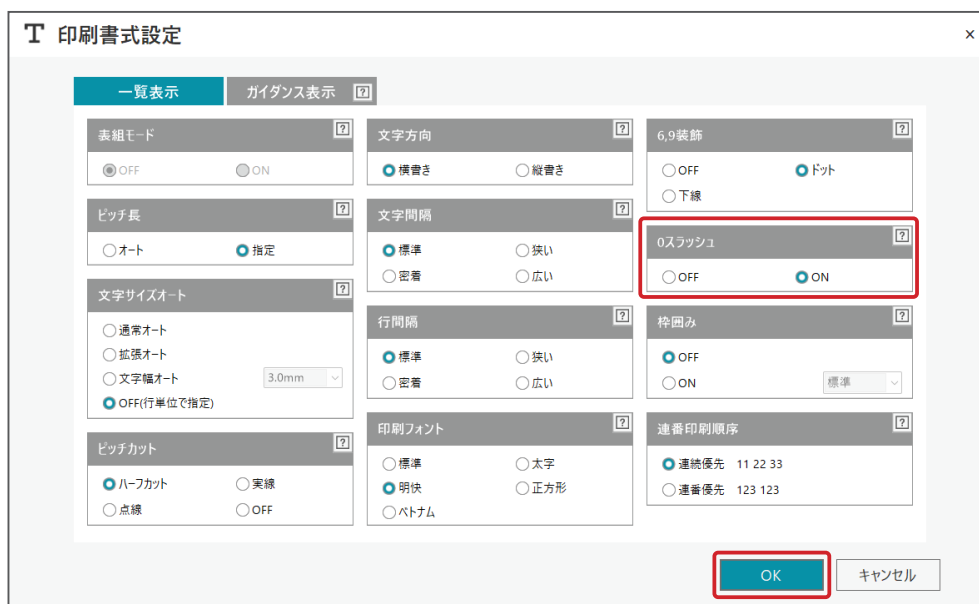
1 「LETATWIN PC EDITOR PRO」内「ファイル」－「印刷書式設定」を選択します。

印刷書式設定画面を表示するには、メイン編集画面「ファイル」⇒「印刷書式設定」または、画面右側の「印刷書式設定」項目の  ボタンをクリックしてください。

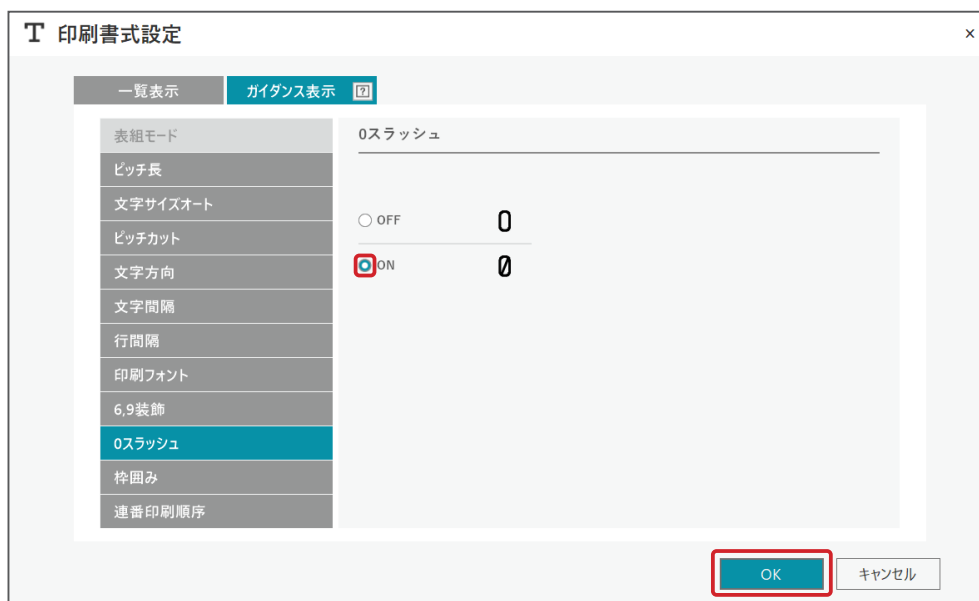


2 「印刷書式設定」画面－「0スラッシュ」項目欄から「ON」を選択し、「OK」ボタンをクリックしてください。

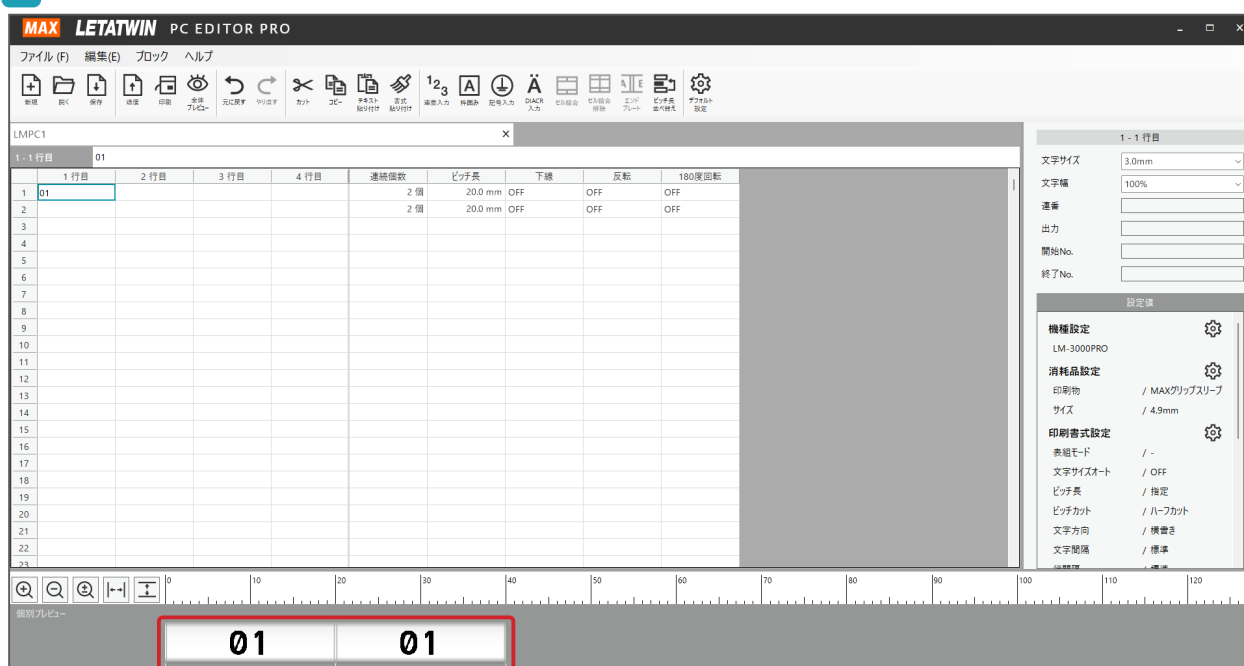
 「ガイダンス表示」画面からも設定することができます。



3 ガイダンス表示



4 設定が反映されました。



MEMO

- 「0スラッシュ」の設定はデフォルト設定(初期値)として登録できます。
→ 8-9 デフォルト設定(初期値)を登録する
- LM-550W2/500W2/550W/500Wはゼロスラッシュの設定はできません。
LM-550W2/500W2は明快書体を選択するとゼロスラッシュ文字となります。

8-2-4 明快書体を使用する

明快書体は文字判別性を向上させる目的で作られた、特徴的な形状の書体です。

■ 明快書体(初期値)
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 A B C D E F G H I
J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
■ 標準書体
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 A B C D E F G H I
J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z

MEMO

- フォントは印刷書式設定から選択することができます。[→ 8-1-16 書体を変更する](#)
- フォントはデフォルト設定(初期値)として登録することができます。
[→ 8-9 デフォルト設定\(初期値\)を登録する](#)
- LM-550W/500Wで明快書体を使うことはできません。

8-3 低温時の印刷モードを設定する

8-3-1 チューブヒーターを使う

チューブヒーター搭載機種: LM-3000PRO/LM-550W3/500W3/550W2/500W2/550W/500W

気温5～15℃の環境では、チューブが硬くなり印字がかすれたり、欠けたりする場合があります。

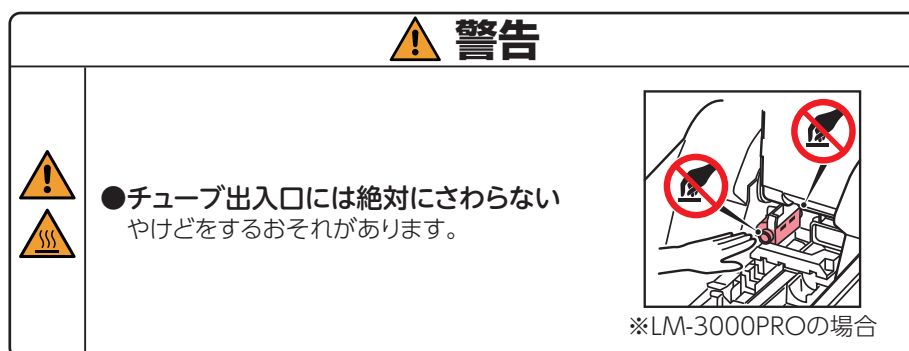
この場合は、チューブヒーターを使うことでチューブを温め柔らかくして印字品質を向上させることができます。

使用可能チューブ径: $\phi 1.5 \sim \phi 4.6$ (LM-3000PRO/LM-550W3/500W3)

ヒーターの ON/OFF は LCD ディスプレイから操作します。操作方法は、第6章 LCD ディスプレイでできることをご参照ください。

※チューブヒーターは、チューブ以外の消耗品は使用できません。

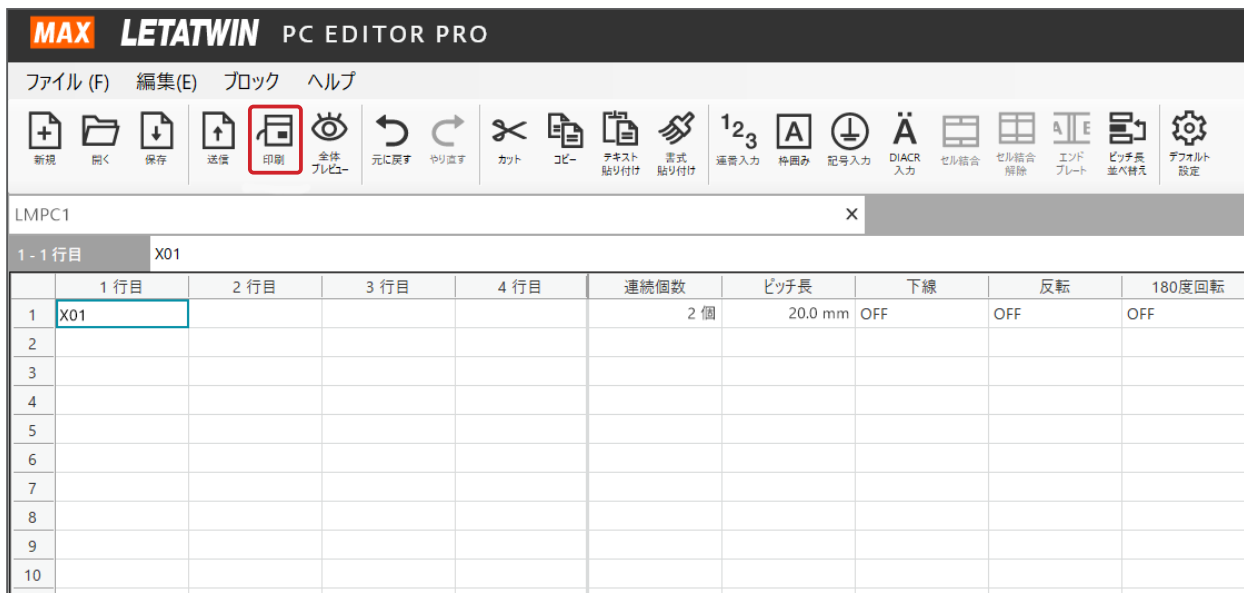
→ 6-5 ヒーターON/OFF切り替え



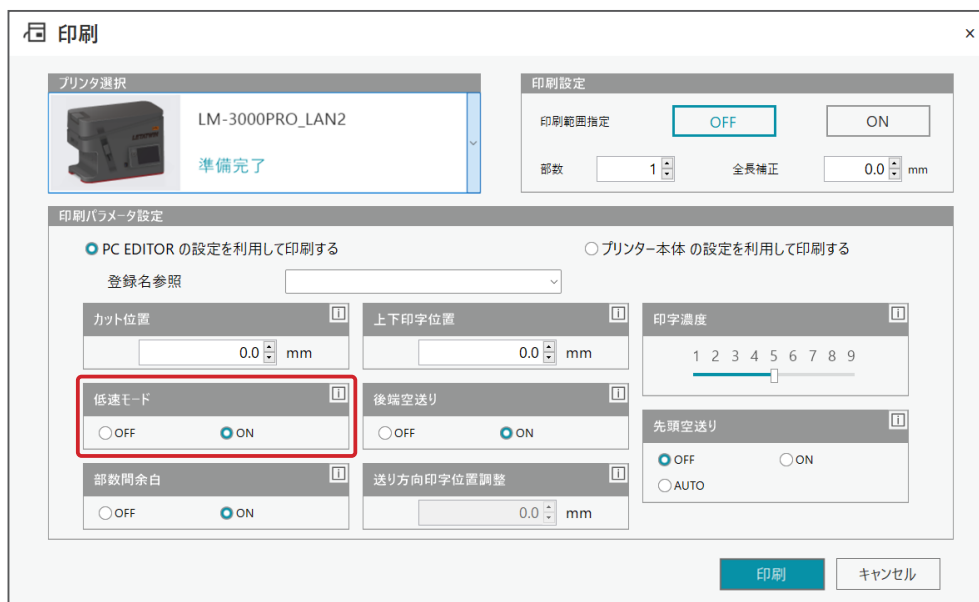
8-3-2 印刷速度を下げる

気温 5 ～ 15℃の環境では、印字がかすれる場合があります。
この場合は「低速モード」を設定してお試しください。

- 1  アイコンをクリックしてください。



- 2 「低速モード」をONに設定し、印刷してください。



MEMO

- PC EDITOR 「印刷」画面の「プリンタ本体の設定を利用して印刷する」または、プリンタ本体からUSBメモリ内のデータを利用して本体のみで印刷場の場合は、本体で「低速モード」を「ON」に設定して印刷してください。→ 6-9-2 低速モードを設定する
- 本体で低速モードをONにした場合、本体の設定値は電源を切っても保持されます。通常速度に戻す場合は「02 低速モード」→「OFF」に設定してください。
- PC EDITORでは低速モードをデフォルト設定(初期値)として登録することができます。→ 8-9 デフォルト設定(初期値)を登録する

8-3-3 印刷濃度を調整する

印字の濃度(印刷される文字の濃さ)を調整します。

初期値	対応機種
5	LM-3000PRO
4	LM-550W3 / 500W3 / 550W2 / 500W2 / 550W / 500W

1



アイコンをクリックしてください。



2

「印字濃度」の数値を変更します。



MEMO

- インクリボンと印刷物が貼りついてしまう場合は、「印字濃度」を低めに設定してお試しください。
- PC EDITORでは低速モードをデフォルト設定(初期値)として登録することができます。
→ 8-9 デフォルト設定(初期値)を登録する
- PC EDITOR「印刷」画面の「プリンタ本体の設定を利用して印刷する」または、プリンタ本体からUSBメモリ内のデータを利用して本体のみで印刷場する場合は、本体で「印字濃度」を設定して印刷してください。→ 6-9-1 印字濃度を設定する

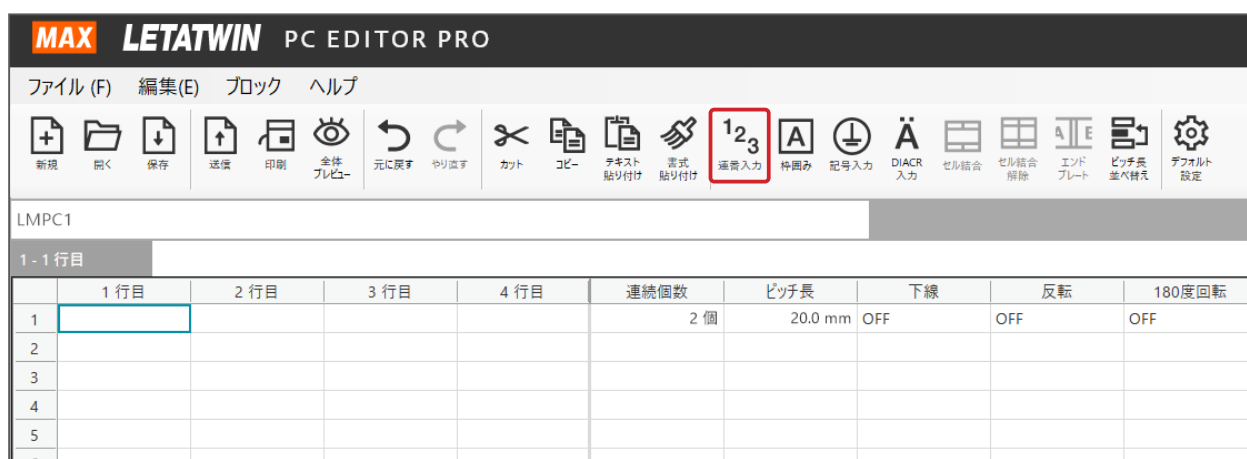
8-4 連番を設定する

8-4-1 連番を設定する

文書に連番を設定します。設定できる連番種類は以下の通りです。

モード	設定範囲	出力	印字イメージ
8進数	0 ~ 7777	すべて・奇数のみ・ 偶数のみ	MC5 MC6 MC7 MC10 MC11
10進数	0 ~ 9999		X001 X002 X003 X004 X005
16進数	0 ~ FFFF		F08 F09 F0A F0B F0C
大文字アルファベット	A ~ Z	すべて	出力 A 出力 B 出力 C 出力 D 出力 E
小文字アルファベット	a ~ z	すべて	モニタ a モニタ b モニタ c モニタ d モニタ e
連番2個組合せ	各連番種類に依存	各連番種類に依存	A001 B002 C003 D004 E005
連番3個組合せ	各連番種類に依存	各連番種類に依存	A001a B002b C003c D004d E005e

1 ¹₂₃ アイコンをクリックしてください。



2 「モード」 / 「出力」形式を指定、「開始No.」 / 「終了No.」を入力し「挿入」ボタンをクリックしてください。

¹₂₃ 連番入力

モード
10進数

出力
すべて(奇数、偶数両方)

開始No.

終了No.

編集

編集

3 「編集」欄に **N** マークが入ります。

4 連番に依存しない英数字を入力する場合は「編集」欄で直接入力することができます。

例) X を入力します。

「OK」ボタンをクリックしてください。

5 入力データが反映されます。

MAX LETATWIN PC EDITOR PRO

ファイル(F) 編集(E) ブロック ヘルプ

新規 開く 保存 送信 印刷 全体プレビュー 元に戻す やり直す カット コピー テキスト貼り付け 罫式貼り付け 通算入力 枠組み 記号入力 DIACR入力 セル結合 セル結合解除 エンドプレート ピッチ長並べ替え デフォルト設定

LMPC1

1 - 1 行目 X

	1 行目	2 行目	3 行目	4 行目	連続個数	ピッチ長	下線	反転	180度回転
1	X				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									

MEMO

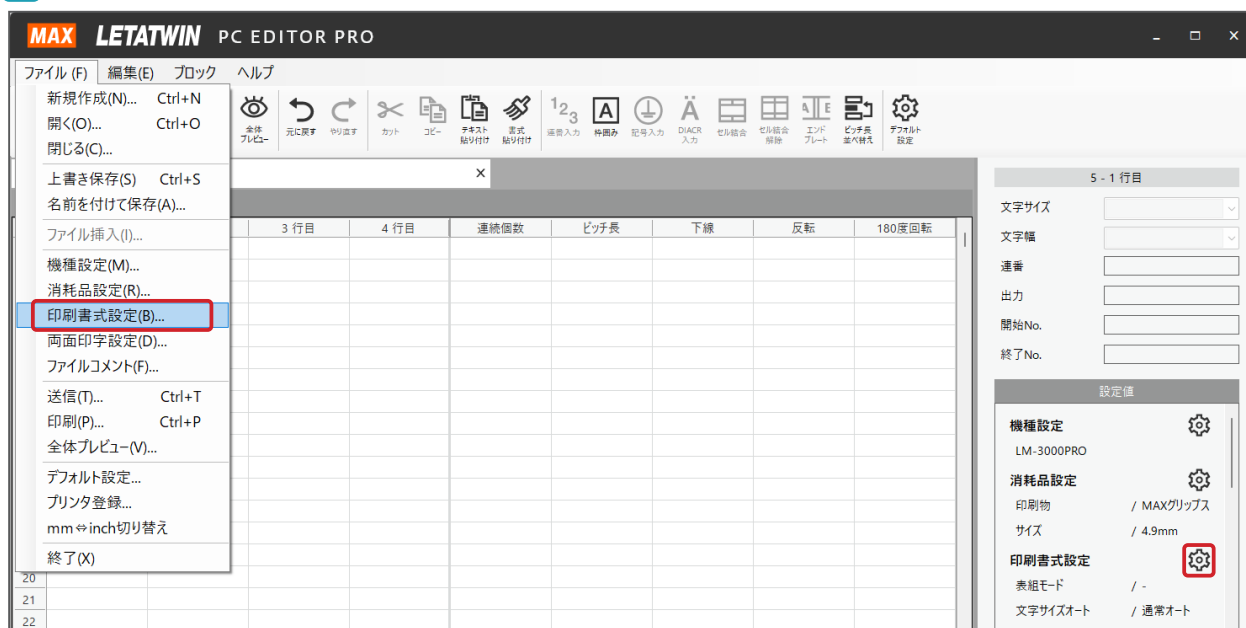
- 連番は、1ブロックあたり3個、文書全体で45個まで設定できます。
- LM-550W/500Wの連番設定は1ブロックあたり1個、文書全体で15個までです。
- 開始に「10」、終了に「1」を入力すると「10、9、8、7、…3、2、1」と連番を降順で設定できます。
- 1ブロックあたり連番を2個または3個設定時、それぞれの印刷個数が異なる場合、少ない個数を優先し、それ以上は印刷されません。

8-4-2 「連番印刷順序」を設定する

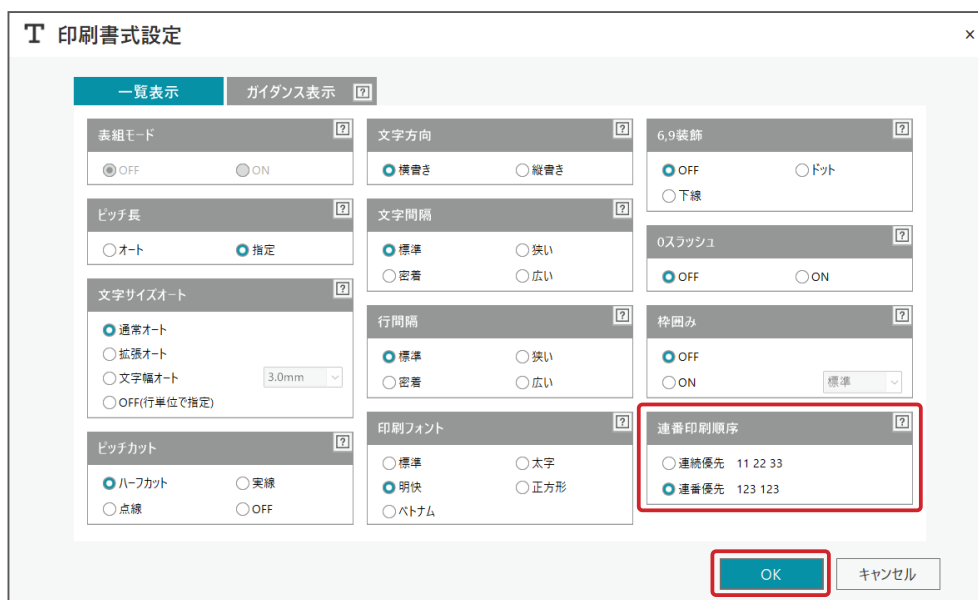
連番を連続で印刷するときの出力順序を設定します。

	連続優先						連番優先					
設定範囲	X1	X1	X2	X2	X3	X3	X1	X2	X3	X1	X2	X3

1 「ファイル」⇒「印刷書式設定」または、 ボタンをクリックしてください。



2 「連番印刷順序」項目欄から、連続優先または連番優先を選択し「OK」ボタンをクリックしてください。



MEMO

- 「連番印刷順序」の設定は「連番機能」を使用して入力した連番のみに有効です。手入力した連番には適用されません。
- 「連番印刷順序」の設定はデフォルト設定(初期値)として登録することができます。

→ 8-9 デフォルト設定(初期値)を登録する

8-5 記号/ダイアクリティカル文字を入力する

8-5-1 電設記号等を入力する

例) アースマークを入力します。

1  アイコンをクリックしてください。

MAX LETATWIN PC EDITOR PRO

ファイル(F) 編集(E) ブロック ヘルプ

LMPC1

1 - 1 行目

	1 行目	2 行目	3 行目	4 行目	連続個数	ピッチ長	下線	反転	180度回転
1					2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									

2 「グループ」-「電設①」を選択します。

記号入力

グループ

数字
数字
英字丸囲い
単位
事務記号
上付き文字
下付き文字
電設①
電設②
電設③
筆記体

⑤ ⑥ ⑦ ⑧

⑬ ⑭ ⑮ ⑯

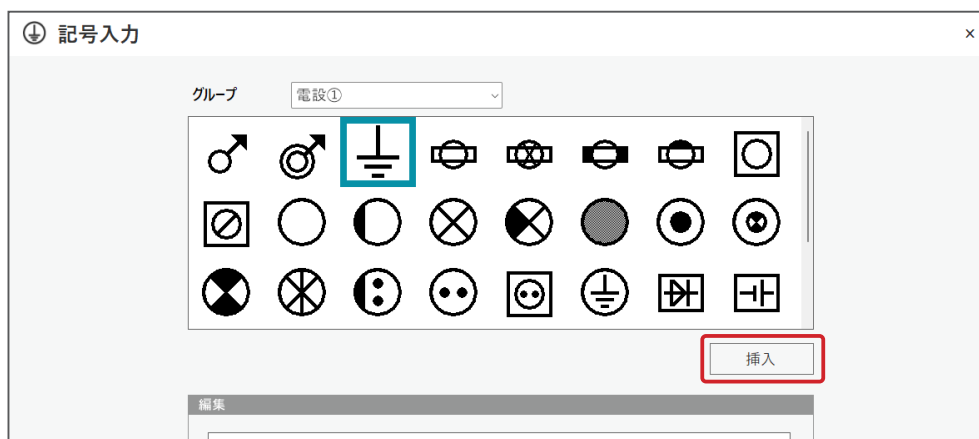
I II III IV

挿入

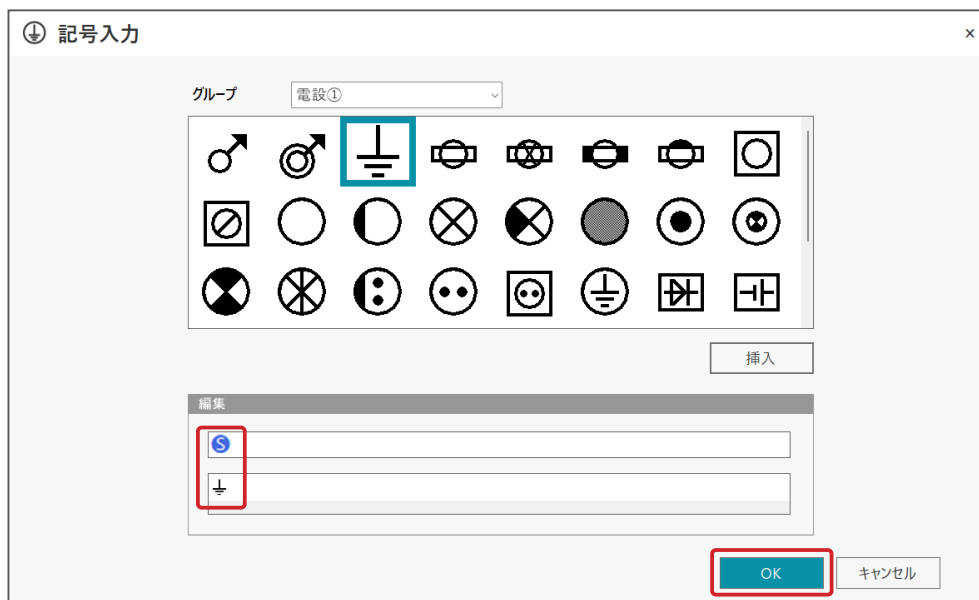
編集

OK キャンセル

3 アースマークを選択し、「挿入」ボタンをクリックします。



4 「編集」欄に S マークが入ります。「OK」ボタンをクリックしてください。



5 記号が反映されます。

MAX LETATWIN PC EDITOR PRO

ファイル(F) 編集(E) ブロック ヘルプ

新規 開く 保存 送信 印刷 全体プレビュー 元に戻す やり直す カット コピー テキスト貼り付け 書式貼り付け 運賃入力 枠囲み 記号入力 DIACR入力 セル結合 セル結合解除

LMPC1

1 - 1 行目

	1 行目	2 行目	3 行目	4 行目	連続個数	ピッチ長	下線	
1	⏏				2 個	20.0 mm	OFF	OFF
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								

MEMO

- CEマーク記号をご使用の際は、文字サイズを6.0mm、文字幅を200%に設定して、文字高さが5mm以上になるようにしてください。
- 規格マークは表示対象製品の各規格への適合をお客様自身でご確認願います。
- CEマーク記号はLM-3000PROのみご使用いただけます。その他のモデルではご使用いただけません。
- 各種規格マークは2026年6月1日時点のものを収録しています。



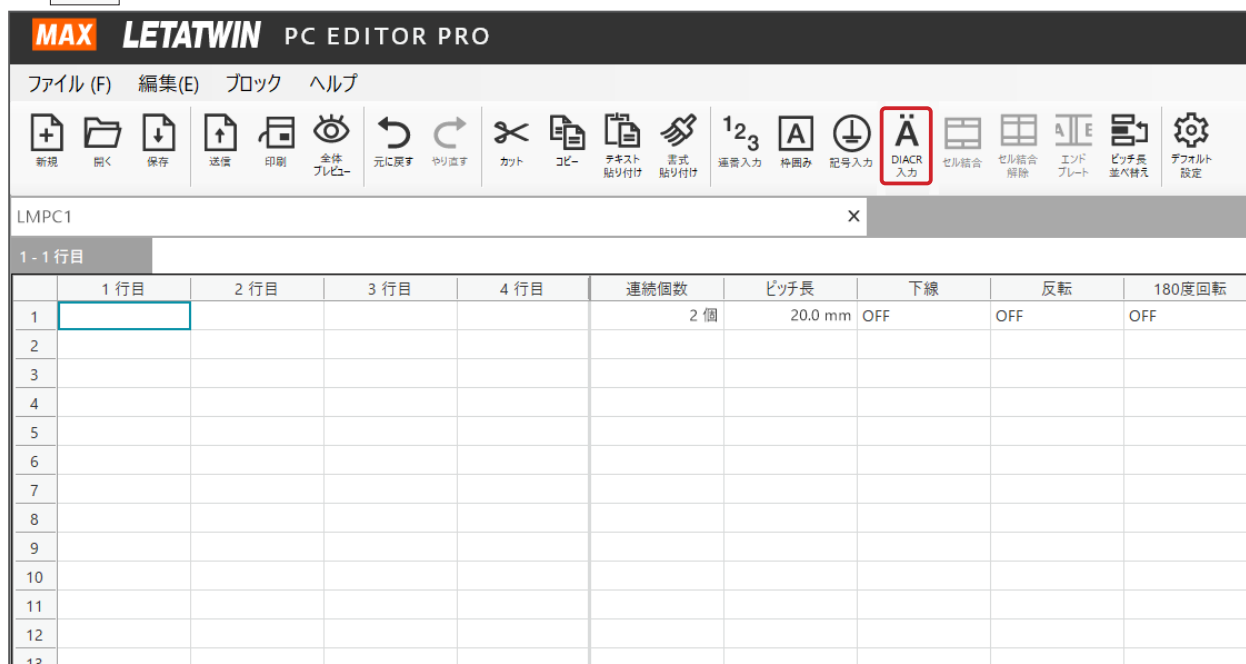
8-5-2 ダイアクリティカル文字を入力する

例) Ä を入力します。

1

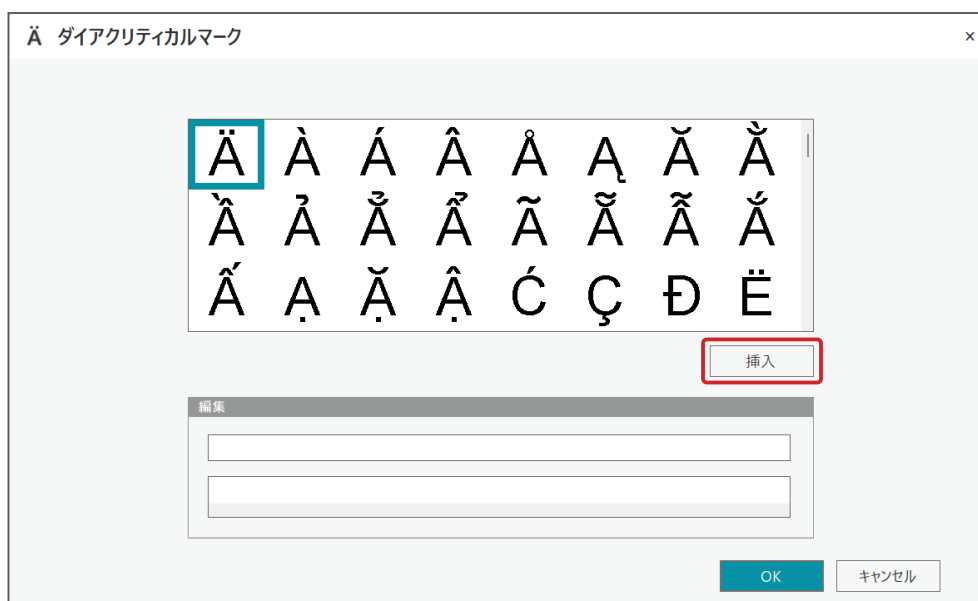


アイコンをクリックします。



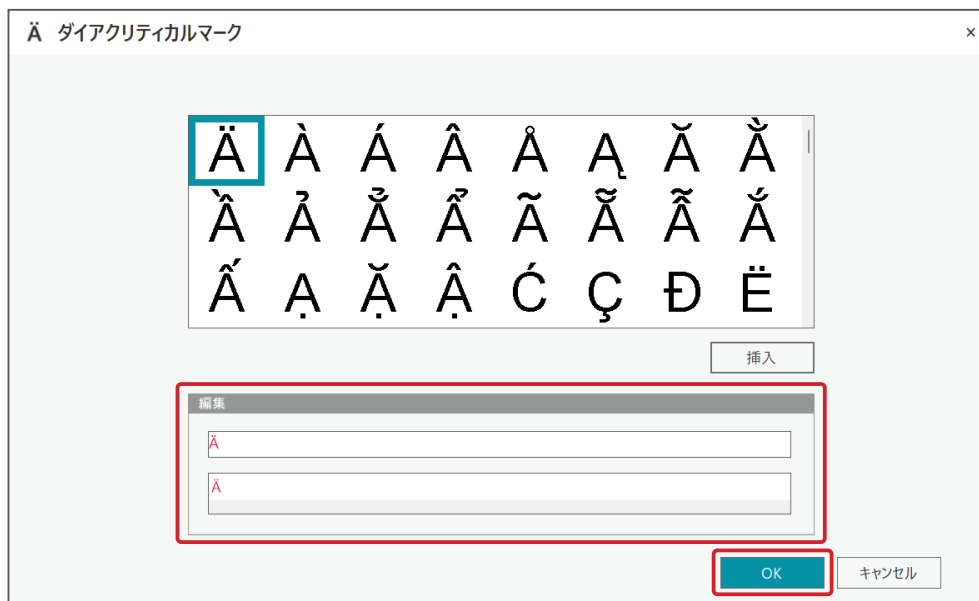
2

文字を選択し、「挿入」ボタンをクリックします。

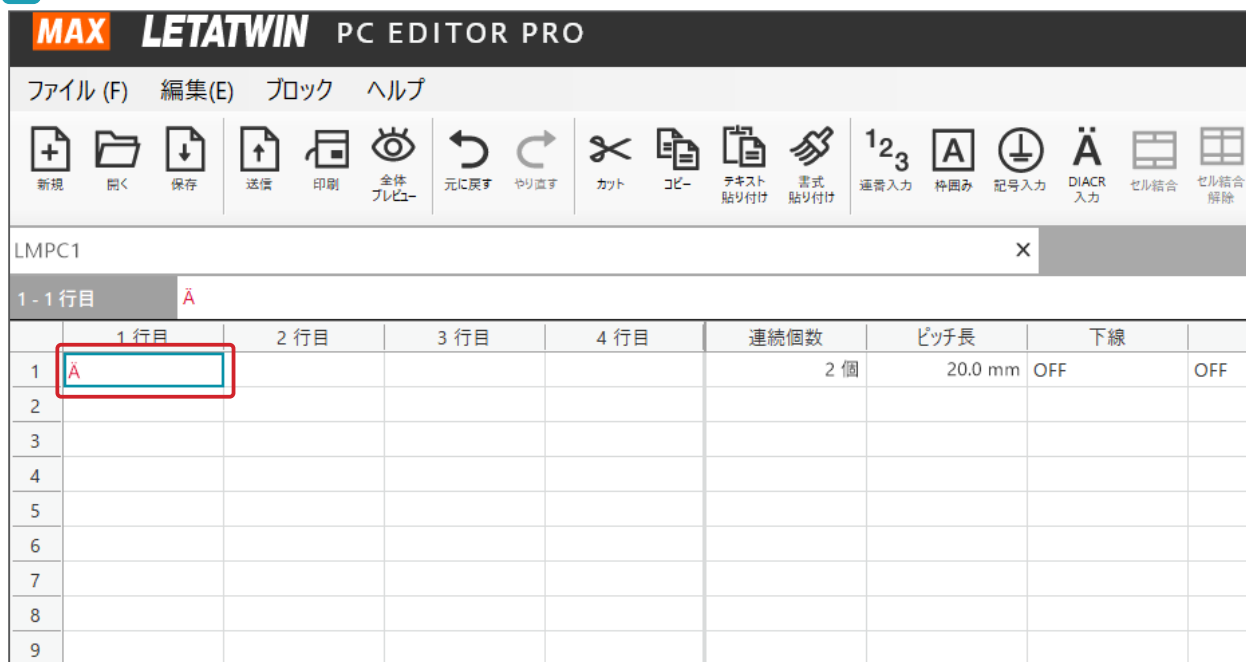


- 3 「編集」欄に入力内容が反映されます。
「OK」ボタンをクリックします。

※「ダイアクリティカルマーク」画面で連続してダイアクリティカル文字を入力することができます。



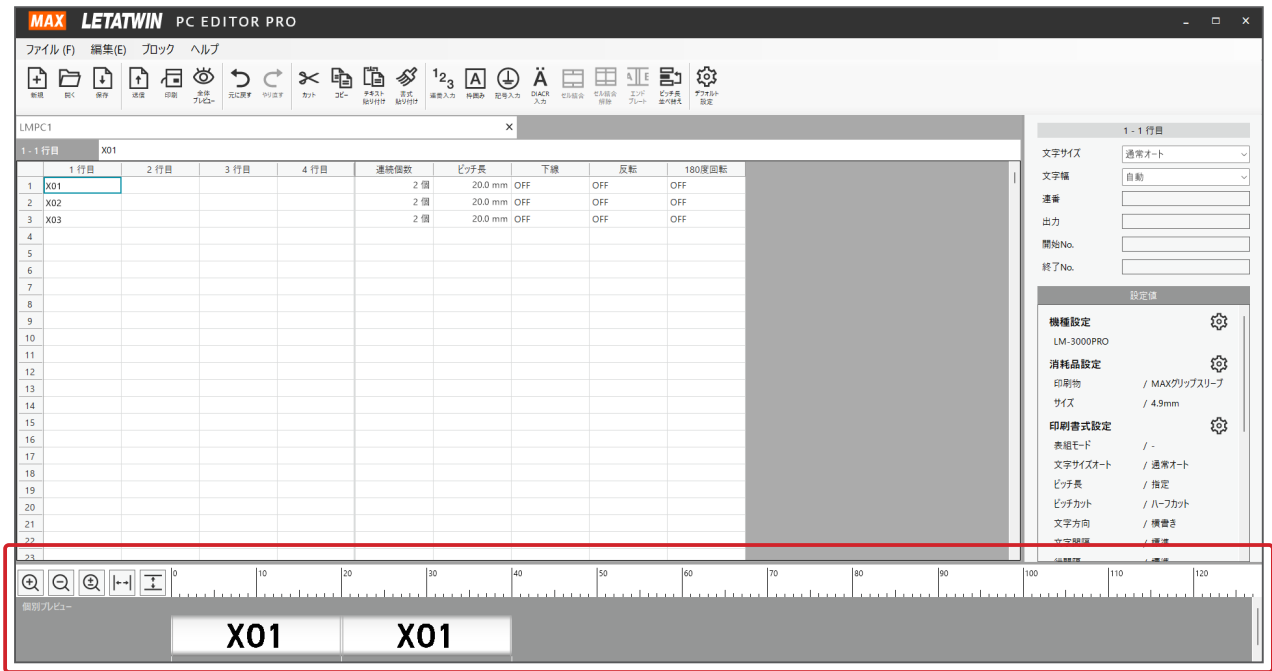
- 4 入力内容が反映されました。



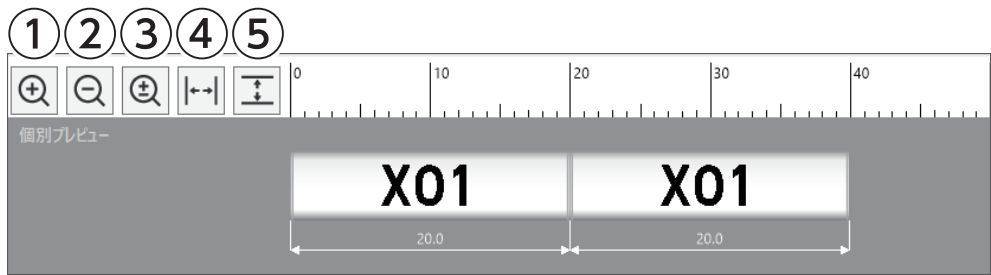
8-6 プレビューを確認する

8-6-1 個別プレビューを見る

1 個別プレビューは1ブロック内の入力内容が表示されます。



プレビュー画面のアイコン操作



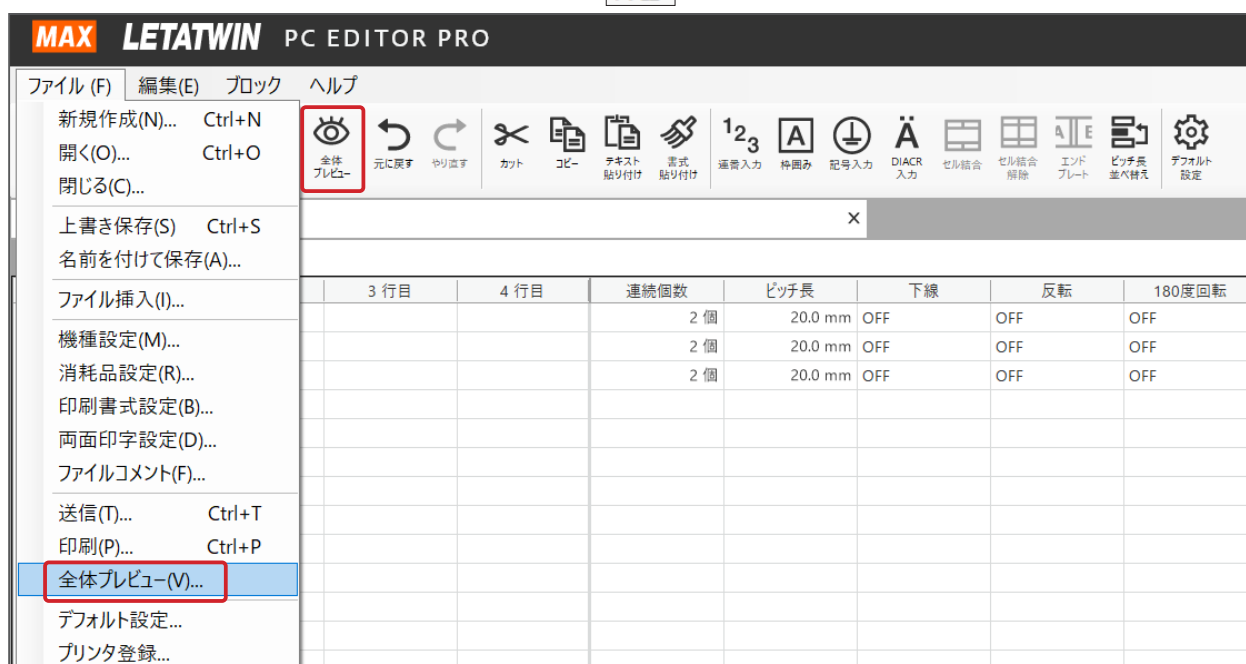
①		拡大
②		縮小
③		拡大縮小
④		全体表示
⑤		高さ基準表示

MEMO

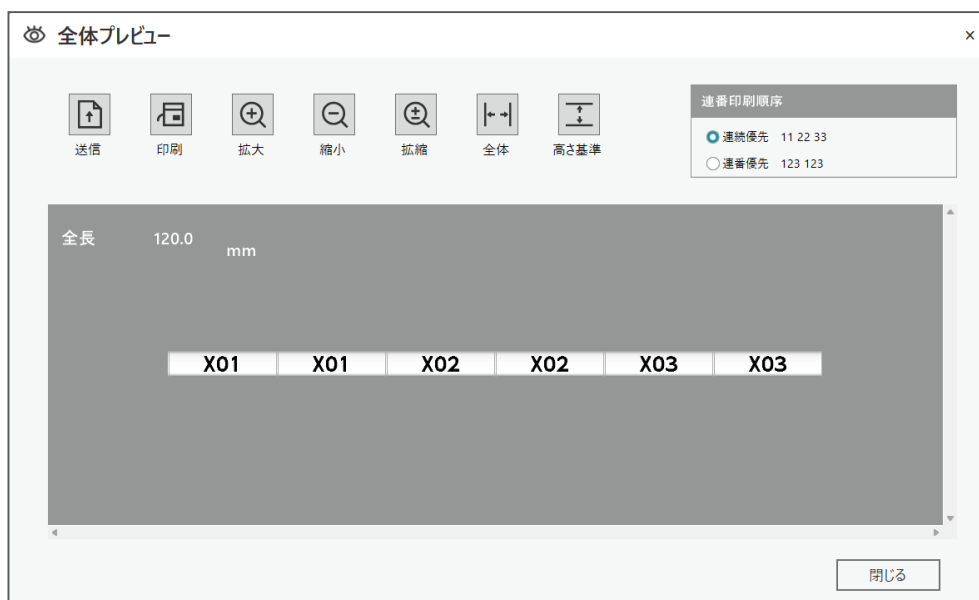
●個別プレビューで表示されるピッチ長の単位はmmです。インチ表示に切り替えることができます。
→ 8-8-12 mm/inchの表示単位を切り替える

8-6-2 全体プレビューを見る

- 1 「ファイル」-「全体プレビュー」をクリック、または  アイコンをクリックしてください。



- 2** 全体プレビューが表示されます。
「全体プレビュー」画面で「連番印刷順序」の設定、「送信」、「印刷」をすることができます。



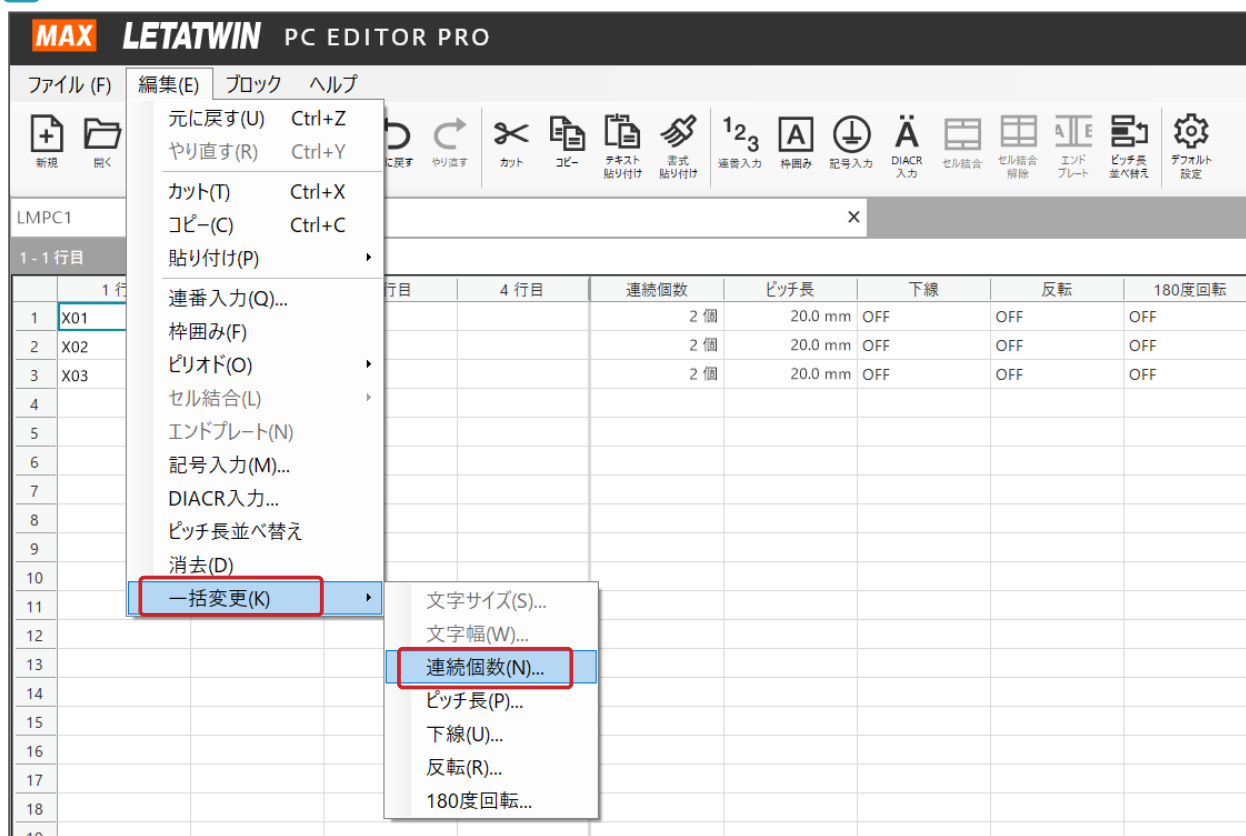
8-7 一括で設定値を変更する(文字サイズ・文字幅・連続個数・ピッチ長・下線・反転・180度回転)

8-7-1 編集メニューから一括変更する

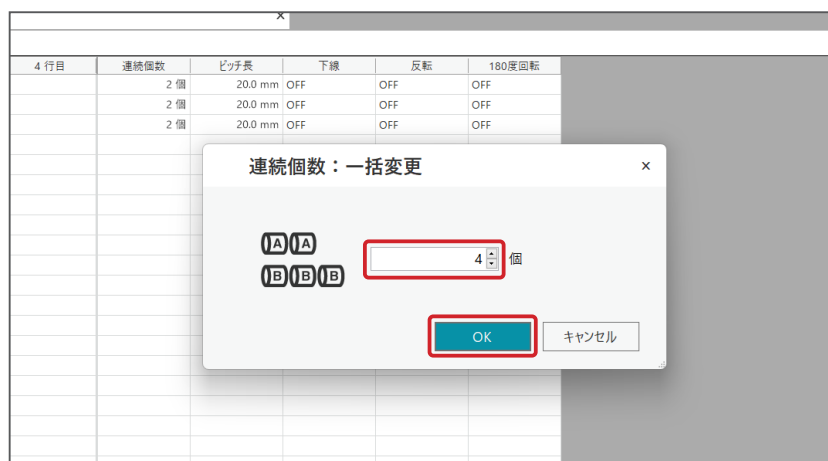
文書内の「文字サイズ」・「文字幅」・「連続個数」・「ピッチ長」・「下線」・「反転」・「180度回転」の設定値を一括で変更することができます。

例) 連続個数を2個から4個に変更します。

1 「編集」-「一括変更」を選択し、「連続個数」をクリックします。



2 ▲を押す、または直接"4"を入力して「OK」ボタンをクリックします。



3 「連続個数」が4個に変更されました。

MAX

LETATWIN

PC EDITOR PRO

ファイル(F)編集(E)ブロックヘルプ

新規

開く

保存

送信

印刷

全体
プレビュー

元に戻す

やり直す

カット

コピー

テキスト
貼り付け

書式
貼り付け

挿入入力

寸法

記号入力

DIACR
入力

セル結合

セル結合
解除

エンド
プレート

ピッチ長
並べ替え

デフォルト
設定

LMPC1

X

1 - 1 行目

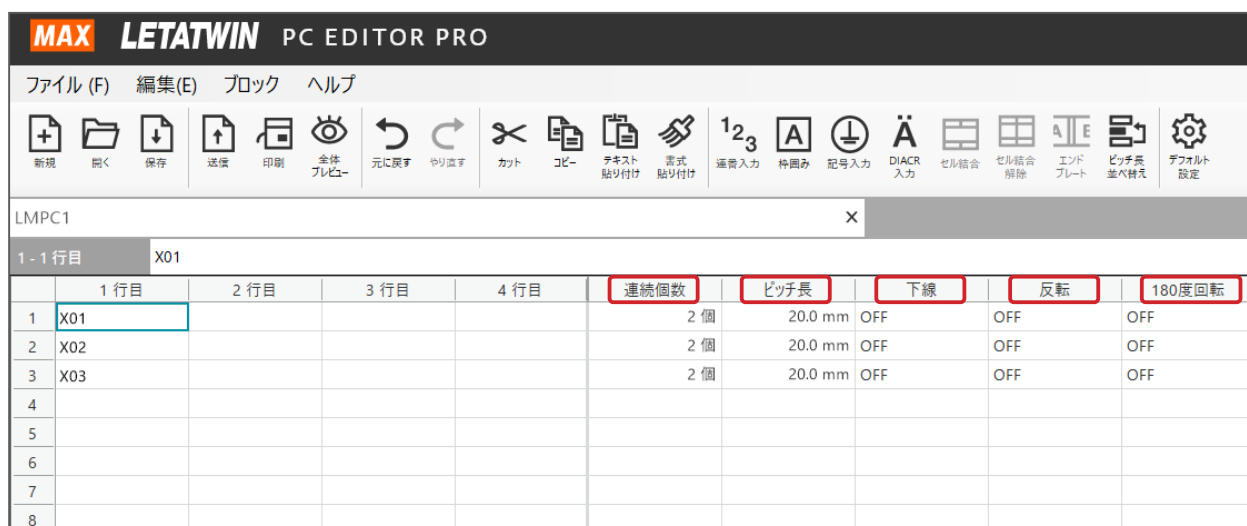
X01

	1 行目	2 行目	3 行目	4 行目	連続個数	ピッチ長	下線	反転	180度回転
1	X01				4 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
2	X02				4 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
3	X03				4 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									

8-7-2 「LETATWIN PC EDITOR PRO」の各項目をダブルクリックして一括変更する

「連続個数」「ピッチ長」「下線」「反転」「180度回転」の5項目は、以下に示すタイトル項目をダブルクリックする方法でも、「一括変更」画面が表示されます。

- 1 変更したい項目をダブルクリックして選択してください。ダイアログが開いたら、希望の内容に変更してください。



MEMO

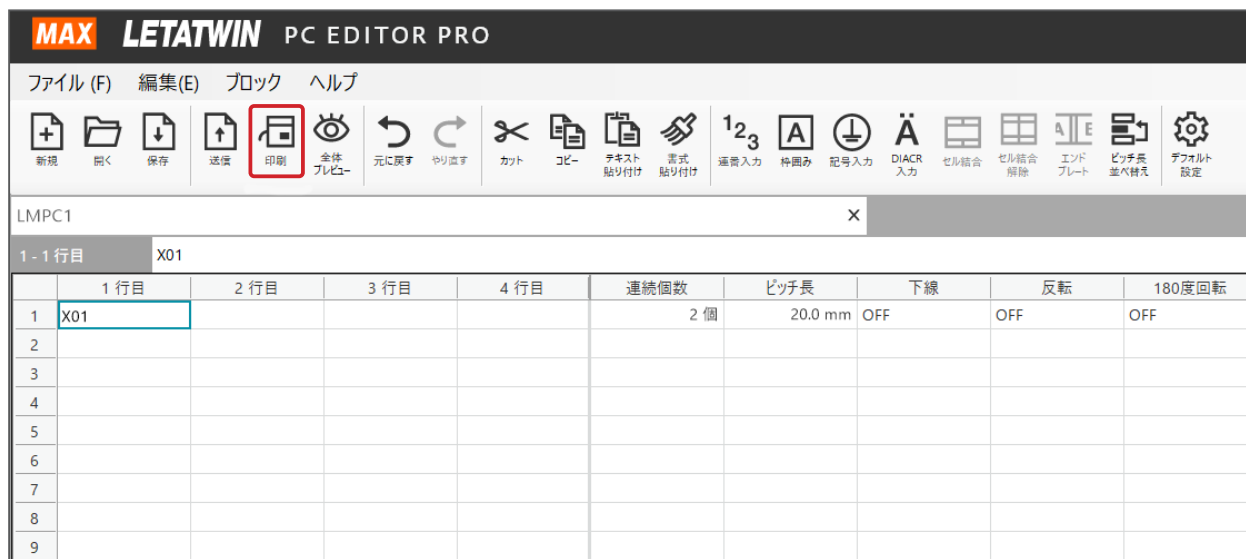
●「文字サイズ」・「文字幅」の一括変更は、「編集」－「一括変更」からおこなってください。

8-8 印刷の詳細設定をする

8-8-1 印刷する機械を選択する

LM-3000PRO は 1 台の PC に複数台接続して印刷することができます。
複数台接続してお使いの場合、出力する本体を設定してご使用ください。

- 1**  アイコンをクリックします。



- 2** 「プリンタ選択」から、出力したいプリンタ(機械)を選択してください。



MEMO

- 使用するLM-3000PROは予めLETATWIN PC EDITORに登録が必要です。
→ 3-7 本体とパソコンを接続する
- LM-550W3/500W3/550W2/500W2/550W/500Wは1台のPCに複数台接続することは出来ません。
- LM-550W3/500W3/550W2/500W2/550W/500Wは機種登録は不要で、設定された機種が反映されます。
- USB接続の場合、1台のPCに1台のLM-3000PROしか接続することができません。
- 1台のPCから複数台のLM-3000PROに接続する、または複数台のPCから1台のLM-3000PROに接続する場合は、LAN接続を行ってください。
- USB接続とLAN接続は併用することができます。

8-8-2 印刷範囲を指定する

LM-3000PRO は印刷範囲をブロック毎に指定して印刷することができます。

- 1  アイコンをクリックします。

MAX

LETATWIN

PC EDITOR PRO

ファイル(F)

編集(E)

ブロック

ヘルプ

新規

開く

保存

送信

印刷

全体プレビュー

元に戻す

やり直す

カット

コピー

テキスト貼り付け

書式貼り付け

逆置入

枠組み

記号入力

DIACR入力

セル結合

セル結合解除

エンドプレート

ピッチ長並べ替え

デフォルト設定

LMPC1

X

1 - 1 行目

X01

	1 行目	2 行目	3 行目	4 行目	連続個数	ピッチ長	下線	反転	180度回転
1	X01				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
2	X02				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
3	X03				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
4	X04				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
5	X05				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
6	X06				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
7	X07				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
8	X08				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
9	X09				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
10	X10				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
11									
12									
13									

- 2 「印刷設定」欄、「印刷範囲指定」項目の「ON」ボタンをクリックしてください。

LM-3000PRO_LAN2

準備完了

印刷設定

印刷範囲指定

OFF

ON

部数

1

全長補正

0.0 mm

印刷パラメータ設定

PC EDITOR の設定を利用して印刷する

登録名参照

カット位置

0.0 mm

低速モード

OFF

ON

部数間余白

OFF

ON

プリンター本体 の設定を利用して印刷する

上下印字位置

0.0 mm

後端空送り

OFF

ON

送り方向印字位置調整

0.0 mm

印字速度

1 2 3 4 5 6 7 8 9

先端空送り

OFF

ON

AUTO

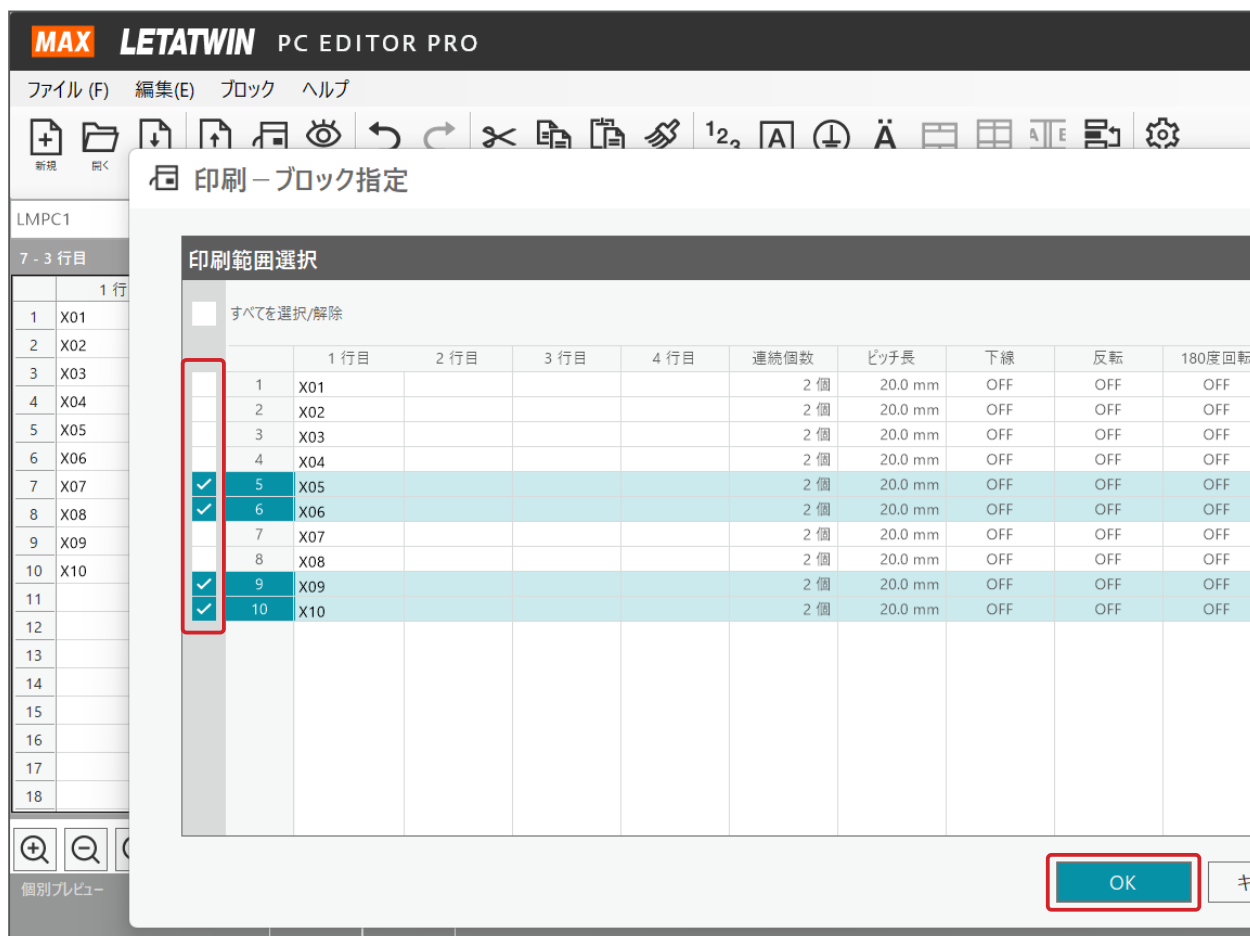
印刷

キャンセル

第8章 機能を使いこなす

162

- 3 印刷したいブロックに ☒ マークが入るよう設定し、「OK」ボタンをクリックし、「印刷」画面から印刷してください。



MEMO

- 複数の連続したブロックを一度に印刷範囲に指定する場合は、印刷開始ブロックにチェック後、「Shift」キーを押しながら印刷終了ブロックをチェックしてください。
- 本体のみで印刷する場合、ブロック毎に指定して印刷することはできません。
→ 6-2 印刷
- LM-550W3/500W3/550W2/500W2/550W/500Wはブロック毎に印刷範囲を指定することはできません。
- LM-550W3/500W3/550W2/500W2/550W/500Wは「開始ブロック」～「終了ブロック」の範囲指定となります。

8-8-3 印刷部数を指定する

印刷部数を設定します。1～30部の範囲で設定できます。

- 1  アイコンをクリックします。

MAX LETATWIN PC EDITOR PRO										
ファイル(F) 編集(E) ブロック ヘルプ										
LMPC1										
11 - 下線										
	1行目	2行目	3行目	4行目	連続個数	ピッチ長	下線	反転	180度回転	
1	X01				2個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF	
2	X02				2個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF	
3	X03				2個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF	
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										

- 2 印刷部数を入力して印刷してください。

プリンタ選択

LM-3000PRO_LAN2

準備完了

印刷設定

印刷範囲指定

部数 全長補正 mm

印刷パラメータ設定

☒ PC EDITOR の設定を利用して印刷する ☐ プリンター本体 の設定を利用して印刷する

登録名参照

カット位置

mm

上下印字位置

mm

低速モード

☒ OFF ☐ ON

後端空送り

☐ OFF ☒ ON

部数間余白

☐ OFF ☒ ON

送り方向印字位置調整

mm

印字濃度

1 2 3 4 5 6 7 8 9

先頭空送り

☒ OFF ☐ ON

MEMO

●印刷部数の設定は本体から印刷時も設定できます。

→ 6-2 印刷

●LM-3000PROのみ、部数間余白の有無を設定することができます。

8-8-4 印刷全長を補正する

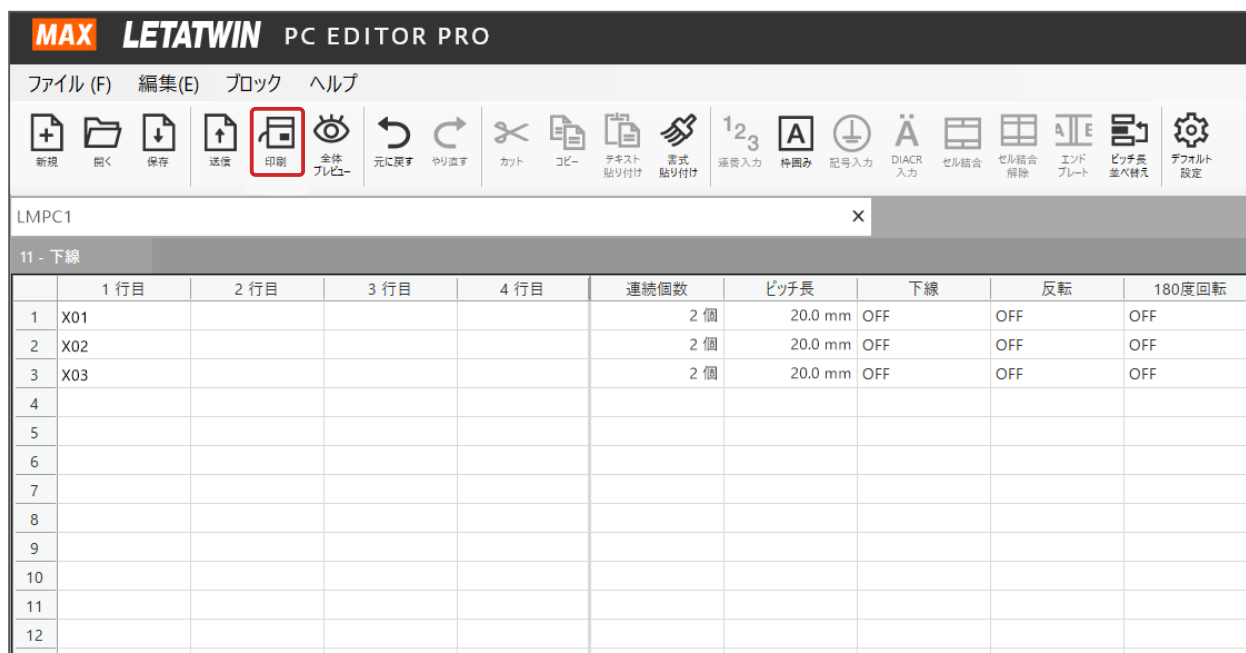
実際の印刷長さと設定した長さに差がある場合、印刷物全体の長さを補正して印刷することができます。実際の印刷長さと、設定した長さとの「差」を補正值として入力します。

設定範囲	
実際の印字長さが設定した長さより「短い」場合	プラス補正值を入力してください。
実際の印字長さが設定した長さより「長い」場合	マイナス補正值を入力してください。

1



アイコンをクリックします。



2

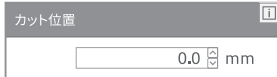
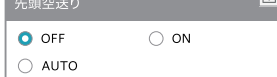
「全長補正」欄に補正值を入力して印刷してください。



8-8-5 プリンタ本体、「LETATWIN PC EDITOR PRO」の設定を使い分けて「LETATWIN PC EDITOR PRO」から印刷する

「PC EDITOR の設定を利用して印刷する」	本体で設定された設定値を反映して印刷します。
「プリンタ本体の設定を利用して印刷する」	PC EDITOR で設定された設定値を反映して印刷します。

LM-3000PRO の印刷に反映される設定項目と設定範囲

設定項目	設定範囲	
カット位置	- 2.0mm ~ + 2.0 mm	
低速モード	OFF/ON	
部数間余白	OFF/ON	
上下印字位置	- 3.8mm ~ + 3.8mm	
後端空送り	OFF/ON	
送り方向印字位置調整	0mm ~ 8.0mm	
印字濃度	1 ~ 9	
先頭空送り	OFF/ON/AUTO	

1  アイコンをクリックします。



ファイル (F) 編集 (E) ブロック ヘルプ
























LMPC1

1 - 1 行目	X01								
	1 行目	2 行目	3 行目	4 行目	連続個数	ピッチ長	下線	反転	180度回転
1	X01				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
2	X02				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
3	X03				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
4	X04				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
5	X05				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
6	X06				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
7	X07				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
8	X08				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
9	X09				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
10	X10				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF

- 2 「プリンタ本体の設定を利用して印刷する」または「PC EDITOR の設定を利用して印刷する」のいずれかを選択してください。

- 3 「PC EDITOR の設定を利用して印刷する」を選択時、予め登録された設定値を呼び出して使用することができます。→8-9-3 「印刷パラメータ設定」を登録する

MEMO

- LM-550W3/500W3/550W2/500W2/550W/500Wはプリンタ本体、PC EDITOR PROの設定を使い分けて印刷することはできません。PC EDITOR の設定が反映されます。
- LM-550W3/500W3/550W2/500W2/550W/500Wで設定可能な設定項目は「カット位置調整」・「低速モード」・「上下印字位置」・「先頭空送り」・「印字濃度」のみです。

8-8-6 カット位置を設定する

カット位置を動かすことで印字位置を調整します。

印字位置が右にずれている場合はプラス方向に、左にずれている場合はマイナス方向に設定します。

設定範囲	+	COM	→	COM
- 2.0 ~ +2.0mm	-	COM	→	COM



アイコンをクリックします。

MAX LETATWIN PC EDITOR PRO										
ファイル(F) 編集(E) ブロック ヘルプ										
LMPC1										
1 - 1 行目 X01										
1 行目	2 行目	3 行目	4 行目	連続個数	ピッチ長	下線	反転	180度回転		
1 X01				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF		
2 X02				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF		
3 X03				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF		
4 X04				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF		
5 X05				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF		
6 X06				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF		
7 X07				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF		
8 X08				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF		
9 X09				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF		
10 X10				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF		
11										
12										
13										

2 「カット位置」に補正値を入力してください。

LM-3000PRO_LAN2

準備完了

印刷設定

印刷範囲指定 ☐ OFF ☐ ON

部数 全長補正 mm

印刷パラメータ設定

☒ PC EDITOR の設定を利用して印刷する ☐ プリンター本体の設定を利用して印刷する

登録名参照

カット位置

mm

上下印字位置

mm

印字速度

1 2 3 4 5 6 7 8 9

低速モード ☒ OFF ☐ ON

後端空送り ☐ OFF ☒ ON

先頭空送り ☒ OFF ☐ ON

部数間余白 ☐ OFF ☒ ON

送り方向印字位置調整 mm

印刷 キャンセル

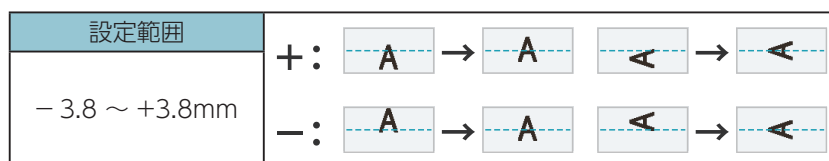


●カット位置の入力値は登録し、「登録情報参照」欄から呼び出して使用することができます。

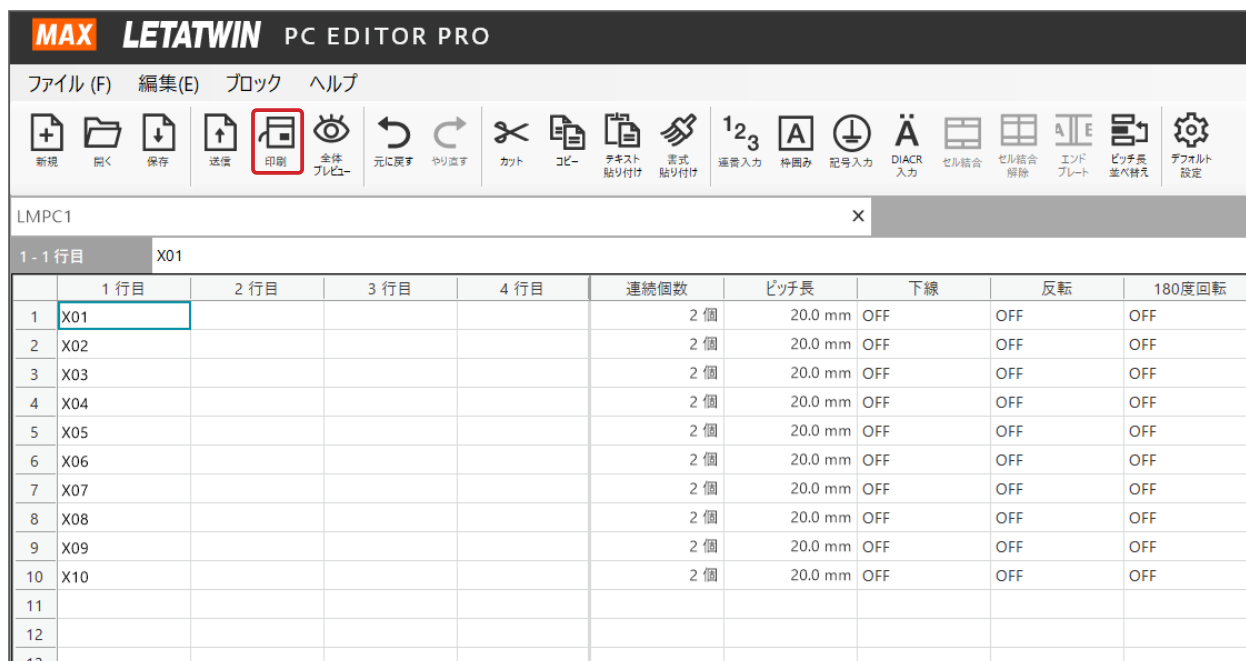
→ 8-9-3 「印刷パラメータ設定」を登録する

8-8-7 上下印字位置を設定する

印字位置が上下にずれているときは、上下位置を調整して印刷してください。
プラスの設定値で印字位置が上に、マイナスの設定値で印字位置が下に移動します。



1  アイコンをクリックします。



2 「印刷」画面、「上下印字位置」項目より設定値を変更してください。



MEMO

●「上下印字位置」の設定はデフォルト設定として登録することができます。

→ 8-9 デフォルト設定(初期値)を登録する

8-8-8 後端空送りを設定する

設定を ON にすると、印刷終了時に印字された消耗品を本体消耗品排出口まで送り出します。
消耗品の後端余白を減らしたい時は OFF に設定してください。

ON:



- 1  アイコンをクリックします。

MAX LETATWIN PC EDITOR PRO										
ファイル(F) 編集(E) ブロック ヘルプ										
										
新規	開く	保存	送信	印刷	全体プレビュー	元に戻す	やり直す	カット	コピー	テキスト貼り付け
LMPC1										
1 - 1 行目	X01									
	1 行目	2 行目	3 行目	4 行目	連続個数	ピッチ長	下線	反転	180度回転	
1	X01				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF	
2	X02				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF	
3	X03				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF	
4	X04				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF	
5	X05				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF	
6	X06				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF	
7	X07				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF	
8	X08				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF	
9	X09				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF	
10	X10				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF	
11										
12										
13										

- 2 「印刷」画面、「後端空送り」項目で「ON」、「OFF」を選択し印刷してください。



MEMO

- 「後端空送り」の設定はデフォルト設定として登録することができます。

→ 8-9 デフォルト設定(初期値)を登録する

- 後端送り量は、両面印字設定がONの時は「ON」で固定されます。

両面印字設定ON時の設定項目の制限は以下のとおりです。

機能	機能制限
印刷範囲指定	設定可能
部数	「1」で固定し、グレーアウト
全長補正	「0」で固定し、グレーアウト
カット位置	設定可能
上下印字位置	設定可能
印字濃度	設定可能
低速モード	設定可能
先頭空送り	「OFF」で固定し、グレーアウト
後端空送り	「ON」で固定し、グレーアウト
部数間余白	「OFF」で固定し、グレーアウト
送り方向印字位置調整	「0」で固定し、グレーアウト

8-8-9 先頭空送りを設定する

冬場の低温時など、チューブやグリップスリーブが硬くなり、先頭の2～3個で印字かすれ・欠けが発生する場合があります。

消耗品の搬送が安定していない状態で印字をすると、印字欠けやかすれが生じる可能性があります。

輸送を安定させて印字品質を確保するために、消耗品を一定量空送りします。

この場合、「先頭空送り」を「ON」または「AUTO」に設定し、印刷をおこなってください。

ON :  COM | A01 | A02 | A03

OFF : COM | A01 | A02 | A03 | A04 | A05

「AUTO」は本体ドアカバーオープン後の印刷を「先頭空送り」→「ON」の設定で印刷し、ドアカバーを開けずに続けて印刷する場合に「先頭空送り」→「OFF」の設定に自動的に切り替えて印刷をおこないます。

1



アイコンをクリックします。

MAX LETATWIN PC EDITOR PRO										
ファイル(F) 編集(E) ブロック ヘルプ										
新規	開く	保存	送信	印刷	全体プレビュー	元に戻す	やり直す	カット	コピー	ペースト
LMPC1										
1 - 1 行目 X01										
	1 行目	2 行目	3 行目	4 行目	連続個数	ピッチ長	下線	反転	180度回転	
1	X01				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF	
2	X02				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF	
3	X03				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF	
4	X04				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF	
5	X05				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF	

2

「印刷」画面、「先頭空送り」項目から設定し、印刷してください。

プリンタ選択

LM-3000PRO_LAN2

準備完了

印刷設定

印刷範囲指定

部数 全長補正 mm

印刷パラメータ設定

☒ PC EDITOR の設定を利用して印刷する ☐ プリンター本体 の設定を利用して印刷する

登録名参照

カット位置 mm

上下印字位置 mm

印字速度

低速モード ☒ OFF ☐ ON

後端空送り ☐ OFF ☒ ON

部数間余白 ☐ OFF ☒ ON

送り方向印字位置調整 mm

先頭空送り ☒ OFF ☐ AUTO

印刷

キャンセル

MEMO

●フルカット可能消耗品(記名板、ブロックマーカー以外)は「先頭空送り」「後端空送り」の設定をそれぞれ「OFF」にしてもフルカット位置まで消耗品を送るため、一定量の余白が発生します。

●「先頭空送り」の設定はデフォルト設定として登録することができます。

→ 8-9 デフォルト設定(初期値)を登録する

8-8-10 部数間余白を設定する

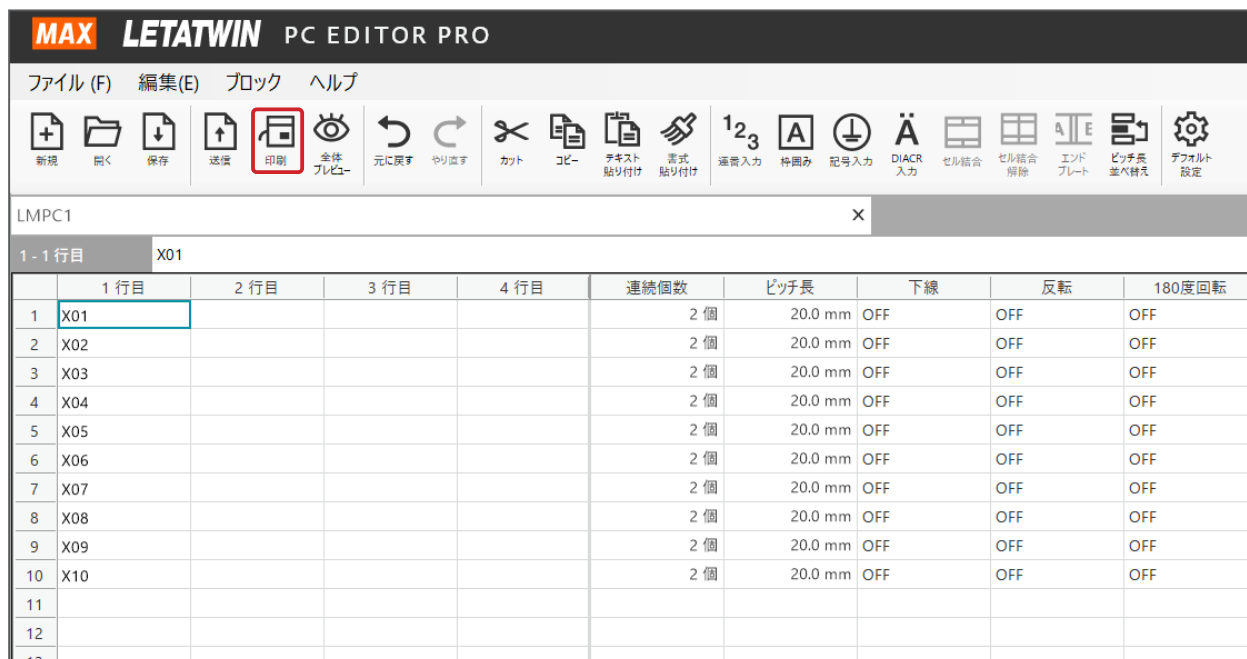
複数部を印刷する際の「部数間余白」を設定します。部数間に余白を設定したい場合は、ON に設定してください。

OFF	余白無し	CDM A01 A02 A03 CDM A01 A02 A03 CDM A01 A02 A03
ON	10mm ブロックマーカの場合 1 ブロック	CDM A01 A02 A03 CDM A01 A02 A03 CDM A01 A02

1



アイコンをクリックします。



2

「印刷」画面、「部数間余白」項目から「ON」、「OFF」を設定し、印刷してください。



8-8-11 送り方向印字位置を調整する(ブロックマーカのみ)

ブロックマーカの送り方向の左右印字位置を調整します。数字を大きくすると文字が右方向に移動します。

設定範囲		
0.0 ~ +8.0mm	<センター位置より左にずれている場合> + : 	ブロックのセンターに合う設定値を入力してください。
	<センター位置より右にずれている場合> + : 	次のブロックのセンター位置に合うよう設定値を入力してください。

1



アイコンをクリックします。



2

「印刷」画面、「送り方向印字位置調整」項目に数値を入力し、印刷してください。



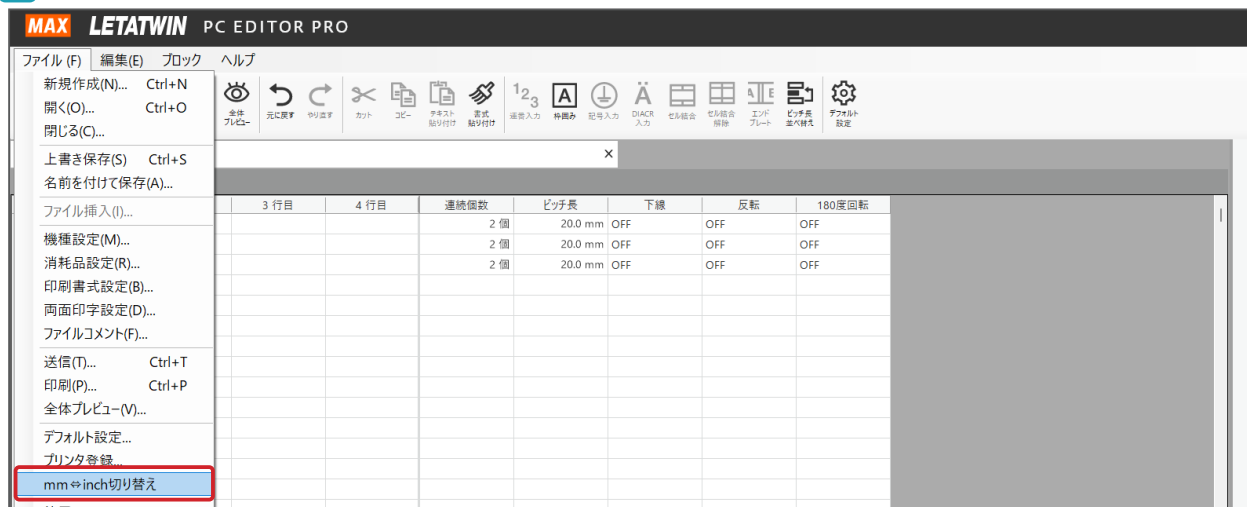
MEMO

- ブロックマーカ以外の消耗品の送り方向印字位置の調整は同画面内の「カット位置」で設定します。
- 「送り方向印字位置調整」の設定はデフォルト設定として登録することができます。

→ 8-9 デフォルト設定(初期値)を登録する

8-8-12 mm/inchの表示単位を切り替える

1 「ファイル」-「mm/inch 切り替え」をクリックしてください。



2 長さ単位が inch に変更されました。



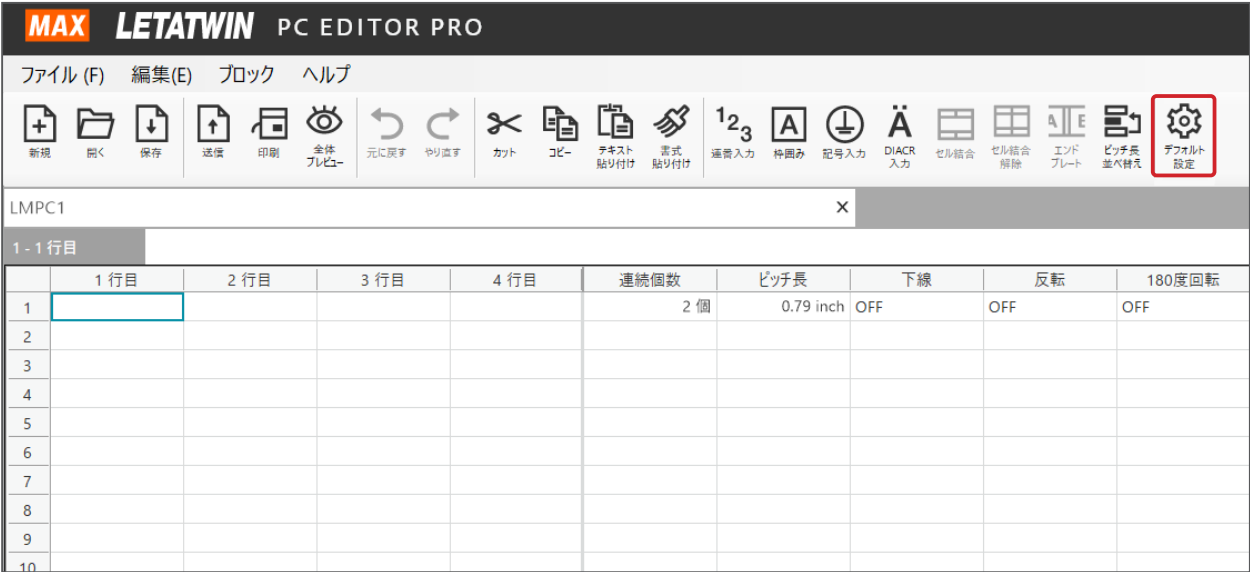
MEMO

- 消耗品サイズの設定はinch表示に切り替えてもmm表示されます。
- mm/inchを複数回切り替えると誤差が大きくなるおそれがありますので、「LETATWIN PC EDITOR PRO」を最初にご使用になる際にmm/inchの設定を行い、それ以降はできるだけ切替えずにお使いください。

8-9 デフォルト設定(初期値)を登録する

各種設定項目をデフォルト設定(初期値)として登録することができます。
新規文書作成時にデフォルト設定値が反映されます。

- 1
- 「デフォルト設定」画面を開くには、 アイコンアイコンをクリックします。



- 2
- 「デフォルト設定」で設定できる項目は、「基本設定」・「印刷書式設定」・「印刷パラメータ設定」の以下 3 項目です。



LM-3000 PRO/LM-550W3/500W3/550W2/500W2/550W/500W 機種毎にデフォルト設定値を登録することができます。

初期化	設定機種のみ設定値が初期化されます。
キャンセル	設定値を反映せずに「デフォルト設定」画面を閉じます。
OK	設定値を反映して「デフォルト設定」画面を閉じます。
適用	「デフォルト設定」画面を閉じずに設定値を反映します。

8-9-1 「基本設定」を登録する

「連続個数」・「ピッチ長」・「文字サイズ」・「文字幅」のデフォルト設定(初期値)を行います。



MEMO

- 「文字サイズ」・「文字幅」の設定は「印刷書式設定」画面内、「文字サイズオート」設定を「OFF」の時のみ反映されます。
- 設定機種毎にデフォルト値を登録することができます。

8-9-2 「印刷書式設定」を登録する

「印刷書式設定」画面内の各項目をデフォルト設定(初期値)として登録することができます。



MEMO

- 設定機種毎にデフォルト値を登録することができます。
- グレースケールで入力できない設定項目は対象の機種ではご使用になれません。

8-9-3 「印刷パラメータ設定」を登録する

「印刷パラメータ設定」は設定変更した値を登録名を付けて保存し、印刷時に登録した設定値を呼び出して使用します。

デフォルト設定

基本設定 | 印刷書式設定 | **印刷パラメータ設定**

印刷パラメータ登録情報

登録名	カット位置	上下印字位置	印字濃度	低速モード	後端空送り	先頭空送り	部数間余白	送り方向印字位置調整
チュープ3.2用	0.0 mm	0.0 mm	5	OFF	ON	OFF	ON	0.0 mm
スリープLM-SL34W用	0.0 mm	0.0 mm	5	OFF	ON	OFF	ON	0.0 mm

登録削除

印刷パラメータ設定

登録名

登録追加

カット位置: 0.0 mm

上下印字位置: 0.0 mm

印字濃度: 1 2 3 4 5 6 7 8 9

低速モード: ☒ OFF ☐ ON

後端空送り: ☐ OFF ☒ ON

先頭空送り: ☒ OFF ☐ ON

部数間余白: ☐ OFF ☒ ON

送り方向印字位置調整: 0.0 mm

設定機種: LM-3000PRO

初期化 キャンセル OK 適用

1 設定値を入力後、登録名を入力し、「登録追加」をクリックします。

例) カット位置を 1.0 mm にして登録します。

デフォルト設定

基本設定 | 印刷書式設定 | **印刷パラメータ設定**

印刷パラメータ登録情報

登録名	カット位置	上下印字位置	印字濃度	低速モード	後端空送り	先頭空送り	部数間余白	送り方向印字位置調整

登録削除

印刷パラメータ設定

登録名: **スリープ用**

登録追加

カット位置: 0.0 mm

上下印字位置: 0.0 mm

印字濃度: 1 2 3 4 5 6 7 8 9

低速モード: ☒ OFF ☐ ON

後端空送り: ☐ OFF ☒ ON

先頭空送り: ☒ OFF ☐ ON

部数間余白: ☐ OFF ☒ ON

送り方向印字位置調整: 0.0 mm

設定機種: LM-3000PRO

初期化 キャンセル OK 適用

2 設定値が登録されました。



3 「印刷」画面では、「PC EDITORの設定を利用して印刷する」をチェックし、「登録名参照」欄から設定値を呼び出して印刷してください。

カット位置：1.0 mmが反映されます。



MEMO

●印刷パラメータ設定で登録できる件数は各機種ごと20件まで登録できます。

8-10 ファイルを保存・送信する

■保存と送信の違い

保存	編集中の文書を PC または PC に差した USB メモリに名前を付けて保存します。
送信	編集中の文書を LM-3000PRO 本体に差した USB メモリに保存します。 送信するには PC と本体の接続が必要です。

■保存ファイル形式

ファイル形式	拡張子	対象
LMP	.LMP	LM-3000PRO
LMF	.LMF	LM-550W3/500W3/550W2/500W2/550W/500W
CSV	.CSV	全モデル共通

■注意

CSVファイル形式で保存する場合、選択された機種・消耗品のデータは保存されません。
CSVファイル形式で保存する場合、保存される設定項目は「連続個数」・「ピッチ長」のみです。
CSVファイル形式で保存された「連続個数」・「ピッチ長」のデータを読み込んで反映させる場合は「ファイル」→「ファイル挿入」から行ってください。

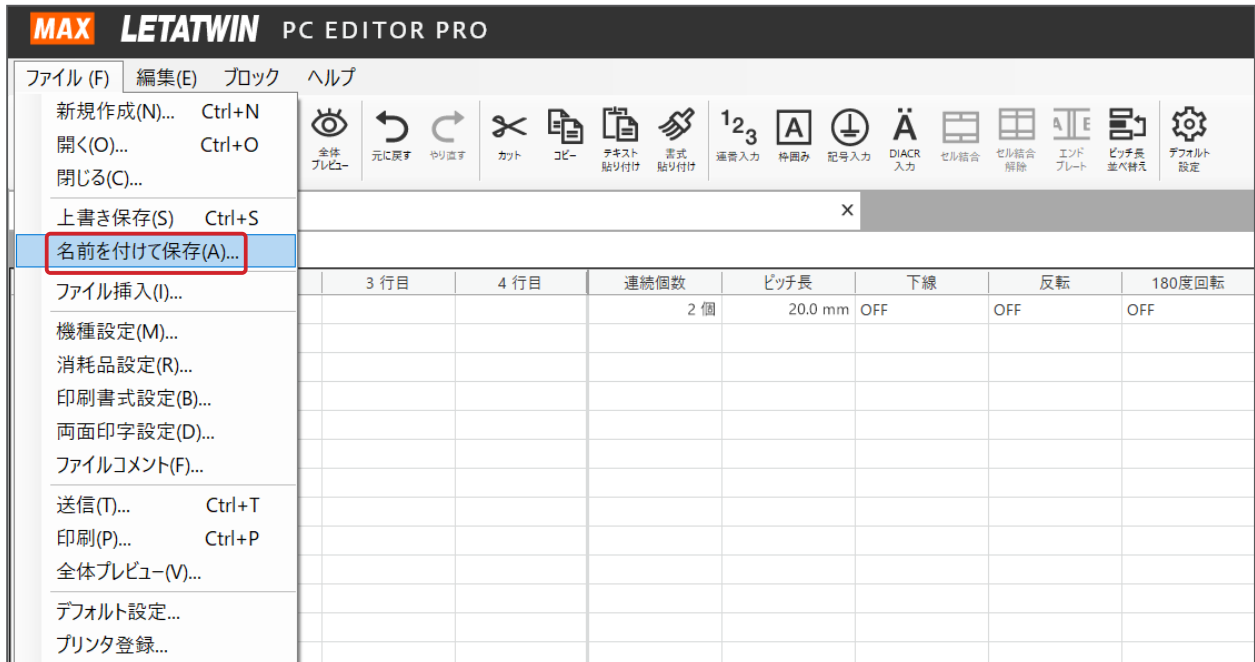
→ 9-3 CSV形式のファイルの取込方法

■ USB メモリにデータを保存する場合の事前準備

USBメモリの1階層目に「LM-3000PRO」というフォルダを作成し、その中に自由に名前を付けたフォルダを作成してください。
本機で読み込むことができるデータは、2階層目のフォルダに保存されたものに限られます。

8-10-1 名前を付けてファイルを保存する

- 1 「ファイル」→「名前を付けて保存」をクリックします。



- 2** 「名前を付けて保存」画面がひらきます。「ファイルの場所」を指定し、「ファイル名」を入力して「保存」ボタンをクリックして保存してください。

①	ファイルの保存場所を指定します。
②	保存済のファイル一覧が表示されます。
③	保存ファイル名を入力します。
④	保存ファイル形式を選択します。
⑤	CSV ファイル形式で保存する場合のみエンコードの種類を選択します。
⑥	保存ファイルにコメントを登録できます。最大 100 文字まで入力できます。 →8-10-4 ファイルコメントを登録する
⑦	保存文書を使用する機種を選択します。文書作成時に設定した機種から機種を変更して保存する場合に使用します。

MEMO

- ファイルを上書きするには、「保存」アイコンから同じファイル名で保存または、「ファイル」→「上書き保存」から上書き保存してください。
- LM-3000PROは本体メモリがありません。
- LM-3000PRO本体のみで印刷する場合、LMPファイル形式のデータの入ったUSBメモリを本体に差すことでご使用になれます。
- USBメモリを使ってLM-3000PRO本体で印刷する場合、LMPファイル形式のデータのみご使用いただけます。
- LM-550W3/500W3/550W2/500W2/550W/500Wは本体に直接挿されたUSBメモリ内にデータを直接送信することはできません。
- LM-550W3/500W3/550W2/500W2/550W/500Wは本体メモリまたは、本体の入力文書に直接データを送信することができます。
- LM-550W3/500W3/550W2/500W2/550W/500WでUSBメモリを使って印刷する場合は、PCからUSBメモリ直下のフォルダにLMFファイルを保存してご使用ください。
- 上位モデルから下位モデルに機種変更する場合は、「名前をつけて保存」→「設定機種」にて機種を選択して名前をつけて保存してください。保存後、「開く」よりファイルを開いてください。

8-10-2 ファイルを上書き保存する



アイコンをクリックすると、上書き保存されます。

MAX LETATWIN PC EDITOR PRO

ファイル(F) 編集(E) ブロック ヘルプ

新規 開く **保存** 送信 印刷 全体表示 元に戻す やり直す カット コピー テキスト貼り付け 書式貼り付け 通算入力 枠組み 記号入力 DIACR入力 セル結合 セル結合解除 エンドプレート ピッチ長並べ替え デフォルト設定

LMPC1 X

1 - 1 行目 X01

	1 行目	2 行目	3 行目	4 行目	連続個数	ピッチ長	下線	反転	180度回転
1	X01				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
2	X02				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
3	X03				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									

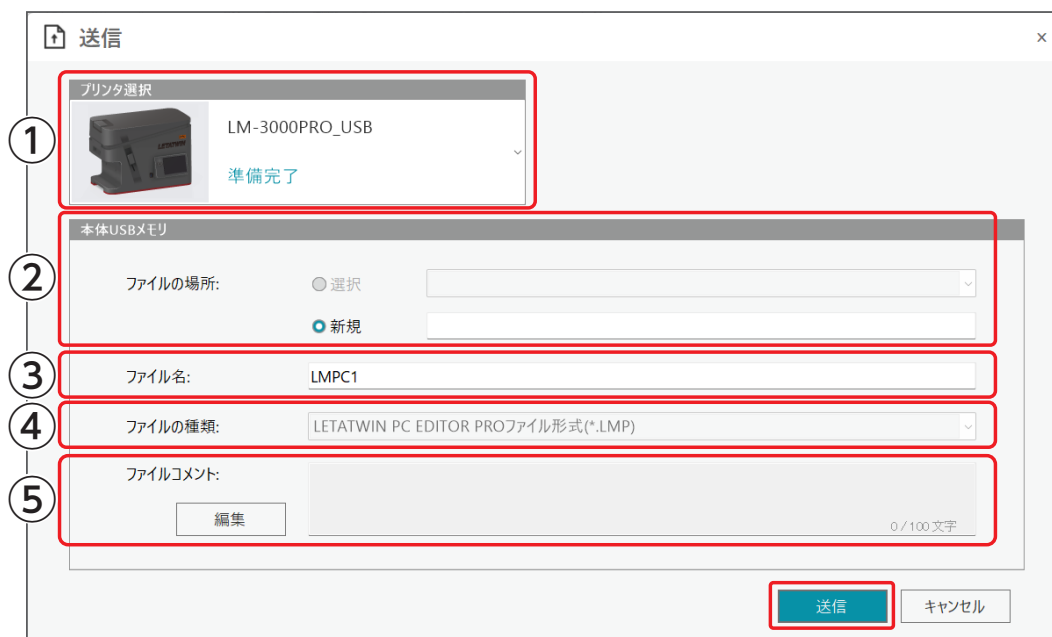
8-10-3 ファイルを送信する

編集中の文書をLM-3000PRO本体に差したUSB メモリに保存します。送信するには PC と本体の接続が必要です。

- 1  アイコンをクリックします。



- 2 「送信」画面がひらきます。「ファイルの場所」を指定し、「ファイル名」を入力して「送信」ボタンをクリックして送信してください。



①	送信先の機械を選択します。	
②	保存先のフォルダを指定します。	既存：作成済みのフォルダから選択します。 新規：新規フォルダを作成します。
③	保存ファイル名を入力します。	
④	ファイル形式	
⑤	保存ファイルにコメントを登録できます。最大 100 文字まで入力できます。	

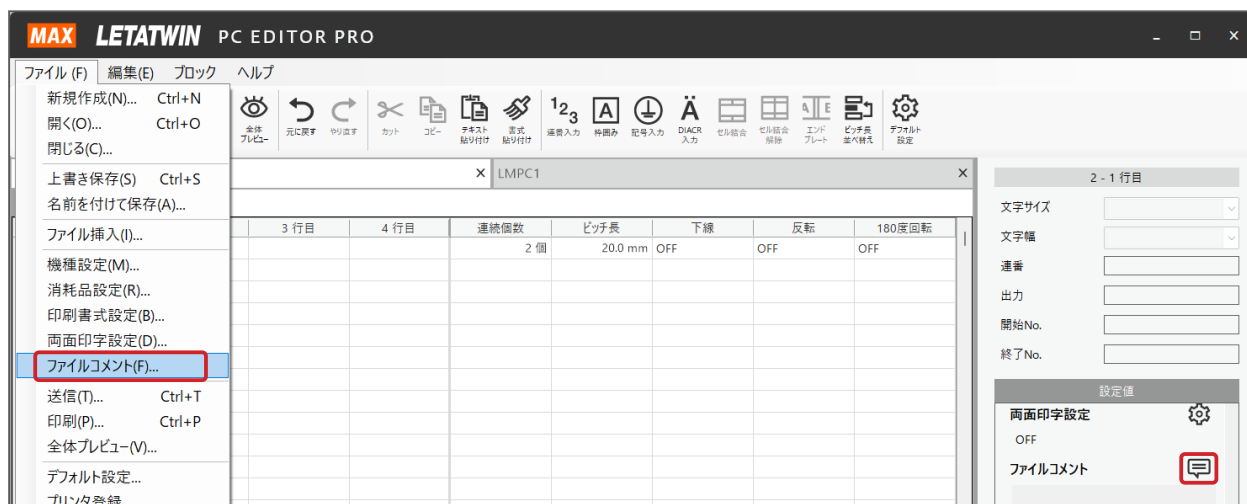
→ 8-10-4 ファイルコメントを登録する

8-10-4 ファイルコメントを登録する

ファイルコメントを登録するには、「名前をつけて保存」画面、「送信」画面、メイン編集画面で入力することができます。

→ 8-10-3 ファイルを送信する

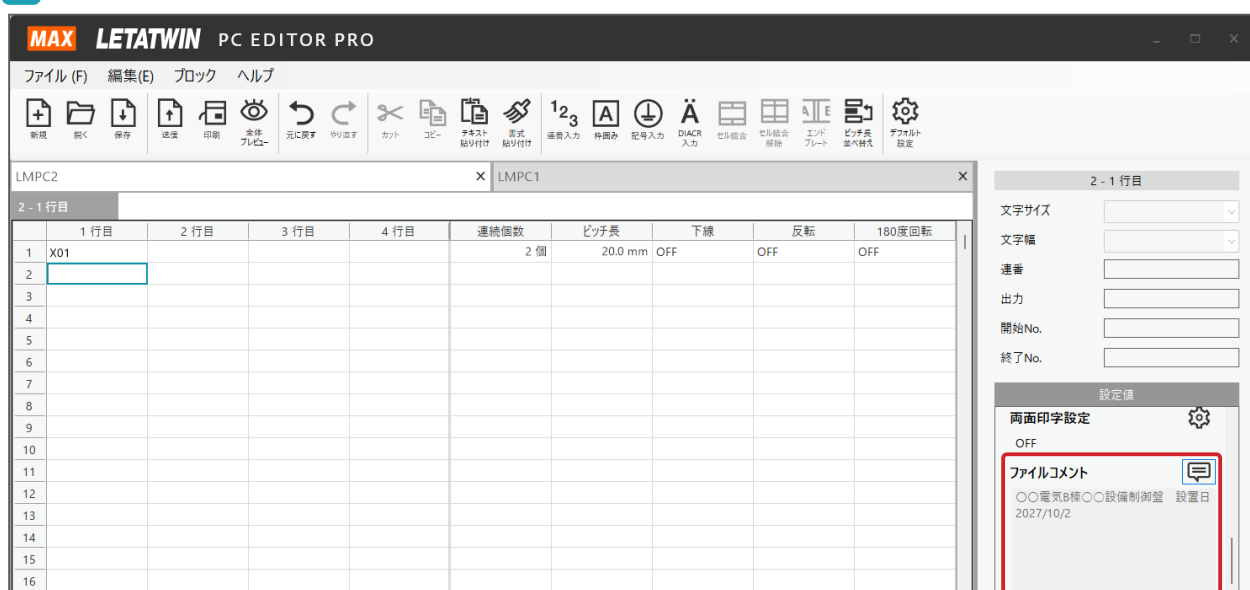
- 1 メイン編集画面からファイルコメントを入力します。
「ファイル」－「ファイルコメント」をクリックまたは、 ボタンをクリックします。



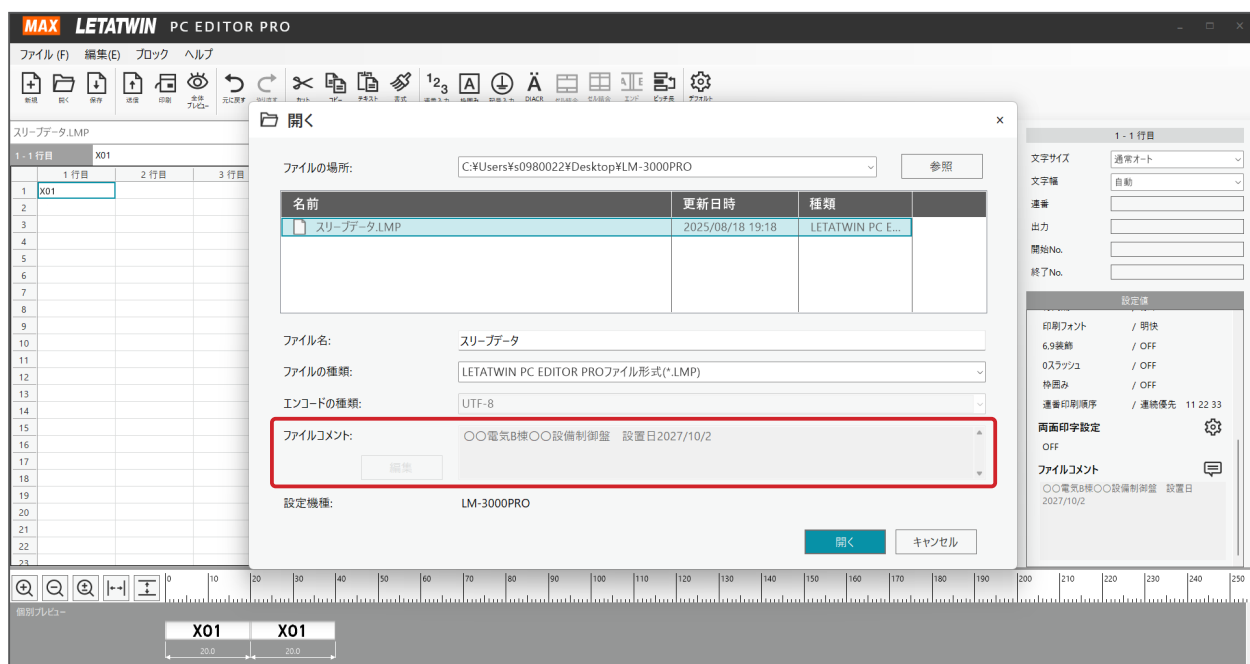
- 2 ファイルコメントを入力し、「OK」ボタンをクリックします。



3 ファイルコメントが登録されました。



4 ファイルコメントが登録された保存文書は、保存文書を読み出し時にファイルコメントを確認することができます。



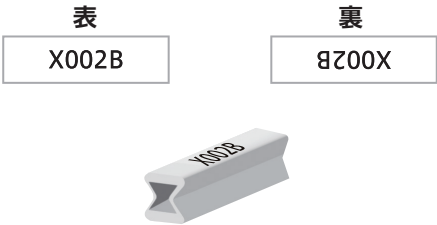
MEMO

- ファイルコメント文書は改行することは出来ません。
- ファイルコメントは最大100文字まで入力することができます。
- USBメモリに保存した文書のファイルコメントは本体で確認することができます。

8-11 両面印字をする

グリップスリーブのみ両面印字を行うことができます。
両面印字機能とは、表面に印字された文字内容をそのまま 180度回転させて裏面に印字する機能です。
両面印字は一度に両面を印字することはできません。表面印字後、プリンタ本体からグリップスリーブを取り出して裏面を上セットして印字してください。

【両面印字のイメージ】



1 「ファイル」－「両面印字設定」をクリックします。

MAX LETATWIN PC EDITOR PRO

ファイル(F) 編集(E) ブロック ヘルプ

新規作成(N)... Ctrl+N
開く(O)... Ctrl+O
閉じる(C)...

上書き保存(S) Ctrl+S
名前を付けて保存(A)...

ファイル挿入(I)...

機種設定(M)...

消耗品設定(R)...

印刷書式設定(B)...

両面印字設定(D)...

ファイルコメント(F)...

送信(T)... Ctrl+T
印刷(P)... Ctrl+P
全体レビュー(V)...

デフォルト設定...

プリンタ登録...

全体
レビュー

元に戻す

やり直す

カット

コピー

テキスト
貼り付け

書式
貼り付け

通算入力

枠囲み

記号入力

DIACR
入力

セル結合

セル結合
解除

エンド
プレート

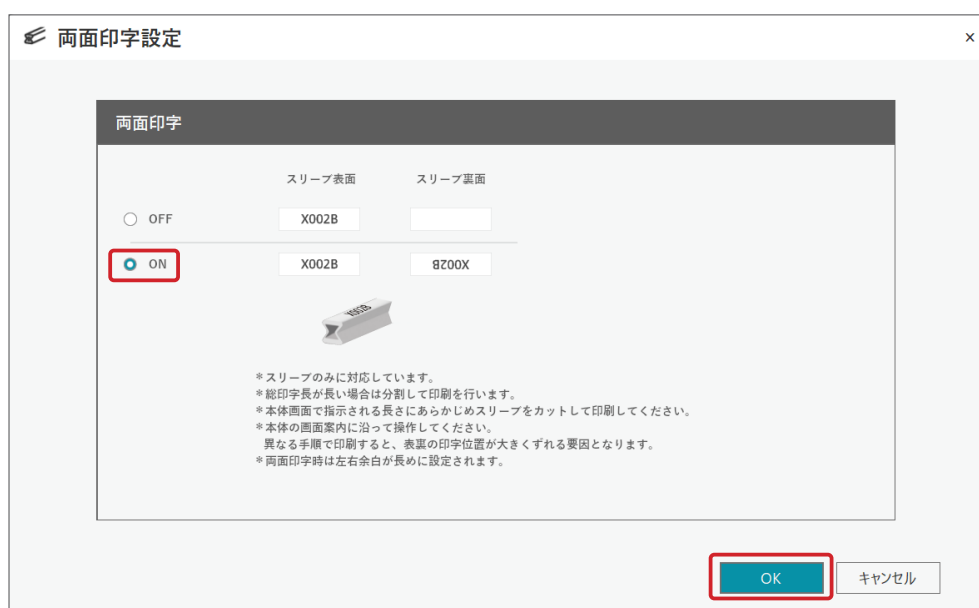
ピッチ長
並べ替え

デフォルト
設定

X

3 行目	4 行目	連続個数	ピッチ長	下線	反転	180度回転
		2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF

2 「ガイドンス表示」画面では「ON」を選択し、「OK」ボタンを押してください。

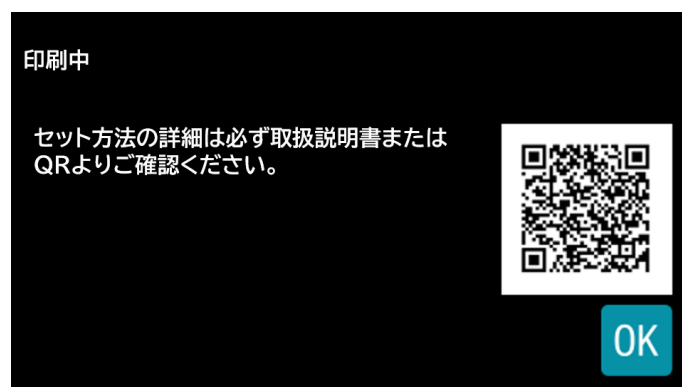


両面印字の設定は完了です。
「LETATWIN PC EDITOR PRO」 またプリンタ本体より印刷してください。

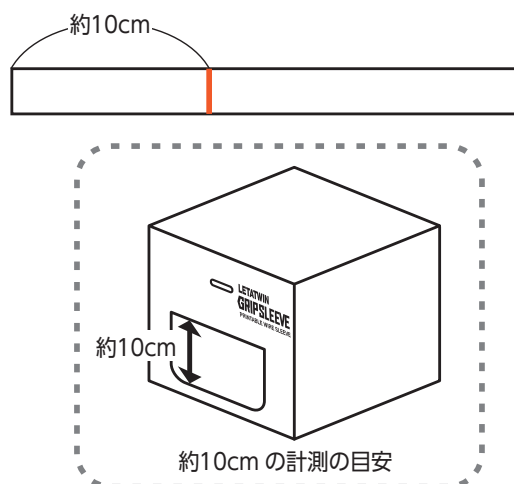
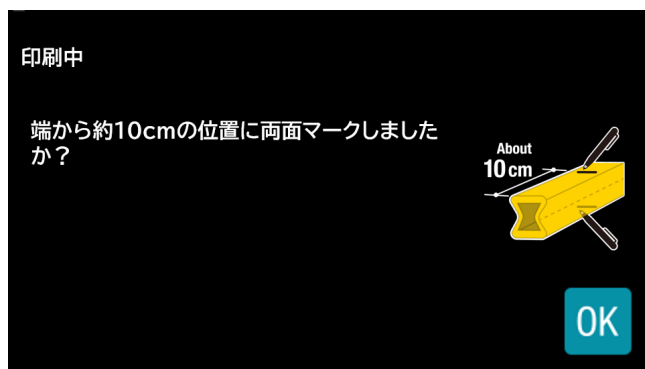
→ 6-2 印刷 → 7-1-8 印刷する

次にプリンタの指示に従ってグリップスリーブをセット、印刷を行ないます。

3 本体LCD画面にマックスHPへリンクしたQRコードが表示されます。 操作手順動画をご閲覧いただけます。動画ご確認後「OK」ボタンを押してください。



4 グリップスリーブの先端から10cmの位置に表・裏両面に目印を付けます。



5 グリップスリーブを指示された長さにカットして、機械本体にセットします。 「再開」ボタンはまだ押さないでください。

※通常とは異なる手順となりますので以降の説明を必ずお読みの上、印字を行ってください。
88cmを超える印刷は分割して印刷を行ないます。



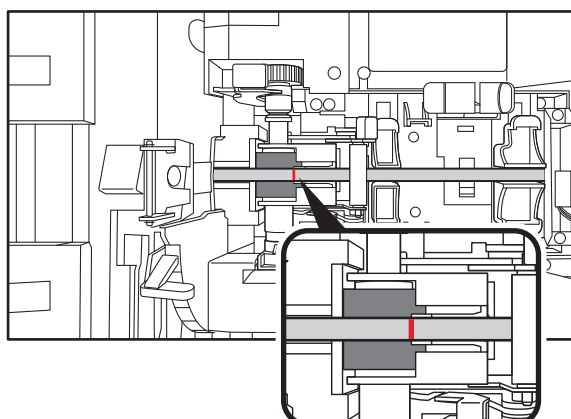
6 グリップスリーブボビン巻きの外側面を上向きに、目印位置を先頭に、カットしたグリップスリーブを本体にセットします。目印位置は以下の図をご参考にセットしてください。

→ 4-4 グリップスリーブのセットのしかた

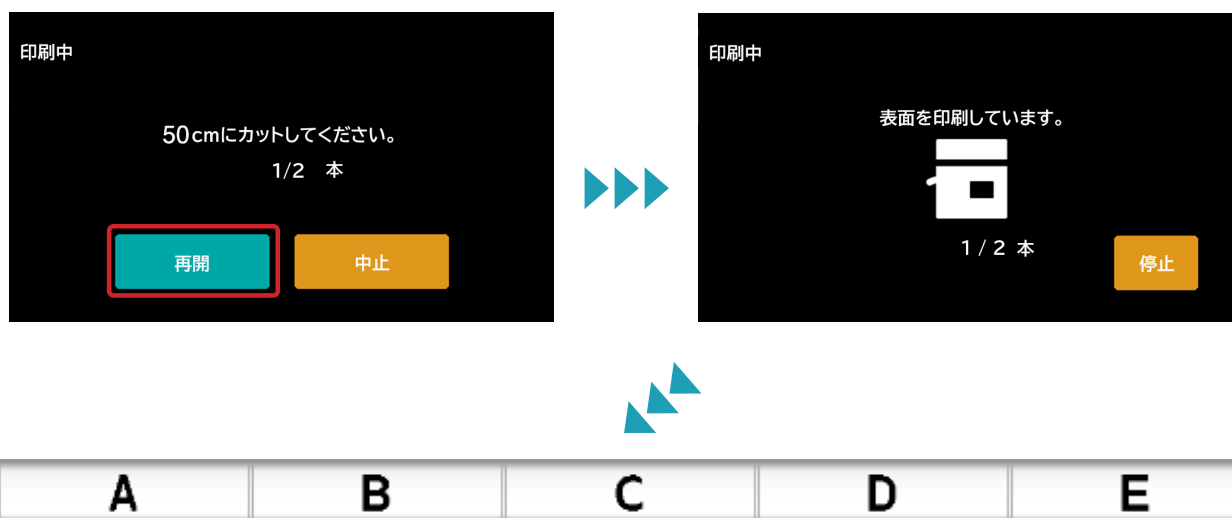
〈グリップスリーブの反り〉



〈グリップスリーブセット位置〉



- 7** ドアカバーを閉め、「再開」ボタンを押してください。
※表面印刷時はハーフカットは入りません。裏面印刷時にハーフカットが入ります。



- 8** ドアカバーを開け、グリップスリーブを裏返してセットしてください。グリップスリーブセット位置は表面印刷位置と同じです。
※裏面印刷時にハーフカットが入ります。



- 9** 分割印字の場合は4～8の手順を繰り返し印字を行ってください。

MEMO

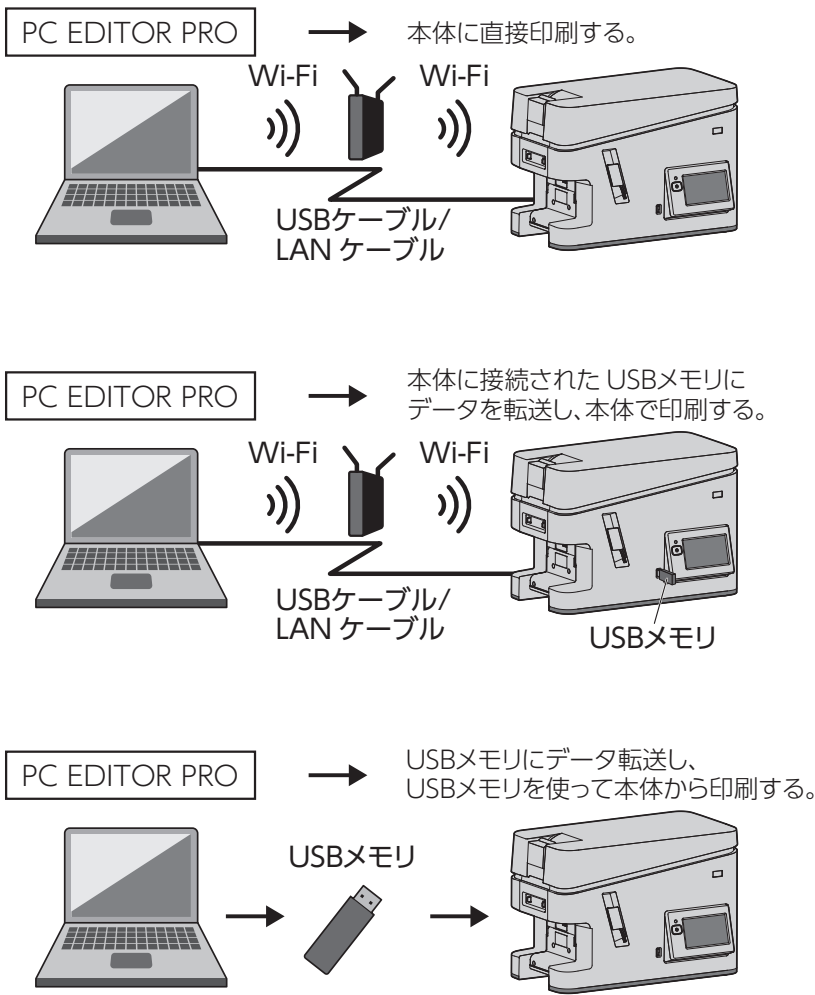
- グリップスリーブは本体画面で指示される長さにあらかじめ必ずカットして印刷してください。
- 表面と異なる文字を裏面に印字することはできません。
- 本体の画面案内に沿って操作してください。異なる手順で印刷すると、表裏の印字位置が大きくずれる要因となります。
- 両面印刷「ON」時は、左右の余白が長めの設定となります。
- 総印字長が50cmを超える場合は分割して印刷を行います。本体の画面案内に沿って操作してください。
- 本体から印刷する場合は、両面印字の有無を切り替えてのご使用はできません。予め両面印字を設定したデータをUSBメモリに保存してご使用ください。

第9章. 「LETATWIN PC EDITOR PRO」 データ活用方法

9-1	「LETATWIN PC EDITOR PRO」データ活用方法	191
9-2	表計算ソフトで作成したデータを 「LETATWIN PC EDITOR PRO」に取り込む	193
9-3	CSV形式のファイルの取込方法	194
9-3-1	印字内容のみ取り込む	195
9-3-2	CSVファイルからコピー&ペーストする	197
9-3-3	印字内容・連続個数・ピッチ長データを取り込む	198
9-3-4	「LETATWIN PC EDITOR PRO」アイコンに CSVファイルをドラッグして取り込む	199

9-1 「LETATWIN PC EDITOR PRO」データ活用方法

LETATWIN PC EDITOR PRO で作成したデータの活用方法は以下の 3 種類があります。



LETATWIN PC EDITOR PRO は LM-3000PRO だけでなく以下のモデルでもご使用いただけます。

	PC から直接印刷	PC ↓ USBメモリに データ転送	PC ↓ 本体メモリに データ転送	PC ↓ 本体に接続された USBメモリにデータ転送
LM-3000PRO	○	○	× (本体メモリ無)	○
LM-550W3/500W3/550W2/ 500W2/550W/500W	○	○	○	×

データ形式はモデルによって異なります。

	データ形式
LM-3000PRO	LETATWIN PCEDITOR PRO ファイル形式 (*.LMP)
LM-550W3/500W3/550W2/ 500W2/550W/500W	レタツイン PC エディタファイル形式 (*.LMF)

MEMO

- セキュリティ機能のあるUSBメモリは使用できません。
- USBメモリのルートに直接ファイルを保存すると本体で読み込むことができません。必ずフォルダを作成し、フォルダの中に保存をしてください。
- LM-3000PROでご使用の場合、フォルダ名とファイル名は、半角、全角問わず50文字以内にしてください。本体で表示できない末尾が見切れます。
- LM-5××シリーズでご使用の場合、半角英数字8文字以内にしてください。
- 所定の操作をせずにUSBメモリを取外すとデータを壊す場合があるのでご注意ください。
- 「ファイル挿入」は、上位モデルで作成したファイルを挿入することはできません。

ファイル挿入元データ 選択機種	ファイル編集集中 選択機種						
	LM-3000PRO	LM-550W3	LM-500W3	LM-550W2	LM-500W2	LM-550W	LM-500W
LM-3000PRO	○	×	×	×	×	×	×
LM-550W3	○	○	○	×	×	×	×
LM-500W3	○	○	○	×	×	×	×
LM-550W2	○	○	○	○	×	×	×
LM-500W2	○	○	○	○	○	×	×
LM-550W	○	○	○	○	×	○	×
LM-500W	○	○	○	○	○	○	○

9-2 表計算ソフトで作成したデータを「LETATWIN PC EDITOR PRO」に取り込む

Excel 等の表計算ソフトで作成した CSV 形式のファイルを PC EDITOR PRO で読み込むことができます。

表計算ソフトで文字を入力する際は、以下の入力ルールに基づき入力してください。

CSV ファイル	A 列	B 列	C 列	D 列	E 列	F 列	G 列	H 列以降
印刷 ブロック	1 行目	2 行目	3 行目	4 行目	連続個数	ピッチ長	mm/inch 指定	無効

※連続個数やピッチ長も読み込む場合は、ファイル挿入で読み込んでください。

CSVファイルのA列に入力した文字が印刷ブロックの 1 行目、B列に入力した文字が印刷ブロックの 2 行目になります。



1 行目	2 行目	3 行目	4 行目	連続個数	ピッチ長	mm/inch 指定
A	B	C	D	E	F	G
COM				1	20	mm
R	X01			1	20	
S	X02			1	20	
T	X03			1	20	
V				1	20	
W				1	20	
COM	X01			1	20	
COM	X02			1	20	

 **MEMO**

- G列が空白の場合、長さ単位は「mm」で読み込まれます。
- 「mm」、「inch」を指定する場合はG列1行目のみ入力します。

9-3 CSV 形式のファイルの取込方法

EXCEL 等の表計算ソフトで作成した CSV 形式のファイルの取込方法は 4 種類あります。

取込方法	CSV データ取り込み可能範囲
「開く」から取り込む	A列～ D列までの CSV データのみです。E列の連続個数・F列のピッチ長・G列の mm/inch 指定は反映されません。
CSV ファイルからコピー&ペースト	A列～ D列までの CSV データのみです。E 列の連続個数・F列のピッチ長・G列の mm/inch 指定は反映されません。
「ファイル挿入」から取り込む	A列～ G列までの CSV データを取り込むことができます。連続個数・ピッチ長・mm/inch 指定も反映されます。
アイコンに CSV ファイルをドラッグ	A列～ D列までの CSV データのみです。E 列の連続個数・F列のピッチ長・G列の mm/inch 指定は反映されません。

【入力例】

	A	B	C	D	E	F	G
1	COM				2	25	
2	R	X01			2	25	
3	S	X02			2	25	
4	T	X03			2	25	
5	V				4	25	
6	W				4	25	
7	COM	X01			2	25	
8	COM	X02			2	25	

※文字化けの恐れがありますので、CSV ファイルを保存、または読み込み時には以下の機種に対応したエンコード種類を指定して行ってください。

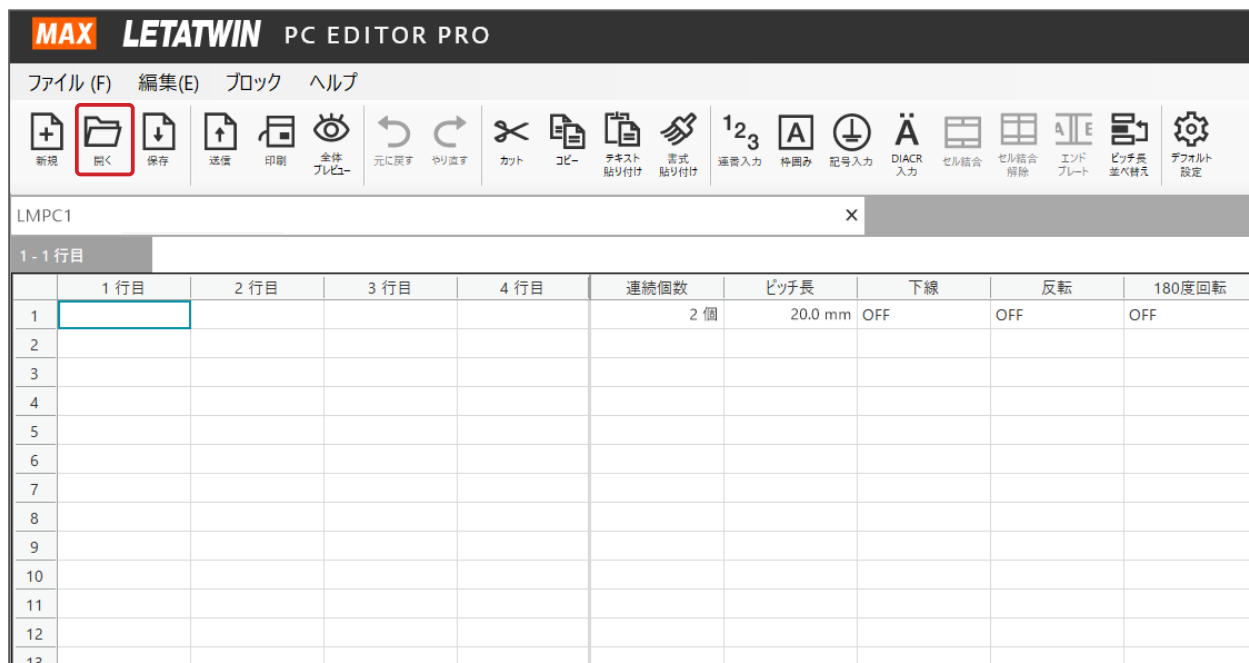
機種名	CSV ファイル選択時のエンコード種類
LM-3000PRO	UTF- 8
LM-550W3	Shift-JIS
LM-500W3	
LM-550W2	
LM-500W2	
LM-550W	
LM-500W	

9-3-1 印字内容のみ取り込む

1

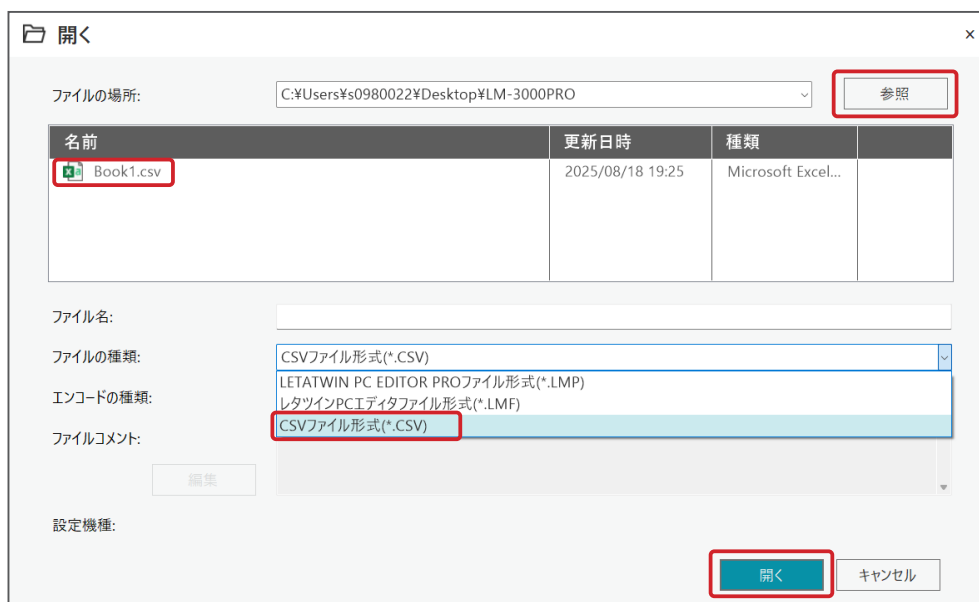


アイコンをクリックします。



2

「ファイルの種類」から「CSVファイル形式(*.CSV)」を選択、「参照」ボタンから目的のファイルを指定して「開く」をクリックします。



3 メイン編集画面にデータが読み込まれます。

MAX LETATWIN PC EDITOR PRO

ファイル(F) 編集(E) ブロック ヘルプ

+

開く

↓

保存

↑

送信

印刷

全体プレビュー

↶

元に戻す

↷

やり直す

✂

カット

📄

コピー

📄

テキスト貼り付け

📄

書式貼り付け

1₂3

通算入力

A

枠組み

⌵

記号入力

Ä

DIACR入力

📊

セル結合

📊

セル結合解除

📊

エンドプレート

📊

ピッチ長並べ替え

⚙

デフォルト設定

LMPC1

×

1 - 1 行目

X01

	1 行目	2 行目	3 行目	4 行目	連続個数	ピッチ長	下線	反転	180度回転
1	X01				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
2	X02				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
3	X03				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
4	X04				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
5	X05				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
6	X06				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
7	X07				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
8	X08				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
9	X09				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
10	X10				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
11	X11				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
12	X12				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
13	X13				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
14	X14				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
15	X15				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
16	X16				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
17	X17				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
18	X18				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
19	X19				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
20	X20				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF
21									
22									

9-3-2 CSVファイルからコピー&ペーストする

1 CSVファイルをコピーします。

	A	B	C	D	E	F	G
1	COM				2	25	
2	R	X01			2	25	
3	S	X02			2	25	
4	T	X03			2	25	
5	V				4	25	
6	W				4	25	
7	COM	X01			2	25	
8	COM	X02			2	25	
9							
10							

2 貼付け位置を選択し、 アイコンをクリックします。

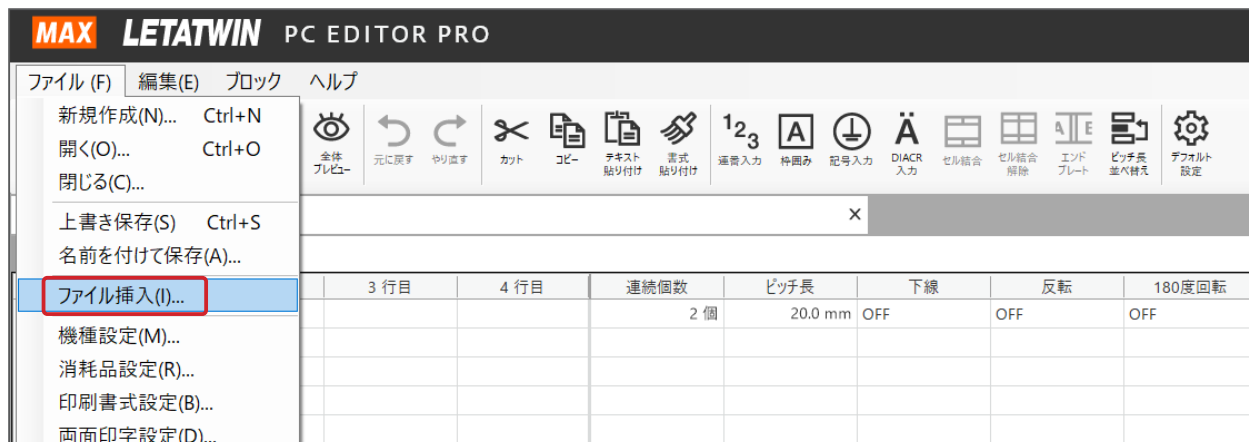
MAX LETATWIN PC EDITOR PRO										
ファイル(F) 編集(E) ブロック ヘルプ										
										
LMPC1										
1 - 1 行目										
	1 行目	2 行目	3 行目	4 行目	連続個数	ピッチ長	下線	反転	180度回転	
1					2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF	
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										

3 データが貼り付けされました。

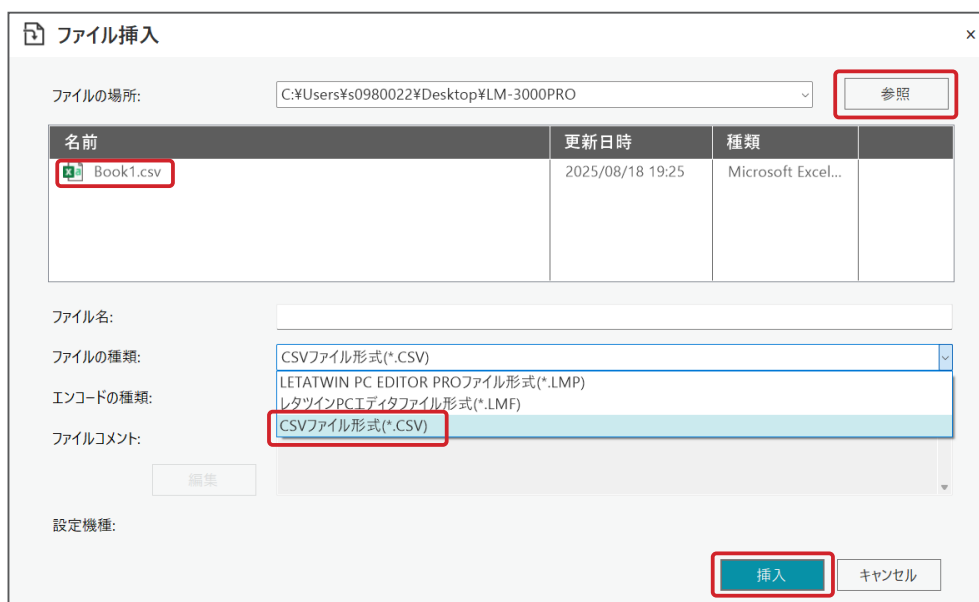
MAX LETATWIN PC EDITOR PRO										
ファイル(F) 編集(E) ブロック ヘルプ										
										
LMPC1										
1 - 1 行目 T										
	1 行目	2 行目	3 行目	4 行目	連続個数	ピッチ長	下線	反転	180度回転	
1	T	X03			2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF	
2	V				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF	
3	W				2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF	
4	COM	X01			2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF	
5	COM	X02			2 個	20.0 mm	OFF	OFF	OFF	
6										
7										
8										

9-3-3 印字内容・連続個数・ピッチ長データを取り込む

1 「ファイル挿入」をクリックします。



2 「ファイルの種類」から「CSVファイル形式(*.CSV)」を選択、「参照」ボタンから目的のファイルを指定して「挿入」をクリックします。

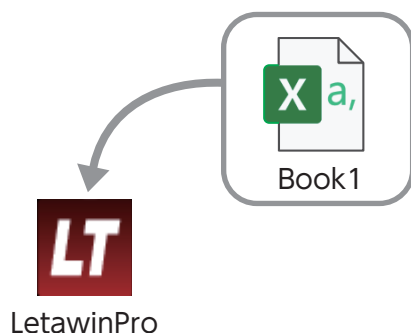


3 ファイルが挿入されました。「連続個数」・「ピッチ長」が反映されました。



9-3-4 「LETATWIN PC EDITOR PRO」アイコンに CSVファイルをドラッグして取り込む

- 1 CSVファイルをLETATWIN PC EDITOR PROアイコンにドラッグします。



- 2 データが読み込まれます。その後機種設定を行ってください。

MEMO

●ピッチ長の入力されていないブロックを2個以上またいでの貼り付け、ファイル挿入はできません。

第10章. お手入れのしかた

10-1	プラテンローラーをクリーニングする.....	201
10-2	サーマルヘッドをクリーニングする.....	202
10-3	消耗品ありなしセンサーをクリーニングする	203
10-4	ブロックマーカースセンサー／ブロックマーカース用アタッチメントを クリーニングする.....	204
10-5	メディアガイドB、Dをクリーニングする(テープ粘着剤の除去方法)	205

10-1 プラテンローラーをクリーニングする

快適にお使いいただくため、本体の定期的なお手入れをお願いします。
次のような症状が見られたら、お手入れの時期です。
ご使用頻度やご使用の環境により異なりますが、1ヵ月に1回以上のお手入れが目安です。

症状

- ・印刷した消耗品のブロック長が設定値より2mm以上短い。
- ・印刷した文字が左側に寄って印刷される。

原因

プラテンローラーに付着したホコリや汚れが消耗品の搬送に影響しています。

準備するもの

- ・水に濡らしたかたく絞った布、またはアルコールをつけた柔らかい布
(糸くずが出やすい布は使用しないでください)
- ・テープ

お手入れのしかた

1 電源をOFFにした状態でカバーをあけます。

2 プラテンローラーを本体から取外します。

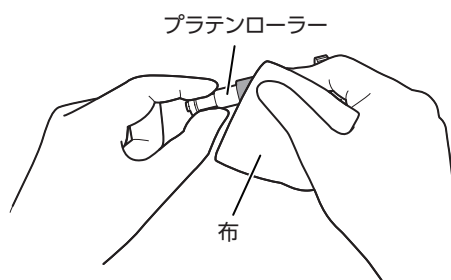
3 〈ホコリや汚れを取るとき〉

水に濡らしたかたく絞った布、またはアルコールをつけた柔らかい布で、プラテンローラーに付着したホコリや汚れを拭き取ってください。プラテンローラーを正回転、逆回転で駆動させます。
印刷物の巻き込み等によりプラテンローラーの取外しが出来ない場合、プラテンローラーを駆動させて印刷物を取り除いてください。 → 6-6 ヘルプ

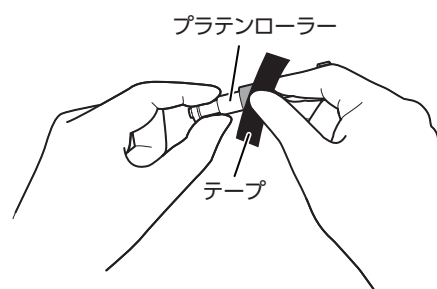
〈テープ粘着剤を取るとき〉

テープ粘着剤が付着した場合は、テープの粘着面を押し付けて除去してください。

〈ホコリや汚れを取るとき〉



〈テープ粘着剤を取るとき〉



お願い

- 水・アルコールが乾いてから印刷してください。

10-2 サーマルヘッドをクリーニングする

症状

印刷した文字に白く細い横スジが入る。

原因

汚れやホコリがサーマルヘッドに付着し、インクリボンの転写に影響しています。

準備するもの

- ・アルコールを浸した綿棒（エタノールが適しています）
※乾拭きでも効果はありますが、アルコールを使用するとさらに効果的です。

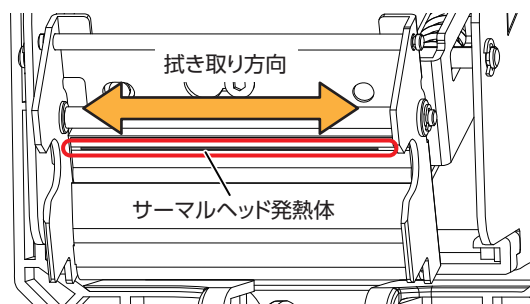
お手入れのしかた

- 1 本体背面の主電源をOFFにしてください。
- 2 ドアカバーを開けてください。
- 3 サーマルヘッド中央にある発熱体部分(画像参照)を、アルコールを浸した綿棒でやさしく拭き取ってください。
- 4 改善しない場合は、サーマルヘッドを交換してください。

→ 5-2 サーマルヘッドの交換のしかた

お願い

- クリーニングは、必ず本体背面の主電源をOFFにして行ってください。
- サーマルヘッドに指で直接触れないでください。故障の原因となります。
- プラテンローラー、サーマルヘッドのクリーニングをしても症状が改善しない場合は、トラブルシューティングをご参照ください。
- サーマルヘッドの拭き取り方向はサーマルヘッド幅方向に拭き取ってください。
- アルコールが乾いてから印刷してください。



→ 11-1 こんなときは

10-3 消耗品ありなしセンサーをクリーニングする

症状

消耗品が無くなっても、印刷動作を続ける。

原因

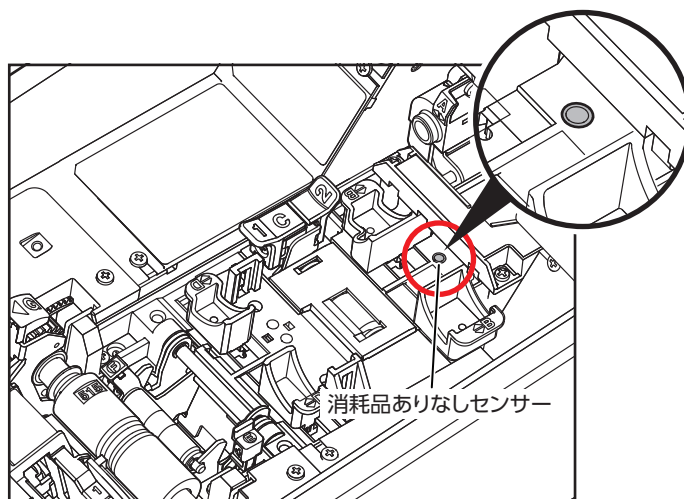
消耗品有りなしセンサーに付着したホコリや汚れの影響により消耗品が無くなっても、消耗品があると誤検知しています。

準備するもの

- ・ 柔らかい布
(糸くずが出やすい布は使用しないでください)

お手入れのしかた

- 1 本体背面の主電源をOFFにしてください。
- 2 ドアカバーを開けてください。
- 3 消耗品ありなしセンサーを、柔らかい布で空拭きしてください。



10-4 ブロックマーカースセンサー／ブロックマーカ用アタッチメントをクリーニングする

ブロックマーカースセンサーはブロックマーカ印字時のみ使用するセンサーです。
ブロックマーカ用アタッチメントのクリーニングも同時に行ってください。

症状

- ・ 印字されない空白のブロックが連続印字途中に入る。
- ・ エラーメッセージ「ブロックマーカを検出できませんでした」が表示される。

原因

ホコリや汚れがセンサー部に付着することで、先端を検知できていません。

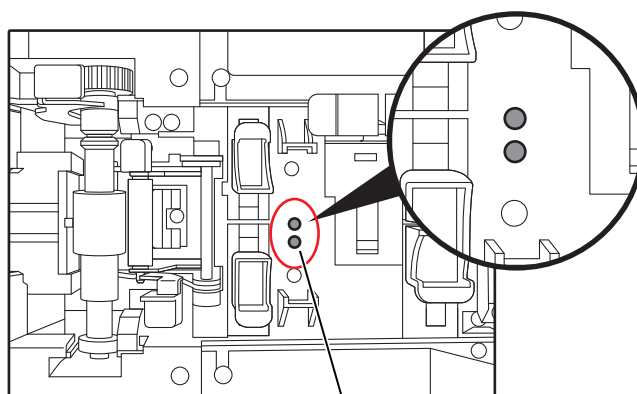
準備するもの

- ・ 柔らかい布、または綿棒
(糸くずが出やすい布は使用しないでください)

お手入れのしかた

① ブロックマーカースセンサーをクリーニングする

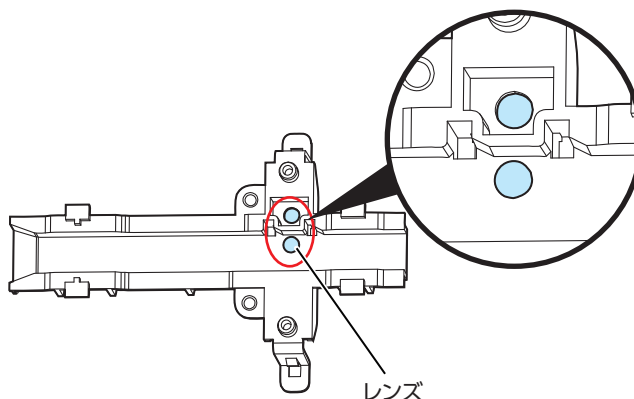
- 1** 本体背面の主電源(ロッカスイッチ)をOFFにしてください。
- 2** ドアカバーを開けてください。
- 3** ブロックマーカースセンサーレンズ部を、柔らかい布で空拭きしてください。



ブロックマーカースセンサー

② ブロックマーカ用アタッチメントをクリーニングする

ブロックマーカ用アタッチメント裏面のレンズ部を乾いた布、または綿棒で空拭きしてください。



レンズ

10-5 メディアガイド B、D をクリーニングする (テープ粘着剤の除去方法)

症状

プラテンローラーにテープが巻き込まれる。

原因

メディアガイド B、D に付着したテープ粘着剤が搬送され、プラテンローラーに付着しています。

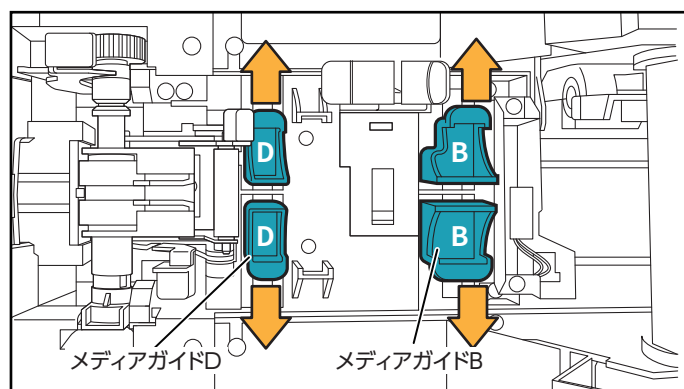
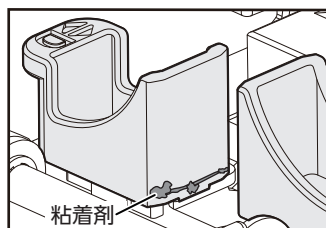
準備するもの

・テープ

お手入れのしかた

メディアガイドB、Dをクリーニングする。

- 1 本体背面の主電源をOFFにしてください。
- 2 ドアカバーを開けてください。
- 3 メディアガイドB、Dに付着した粘着剤をテープの粘着面を押し付けて除去してください。



お願い

- メディアガイドB、Dのテープ接触面に付着した粘着剤は、テープの粘着面を押し付けて必ず除去してから印刷してください。粘着剤が搬送され、プラテンローラーやLength Measurement Sensorに付着すると、消耗品の巻き込みや印字不良の原因となります。

第11章. トラブルシューティング

11-1	こんなときは	207
------	--------------	-----

11-1 こんなときは

現象	確認事項	対処方法
電源が入らない。	電源コードは正しく接続されていますか？	本体、コンセントに電源コードを正しく接続してください。
	本体背面の主電源、本体前面のサブ電源は ON になっていますか？	本体背面の主電源を ON にし、本体前面のサブ電源を ON にしてください。
画面表示が暗い、もしくは薄い。	画面調整が適正ではありません。	説明書を参考に設定値を変更してください。 → 6-8-5 画面調整を設定する
印字しない。	ドアカバーが閉まっていますか？	ドアカバーを最後まで閉めてください。
	本体 LCD 画面はホーム画面になっていますか？ (PC 出力時)	本体 LCD 画面をホーム画面にして印刷してください。 → 6-1 ホーム画面
	「LETATWIN PC EDITOR」の「印刷」画面で「本体操作中」と表示されていませんか？	本体 LCD 画面をホーム画面にして印刷してください。 → 6-1 ホーム画面
印字されない細い筋が進行方向に入る。	サーマルヘッドが汚れていませんか？	サーマルヘッドをクリーニングしてください。 クリーニングしても改善しない場合はサーマルヘッドを交換してください。 → 10-2 サーマルヘッドをクリーニングする → 5-2 サーマルヘッドの交換のしかた
印字が薄い、または濃い。	適切な印字濃度で印刷されていますか？	適切な印字濃度で印刷してください。 → 6-9-1 印字濃度を設定する
	適切な印字圧で印字されていますか？	消耗品に応じた適切な印字圧で印刷してください。 → 4-3 印字圧の調整のしかた
印字にムラがある。	プラテンローラーが汚れていませんか？	プラテンローラーをクリーニングしてください。 → 10-1 プラテンローラーをクリーニングする
	プラテンローラーが摩耗していませんか？	プラテンローラーが摩耗している場合は、新しいプラテンローラーに交換してください。
	消耗品種類に応じた適切な印字圧で印刷していますか？	消耗品種類に応じた適切な印字圧で印刷してください。 → 4-3 印字圧の調整のしかた
	適切な印字濃度で印刷していますか？	適切な印字濃度に設定して印刷してください。 → 6-9-1 印字濃度を設定する
印字位置が上下にずれる。	消耗品が正しくセットされていますか？ 上下印字位置設定が適正ではありません。	メディアガイド B、D を消耗品幅に合わせて正しくセットしてください。 上下印字位置調整値を確認の上、上下印字位置を設定してください。 → 6-9-4 上下印字位置を設定する
印字位置が左右方向にずれる。	プラテンローラーが汚れていませんか？	プラテンローラーをクリーニングしてください。 プラテンローラーが摩耗している場合は、新しいプラテンローラーに交換してください。 → 10-1 プラテンローラーをクリーニングする
	カット位置調整が適正ではありません。	ハーフカットを行う印刷の左右印字位置調整はハーフカット位置で調整します。カット位置設定値を確認の上、適切なカット位置に設定して印刷を行ってください。 → 8-8-6 カット位置を設定する
	送り方向印字位置調整が適切ではありません。(ブロックマーカのみ)	ブロックマーカ印刷時のみ、送り方向印字位置調整で印字位置を調節してください。 → 8-8-11 送り方向印字位置を調整する(ブロックマーカのみ)
消耗品がでてこない	消耗品が出口付近でつまっていませんか？	ジャム除去カバーを開けて、ピンセットで消耗品を取り除いてください。 特に、巻きぐせの影響を受けやすい細径チューブφ1.5、φ2.0 はチューブ先端を消耗品排出口から出た状態でセットして印刷してください。 → 4-6 イグジットガイドの交換のしかた

現 象	確認事項	対処方法
スリーブに正常に印字できない。 ・印字位置がずれる。	スリーブサイズに応じたプラテンローラーを使用していますか？	スリーブサイズに応じたプラテンローラーをセットしてください。 →4-4 グリップスリーブのセットのしかた
	本体とスリーブ箱との間を約30cm あけてセットしていますか？	本体とスリーブ箱との間を約 30 cmあけてセットしてください。 →4-4 グリップスリーブのセットのしかた
	メディアガイド B、D はスリーブ幅に合わせてセットされていますか？	メディアガイド B、D をスリーブ幅に合わせて正しくセットしてください。 →4-4 グリップスリーブのセットのしかた
チューブ、ID プレートに正常に印字できない。 ・印字位置がずれる。 ・印字がかすれる。	チューブは正しくセットされていますか？	チューブを正しくセットしてください。 →4-5 チューブ・IDプレートのセットのしかた
	メディアガイド B、D はチューブ幅に合わせてセットされていますか？	メディアガイド B、D をチューブ幅に合わせて正しくセットしてください。 →4-5 チューブ・IDプレートのセットのしかた
	チューブが絡まっていますか？	絡まりを直して再度セットしてください。
	チューブに油やゴミなどが付着していますか？	油やゴミのついたものは使用できません。特に油は拭いても使えない場合があります。 新しい綺麗なチューブをセットしてください。
	チューブがねじれてセットされていませんか？	ねじれを直して再度セットしてください。
	チューブ径の設定とセットしたチューブ径は合っていますか？	チューブ径の設定が異なると、正しい印字位置に印刷しません。 セットしたチューブ径に設定を合わせてください。
	室温が 15℃を下回っていませんか？	5 ～ 15℃の低温環境下ではチューブが硬くなり印字がかすれることがあります。その場合はチューブヒーターをご使用ください。 →4-5-1 チューブヒーターのセットのしかた →6-5 ヒーターON/OFF切り替え
	チューブのカスが機械内部につまっていますか？	ジャム除去カバーを開けて、ピンセットでカスを取り除いてください。 →4-6 イグジットガイドの交換のしかた
	正しいイグジットガイドを使用していますか？	φ12.0 ～ φ19.0 の熱収縮チューブは "WIDE"、それ以外の消耗品は "NARROW" をセットしてご使用ください。 →4-6 イグジットガイドの交換のしかた
	塩ビチューブの細径φ1.5、φ2.0、太径φ8.0、φ10 にはアタッチメントが必要です。チューブ径に応じたアタッチメントをセットしていますか？	チューブ径に応じたアタッチメントをセットしてください。 →4-5 チューブ・IDプレートのセットのしかた
	正しいプラテンローラーがセットされていますか？	正しいプラテンローラーをセットしてください。 →4-5 チューブ・IDプレートのセットのしかた
テープ・記名板に正常に印字にできない。	消耗品が正しくセットされていますか？ 付属のリールスタンドを使用されていますか？	テープ・記銘板を正しくセットしてください。 テープ・機銘板をリールスタンドに正しくセットしてください。 →4-7 テープ・記名板のセットのしかた →4-10 リールスタンドのセットのしかた
	テープの幅の設定は、セットしたテープと合っていますか？	設定したテープと同じ幅を本体にセットしてください。
	15℃以下や35℃の使用環境になっていませんか？	15℃以上35℃未満の環境下でご使用ください。
	テープ・記銘板への印字は length measurement sensor (エンコーダー) のセットが必要です。length measurement sensor (エンコーダー) は正しくセットされていますか？	length measurement sensor (エンコーダー) にテープまたは記名板を正しくセットしてください。 →4-7 テープ・記名板のセットのしかた
	チューブやテープのカスが機械内部にたまっていますか？	イグジットガイドをあけて、カスを取り除いてください。 →4-6 イグジットガイドの交換のしかた

現 象	確認事項	対処方法
ブロックマーカの印字がかすれる。	正しくセットされていますか？	→4-8 ブロックマーカのセットのしかた
	適切な印字濃度で印刷していますか？	印字濃度を下げる、又は上げてお試しください。 →6-9-1 印字濃度を設定する
		印刷スピードを下げてお試しください。 →6-9-2 低速モードを設定する →8-3-2 印刷速度を下げる
ブロックマーカにインクリボンが貼り付く。	印字濃度が高くなっていませんか？	印字濃度を下げて印刷してください。 →6-9-1 印字濃度を設定する →8-3-2 印刷速度を下げる
ブロックマーカの巻き終わり部の印字がずれる。	ブロックマーカの巻き終わり部がリールから外れにくくなっている。	ブロックマーカの巻き終わり部をリールから取り外して印刷してください。
テープ・記銘板が設定より短くなる。	プラテンローラーが汚れていませんか？	プラテンローラーをクリーニングしてください。 →10-1 プラテンローラーをクリーニングする
	プラテンローラーが摩耗していませんか？	プラテンローラーが磨耗している場合は新しいプラテンローラーに交換してください。
	リールスタンドにテープ・記銘板が正しくセットされていますか？	リールスタンドに正しくセットして、負荷なくテープ・記銘板が引き出せることを確認してください。 全長補正を行って印刷してください。 →8-8-4 印刷全長を補正する
ハーフカットできない。 ハーフカットが動作しない。	ハーフカットユニットが正しくセットされていますか？	説明書を参考にハーフカットユニットを正しく取り付けてください。 →5-1 ハーフカットユニットの交換のしかた
	ハーフカットの設定をされていますか？	説明書を参考にハーフカットの設定をしてください。 →8-1-12 ピッチ間のハーフカット/実線・点線の印刷有無を設定する
ハーフカット動作はするが、跡がつくだけで切れない。	ハーフカット深さ調整が浅くなっていませんか？	説明書を参考にハーフカットの深さ調整をしてください。 気温やチューブ適正によって切れ方が変わる場合があります。 →4-2 ハーフカット深さ調整
	刃が古くなっていませんか？	新しいハーフカットユニットに交換してください。 →5-1 ハーフカットユニットの交換のしかた →12-2 消耗品・オプション品一覧
ハーフカットが切れすぎてしまう。	ハーフカットの深さ調整レバーが適切にセットされていますか？	説明書を参考にハーフカットの深さ調整をしてください。 気温やチューブ適正によって切れ方が変わる場合があります。 →4-2 ハーフカット深さ調整
熱収縮チューブのハーフカットができない。	チューブの肉厚によってハーフカットができない場合があります。	ハサミ等でカットしてください。
	以前に消耗品を完全に切断し、刃先がダメージを受けている場合があります。	新しいハーフカットに交換してください。 →5-1 ハーフカットユニットの交換のしかた →12-2 消耗品・オプション品一覧
手動のフルカットができない。 (切れない)	消耗品のカスが機械内部にたまっていませんか？	ジャム除去カバーを開き、ピンセットで消耗品のカスや詰まりを取り除いてください。 →3-2 各部の名称
	機械内部で消耗品が詰まっていませんか？	
消耗品が検知されない。	メディアガイド B、D が消耗品幅にきちんと合わせていますか？	メディアガイド B、D を消耗品幅にきちんと合わせ、消耗品有り無しセンサー上を通るようにしてください。
	消耗品有り無しセンサーが汚れていませんか？	消耗品ありなしセンサーを空拭きしてください。 →10-3 消耗品ありなしセンサーをクリーニングする
LETATWIN PC EDITOR が PC 画面内におさまらない。		PC の「ディスプレイ設定」から、「拡大 / 縮小」、または「ディスプレイの解像度」を変更してお試しください。
プラテンローラーにテープが巻きこまれる。	プラテンローラー、メディアガイド B、D に粘着剤が付着していませんか？	メディアガイド B、D に付着したテープ粘着剤が搬送され、プラテンローラーに付着しています。 プラテンローラーのクリーニング、メディアガイド B、D の定期的なクリーニングをお願いします。 →10-5 メディアガイド B、D をクリーニングする(テープ粘着剤の除去方法) →6-6 ヘルプ

第12章. 付 録

12-1	「LETATWIN PC EDITOR PRO」表作成方法詳細	211
12-2	消耗品・オプション品一覧.....	214
12-3	設定値初期値一覧	217
12-4	製品仕様.....	218
12-5	本体・「LETATWIN PC EDITOR PRO」のバージョン確認方法.....	220
12-5-1	本体のバージョン確認方法	220
12-5-2	「LETATWIN PC EDITOR PRO」のバージョン確認方法.....	220
12-5-3	本体のバージョンアップ方法.....	221
12-6	お問い合わせ先.....	222

12-1 「LETATWIN PC EDITOR PRO」表作成方法詳細

単位ブロックが無いブロックが存在するパターンでは表を作成することはできません。(すべてのブロックについて、結合されていない状態のセルが必ずいずれかの行に存在するようなパターンで作成してください。)

- 赤ブロック：エラー箇所
- 黄色ブロック：単位ブロック

(例)

印字イメージ

1	2	5
A	D	E

	1行目	2行目	3行目	4行目	連続	ピッチ長	下線	反転	回転
1	1	A			1個	5.0	しない	しない	しない
2	2				1個	5.0	しない	しない	しない
3					1個	5.0	しない	しない	しない
4		D			1個	5.0	しない	しない	しない
5	5	E			1個	5.0	しない	しない	しない
6									
7									

この例では、2番と3番のブロックが、1行目～2行目の中で、結合されていない状態のセルが存在しないためNGとなります。

OKパターン

印字イメージ

1	2	3	4	5
A	B	C	D	E

	1行目	2行目	3行目	4行目	連続	ピッチ長	下線	反転	回転
1	1	A			1個	5.0	しない	しない	しない
2	2	B			1個	5.0	しない	しない	しない
3	3	C			1個	5.0	しない	しない	しない
4	4	D			1個	5.0	しない	しない	しない
5	5	E			1個	5.0	しない	しない	しない
6									
7									

印字イメージ

1	3	4	5
A	B	C	

	1行目	2行目	3行目	4行目	連続	ピッチ長	下線	反転	回転
1	1	A			1個	5.0	しない	しない	しない
2	2	B			1個	5.0	しない	しない	しない
3	3	C			1個	5.0	しない	しない	しない
4	4	D			1個	5.0	しない	しない	しない
5	5	E			1個	5.0	しない	しない	しない
6									
7									

印字イメージ

1	2			5
A	B	C	D	E

	1行目	2行目	3行目	4行目	連続	ピッチ長	下線	反転	回転
1	1	A			1個	5.0	しない	しない	しない
2	2	B			1個	5.0	しない	しない	しない
3		C			1個	5.0	しない	しない	しない
4		D			1個	5.0	しない	しない	しない
5	5	E			1個	5.0	しない	しない	しない
6									
7									

結合箇所、ピッチ長を調整することで作成可能なパターン

印字イメージ

1	2	5
A		E

	1行目	2行目	3行目	4行目	連続	ピッチ長	下線	反転	回転
1	1	A			1個	5.0	しない	しない	しない
2	2				1個	5.0	しない	しない	しない
3					1個	5.0	しない	しない	しない
4					1個	5.0	しない	しない	しない
5	5	E			1個	5.0	しない	しない	しない
6									
7									

	1行目	2行目	3行目	4行目	連続	ピッチ長	下線	反転	回転
1	1	A			1個	5.0	しない	しない	しない
2	2				1個	15.0	しない	しない	しない
3	5	E			1個	5.0	しない	しない	しない
4					1個				
5					1個				
6									
7									

セル結合箇所を減らしてピッチ長で調整してください。

印字イメージ

1	2	5
A	B	

	1行目	2行目	3行目	4行目	連続	ピッチ長	下線	反転	回転
1	1	A			1個	5.0	しない	しない	しない
2	2	B			1個	5.0	しない	しない	しない
3					1個	5.0	しない	しない	しない
4					1個	5.0	しない	しない	しない
5	5				1個	5.0	しない	しない	しない
6									
7									

	1行目	2行目	3行目	4行目	連続	ピッチ長	下線	反転	回転
1	1	A			1個	5.0	しない	しない	しない
2	2	B			1個	15.0	しない	しない	しない
3	5				1個	5.0	しない	しない	しない
4									
5									
6									
7									

セル結合箇所を減らしてピッチ長で調整してください。

印字イメージ

1	2	5
A	B	D
		E

	1行目	2行目	3行目	4行目	連続	ピッチ長	下線	反転	回転
1	1	A			1個	5.0	しない	しない	しない
2	2	B			1個	5.0	しない	しない	しない
3					1個	5.0	しない	しない	しない
4		D			1個	5.0	しない	しない	しない
5	5	E			1個	5.0	しない	しない	しない
6									
7									

	1行目	2行目	3行目	4行目	連続	ピッチ長	下線	反転	回転
1	1	A			1個	5.0	しない	しない	しない
2	2	B			1個	10.0	しない	しない	しない
3		D			1個	5.0	しない	しない	しない
4	5	E			1個	5.0	しない	しない	しない
5									
6									
7									

セル結合箇所を減らしてピッチ長で調整してください。

印字イメージ

1	2	5
A	B	E

	1行目	2行目	3行目	4行目	連続	ピッチ長	下線	反転	回転
1	1	A			1個	5.0	しない	しない	しない
2	2	B			1個	5.0	しない	しない	しない
3					1個	5.0	しない	しない	しない
4					1個	5.0	しない	しない	しない
5	5	E			1個	5.0	しない	しない	しない
6									
7									

	1行目	2行目	3行目	4行目	連続	ピッチ長	下線	反転	回転
1	1	A			1個	5.0	しない	しない	しない
2	2	B			1個	15.0	しない	しない	しない
3	5	E			1個	5.0	しない	しない	しない
4									
5									
6									
7									

セル結合箇所を減らしてピッチ長で調整してください。

表作成出来ないパターン

これらのパターンは表作成できません。

印字イメージ

1	2	5
A	D	E

	1行目	2行目	3行目	4行目	連続	ピッチ長	下線	反転	回転
1	1	A			1個	5.0	しない	しない	しない
2	2				1個	5.0	しない	しない	しない
3					1個	5.0	しない	しない	しない
4		D			1個	5.0	しない	しない	しない
5	5	E			1個	5.0	しない	しない	しない
6									
7									

印字イメージ

1	2		5
A	C	D	E

	1行目	2行目	3行目	4行目	連続	ピッチ長	下線	反転	回転
1	1	A			1個	5.0	しない	しない	しない
2	2				1個	5.0	しない	しない	しない
3		C			1個	5.0	しない	しない	しない
4		D			1個	5.0	しない	しない	しない
5	5	E			1個	5.0	しない	しない	しない
6									
7									

印字イメージ

1	2		5
A	B	C	D

	1行目	2行目	3行目	4行目	連続	ピッチ長	下線	反転	回転
1	1	A			1個	5.0	しない	しない	しない
2	2	B			1個	5.0	しない	しない	しない
3		C			1個	5.0	しない	しない	しない
4		D			1個	5.0	しない	しない	しない
5	5				1個	5.0	しない	しない	しない
6									
7									

12-2 消耗品・オプション品一覧

もくじ

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

第7章

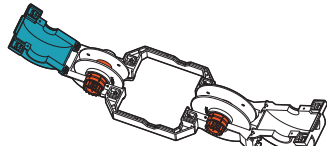
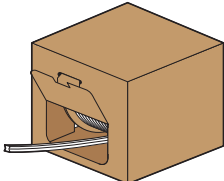
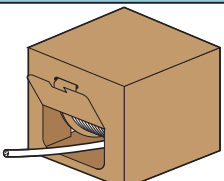
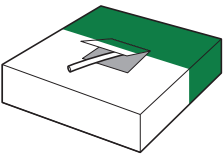
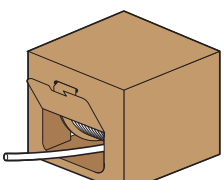
第8章

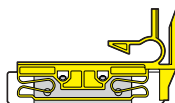
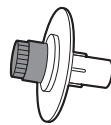
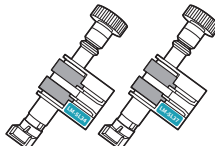
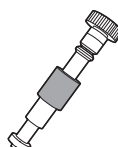
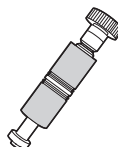
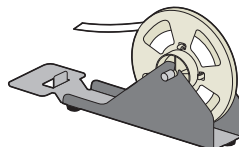
第9章

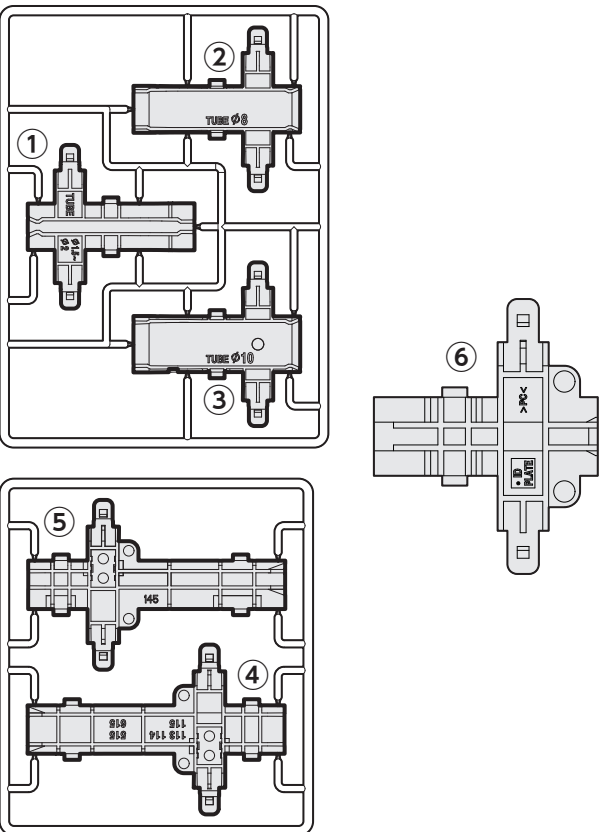
第10章

第11章

第12章

インクリボン			
黒：LM-IR3015B (LM-3000PRO 専用 200m 巻 全消耗品共通)			
白：LM-IR3015W (LM-3000PRO 専用 180m 巻 熱収縮チューブ用)			
インクリボンカセット			
LM-RC3015			
グリップスリーブ (UL224 適合)			
推奨電線外径			
φ2.1 ～ φ3.4mm		LM-SL34W (白・75m 巻)	
φ3.0 ～ φ3.7mm		LM-SL37W (白・75m 巻)	
φ2.1 ～ φ3.4mm		LM-SL34Y (黄・75m 巻)	
φ3.0 ～ φ3.7mm		LM-SL37Y (黄・75m 巻)	
グリップチューブ			
	推奨電線外径		
内径 φ2.9mm	φ1.9mm ～ φ2.1mm	LM-TU29G (100m 巻)	
内径 φ3.7mm	φ2.5mm ～ φ2.7mm	LM-TU37G (100m 巻)	
内径 φ4.6mm	φ3.0mm ～ φ3.7mm	LM-TU46G (85m 巻)	
丸チューブ (UL224 適合)			
内径 φ3.2mm	LM-TU332N2 (100m 巻)		
内径 φ3.6mm	LM-TU336N2 (100m 巻)		
内径 φ4.2mm	LM-TU342N2 (80m 巻)		
内径 φ5.2mm	LM-TU352N2 (80m 巻)		
※ UL224 適合チューブは、耐電圧 600V、耐熱 105℃、チューブ肉厚 0.431mm 以上、難燃性 VW-1 基準です。絶縁チューブとしてお使いいただけます。			
ドラム式丸チューブ			
内径 φ2.5mm	LM-TU425L2 (250m 巻)		
内径 φ2.7mm	LM-TU427L2 (250m 巻)		
内径 φ3.2mm	LM-TU432L2 (250m 巻)		
内径 φ3.4mm	LM-TU434L2 (250m 巻)		
内径 φ3.6mm	LM-TU436L2 (250m 巻)		
内径 φ4.2mm	LM-TU442L (200m 巻)		
内径 φ5.2mm	LM-TU452L (135m 巻)		
内径 φ6.4mm	LM-TU464L (100m 巻)		
内径 φ8.0mm	LM-TU480L (70m 巻)		
テープ			
	白(30m 巻)	黄(30m 巻)	
5mm 幅	LM-TP3005W	LM-TP3005Y	
9mm 幅	LM-TP3009W	LM-TP3009Y	
12mm 幅	LM-TP3012W	LM-TP3012Y	

記名板			
8.5mm 幅	LM-KM485	(25m 巻 1 箱入数／5 巻 0.5mm 厚)	
9.5mm 幅	LM-KM495	(25m 巻 1 箱入数／5 巻 0.5mm 厚)	
10.0mm 幅	LM-KM410	(25m 巻 1 箱入数／5 巻 0.5mm 厚)	
10.7mm 幅	LM-KM4107	(25m 巻 1 箱入数／1 巻 0.5mm 厚)	
ID プレート			
4.1mm 幅	LM-ID PLATE4110(20m 巻 1.0mm 厚)		
ハーフカッターユニット			
LM-HC3000	(LM-3000PRO 専用)		
LETATWIN PC EDITOR PRO			
MAX ホームページよりダウンロードしてください。			
→3-8 「LETATWIN PC EDITOR PRO」のダウンロードとインストール方法			
チューブφ8、φ10専用リボンフランジ ※部品扱いとなります。			
チューブφ8、φ10 専用リボンフランジ			
プラテンローラー			
グリップスリーブ用(2種)	LM-PR SL34		
	LM-PR SL37		
チューブ、テープ、 記名板用	LM-PR NORMAL		
ブロックマーカ用(4種)	LM-PR115	A2009-113、114、115 用	
	LM-PR145	A2009-145 用	
	LM-PR515	A2009-515 用	
	LM-PR615	A2009-615 用	
リールスタンド(テープフランジ付き) ※部品扱いとなります。			
リールスタンド (フランジ付き)			

アタッチメント ※部品扱いとなります。	
①チューブφ 1.5 ～ 2.0 用アタッチメント	
②チューブφ 8 用アタッチメント	
③チューブφ 10 用アタッチメント	
④ブロックマーカ用アタッチメント (113、114、115、515、615 対応)	
⑤ブロックマーカ用アタッチメント (145 対応)	
⑥ ID プレート用アタッチメント	

ブロックマーカ ※ WAGO 社製品の対応一覧表	
WAGO 社品番	LM-3000PRO での表示名
2009-113	A2009-113
2009-114	A2009-114
2009-115	A2009-115
2009-145	A2009-145
2009-515	A2009-515
2009-615	A2009-615

12-3 設定値初期値一覧

【LETATWIN PC EDITOR PRO 設定初期値】

	項目	LM-3000PRO		LM-550W3 LM-500W3	LM-550W2 LM-500W2	LM-550W LM-500W
基本設定	ピッチ長初期値	グリップスリーブ / チューブ	20.0mm	20.0mm (チューブのみ)	20.0mm (チューブのみ)	20.0mm (チューブのみ)
		MAX ID プレート	18.0mm			
		テープ	10.0mm	10.0mm	10.0mm	10.0mm
		記名板	10.0mm	10.0mm	10.0mm	10.0mm
		エンドプレート	1.5mm			
	連続個数初期値	グリップスリーブ / チューブ	2 個	2 個	2 個	2 個
		MAX ID プレート	2 個			
		テープ	1 個	1 個	1 個	1 個
		記名板	1 個	1 個	1 個	1 個
		ブロックマーカ	1 個			
印刷書式設定	文字サイズ		3.0mm	3.0mm	3.0mm	3.0mm
	文字幅		100%	100%	100%	100%
	表組モード		OFF			
	ピッチ長		指定	指定	指定	指定
	文字サイズオート		通常オート	通常オート	通常オート	通常オート
	ピッチカット		ハーフカット	ハーフカット	ハーフカット	ハーフカット
	文字方向		横書き	横書き	横書き	横書き
	文字間隔		標準	標準	標準	標準
	行間隔		標準	標準	標準	標準
	印刷フォント		明快	明快	明快	標準 (本体で設定)
	6,9 装飾		OFF	OFF (本体で設定)	OFF (本体で設定)	OFF (本体で設定)
	0 スラッシュ		OFF	OFF		
印字パラメータ 設定	枠囲み		OFF	OFF	OFF	OFF
	連番印刷順序		連続優先 11 22 33	連続優先 11 22 33	連続優先 11 22 33	連続優先 11 22 33
	カット位置		0.0mm	0.0mm	0.0mm	0.0mm
	上下印字位置		0.0mm	0.0mm	0.0mm	0.0mm
	印字濃度		5	4	4	4
	低速モード		OFF	OFF	OFF	OFF
	先頭空送り		OFF	OFF	OFF	OFF
	後端空送り		ON			
	部数間余白		ON			
	送り方向印字 位置調整		0.0mm			

MEMO

●LM-5xxシリーズで搭載されていた「印字長モード」は「LETATWIN PC EDITOR PRO」にはありません。
LM-5xxシリーズで「印字長モード」をご使用の場合は、旧ソフト「LETATWIN PC EDITOR」で作成するか、LM-5xx本体で作成してください。

12-4 製品仕様

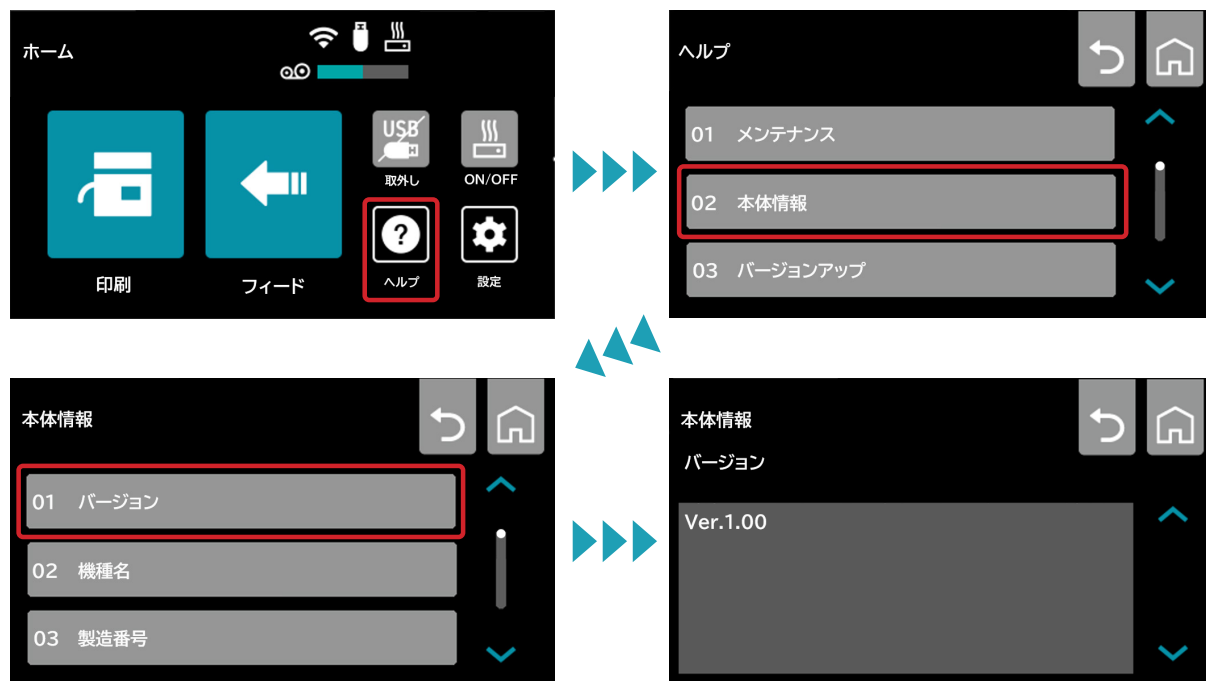
機種名	LM-3000PRO
製品の種類	チューブマーカ―
最大入力文字数	5,000 文字 (2,000 ブロック)
文字種類	JIS 第一水準、第二水準、その他 JIS 準拠 (かな・カナ・英数字等)
書体	標準 / 太字 / 明快 / 正方形 / ベトナム
文字サイズ (高さ)	1.3/2/3/4/6mm 英数字、一部の記号のみ 2.4mm も選択可
表示部	4.3 インチカラー液晶タッチパネル
印字方式	熱転写方式 (300dpi)
印字速度	80mm/ 秒 (チューブ作成個数: 85 個 / 分 ϕ 3.2 チューブ、20mm ピッチ、7 文字印字時)
最大印字長さ (1 部印刷時)	グリップスリーブ 100m、チューブ 100m、テープ 5m、記名板 5m、 ブロックマーカ― 1,000 個、ID プレート 20m
対応消耗品	グリップスリーブ (LM-SL34 電線仕上がり外径 ϕ 2.1~ ϕ 3.4、LM-SL37 電線仕上がり外径 ϕ 3.0~ ϕ 3.7)
	グリップチューブ (内径 ϕ 2.9~ ϕ 4.6)
	塩ビチューブ (内径 ϕ 1.5~10.0)
	熱収縮チューブ (内径 ϕ 2.0~19.0)
	テープ (幅 5/9/12 mm)
	記名板 (幅 5.5~12.0mm)
	ブロックマーカ― (WAGO 社製 2009-113、2009-114、2009-115、2009-145、2009-515、2009- 615)
	ID プレート (幅 4.1mm)
切断方法	ハーフカット: 自動 フルカット: 手動
本体メモリ	なし
外部メモリ	USB メモリ (セキュリティ機能のあるタイプは使用できません。FAT12/16/32 で フォーマットされたものに限る)
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	最大 70W、待機時 15W 以下、スリーブ時 10W 以下
インターフェース	USB (A)、USB (B)、有線 LAN、無線 LAN (IEEE802.11.b/g/n) (n は 2.4GHz のみ 対応) (Station mode のみ)、(変調方式: DSSS[11b]、OFDM[11g/n])
無線 LAN セキュリティ	WPA-TKIP、128 ビット WPA2 CCMP (AES)
チューブヒーター	内蔵
動作環境条件	温度 5~35℃、湿度 20~80% 結露なきこと
外形寸法	W427 × D256 × H301mm
質量	約 11Kg (付属品・電源コード除く)
付属品	・電源コード・イングリボン (LM-IR3015B)・イングリボンカセット・リールスタンド ・クイックリファレンスマニュアル・セーフティガイド ・プラテンローラー 4 種 (LM-SL34 用 / LM-SL37 用 / チューブ・テープ用 / A2009- 113・114・115 用) ・アタッチメント 6 種 (ブロックマーカ― A2009-145 用 / A2009-113・114・115・ 515・615 用 / チューブ ϕ 1.5 ~ 2.0 用 / ϕ 8.0 用 / ϕ 10.0 用 / ID プレート用) ・ ϕ 8.0 / ϕ 10.0 用リボンフランチ・プラテンケース・ソフト使用許諾書
対応 OS	Windows11

【動作環境】

共通の使用条件	・「Designed for Windows」のロゴが表記されている DOS/V 機 ・クロックおよびメモリは、Microsoft 社の各 OS 要件に応じた CPU および RAM を搭載していること ・ハードディスク：空き容量が 100MB 以上あること ・画面サイズ：800 × 600 以上 ・有線 LAN ケーブルについて本製品の有線 LAN ポートは、最大 100m の LAN ケーブル（Cat5e 以上推奨）で動作確認を行っています。これを超える長さのケーブルを使用すると、通信が不安定になる可能性があります。
必要なコネクタ	USB コネクタ、LAN コネクタ
対応 OS	Windows11
対応 OS に関するご注意	※対応 OS はプリインストールマシンまたはクリーンインストールマシンに限っての動作保証となります。（アップグレード版は当社の動作保証外となります。） ・プリインストールマシンとはあらかじめパソコンメーカーが Windows をインストールした状態で工場出荷しているパソコンです。 ・クリーンインストールマシンとは、各 Windows 動作環境を満たしたパソコンを初期化して Windows をインストールしたパソコンです。この場合、OS が正常に動作することが確認されているパソコンに限ります。 ・最新の OS の状況については、当社ホームページをご覧ください。

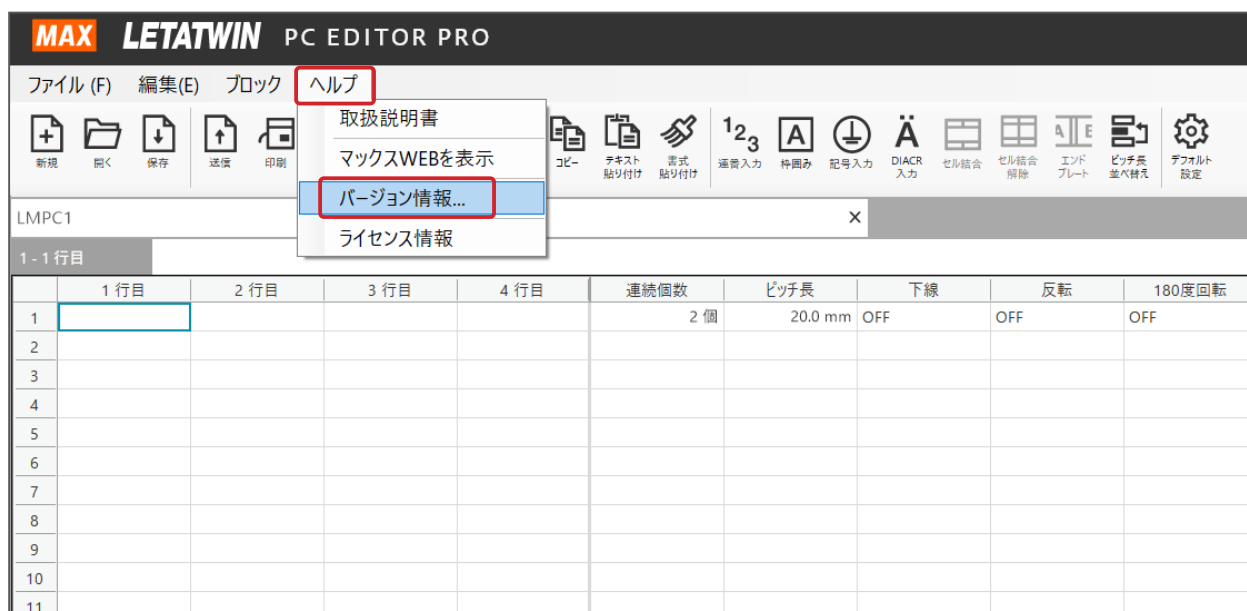
12-5 本体・「LETATWIN PC EDITOR PRO」のバージョン確認方法

12-5-1 本体のバージョン確認方法



12-5-2 「LETATWIN PC EDITOR PRO」のバージョン確認方法

「LETATWIN PC EDITOR PRO」内「ヘルプ」-「バージョン情報」よりご確認いただけます。



12-5-3 本体のバージョンアップ方法



アップデートファイルの配信方法

- ・本製品では、セキュリティ向上や機能改善のためファームウェアのアップデートを提供することがあります。
- ・アップデートが必要と判断された場合、当社から登録メールアドレス宛にファームウェアのアップデートのお知らせをお送りします。
- ・アップデートファイルは、当社ホームページよりダウンロード可能です。
- ・アップデートを行うことで、本製品をより安全にご利用いただけます。
- ・アップデート情報の提供は、事前にユーザー登録いただいた方が対象です。

12-6 お問い合わせ先

ご不明な点や脆弱性に関するご報告は下記へお問合せください。

<https://www.max-ltd.co.jp/op>

お客様相談ダイヤル：**0120-510-200**（土日・祝日・当社指定休日を除く）

※「ナンバーディスプレイ」を利用しています。

通話内容は対応品質向上のため録音させていただいております。

●本社・営業本部オフィスプロダクツ営業部

〒103-8502 東京都中央区日本橋箱崎町 6-6

●支店・営業所

札幌、仙台、東京、埼玉、名古屋、大阪、広島、福岡

●修理に関するお問合せは

マックスエンジニアリングサービス株式会社

●マックス拠点一覧

※最新の連絡先はマックスホームページよりご確認ください。

https://www.max-ltd.co.jp/support/op/pdf/op_kyoten.pdf



レタツイン、グリップチューブはマックス株式会社の登録商標です。

ナンバーディスプレイは東日本電信電話株式会社および西日本電信電話株式会社の登録商標です。

QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

【保証書】

本書は、ご購入日から本書に定める保証期間内に故障が発生した場合に、本書記載内容で無償修理をお約束するものです。弊社では、製造番号によりお客様の商品を管理しております。下記URLまたはQRコードより「お客様登録」をお願いいたします。

●スマートフォンから登録



●インターネットにて登録

<https://wis.max-ltd.co.jp/register/member/login.html>

お買い上げ商品のレシート・請求書などご購入店・ご購入日がわかる書類は、取扱説明書・保証書と一緒に大切に保管してください。

【保証規定】

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合に、無償で修理をさせていただきます。なお、中古品や個人売買、オークションで購入いただいた商品は対象外となります。
 - ①無償修理は、ご購入の販売店に本書を添えてご依頼ください。
 - ②ご購入の販売店にご依頼にならない場合は、お近くのマックス(株)またはマックスエンジニアリングサービス(株)にご相談ください。(弊社ホームページをご参照ください)
- 保証期間内でも次のような場合には有償となります。
 - ①ご使用上の誤りおよび改造や不当な修理による故障および損傷
 - ②ご購入後の移動、落下あるいは輸送などによる故障および損傷
 - ③火災・地震・風水害・落雷その他天変地異、塩害、ガス害、異常電圧、指定外電圧(電圧・周波数)などの不可抗力による故障および損傷
 - ④本保証書のご提示がない場合(コピー可)
 - ⑤本保証書にご購入日、お客様名、ご購入店の記入のない、もしくはレシート・請求書などご購入店、ご購入日がわかる書類をご用意できない場合。また、保証書・書類の字句を書き換えられた場合
 - ⑥消耗品、付属品などの交換や指定の手入れを怠ったことに起因する故障および損傷
 - ⑦弊社が指定している消耗品およびオプション品以外の使用に起因して生じた本体の故障および損傷
 - ⑧本商品本体を利用するために必要な消耗品(使用することでその機能を失う、あるいは消費されてなくなってしまう物品)は、保証対象外とします。(プラテンローラー、サーマルヘッド、ハーフカットユニット、アタッチメント等が含まれます)
 - ⑨故障の原因が、本商品以外に起因する場合
 - ⑩上記以外で弊社の責に帰することのできない原因により発生した故障
- お客様のご負担となる費用
 - ①修理の際のお預かり、ご返却に伴う送料はお客様のご負担となります。
 - ②本商品に異常がない状態での、点検に伴う費用はお客様のご負担となります。
- その他
 - ①本商品の故障などに伴う2次的損害に対する保証はいたしません。
 - ②修理の際に取り外した部品の所有権は、マックス(株)に帰属します。
 - ③本商品の動作に影響のない外観上の不良(経年劣化や日焼けによる変色・退色を含むがこれに限りません)については保証および修理の対象外とします。
 - ④保証および修理の対応に際して、環境保全等の観点から、品質・性能を確認した再生部品を使用させていただく場合があります。
 - ⑤本保証書は、日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
 - ⑥本保証書は、再発行いたしませんので大切に保管してください。
 - ⑦本製品では、セキュリティ向上や機能改善のためファームウェアのアップデートを提供することがあります。
 - ⑧アップデートが必要と判断された場合、当社から登録メールアドレス宛にファームウェアのアップデートのお知らせをお送りします。

保証期間 (ご購入日から)	1 年 (セキュリティアップデートに 関してはご購入日から5年)	ご購入日	2 0	年	月	日
品番／商品名	品 番 LM90234	商品名 LM-3000PRO	ご購入店			
			電話番号 ()			

マックス株式会社 オフィスプロダクツ営業部

東京都中央区日本橋箱崎町6-6

ホームページアドレス: <https://www.max-ltd.co.jp/op/>

お客様相談ダイヤル: 0120-510-200 (土日、祝日、当社指定休日を除く)

「ナンバーディスプレイ」を利用しています。

通話内容はサービス向上のため録音させていただいております。